

三重県 御中

廃棄物会計・LCA手法の導入検討調査等業務

報告書

平成 19 年 3 月

 株式
会社 三菱総合研究所

はじめに

三重県内市町村のごみ処理費用（施設整備費除く）は、平成4年度以降増加傾向にあり、今後、人口減少や高齢化等が進む中で、市町村の財政運営はますます厳しくなることが予想され、その削減が大きな課題となっている。

市町の一般廃棄物処理事業については、循環型社会の構築といった地域課題と相俟って住民の関心が高まっており、分別したごみの再利用・処分の方法やそのための費用、環境に与える影響などについて積極的に情報提供するとともに、各主体の役割分担や費用負担に関して住民の合意が得られるようなごみ処理の仕組みが求められている。例えば、有料化など住民生活に対する影響の大きい施策の導入に関して、ごみ処理費用の現状や料金決定の根拠など必要なコスト情報を住民に対してどれだけの確に提供できるかが、大きな鍵となる。

このため、三重県ではごみゼロ社会実現プランにおいて、「コストの削減」と「環境負荷の低減」という2つの観点からごみ処理システムの最適化を図る市町の取組を支援するとともに、市町が住民に対してごみ処理に関する分かりやすく的確な情報提供を行うことを可能とするため、市町のごみ処理事業における廃棄物会計やLCAの導入を促進することとしている。

全国自治体の廃棄物行政においても、これまでは予算を確実に執行することに力点がおかれ、支出の妥当性について十分な検討が行われてこず、加えて近年、長引く不況から税収が不足し財政赤字となる市町村が増えてきたことなどから、行政の効率化、行財政改革が全国的に重要な行政課題となってきている。

このような問題意識から、国は平成17年5月に改正された廃棄物処理法に基づく基本方針において、「一般廃棄物処理事業について、コスト分析及び情報提供を行い、分析結果をさまざまな角度から検討すること等により、社会経済的に効率的な事業となるよう努める」ことを市町村の役割とし、環境省では、平成17年度、学識経験者、会計専門家、自治体関係者で構成される「廃棄物会計基準・ごみ有料化ガイドライン検討委員会」を設置し、一般廃棄物処理事業に係るコスト分析の標準的手法を示す「廃棄物会計基準」と有料化の進め方を示す「有料化ガイドライン」について検討を行った。平成18年度も引き続き、当該会計基準を市町村にモデル的に導入し、その効果や問題点等を整理して基準の改善を行うなど、より使いやすく実効性のあるものとするための検討を進めている。

本業務では、上記の背景を踏まえ、環境省が本年度実施する「循環型社会形成推進基礎調査」事業と連携する形で、同省が作成する廃棄物会計基準案をモデル的に県内の市町（合併を行った市町や廃棄物処理システムを変更した市町等）に導入し、廃棄物会計を活用した廃棄物処理システムの分析を行うとともに、モデル的な導入を通じて県内市町に対して同会計基準の普及・促進を図ることを目的とした。

また、三重県内の市町村の廃棄物処理システムを対象とするLCAをモデル的に実施し、廃棄物処理システムの検討ツールとしてのLCA手法の可能性についても検証した。

目 次

はじめに

1. 廃棄物会計の試行による廃棄物処理システムの分析	1-1
1. 1 廃棄物会計基準の意義と目的	1-2
1. 2 廃棄物会計基準試行モデルに対する自治体意見の収集	1-3
(1) 廃棄物会計モデル事業の概要説明会	1-3
(2) 廃棄物会計を試行するモデル市町への説明会	1-24
(3) 廃棄物会計の試行結果に関する意見交換会	1-27
1. 3 モデル自治体における廃棄物会計試行結果及びその分析	1-30
(1) 廃棄物会計基準試行モデル自治体の概要	1-30
(2) 廃棄物会計試行結果及びその分析	1-34
1. 4 廃棄物会計を用いたコスト面からの廃棄物処理システムの評価・分析	1-184
(1) 合併により複数の廃棄物処理システムが並存する自治体	1-184
(2) 廃棄物処理システムの変更又は変更予定の自治体	1-192
2. 廃棄物処理システムに関する LCA 手法の整理	2-1
2. 1 北海道大学「北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)」	2-2
(1) 概要	2-2
(2) 構成	2-2
(3) 特長	2-4
2. 2 早稲田大学 BAS 手法 (BAS ソフトウェア)	2-5
(1) 概要	2-5
(2) 構成	2-5
(3) 特長	2-8
2. 3 岡山大学戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWMSS)	2-9
(1) 概要	2-9
(2) 構成	2-9
(3) 特長	2-11
2. 4 各方法論の比較検討結果	2-13
3. 廃棄物処理システムに関する LCA 手法のモデル自治体への適用	3-1
3. 1 評価対象シナリオの設定	3-1
(1) 家庭系生ごみ堆肥化事業	3-1
(2) 事業系生ごみ再資源化事業 (飼料化・堆肥化)	3-3

(3) ごみの有料化事業	3-5
3. 2 インベントリーデータの収集・整理	3-6
(1) 焼却施設に係るインベントリーデータ	3-6
(2) ごみ量に係るインベントリーデータ	3-6
(3) 家庭系生ごみ堆肥化事業に係るインベントリーデータ	3-7
(4) 事業系生ごみ再資源化事業に係るインベントリーデータ	3-8
(5) ごみの有料化事業に係るインベントリーデータ	3-11
3. 3 廃棄物処理システムの変更に伴う LCA 評価の結果	3-13
(1) 評価方法	3-13
(2) 北海道大学 北大ー総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果	3-16
(3) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果	3-22
3. 4 廃棄物処理システム検討ツールとしての LCA の導入可能性	3-28
(1) ソフトウェアによる評価結果の検討	3-28
(2) LCA の導入可能性に関する検討	3-37

おわりに

1．廃棄物会計の試行による廃棄物処理システムの分析

平成 18 年度、環境省では自治体による廃棄物行政の透明性を図り、より効率的な事業運営を促進することを目的とし、説明性、透明性の高い一般廃棄物会計基準を策定した。三重県はその策定のモデル自治体として参画し、基準案のモデルを県内の自治体にて試行することにより、基準の策定に寄与するとともに、県内市町村の意識醸成に努めた。

参考資料に、環境省にて策定された一般廃棄物会計基準、他関連書類（マニュアル、入力フォーマット）を示す。

1.1 廃棄物会計基準の意義と目的

平成 18 年度、環境省により策定に向けた検討が進められた「一般廃棄物会計基準」において、その意義と目的は以下のように示されている。

➤ 一般廃棄物会計基準の意義

「一般廃棄物会計基準」とは、一般廃棄物処理事業に係るコスト分析の標準的手法を示すもので、市区町村や一部事務組合等が一般廃棄物処理事業の財務状況について把握する際に使用される。

➤ 一般廃棄物会計の目的

地域住民や地域社会に対する説明責任を果たすため、一般廃棄物処理事業に係る財務諸表を公表することを目的とする。

上記のとおり、廃棄物会計の意義は、「自治体における一般廃棄物処理事業に係るコスト分析の標準的手法を国が示す」ところにある。従来は、一般廃棄物処理事業計画および施策を自治体が立案するにあたり、部門ごと、品目ごとの経費把握や一般廃棄物行政に係る財務状況の把握を、統一的に測る尺度がなかったが、今回の基準策定にあたり、全国の自治体が一定のルールで一般廃棄物処理に係る経費を把握することが可能となる。

また、廃棄物会計の目的は「外部公表目的」と「内部管理目的」の2通りに分かれ、一般廃棄物会計基準にて示されているのは前者の「外部公表目的」である。

「外部公表目的」とは、上記のとおり、地域住民等に対する説明責任を果たすことを指し、国としてはアカウンタビリティ（説明責任）の履行に向けたツールとして、本基準を策定している。

「内部管理目的」とは、自治体における廃棄物処理事業の管理ツールとして用いることを指し、廃棄物会計基準に従い作成した財務諸表の分析や他自治体の結果との比較等により、自らの廃棄物処理施策の妥当性を検証し、さらなる効率化を図ることが可能になると考えられる。

1.2 廃棄物会計基準試行モデルに対する自治体意見の収集

(1) 廃棄物会計モデル事業の概要説明会

平成 18 年 10 月 12 日に三重県庁を訪問し、県内の複数の自治体に対して、廃棄物会計基準案作成の目的、廃棄物会計の仕組み等の本事業の趣旨説明を行った。

説明内容の概要は以下のとおりである。詳細は次ページ以降の当日配布資料参照（ただし、本資料に記載された内容は説明会当日時点のものであり、環境省における平成 18 年度の最終検討結果を反映したものではないことに留意する必要がある）。

1. 廃棄物会計基準の策定背景

- ・ 廃棄物処理法に基づく基本方針の改正（平成 17 年 5 月）における「地方公共団体の役割・国の役割」について説明
- ・ 環境省における検討状況について説明

2. 廃棄物会計基準について

- ・ 「廃棄物会計の意義と目的」、「廃棄物会計の構成」、「原価計算の意味とその活用方法」、「行政コスト計算書の定義とその活用方法」、「財産目録の定義とその活用方法」について説明

3. 廃棄物会計の範囲

- ・ 「廃棄物会計の対象範囲」、「作業部門における対象費目の例」、「管理部門における対象費目の例」、「原価計算の流れ」について模式図を用いて説明

4. 原価計算の基本的考え方

- ・ 「収集運搬部門」、「中間処理・最終処分部門」、「再資源化部門」、「管理部門」における費用の按分ルールについて模式図を用いて説明

5. 昨年度試行事業について

- ・ 三重県における昨年度の廃棄物会計基準案試行事業の結果（原価計算結果、試行自治体の主な意見・指摘等）について概説

以上の説明を行い、参加した自治体に対し、廃棄物会計基準試行事業への協力を依頼した。

廃棄物会計基準の活用による 廃棄物処理事業の効率化に向けて

～昨年度の廃棄物会計試行事業の成果を踏まえて～

2006年10月12日

MRI 株式会社 三菱総合研究所

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

目 次

1. 廃棄物会計基準の策定背景
2. 廃棄物会計基準について
3. 廃棄物会計の範囲
4. 原価計算の基本的考え方
5. 昨年度試行事業について
6. 廃棄物会計試行事業へのご協力をお願い

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

1. 廃棄物会計基準の策定背景 ～廃棄物処理法に基づく基本方針の改正(平成17年5月)～

■ 地方公共団体の役割・国の役割

- [1] 適正な循環的利用や処分を進める上での必要性を踏まえ、広域的な取組を図るものとする。
- [2] コスト分析及び情報提供を行い、分析結果をさまざまな角度から検討すること等により、社会経済的に効率的な事業となるよう努める。
- [3] また、経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制・再生利用等を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである。



国においては、コスト分析手法、有料化の進め方等を示すことなどを通じて、地方公共団体の取組の支援に努める。

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

1. 廃棄物会計基準の策定背景 ～環境省における検討状況～

- 環境省では、平成17年度に「廃棄物会計基準・ごみ有料化ガイドライン検討委員会」を設置。
- 平成18年3月に廃棄物会計基準案等を策定、環境省ホームページで公開。
http://www.env.go.jp/recycle/misc/kiso_h17/index.html
- 環境省では、平成18年度事業として、上記素案を精査中、年内を目処に完成させ、公表予定。

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

2. 廃棄物会計基準について ～廃棄物会計基準の意義と目的～

■ 廃棄物会計基準の意義

「廃棄物会計基準」とは、一般廃棄物処理事業に係るコスト分析の標準的手法を示すもので、自治体が廃棄物処理事業の財務面について現状把握を行う際に用いられる。

■ 廃棄物会計基準の目的

①外部公表目的

- 廃棄物会計基準に従って作成した廃棄物処理事業の財務諸表を公表することで社会に対する説明責任を果たす。

②内部管理目的

- 廃棄物会計を廃棄物処理事業の管理ツールとして利用することによって、廃棄物処理事業の効率化を図る。

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

2. 廃棄物会計基準について ～廃棄物会計の構成～

■ 原価計算書

■ 行政コスト計算書

■ 財産目録

※昨年度事業では、「貸借対照表」としていたが、単式簿記をベースとして作成される貸借対照表では、資産と負債の差額を機械的に資本としており、意味がないとの指摘を受け、財産目録とした。

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

2. 廃棄物会計基準について ～原価計算とは？～

- 「原価計算」とは、市区町村における廃棄物処理事業に係る費用を部門毎に把握し、その金額を廃棄物や資源物の種類別に配賦し、品目別の重量単価を算出することを指します（全都清が昭和54年3月に作成・公表した「廃棄物処理事業原価計算の手引」等も参考にしています）。

管理部門	①					②					③					④ 事務 費	⑤ 燃料 費	⑥ 電力 費	⑦ 賃借料 費	⑧ 雑費 等
	管理費	廃棄物 処理費	資源物 回収費	その他 諸費	計	管理費	廃棄物 処理費	資源物 回収費	その他 諸費	計	管理費	廃棄物 処理費	資源物 回収費	その他 諸費	計					
	設備引当金 (円/年)																			
廃棄物処理事業にかかると 廃棄物の分別収集に関する 廃棄物リサイクルに関する 不燃物・資源物の回収・処理に 関係する費用																				
	設備引当金の支出額 (円/年)																			
事務費等	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	
燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	燃料費	
電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	電力費	
賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	賃借料	
雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	雑費等	
総計																				

2. 廃棄物会計基準について ～原価計算の活用方法～

- 廃棄物や資源物の収集運搬体制の見直しや有料化施策の導入等にあたって、品目別の原価をシステム変更等の検討材料の一つとして活用することができます。
- 廃棄物処理事業に係る施策等を変更・導入する際に、住民への説明材料の一つとして活用することができます。
- 類似の自治体の結果と比較検討することにより、優れた自治体の状況をベンチマークとして自らの改善を図ることができます。

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

2. 廃棄物会計基準について ～行政コスト計算書とは？～

- 「行政コスト計算書」とは、企業会計における損益計算書（Profit Loss Statement：P/L）に相当し、「一年度間における行政活動に伴う全てのコストと当該活動から得られた収入及び税収等」を表示したものです。

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

2. 廃棄物会計基準について ～財産目録とは？～

- 「財産目録」とは、廃棄物処理事業にかかる保有財産の状況（内容、取得時期、取得価格等）や公債の状況等を整理したものです。

保有財産の状況

	内容	性能等	取得時期	個数	取得単価 (円/個)	取得価格 (円)	耐用年 数(年)	減価償却費 (円/年)	残存価値 (円)
収集部門	収集運搬車両	パッカー車、2トン	昭和〇年	5	3,000,000	15,000,000
	収集運搬車両	...	平成〇年	7	3,500,000	24,500,000
	コンテナ	...	平成〇年	100	10000	1,000,000
中間処理・最終処分 部門	A清掃工場	焼却施設、〇トン/日	昭和〇年	1
	B清掃工場	...	平成〇年	1
	C最終処分場	...	昭和〇年	1
資源部	
管理部門	
合計	-	-	-	-	-	-	-

公債の状況

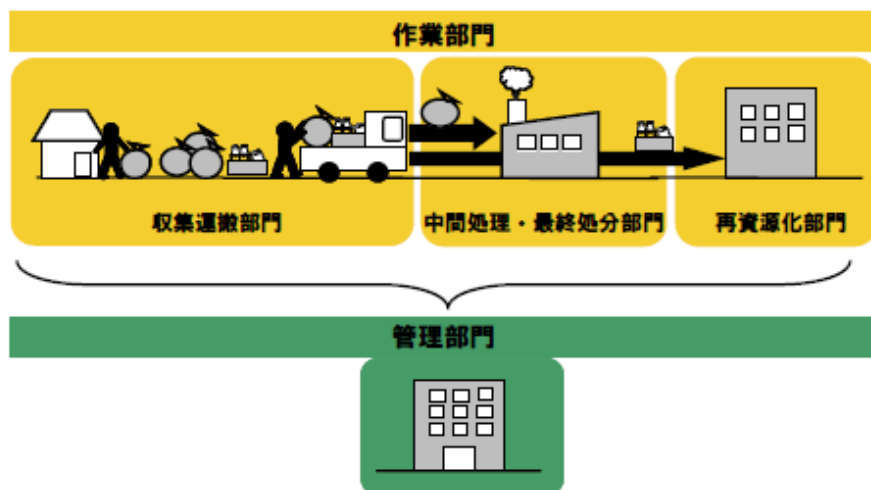
	起債年次	償還予定	発行額(円)	利率	当該年度の利息総額(円)
公債1	平成〇年	平成〇年	〇〇円	〇%	〇円
公債2
...
合計					

2. 廃棄物会計基準について ～財産目録の活用方法～

- 遊休資産・過剰資産等の保有財産の状況を一貫した基準に基づき把握することにより、自治体が保有する財産を有効に活用することができます。
- 廃棄物処理事業の大部分を占める施設関連費用について、施設関連の減価償却や更新をどのように計画的に実行するかは重要な事項です。資産の状況（内容、更新・修繕の必要性等）を把握することによって、将来どれだけの財源が必要になるかが明らかとなれば、効果的な政策判断が可能となります。
- 廃棄物処理事業の将来を予測した上で必要な資金がどのくらいになるのか、将来の資金の確保を図る根拠資料として活用できます。

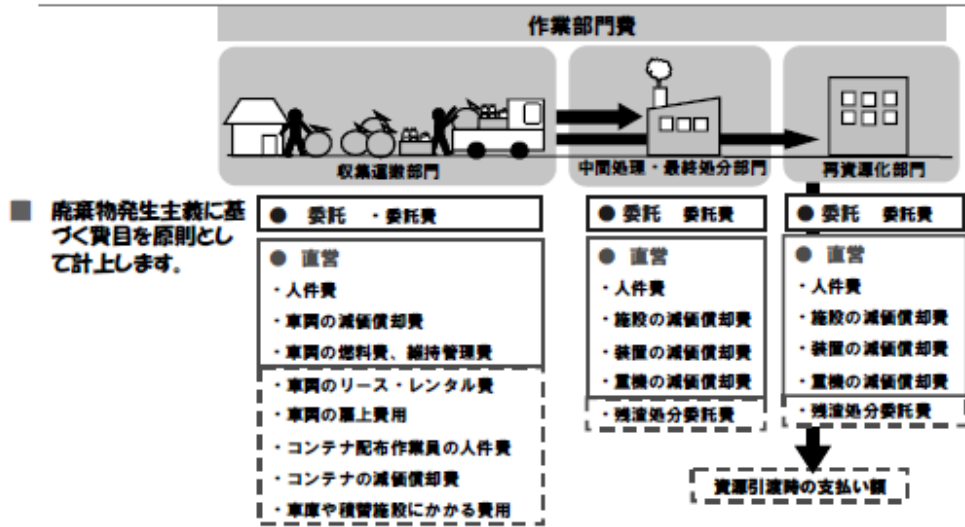
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

3. 廃棄物会計の範囲 ～廃棄物会計の対象部門～



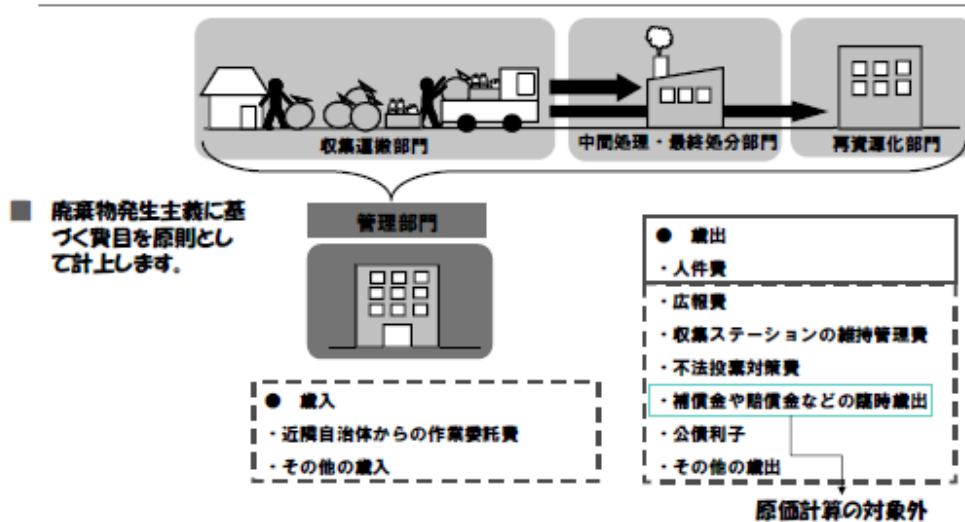
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

3. 廃棄物会計の範囲 ～作業部門における対象費目の例～



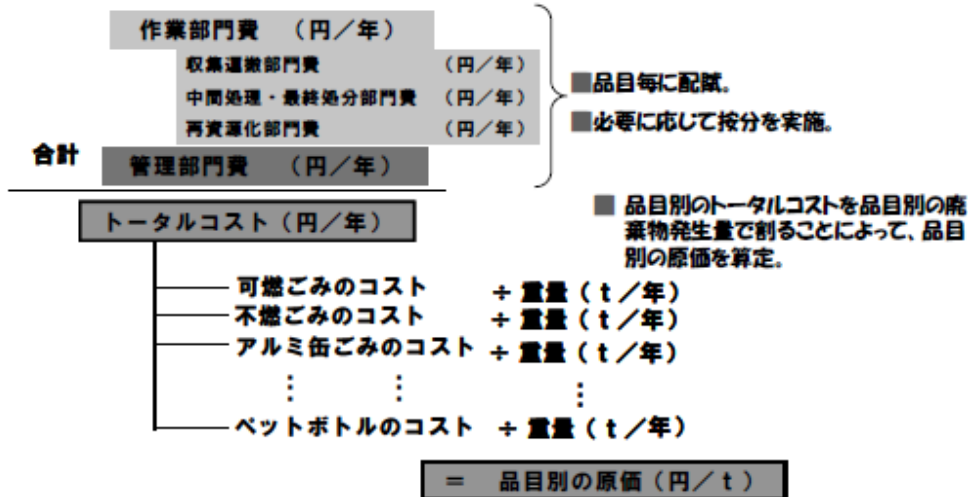
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

3. 廃棄物会計の範囲 ～管理部門における対象費目の例～



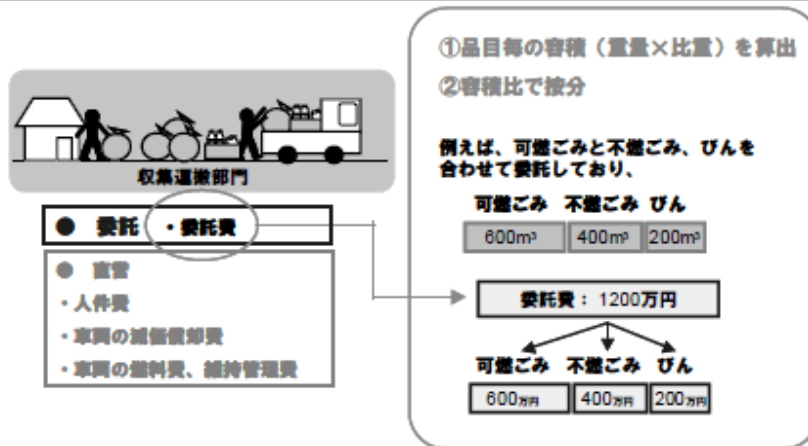
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

3. 廃棄物会計の範囲 ～原価計算の流れ～



Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

4. 原価計算の基本的考え方 ～収集運搬部門 委託費の按分ルール～

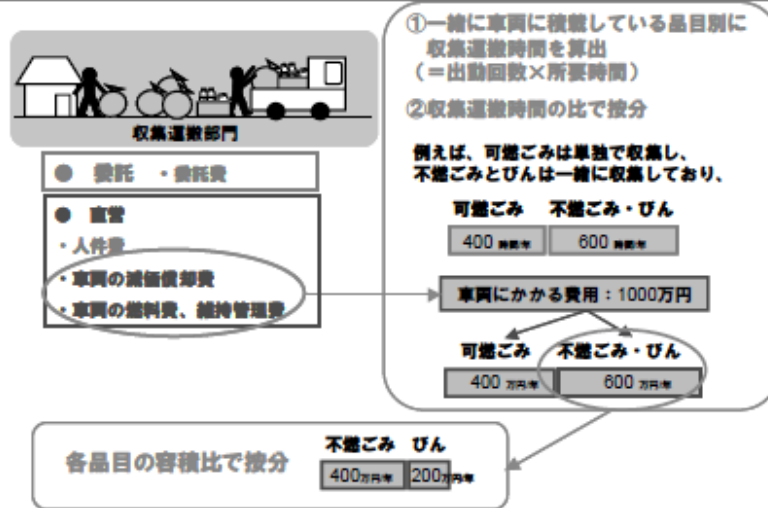


※ 各廃棄物及び資源の比重には、以下の調査データを活用する。

- ・リサイクル制度の推進化・高度化推進検討調査(015年度) 環境省
- ・都市ごみの発生管理を支援する評価計算システムの開発に関する研究(1998年) 北海道大学大学院工学研究科

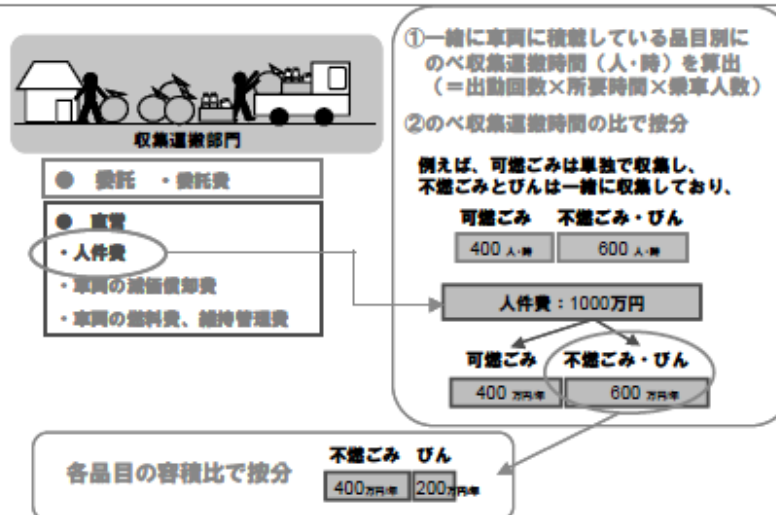
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

4. 原価計算の基本的考え方 ～収集運搬部門 車両にかかる費用の按分～



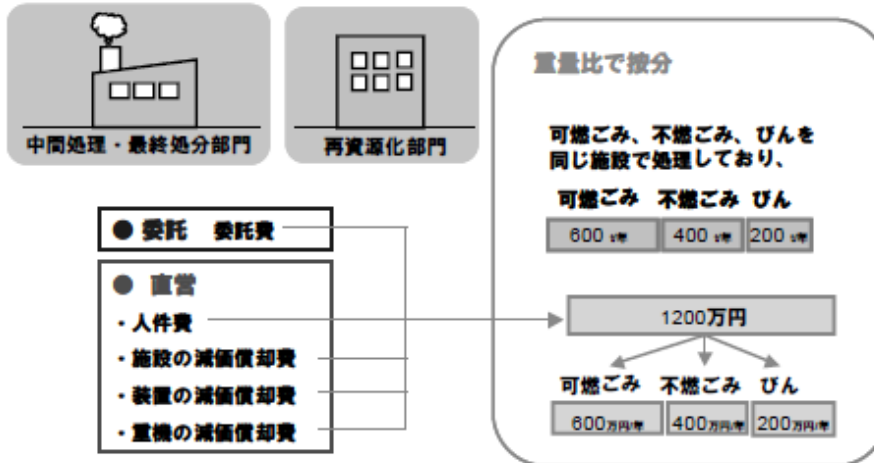
Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

4. 原価計算の基本的考え方 ～収集運搬部門 人件費の按分ルール～



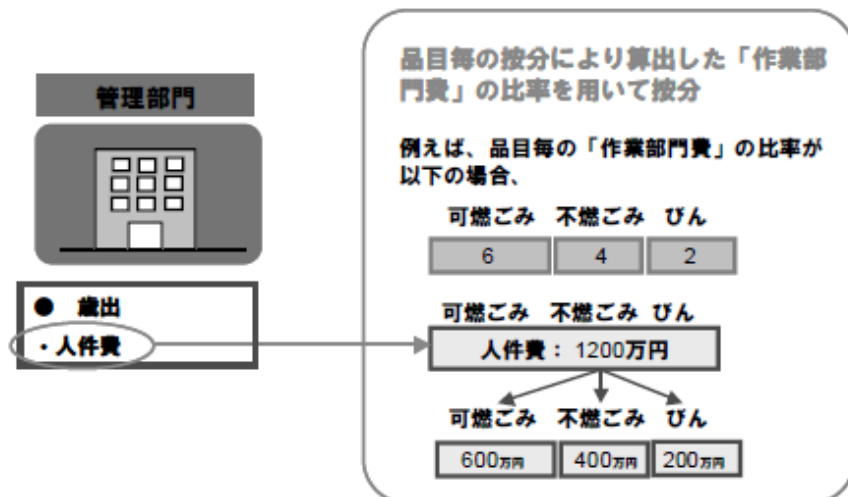
Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

4. 原価計算の基本的考え方 ～中間処理・最終処分、再資源化部門費の按分ルール～



Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

4. 原価計算の基本的考え方 ～管理部門費の按分ルール～



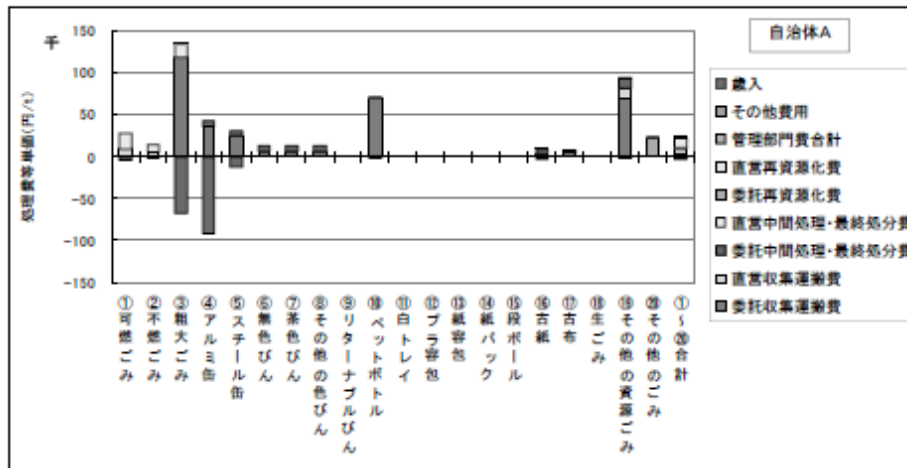
Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物会計基準案の試行結果(例) 原価計算結果(4)～

管理部門	P11(燃焼)		P12(資源)		P13(燃焼)		P14(資源)		P15(燃焼)		P16(資源)		P17(燃焼)		P18(資源)		計	
	燃焼	資源	燃焼	資源	燃焼	資源	燃焼	資源	燃焼	資源	燃焼	資源	燃焼	資源				
燃焼試行事業 P11(燃焼)	5,880.18	848.29	254.71	18.75	2,298	26.49	23.19	11.34	2	26.21	2	2	242.84	493.71	2	497.24	478.34	5,136.20
燃焼試行事業P12(資源)	1,880.15	491.04	74.89	25.84	4,111	47.11	262.19	14.80	36.80	2	2	2	249.49	494.71	2	474.17	766.89	1,549.50
燃焼試行事業P13(燃焼)	2,000.00	242.24	242.00	8.46	1,041	11.76	142.11	4.80	14.80	2	2	2	146.14	442.00	2	342.12	257.44	4,000.00
燃焼試行事業P14(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P15(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P16(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P17(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P18(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業計	10,242.58	1,792.24	541.24	71.74	7,422	102.49	342.11	47.34	124.84	2	2	2	527.12	1,027.11	2	1,044.72	2,044.72	10,242.58
資源試行事業P11(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
資源試行事業P12(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
資源試行事業P13(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
資源試行事業P14(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
資源試行事業計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼計	12,174,838.16	2,044,711.11	549,812.11	74,999.24	7,424,211.11	102,499.24	342,111.11	47,341.11	124,841.11	2	2	2	527,121.11	1,027,111.11	2	1,044,721.11	2,044,721.11	12,174,838.16
資源計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P11(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P12(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P13(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P14(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P15(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P16(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P17(燃焼)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業P18(資源)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
燃焼試行事業計	12,174,838.16	2,044,711.11	549,812.11	74,999.24	7,424,211.11	102,499.24	342,111.11	47,341.11	124,841.11	2	2	2	527,121.11	1,027,111.11	2	1,044,721.11	2,044,721.11	12,174,838.16

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物会計基準案の試行結果(例) 品目別処理単価(整理の一例)～



Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物処理システムの評価ツールとしての活用可能性の検証～

- 廃棄物施策の変更・見直し等に伴い、自治体が廃棄物処理システムを変更した場合に、コスト面でどう変化するのかを評価するため、廃棄物会計基準に基づく原価計算を行った。
- 具体的には、仮想的な自治体を設定した上で、以下の5件の変更シナリオを導入した場合のシナリオ導入前後での原価計算結果を比較した。

- ①変更シナリオ1：可燃ごみの収集運搬を直営から民営に変更する場合
 ②変更シナリオ2：びん類の収集運搬の1/2を直営から集回回収に変更する場合
 ③変更シナリオ3：収集運搬に係る正規職員の半数を臨時職員に変更する場合
 ④変更シナリオ4：資源（紙・布類・びん）の売却単価を倍額とする場合
 ⑤変更シナリオ5：家庭系可燃ごみ中の生ごみ全量を各世帯で分別・処理する場合
 （自治体の生ごみ処理費用減少分を生ごみリサイクル促進施策の一助とする）

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物処理のシナリオ変更に伴う原価計算結果(1)～

- ①変更シナリオ1：可燃ごみの収集運搬を直営から民営に変更する場合

シナリオ	原価計算結果に見られる主な変化
シナリオ1	収集運搬部門費 (①可燃ごみ)：135,924,595 円/年 → 100,000,000 円/年 (うち直営 100%) (うち委託 100%) # : 6.80 円/kg → 5.00 円/kg
	作業部門費合計 (①可燃ごみ)：635,924,595 円/年 → 600,000,000 円/年
	管理費合計 (①可燃ごみ)：22,997,796 円/年 → 22,100,673 円/年
	その他費用合計 (①可燃ごみ)：25,000,000 円/年 → 25,000,000 円/年
	歳出合計 (①可燃ごみ)：683,922,391 円/年 → 647,100,673 円/年

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物処理のシナリオ変更に伴う原価計算結果(2)～

②変更シナリオ2：びん類の収集運搬の1/2を直営から集団回収に変更する場合

シナリオ	原価計算結果に見られる主な変化
シナリオ2	<p>収集運搬部門費 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん) : ⑥104,165,790円/年、⑦62,489,474円/年、⑧20,833,158円/年 → ⑥53,278,592円/年、⑦31,967,155円/年、⑧10,655,718円/年</p> <p>再資源化部門費 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん) : ⑥6,333,333円/年、⑦5,000,000円/年、⑧1,666,667円/年 → ⑥4,166,667円/年、⑦2,500,000円/年、⑧833,333円/年</p> <p>作業部門費合計 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん) : ⑥112,499,123円/年、⑦67,489,474円/年、⑧22,499,825円/年 → ⑥57,445,259円/年、⑦34,467,155円/年、⑧11,489,052円/年</p> <p>管理費合計 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん)[*] : ⑥4,068,457円/年、⑦2,441,074円/年、⑧813,691円/年 → ⑥2,217,656円/年、⑦1,330,593円/年、⑧443,531円/年 <small>※70品目の管理費合計額は一定(55,863,636円/年)であるが、増分比率が変わるため⑥～⑧の管理費が下がる(その分、他の品目の管理費が上がる)ことに留意する必要がある。</small></p> <p>集団回収に対する助成金 : ⑥、⑦、⑧ともに0円/年 → ⑥1,111,111円/年、⑦666,667円/年、⑧222,222円/年</p> <p>歳出合計 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん) : ⑥116,567,560円/年、⑦69,949,548円/年、⑧23,313,516円/年 → ⑥69,774,029円/年、⑦36,494,415円/年、⑧12,154,805円/年</p> <p>歳入合計 (⑥無色びん、⑦茶色びん、⑧その他の色びん) : ⑥272,828円/年、⑦193,697円/年、⑧14,566円/年 → ⑥136,800円/年、⑦86,819円/年、⑧7,440円/年</p>

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物処理のシナリオ変更に伴う原価計算結果(3)～

③変更シナリオ3：収集運搬に係る正規職員の半数を臨時職員に変更する場合

シナリオ	原価計算結果に見られる主な変化
シナリオ3	<p>収集運搬部門費 (①～⑧の合計) : 884,514,847円/年 → 616,636,059円/年 " : 31.82円/kg → 22.18円/kg</p> <p>作業部門費合計 : 1,544,715,875円/年 → 1,276,837,087円/年</p> <p>歳出合計 : 1,633,659,512円/年 → 1,365,780,724円/年</p>

④変更シナリオ4：資源(紙・布類・びん)の売却単価を倍額とする場合

シナリオ	原価計算結果に見られる主な変化
シナリオ4	<p>資源引渡時の売却額 (①～⑧の合計) : 4,800,000円/年 → 9,600,000円/年</p> <p>歳入合計 : 136,800,000円/年 → 141,600,000円/年</p> <p>(参考) 歳出合計 : 1,633,659,512円/年 (変化なし)</p>

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物処理のシナリオ変更に伴う原価計算結果(4)～

⑤変更シナリオ5：家庭系可燃ごみ中の生ごみ全量を各世帯で分別・処理する場合
(自治体の生ごみ処理費用減少分を生ごみリサイクル促進施策の一助とする)

シナリオ	原価計算結果に見られる主な変化
シナリオ5	収集運搬部門費 (①可燃ごみ) : 135,924,595 円/年 → 68,553,414 円/年
	中間処理・最終処分部門費 (①可燃ごみ) : 500,000,000 円/年 → 287,234,000 円/年
	作業部門費合計 (①可燃ごみ) : 635,924,595 円/年 → 355,787,414 円/年
	管理費合計 (①可燃ごみ) : 22,997,796 円/年 → 15,675,998 円/年
	その他費用合計 (①可燃ごみ) : 25,000,000 円/年 → 12,500,000 円/年
	歳出合計 (①可燃ごみ) : 683,922,391 円/年 → 383,963,412 円/年
	指定袋等の販売に係る歳入 (①可燃ごみ) : 25,500,000 円/年 → 127,500,000 円/年
	歳入合計 (①可燃ごみ) : 125,911,677 円/年 → 113,030,612 円/年
	歳入歳出合計 : 287,077,914 円/年 (約 2.9 億円/年)

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について ～廃棄物会計基準案に対する試行自治体の主な意見・指摘等(1)～

■ データ収集・入力について

- 原価計算に当たって他部局との共有資産等を分割する場合には、廃棄物担当部局単独では判断できず、関係部局との調整が必要。
- 古い施設の場合、用地取得価額が帳簿に残っていないケースがある。その場合には、時価を採用するなどの対処が必要（廃棄物処理分野は歴史が長いので過去の事実を全て把握するのは困難）。
- 小規模な自治体では、廃棄物の担当者が斎場や森林管理など幅広い業務を担っており、廃棄物処理分野としての人件費を算出するのが困難。 など

■ 原価計算について

- 処理単価を下げるのが廃棄物行政において正しいとは限らない。処理コスト（原価）以外の要素も考慮した上での情報開示、説明責任が必要。

Copyright (C) 2008 Mitsubishi Research Institute, Inc.

5. 昨年度試行事業について

～廃棄物会計基準案に対する試行自治体の主な意見・指摘等(2)～

- 貸借対照表について
 - 施設整備の際に起債するか一般財源で賄うかは総合的な判断によるものであり、その結果が貸借対照表上に表現されても当該自治体における何らかの政策判断に繋がるものではない。
 - 貸借対照表を作成するために必要な情報を入手するには大変な手間がかかる。担当者は3年程度で交代するものであり、過去に取得した資産等の状況を知るものがないのが実態である。
- 廃棄物会計基準の活用方策について
 - 財務面から廃棄物行政を捉えていくという自治体の意識改革の材料となる。
 - 予算折衝への活用、内部的な業務改善への活用、住民への説明材料としての活用、自治体間の比較材料としての活用が考えられる。
 - 新たに予定している施策がコストの面でどのような変化をもたらすのか予測する材料となりうる。

Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

6. 廃棄物会計試行事業へのご協力をお願い

- 三重県では、昨年度に引き続き、今年度も、廃棄物会計を試行的に実施していただける自治体を募集しております。
- 是非ともご協力のほど、お願い申し上げます。なお、スケジュールは以下の通りです。
 - 10月下旬：試行自治体の選定・入力説明会の開催。
 - 11月上旬～12月上旬：廃棄物会計基準案に基づく「原価計算書」「行政コスト計算書」「財産目録」の作成。
 - 12月中旬：廃棄物会計に関する意見交換会の開催。



Copyright (C) 2006 Mitsubishi Research Institute, Inc.

(2) 廃棄物会計を試行するモデル市町への説明会

廃棄物会計の試行への協力を表明した以下の市町に対し、試行にあたっての留意点等を説明した。なお、この時点では環境省の検討委員会にて廃棄物会計基準案及び関連する入力フォーマット等の検討が続いており、昨年度の基準案ベースでデータの入力方法等の説明を行った。

説明会の開催日と対象自治体は以下のとおりである。

平成 18 年 11 月 8 日 自治体 A、自治体 B、自治体 C
平成 18 年 11 月 9 日 A M 自治体 D
P M 自治体 E

当日の主な質疑、意見等を以下に示す。

平成 11 年 11 月 8 日 (自治体 A、自治体 B、自治体 C)

上記 3 市町については昨年度試行実績があるため、意見交換の形式をとった。なお、発言主体は匿名とした(以下、同様)。

< 地元還元費用について >

- ・ごみ処理施設が迷惑施設である以上、地元補償はどうしても必要になる。道路整備や公民館の建設等、廃棄物処理には直接的に関係ない内容ではあるが、そういった支出が一体不可分であるのは事実であり、住民に何らかの形で公開していくことが望ましいと考える。
原価計算に算入するのは適さないと考えられるが、例えば行政コスト計算書に注記するような形で示すという選択肢はあるものと考えられる。
- ・ごみ処理施設を必要以上に華美にしている場合もある。どこまでを原価に組み込むかの線引きが難しい。
- ・施設の意匠的な部分はごみ処理事業に含めてもよいのではないかと。地元補償費は算定外とすべきと考える。

< 一般廃棄物処理行政との対応 >

- ・例えば今回の廃棄物会計における費目が、例えば「衛生費」、「災害復旧費」といった自治体の予算決算費目とどのように対応しているかが分かるようになっていっているほうが、全国の自治体に受け入れられやすいのではないかと。(なお、文科省が策定した教育関連の会計基準では総務省の規定に準拠した内容、費目としている。)
費目の対応を図るべきであるとの指摘はまさに環境省検討委員会の委員から指摘を受けたところであり、そのようにしていく方向で検討を進めている。

< 将来コストについて >

- ・例えば予算決算上の「衛生費」といった費目で見えていく場合、当該年度支出した費用で見えていくこととなるが、一方で環境省検討委員会では当該年度に発生した廃棄物の処理にかかる費用を見るべきであるとの意見があり、例えば施設の解体費や閉鎖処分場の浸出水処理費用など将来発生することが見込まれるコストを当該年度の前原価に積立金のような形で組み込むことの可能性・実現可能性をうかがいたい。

理想的ではあるが、現実問題として「計画」がない段階で基金を積み立てることは有り得ない。例えば公立病院のように住民負担で運営している公的事業者であればともかく、一般廃棄物事業にそのような考えを持ち込むのは時期尚早と思われる。

また、仮に解体工事費を積算するとしても実際の解体時に要する金額を正確に把握することはまず不可能（複数社への見積り依頼が必要、入札による予想価格と将来実際かかる経費とのズレの可能性などのため）であり、本当に将来コストを原価に組み込むことに数値的な意義があるのか否か疑問である。

一般廃棄物処理事業を企業会計的にしていくことが本当に今後主流になりうるのか。当町では排出者による自家処理が基本という考え方で、集団回収へのシフト等を積極的に進めている。とはいえ、一部事務組合は、財政計画を立てて運営している。ただし、負担金として参画自治体の一般会計からの支出に立脚している。

将来的には、NPO、民間企業と比較して低コストなほうが選ばれる時代がくる可能性も考えられる。

委託すれば低コストになるとよく言われるが、例えば下水処理の場合、管渠が繋がっており、行政が損得なしに対応するほうが結果的に効率的であるというケースもあると考えられる。

委託に切り替えると収集頻度が下がるなど、サービスレベルの低下の可能性もあることも事実である。

< 部門の区分方法の妥当性 >

- ・ 現状、中間処理と最終処分は同一区分としているが、妥当であるか。
入力段階では分割しておいて、後で一体化するのであれば問題ないとする。
- ・ 仮に分割する場合、再資源化残渣を中間処理に再度組み入れるなど、非常に煩雑な構成となり、そもそも自治体側で量的把握が可能であるか、システム的に対応可能であるかといったハードルが存在すると考えている。現状は例えば再資源化率は 100%という処理の仕方になっている。

現状は各部門の受入段階での量を把握している。量の把握は厳密に行えば可能かもしれないが、同一廃棄物の処理費が部門間でダブルカウントされてしまう懸念も考えられる。

総排出量を常に分母とするほうが扱いやすいか。

< 廃棄物会計の活用方策について >

- ・ 事務方から、現在の廃棄物処理事業のここが非効率であり変革すべきであるという指摘材料にするという方針で当町は取り組んでいる。

平成 18 年 11 月 9 日（自治体 D）

- ・ 「5.5 収集運搬部門 直営～コンテナ等の利用状況～」の入力シートについて、「5.5 収集運搬部門 直営～積載区分、積載量、車種」で入力した積載区分で整理するのは実態に合わないのではないか。例えば、自治体 F においてはアルミ缶はエコバック、びんはプラケースで収集運搬しており、混載していても容器の形状等は異なる。
- ・ 自治体 D では一部事務組合にて処理等を行っているが、当該一部事務組合の約 90% は自治体 D 由来の廃棄物（残りは自治体 G）であり、実態的には委託として入力しないほうが、より正確な情報が得られる。
組合に依頼して直営の場合のシートに入力するという対応方法が考えられる。
- ・ 自治体 D では、合併前は一部事務組合にて運営していたのを、合併を契機に直営に切り替えたのだが、原価計算上の減価償却費としての計上や財産目録上の固定資産としての取り扱い方はどのようにすればよいか。
今後の要協議事項であるが、当該年度の実態に合わせて適用するべきであると考えられる（平成 18 年度分を今後行う際は、市の資産として計上する等の対応が必要）。
- ・ 追加的投資については、どこからどこまでを範囲とするかの判断が難しい。
定期的に支出の見込まれる費目については維持管理費に入れていただき、ここではダイオキシン特別措置法公布の際の排ガス処理設備改修、焼却炉の更新、リサイクルプラザの追加的建設といった比較的大規模な投資を取り上げていただきたい。なお、処分場閉鎖後の公園造成費等は廃棄物処理事業に当たらないので、少なくとも原価計算には含めないものとする。
- ・ 自治体 D については平成 18 年 1 月 1 日に合併。したがって、H16 年度の合併前のデータにて試行を行う。
- ・ 企業会計を意識した、将来コスト（解体工事費用、閉鎖後処分場浸出水処理費用等）の算定は難しい。

平成 18 年 11 月 9 日（自治体 E）

- ・ 本市の場合、離島が 4 つあり、それぞれ収集区分や処理形態が異なる。
本土と離島で分けて廃棄物会計を試行し、最終的なとりまとめ方は応相談とする。ただし、離島は本土への輸送費等、処理費が高くなるのは致し方なく、本土の単価と単純に合算ないし平均するのは望ましくないと考えられる。
- ・ 不燃物については住民および許可業者による持込ごみを処分するような形態を取っており、収集運搬行為は市にはないが、最終処分は市が実施主体となっている。
- ・ コンテナは減価償却対象というよりは、「消耗品」として取り扱っている。ちなみに、アルミ缶は岐阜県の業者が販売しているコンネット、スチール缶はプラスチック製コンテナ、ビンは全て同型のコンテナ（ただし色が異なる）を使用している。
- ・ コンテナ等の配布は、品目に関係なく同時に行っている。5.5、5.6 の品目は、5.3 とは無関係に自由に選択できるようにしたほうが実態に即した結果が出る。
- ・ 6.4 退職給付引当金について、嘱託職員についても年数に応じた退職金を支払っており、どのように組み込むか。

(3) 廃棄物会計の試行結果に関する意見交換会

平成 19 年 1 月 30 日に三重県庁を訪問し、廃棄物会計基準案の試行自治体に参集していただき、結果の概要を報告するとともに、質疑応答、意見交換を実施した。

当日の議事は主に以下の 2 点である。主な質疑、意見等を以下に示す。

1. 試行により作成された各種財務書類の説明後の質疑等
2. 全国自治体への意見募集 における典型的な意見・指摘の説明後の意見交換等

(試行事業と並行して、環境省事業では全国の自治体に対し、廃棄物会計基準案に対する意見募集を行った。)

1. 試行により作成された各種財務書類の説明後の質疑等

- ・ 収集にあたって効率化を図るとごみ量が減るが、その分原価が高くなり、減量化の評価がなされないのは不都合である。

原価計算においては処理料金が分子、収集量（処理量）が分母に来るため、ご指摘のような事態が発生する。

- ・ 作業時間（人件費）に係る按分の基準をより明確化していただきたい。自治体によっては 1 業務を 5 人で担当しているところもあれば、5 業務を一人で担当しているところもある。特に、小規模な自治体ほど後者のように効率的な人材活用をしている傾向にあると考えられ、人口規模別に按分基準を示すなどの工夫（その他、現場の作業者が日報に付けられるレベルまでのルール化（何分単位でカウントするか等））があってもよいのではないかと。
- ・ 現時点で、収集運搬部門は、作業時間に占める収集運搬作業の割合を記入する欄があるが、それ以外の時間の人件費がどこに算入されるのか等が不明。例えば、1 日 8 時間勤務として収集運搬 5 時間、清掃等 3 時間とした場合、その 5 時間分を収集運搬に係る人件費分としてみなすのであれば上記課題が発生し、8 時間を収集運搬人件費とみなすのであれば 5 時間の収集運搬時間を合理化して 4.5 時間にしたところで収集運搬に係る人件費に反映されない。

余剰時間の有効活用分を反映させるには新たにカスタマイズする必要があり、今後の検討課題としたい。

- ・ 本基準がモデルとしている廃棄物処理システムを提示してほしい。もしそのモデルがあれば当町ではどういう相違があるので記入内容のどこを変える必要があるといった判断をしやすい。

廃棄物処理システムは各自治体により様々であり、本指標では標準的にどの自治体でも入力可能な様式を目指している。したがってモデルとして設定している廃棄物処理システムというものはない。
- ・ 資産・負債一覧において、収集運搬業務等で必要な消耗品をどこにどういう基準で計上すべきか不明。

原価計算において50万円未満の少額資産は減価償却の対象外としており、資産・負債一覧についても同様としていただきたい。なお、現時点では公会計の基準に準じ、50万円という閾値を設定しているが、この妥当性はいかがか？

特に違和感はなく、公会計でそのように定められているのであれば問題ないのではないか。
- ・ 費用の配賦が難しかったものとしては、事務所費用（事務用品）や臨時職員費用・電話料金（啓発的要素も含んでいるため）などが挙げられ、基準における管理部門の記入内容・方法のルールが曖昧であると感じた。
- ・ 複数の市町が合併したが、収集頻度が決まっておらず、一定量溜まった段階でストックヤードから搬出するといった自治体も中にはある。こうした場合には、現在の入力様式にきちんと収まらない。
- ・ アルミ缶やスチール缶は収集運搬と再資源化を一括委託しているが、現状では委託料金が収集運搬部門にすべて反映されている（5.1(2)の割合が有効に機能としていないのではないかと指摘）。
- ・ 収集運搬（輸送）の委託は、ステーションからのものだけでなく、中間処理・最終処分、再資源化の各部門内でも発生するが、こういった輸送費用はどこに計上すべきか。

原則的には、別工程に移動する場合には前工程の部門の費用として計上する。明確に部門を区分できない輸送行為がある場合には対応方法の検討が必要。
- ・ 当市の場合、焼却施設の中に灰溶融施設がある。実質的には、生ごみの10%が焼却灰となりスラグ化されているが、溶融資源化をどのように再資源化部門に組み入れればよいか。
- ・ 昨年度は基金、積立金の費目があり、新施設建設のための費用を計上することができたが、今年度のバージョンでは計上する費目がない。

将来支出、環境影響評価、一廃処理計画策定などに係る費用の計上については他の自治体からも意見・質疑が出されている。現時点では、便宜的に減価償却的な考え方で使用等年数に応じた均等配分等で対応できないか等、検討中である。
- ・ 当市では焼却灰の処理委託をしているが、自治体Cとは異なり再資源化部門（可燃ごみ）に委託費を計上している。
- ・ 収集運搬、焼却、溶融と一気通貫で行っている自治体も多数あると想定されるが、境界条件を明確化しない限り、恣意性が入ってしまう。

- ・ から の廃棄物分類から、ありうる処理形態を決めた方が誤解が生じないのではないかと。例えば、可燃ごみは再資源化はない、といった感じである。
- ・ 住民が求めている情報という観点からすると、ごみ重量あたりの単価よりも、住民一人あたりの単価のほうが重要かもしれない。
- ・ 20 種類の分類は他の分類方法を否定するものではないが、現時点で統一的に算定できるものとしては否定されないと考えている。
- ・ リターナブルびんの定義を明確にしてほしい。
- ・ 本市の場合、持込ごみの手数料は一部事務組合に入るが、本市の会計には収入として組み込む必要はないか。

2. 全国自治体への意見募集における典型的な意見・指摘の説明後の意見交換等

- ・ 収入の部分で、売電収入を勘定するようにしているが、売電しているということは自家消費分は廃棄物発電で賄っており、（見えない部分で）処理費と相殺されている。現在、原価計算結果では、処理費と収入は別枠で表示しているが、厳密に言うと自家消費分を処理費と収入に分けるか、売電分を処理費に含めて相殺するか、いずれかが必要ではないか。
- ・ 収集運搬委託費の中に資源の売却費用が含まれているケースもある。その場合、売却費用は把握しているが、売却量は本市では把握していない。
- ・ 耐用年数については原則として大蔵省令の規定に基づくところがあるが、実際には自治体はメンテナンスを充実させて装置等寿命を延ばすようにしている。厳密に上記規定に合わせて記入するとある時期から突然減価償却費が発生しなくなるといった問題がある。
- ・ 20 品目の分類については、一括収集して機械選別することを行政サービスとしている自治体もあり、すべての自治体が納得する分類の設定は難しい。
- ・ 「 その他の資源」について、乾電池は金属類と分けて計算できるようにしてほしい。
- ・ 本市では、「生ごみ」、「白トレイ」、「プラスチック製容器包装」、「紙製容器包装」について、収集区分と合致しない。
- ・ 「 その他の資源」について、乾電池のほかに蛍光管も別立てしたほうがよいのではないかと。
- ・ 「 その他の資源」に廃食油を入れている。
- ・ 今回決定する基準に則った各自治体の適用事例は他の自治体でも閲覧可能になるのか。本基準は各自治体が運用するものという位置付けであり、国としての用途が明確化されていないことから、現時点では難しいと想定される。

1.3 モデル自治体における廃棄物会計試行結果及びその分析

下表に示す県内の複数の自治体の協力を得て、廃棄物会計基準を適用し、各自治体の廃棄物会計（原価計算書、行政コスト計算書、資産・負債一覧）を作成した。以下に、試行自治体の概要と、自治体ごとの廃棄物会計試行結果及びその分析結果を示す。

(1) 廃棄物会計基準試行モデル自治体の概要

表1-1に、各モデル自治体のプロフィール、廃棄物処理システムの概要を示す。

表1-1 廃棄物会計試行モデル自治体の概要

自治体名	項目	概要
自治体 A	人口	39,989 人
	可住地面積	107km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、可燃ごみが直営。 最終処分は、不燃ごみが民間委託と直営の併用。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
	備考	
自治体 B1	人口	98,809 人
	可住地面積	178.97km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、不燃ごみが直営。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
	備考	現在は B2～B4 と合併
自治体 B2	人口	8,947 人
	可住地面積	6.05km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトルは民間委託、プラスチック製容器包装、紙パック、段ボール、古紙、古布、その他のごみは直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、不燃ごみが直営。 資源化は、紙パック、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外は一部事務組合への委託。
	備考	現在は B1 と合併

自治体名	項目	概要
自治体 B3	人口	18,862 人
	可住地面積	11.56km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
	備考	現在は B1 と合併
自治体 B4	人口	9,307 人
	可住地面積	11.94km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、不燃ごみが直営。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
	備考	現在は B1 と合併
自治体 C	人口	310,710 人
	可住地面積	205.3 km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、その他資源は民間委託と直営の併用、それ以外はすべて民間委託。 中間処理は、すべて直営。 最終処分は、不燃ごみが一部事務組合と直営の併用、粗大ごみは直営。 資源化は、すべて直営。
	備考	
自治体 D1	人口	165,299 人
	可住地面積	85.25 km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、ペットボトル、紙パック、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外は直営。 中間処理は、可燃ごみが直営、不燃ごみ、粗大ごみが一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、可燃ごみは民間委託、それ以外はすべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D2-1 ~ D2-9 と合併
自治体 D2-1	人口	11,489 人
	可住地面積	22.24km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併

自治体名	項目	概要
自治体 D2-2	人口	15,296 人
	可住地面積	22.83km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-3	人口	18,425 人
	可住地面積	15.24km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、可燃ごみが直営、不燃ごみ、粗大ごみが一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、可燃ごみが民間委託である以外はすべて一部事務組合に委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-4	人口	42,165 人
	可住地面積	42.32km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみについて民間委託と直営の併用。その他はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-5	人口	8,724 人
	可住地面積	22.06km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-6	人口	5,502 人
	可住地面積	3.9km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-7	人口	13,644 人
	可住地面積	38.95km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併

自治体名	項目	概要
自治体 D2-8	人口	7,005 人
	可住地面積	25.92km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
	備考	現在は D1 と合併
自治体 D2-9	人口	4,286 人
	可住地面積	11.64 km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託
	備考	現在は D1 と合併
自治体 E	人口	24,494 人
	可住地面積	107.93 km ²
	廃棄物処理体系	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、ペットボトル、プラスチック製容器包装は民間委託、それ以外は直営。 中間処理は、すべて直営。 最終処分は、すべて直営。 資源化は、ペットボトル、プラスチック製容器包装は一部事務組合への委託、それ以外はすべて直営。
	備考	

(2) 廃棄物会計試行結果及びその分析

試行結果

以下、試行事業に協力いただいた自治体ごとに、環境省による一般廃棄物会計基準に準じて作成した原価計算書を示す。さらに、自治体 D1 については同じく一般廃棄物会計基準に準じて作成した行政コスト計算書、資産・負債一覧を併せて示す。

[自治体 A]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	77,943,813	4,591,138	0	3,855,024	3,117,990	2,594,769	1,948,870	889,597	0	3,177,025	0	11,740,859	6,228,963	0	2,751,735	10,346,486	3,120,835	0	13,834,074	623,154	146,764,333
中間処理部門費 (円/年)	317,892,142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317,892,142
最終処分部門費 (円/年)	0	31,920,776	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,920,776
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	4,086,850	2,245,522	0	0	0	0	4,358,770	0	19,722,592	0	0	0	0	0	0	20,445,742	1,372,893	52,232,369
作業部門費合計 (円/年)	395,835,955	36,511,915	0	7,941,875	5,363,513	2,594,769	1,948,870	889,597	0	7,535,794	0	31,463,451	6,228,963	0	2,751,735	10,346,486	3,120,835	0	34,279,816	1,996,047	548,809,621
管理部門費 (円/年)	9,286,769	856,612	0	186,326	125,834	60,876	45,723	20,871	0	176,798	0	1,398,089	241,923	0	64,559	242,741	73,218	0	2,822,248	1,771,752	17,374,338
費用合計 (円/年)	405,122,724	37,368,526	0	8,128,200	5,489,347	2,655,645	1,994,593	910,468	0	7,712,593	0	32,861,540	6,470,886	0	2,816,294	10,589,227	3,194,053	0	37,102,064	3,767,799	566,183,959
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	10.99	37.33	-	101.45	62.36	27.03	27.45	29.65	-	50.43	-	69.06	47.92	-	11.51	6.98	19.88	-	48.03	44.51	14.62
中間処理部門原価 (円/kg)	33.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.16
最終処分部門原価 (円/kg)	-	64.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.75
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	97.31	28.07	-	-	-	-	68.11	-	167.14	-	-	-	-	-	-	54.09	62.40	74.19
<収益>																					
収益合計 (円/年)	23,902,500	156,900	0	3,989,996	879,350	21,030	14,350	6,640	0	0	0	0	0	0	744,360	4,508,580	478,823	0	632,226	0	35,334,755

原価計算書別紙

<費用>	収集運搬部門																		(別紙1)			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,751,735	10,346,486	3,120,835	0	0	0	16,219,056	
直営	人件費 (円/年)	62,361,923	4,014,885	0	3,017,724	2,506,023	2,186,668	1,617,223	683,334	0	2,164,889	0	8,442,873	4,126,603	0	0	0	0	9,423,827	546,689	101,092,662	
	車両に係る物件費 (円/年)	9,590,460	124,107	0	396,954	328,233	179,165	142,018	81,096	0	180,849	0	728,491	314,556	0	0	0	0	742,350	71,326	12,879,606	
	施設に係る物件費 (円/年)	5,991,430	452,146	0	252,333	111,747	150,935	111,629	47,167	0	471,860	0	1,678,921	251,804	0	0	0	0	3,589,147	5,139	13,114,259	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	188,013	171,987	78,000	78,000	78,000	0	359,426	0	890,574	1,536,000	0	0	0	0	78,750	0	3,458,750	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	委託収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,751,735	10,346,486	3,120,835	0	0	0	16,219,056	
	直営収集運搬費 (円/年)	77,943,813	4,591,138	0	3,855,024	3,117,990	2,594,769	1,948,870	889,597	0	3,177,025	0	11,740,859	6,228,963	0	0	0	0	13,834,074	623,154	130,545,277	
	収集運搬部門費 (円/年)	77,943,813	4,591,138	0	3,855,024	3,117,990	2,594,769	1,948,870	889,597	0	3,177,025	0	11,740,859	6,228,963	0	2,751,735	10,346,486	3,120,835	0	13,834,074	623,154	146,764,333
	委託収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	1,482	157	0	0	0	1,878	
	直営収集運搬量 (t/年)	7090	123	0	38	50	96	71	30	0	63	0	170	130	0	0	0	0	288	14	8,163	
	収集運搬量 (t/年)	7,090	123	0	38	50	96	71	30	0	63	0	170	130	0	239	1,482	157	0	288	14	10,041
	委託収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.51	6.98	19.88	-	-	-	8.64	
	直営収集運搬原価 (円/kg)	10.99	37.33	-	101.45	62.36	27.03	27.45	29.65	-	50.43	-	69.06	47.92	-	-	-	-	48.03	44.51	15.99	
	収集運搬原価 (円/kg)	10.99	37.33	-	101.45	62.36	27.03	27.45	29.65	-	50.43	-	69.06	47.92	-	11.51	6.98	19.88	-	48.03	44.51	14.62

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営	人件費 (円/年)	7,194,791	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,194,791
	施設に係る物件費 (円/年)	310,697,351	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	310,697,351
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理費 (円/年)	317,892,142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317,892,142
	中間処理部門費 (円/年)	317,892,142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317,892,142
	委託中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理量 (t/年)	9,587	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,587
	中間処理量 (t/年)	9,587	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,587
	委託中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	直営中間処理原価 (円/kg)	33.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.16
	中間処理原価 (円/kg)	33.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.16

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計		
委託 直営	委託料 (円/年)	0	7,390,384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,390,384	
	人件費 (円/年)	0	8,752,476	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,752,476
	施設に係る物件費 (円/年)	0	15,677,917	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,677,917
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
委託最終処分費 (円/年)		0	7,390,384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,390,384
直営最終処分費 (円/年)		0	24,530,392	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,530,392
最終処分部門費 (円/年)		0	31,920,776	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,920,776
委託最終処分量 (t/年)		0	307	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	307
直営最終処分量 (t/年)		0	186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186
最終処分量 (t/年)		0	493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	493
委託最終処分原価 (円/kg)		-	24.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.07
直営最終処分原価 (円/kg)		-	131.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	131.88
最終処分原価 (円/kg)		-	64.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.75

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,741,705	0
人件費 (円/年)	0	0	0	2,550,377	1,401,306	0	0	0	0	2,371,010	0	13,435,724	0	0	0	0	0	0	1,317,228	263,446	21,339,092
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	1,536,473	844,216	0	0	0	0	1,987,760	0	6,286,868	0	0	0	0	0	0	1,386,809	1,109,447	13,151,572
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,741,705	0	17,741,705
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	4,086,850	2,245,522	0	0	0	0	4,358,770	0	19,722,592	0	0	0	0	0	0	2,704,037	1,372,893	34,490,664
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	4,086,850	2,245,522	0	0	0	0	4,358,770	0	19,722,592	0	0	0	0	0	0	20,445,742	1,372,893	52,232,369
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	358	0	358
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	42	80	0	0	0	0	64	0	118	0	0	0	0	0	0	20	22	346
再資源化量 (t/年)	0	0	0	42	80	0	0	0	0	64	0	118	0	0	0	0	0	0	378	22	704
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49.56	-	49.56
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	97.31	28.07	-	-	-	-	68.11	-	167.14	-	-	-	-	-	-	135.20	62.40	99.68
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	97.31	28.07	-	-	-	-	68.11	-	167.14	-	-	-	-	-	-	54.09	62.40	74.19
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	9,286,769	856,612	0	186,326	125,834	60,876	45,723	20,871	0	176,798	0	738,169	146,139	0	64,559	242,741	73,218	0	804,244	46,830	12,875,708
物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	659,920	95,784	0	0	0	0	0	2,018,004	1,724,922	4,498,630
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	9,286,769	856,612	0	186,326	125,834	60,876	45,723	20,871	0	176,798	0	1,398,089	241,923	0	64,559	242,741	73,218	0	2,822,248	1,771,752	17,374,338
費用合計 (円/年)	405,122,724	37,368,526	0	8,128,200	5,489,347	2,655,645	1,994,593	910,468	0	7,712,593	0	32,861,540	6,470,886	0	2,816,294	10,589,227	3,194,053	0	37,102,064	3,767,799	566,183,959

<収益>																				合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	156,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	156,900
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	23,902,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,902,500
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	3,989,996	879,350	21,030	14,350	6,640	0	0	0	0	0	0	744,360	4,508,580	478,823	0	632,226	0	0	11,275,355
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	23,902,500	156,900	0	3,989,996	879,350	21,030	14,350	6,640	0	0	0	0	0	0	744,360	4,508,580	478,823	0	632,226	0	0	35,334,755

[自治体 B1]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	487,866,069	103,446,740	25,790,304	0	0	20,038,948	16,301,945	5,673,324	0	29,611,568	0	62,272,988	0	3,495,120	12,679,974	38,253,460	3,704,954	0	0	2,336,832	811,472,227
中間処理部門費 (円/年)	496,318,000	22,965,000	27,345,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	546,628,000
最終処分部門費 (円/年)	0	14,813,789	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,813,789
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	5,251,388	4,262,740	1,450,872	0	2,529,000	0	11,492,000	0	0	0	0	0	0	0	0	886,000
作業部門費合計 (円/年)	984,184,069	141,225,529	53,135,304	0	0	25,290,336	20,564,685	7,124,197	0	32,140,568	0	73,764,988	0	3,495,120	12,679,974	38,253,460	3,704,954	0	0	3,222,832	1,398,786,016
管理部門費 (円/年)	90,676,171	9,019,452	3,393,518	0	0	1,615,182	1,313,376	454,991	0	2,052,676	0	4,711,045	0	223,218	809,814	2,443,080	236,619	0	0	205,828	117,154,970
費用合計 (円/年)	1,074,860,240	150,244,981	56,528,821	0	0	26,905,518	21,878,061	7,579,188	0	34,193,244	0	78,476,033	0	3,718,338	13,489,788	40,696,540	3,941,573	0	0	3,428,660	1,515,940,987
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	24.90	95.52	54.76	-	-	48.99	49.10	50.21	-	150.31	-	69.58	-	151.96	21.75	14.47	54.48	-	-	33.87	30.65
中間処理部門原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16
最終処分部門原価 (円/kg)	-	20.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.69
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	12.84	12.84
<収益>																					
収益合計 (円/年)	28,569,511	187,930	31,533	0	0	15,008	12,204	4,228	0	19,074	0	43,775	0	86,594	1,756,975	6,331,056	2,199	0	0	1,913	37,062,000

原価計算書 別紙

<費用>	収集運搬部門																			(別紙1)		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
直営	人件費 (円/年)	460,250,795	98,625,170	24,656,293	0	0	18,893,534	15,336,560	5,219,974	0	21,916,705	0	49,312,585	0	3,162,439	11,473,035	34,612,318	3,352,300	0	0	2,191,670	749,003,377
	車両に係る物件費 (円/年)	16,989,337	3,640,572	910,143	0	0	732,681	630,354	339,319	0	1,052,861	0	3,542,295	0	175,104	635,260	1,916,478	185,616	0	0	141,863	30,891,882
	施設に係る物件費 (円/年)	10,625,937	1,180,997	223,868	0	0	412,734	335,031	114,032	0	557,872	0	1,517,632	0	157,578	571,679	1,724,665	167,039	0	0	3,299	17,592,362
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,084,130	0	7,900,476	0	0	0	0	0	0	0	0	13,984,606
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営収集運搬費 (円/年)	487,866,069	103,446,740	25,790,304	0	0	20,038,948	16,301,945	5,673,324	0	29,611,568	0	62,272,988	0	3,495,120	12,679,974	38,253,460	3,704,954	0	0	2,336,832	811,472,227
	収集運搬部門費 (円/年)	487,866,069	103,446,740	25,790,304	0	0	20,038,948	16,301,945	5,673,324	0	29,611,568	0	62,272,988	0	3,495,120	12,679,974	38,253,460	3,704,954	0	0	2,336,832	811,472,227
	委託収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営収集運搬量 (t/年)	19591	1083	471	0	0	409	332	113	0	197	0	895	0	23	583	2644	68	0	0	69	26,478
	収集運搬量 (t/年)	19,591	1,083	471	0	0	409	332	113	0	197	0	895	0	23	583	2,644	68	0	0	69	26,478
	委託収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	直営収集運搬原価 (円/kg)	24.90	95.52	54.76	-	-	48.99	49.10	50.21	-	150.31	-	69.58	-	151.96	21.75	14.47	54.48	-	-	33.87	30.65
	収集運搬原価 (円/kg)	24.90	95.52	54.76	-	-	48.99	49.10	50.21	-	150.31	-	69.58	-	151.96	21.75	14.47	54.48	-	-	33.87	30.65

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	496,318,000	22,965,000	27,345,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	546,628,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	496,318,000	22,965,000	27,345,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	546,628,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	496,318,000	22,965,000	27,345,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	546,628,000
委託中間処理量 (t/年)	32,997	1,400	1,667	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,064
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	32,997	1,400	1,667	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,064
委託中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営	人件費 (円/年)	0	12,920,050	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,920,050
	施設に係る物件費 (円/年)	0	1,893,740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,893,740
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営最終処分費 (円/年)	0	14,813,789	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,813,789
	最終処分部門費 (円/年)	0	14,813,789	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,813,789
	委託最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営最終処分量 (t/年)	0	716	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	716
	最終処分量 (t/年)	0	716	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	716
	委託最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	直営最終処分原価 (円/kg)	-	20.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.69
	最終処分原価 (円/kg)	-	20.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.69

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	5,251,388	4,262,740	1,450,872	0	2,529,000	0	11,492,000	0	0	0	0	0	0	0	886,000
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	5,251,388	4,262,740	1,450,872	0	2,529,000	0	11,492,000	0	0	0	0	0	0	0	886,000	25,872,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	5,251,388	4,262,740	1,450,872	0	2,529,000	0	11,492,000	0	0	0	0	0	0	0	886,000	25,872,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	409	332	113	0	197	0	895	0	0	0	0	0	0	0	69	2,015
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	409	332	113	0	197	0	895	0	0	0	0	0	0	0	69	2,015
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	12.84	12.84
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	12.84	12.84
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	55,910,959	8,022,945	3,018,588	0	0	1,436,730	1,168,268	404,722	0	1,825,888	0	4,190,549	0	198,556	720,342	2,173,158	210,476	0	0	183,087	79,464,268
物件費 (円/年)	34,765,212	996,507	374,930	0	0	178,452	145,107	50,269	0	226,788	0	520,496	0	24,662	89,472	269,922	26,143	0	0	22,741	37,690,702
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	90,676,171	9,019,452	3,393,518	0	0	1,615,182	1,313,376	454,991	0	2,052,676	0	4,711,045	0	223,218	809,814	2,443,080	236,619	0	0	205,828	117,154,970
費用合計 (円/年)	1,074,860,240	150,244,981	56,528,821	0	0	26,905,518	21,878,061	7,579,188	0	34,193,244	0	78,476,033	0	3,718,338	13,489,788	40,696,540	3,941,573	0	0	3,428,660	1,515,940,987

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	27,985,452	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,985,452
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	104,120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104,120
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	584,059	83,810	31,533	0	0	15,008	12,204	4,228	0	19,074	0	43,775	0	2,074	7,525	22,701	2,199	0	0	1,913	830,103
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84520	1749450	6308355	0	0	0	0	8,142,325
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	28,569,511	187,930	31,533	0	0	15,008	12,204	4,228	0	19,074	0	43,775	0	86,594	1,756,975	6,331,056	2,199	0	0	1,913	37,062,000

[自治体 B2]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
<費用>																						
収集運搬部門費 (円/年)	13,385,091	680,114	2,021,000	0	0	160,027	125,735	57,152	0	142,881	0	4,933,975	0	331,801	1,553,415	2,585,388	565,944	0	0	702,450	27,244,974	
中間処理部門費 (円/年)	58,465,000	2,280,000	1,280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,025,000	
最終処分部門費 (円/年)	0	7,030,308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,030,308	
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	359,333	282,333	128,333	0	321,000	0	527,000	0	0	0	0	0	0	0	0	64,000	1,682,000
作業部門費合計 (円/年)	71,850,091	9,990,422	3,301,000	0	0	519,360	408,068	185,486	0	463,881	0	5,460,975	0	331,801	1,553,415	2,585,388	565,944	0	0	766,450	97,982,282	
管理部門費 (円/年)	15,595,289	1,851,766	611,854	0	0	96,266	75,637	34,381	0	85,982	0	1,012,214	0	61,501	287,932	479,212	104,900	0	0	142,065	20,439,000	
費用合計 (円/年)	87,445,380	11,842,188	3,912,854	0	0	615,625	483,706	219,866	0	549,863	0	6,473,190	0	393,302	1,841,347	3,064,601	670,844	0	0	908,515	118,421,281	
<原価>																						
収集運搬部門原価 (円/kg)	5.85	6.60	-	-	-	5.72	5.72	5.72	-	5.72	-	120.34	-	110.60	17.65	6.55	26.95	-	-	117.08	8.99	
中間処理部門原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.12	
最終処分部門原価 (円/kg)	-	260.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260.38	
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.83	12.83	12.83	-	12.84	-	12.85	-	-	-	-	-	-	-	10.67	12.74	
<収益>																						
収益合計 (円/年)	2,296,918	21,964	269	0	0	42	33	15	0	38	0	445	0	27	127	211	46	0	0	62	2,320,197	

原価計算書 別紙

<費用>	収集運搬部門																			(別紙1)			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計		
委託	委託料 (円/年)	13,385,091	680,114	2,021,000	0	0	160,027	125,735	57,152	0	142,881	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,572,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,660,472	0	175,269	820,565	1,365,688	298,951	0	0	591,216	5,912,161		
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	399,360	0	26,309	123,174	205,002	44,875	0	0	88,747	887,468		
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,771,742	0	130,224	609,675	1,014,698	222,119	0	0	22,487	3,770,945		
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102,400	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	13,385,091	680,114	2,021,000	0	0	160,027	125,735	57,152	0	142,881	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,572,000
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,933,975	0	331,801	1,553,415	2,585,388	565,944	0	0	702,450	10,672,974		
収集運搬部門費 (円/年)	13,385,091	680,114	2,021,000	0	0	160,027	125,735	57,152	0	142,881	0	4,933,975	0	331,801	1,553,415	2,585,388	565,944	0	0	702,450	27,244,974		
委託収集運搬量 (t/年)	2,288	103	0	0	0	28	22	10	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,476	
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	3	88	395	21	0	0	6	554		
収集運搬量 (t/年)	2,288	103	0	0	0	28	22	10	0	25	0	41	0	3	88	395	21	0	0	6	3,030		
委託収集運搬原価 (円/kg)	5.85	6.60	-	-	-	5.72	5.72	5.72	-	5.72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.69	
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120.34	-	110.60	17.65	6.55	26.95	-	-	117.08	19.27		
収集運搬原価 (円/kg)	5.85	6.60	-	-	-	5.72	5.72	5.72	-	5.72	-	120.34	-	110.60	17.65	6.55	26.95	-	-	117.08	8.99		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	58,465,000	2,280,000	1,280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,025,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	58,465,000	2,280,000	1,280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,025,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	58,465,000	2,280,000	1,280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,025,000
委託中間処理量 (t/年)	3,887	139	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,103
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	3,887	139	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,103
委託中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.12
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.40	16.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.12

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託 直営	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	7,030,308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,030,308
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分費 (円/年)	0	7,030,308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,030,308
最終処分部門費 (円/年)	0	7,030,308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,030,308
委託最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分量 (t/年)	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
最終処分量 (t/年)	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
委託最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
直営最終処分原価 (円/kg)	-	260.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260.38
最終処分原価 (円/kg)	-	260.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260.38

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	359,333	282,333	128,333	0	321,000	0	527,000	0	0	0	0	0	0	0	64,000
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	359,333	282,333	128,333	0	321,000	0	527,000	0	0	0	0	0	0	0	64,000	1,682,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	359,333	282,333	128,333	0	321,000	0	527,000	0	0	0	0	0	0	0	64,000	1,682,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	28	22	10	0	25	0	41	0	0	0	0	0	0	0	6	132
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	28	22	10	0	25	0	41	0	0	0	0	0	0	0	6	132
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.83	12.83	12.83	-	12.84	-	12.85	-	-	-	-	-	-	-	10.67	12.74
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.83	12.83	12.83	-	12.84	-	12.85	-	-	-	-	-	-	-	10.67	12.74
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	12,614,697	1,754,015	579,556	0	0	91,184	71,644	32,566	0	81,443	0	958,782	0	58,254	272,733	453,916	99,363	0	0	134,565	17,202,718
物件費 (円/年)	2,980,592	97,751	32,299	0	0	5,082	3,993	1,815	0	4,539	0	53,433	0	3,247	15,199	25,297	5,537	0	0	7,499	3,236,282
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	15,595,289	1,851,766	611,854	0	0	96,266	75,637	34,381	0	85,982	0	1,012,214	0	61,501	287,932	479,212	104,900	0	0	142,065	20,439,000
費用合計 (円/年)	87,445,380	11,842,188	3,912,854	0	0	615,625	483,706	219,866	0	549,863	0	6,473,190	0	393,302	1,841,347	3,064,601	670,844	0	0	908,515	118,421,281

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	2,291,066	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,291,066
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	21,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,150
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	5,852	813,754,8617	268,878,0112	0	0	42,303,68011	33,238,6058	15,108,45718	0	37,784,73212	0	444,815,546	0	27,026,38618	126,531,0657	210,588,9225	46,098,13325	0	0	62,430,04344	7,981
収益合計 (円/年)	2,296,918	21,964	269	0	0	42	33	15	0	38	0	445	0	27	127	211	46	0	0	62	2,320,197

[自治体 B3]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	28,620,710	8,920,476	1,682,497	650,427	412,868	1,546,611	1,256,621	483,316	0	1,474,113	0	11,813,835	0	273,639	1,043,674	2,304,470	364,017	0	0	1,682,260	62,529,534	
中間処理部門費 (円/年)	83,735,000	3,921,000	4,691,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,347,000
最終処分部門費 (円/年)	0	53,337,954	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,337,954
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	140,443	70,457	821,647	667,588	256,765	0	783,000	0	1,605,000	0	0	0	0	0	0	0	0	116,000	4,460,900
作業部門費合計 (円/年)	112,355,710	66,179,430	6,373,497	790,871	483,324	2,368,258	1,924,210	740,081	0	2,257,113	0	13,418,835	0	273,639	1,043,674	2,304,470	364,017	0	0	1,798,260	212,675,388	
管理部門費 (円/年)	12,925,241	7,416,768	714,282	88,633	265,066	265,412	215,647	82,941	0	252,956	0	1,503,857	0	30,667	116,965	258,263	40,796	0	0	201,532	24,379,027	
費用合計 (円/年)	125,280,951	73,596,198	7,087,778	879,504	748,391	2,633,670	2,139,857	823,022	0	2,510,069	0	14,922,692	0	304,305	1,160,639	2,562,733	404,813	0	0	1,999,792	237,054,415	
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	6.99	44.60	98.97	28.28	19.66	24.17	24.17	24.17	-	24.17	-	94.51	-	34.20	5.27	3.20	9.10	-	-	186.92	11.07	
中間処理部門原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16
最終処分部門原価 (円/kg)	-	206.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	206.74
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	6.11	3.36	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	-	12.89	11.90
<収益> 収益合計 (円/年)	458,539	405,904	6,983	1,136,366	530	2,595	2,108	811	0	2,473	0	14,701	0	23,910	1,143	671,665	399	0	0	1,970	2,730,096	

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	650,427	412,868	1,546,611	1,256,621	483,316	0	1,474,113	0	0	273,639	1,043,674	2,304,470	364,017	0	0	0	9,809,756	
直営	人件費 (円/年)	26,014,855	8,129,642	1,625,928	0	0	0	0	0	0	0	11,381,499	0	0	0	0	0	0	0	1,625,928	48,777,853	
	車両に係る物件費 (円/年)	2,496,182	780,057	56,169	0	0	0	0	0	0	0	393,183	0	0	0	0	0	0	0	56,169	3,781,759	
	施設に係る物件費 (円/年)	109,673	10,777	399	0	0	0	0	0	0	0	39,154	0	0	0	0	0	0	0	0	163	160,166
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	0	0	0	650,427	412,868	1,546,611	1,256,621	483,316	0	1,474,113	0	0	0	273,639	1,043,674	2,304,470	364,017	0	0	0	9,809,756
直営収集運搬費 (円/年)	28,620,710	8,920,476	1,682,497	0	0	0	0	0	0	0	0	11,813,835	0	0	0	0	0	0	0	1,682,260	52,719,778	
収集運搬部門費 (円/年)	28,620,710	8,920,476	1,682,497	650,427	412,868	1,546,611	1,256,621	483,316	0	1,474,113	0	11,813,835	0	273,639	1,043,674	2,304,470	364,017	0	0	1,682,260	62,529,534	
委託収集運搬量 (t/年)	0	0	0	23	21	64	52	20	0	61	0	0	0	8	198	721	40	0	0	0	1,208	
直営収集運搬量 (t/年)	4092	200	17	0	0	0	0	0	0	0	0	125	0	0	0	0	0	0	0	9	4,443	
収集運搬量 (t/年)	4,092	200	17	23	21	64	52	20	0	61	0	125	0	8	198	721	40	0	0	9	5,651	
委託収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	28.28	19.66	24.17	24.17	24.17	-	24.17	-	-	-	34.20	5.27	3.20	9.10	-	-	-	8.12	
直営収集運搬原価 (円/kg)	6.99	44.60	98.97	-	-	-	-	-	-	-	-	94.51	-	-	-	-	-	-	-	186.92	11.87	
収集運搬原価 (円/kg)	6.99	44.60	98.97	28.28	19.66	24.17	24.17	24.17	-	24.17	-	94.51	-	34.20	5.27	3.20	9.10	-	-	186.92	11.07	

(別紙2)

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	83,735,000	3,921,000	4,691,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,347,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	83,735,000	3,921,000	4,691,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,347,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	83,735,000	3,921,000	4,691,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,347,000
委託中間処理量 (t/年)	5,567	239	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,092
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	5,567	239	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,092
委託中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.16

(別紙3)

委託 直営	最終処分部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
		委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	53,337,954	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,337,954
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分費 (円/年)	0	53,337,954	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,337,954
最終処分部門費 (円/年)	0	53,337,954	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,337,954
委託最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分量 (t/年)	0	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258
最終処分量 (t/年)	0	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258
委託最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
直営最終処分原価 (円/kg)	-	206.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	206.74
最終処分原価 (円/kg)	-	206.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	206.74

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
	委託料 (円/年)	0	0	0	140,443	70,457	821,647	667,588	256,765	0	783,000	0	1,605,000	0	0	0	0	0	0	0	116,000
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	140,443	70,457	821,647	667,588	256,765	0	783,000	0	1,605,000	0	0	0	0	0	0	0	116,000	4,460,900
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	140,443	70,457	821,647	667,588	256,765	0	783,000	0	1,605,000	0	0	0	0	0	0	0	116,000	4,460,900
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	23	21	64	52	20	0	61	0	125	0	0	0	0	0	0	0	9	375
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	23	21	64	52	20	0	61	0	125	0	0	0	0	0	0	0	9	375
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	6.11	3.36	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	12.89	11.90
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	6.11	3.36	12.84	12.84	12.84	-	12.84	-	12.84	-	-	-	-	-	-	-	12.89	11.90
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	9,088,139	5,353,069	515,534	63,971	39,095	191,562	155,644	59,863	0	182,572	0	1,085,412	0	22,134	84,420	186,402	29,444	0	0	145,456	17,202,718
物件費 (円/年)	3,837,102	2,063,698	198,747	24,662	225,972	73,850	60,003	23,078	0	70,384	0	418,445	0	8,533	32,545	71,861	11,351	0	0	56,076	7,176,309
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	12,925,241	7,416,768	714,282	88,633	265,066	265,412	215,647	82,941	0	252,956	0	1,503,857	0	30,667	116,965	258,263	40,796	0	0	201,532	24,379,027
費用合計 (円/年)	125,280,951	73,596,198	7,087,778	879,504	748,391	2,633,670	2,139,857	823,022	0	2,510,069	0	14,922,692	0	304,305	1,160,639	2,562,733	404,813	0	0	1,999,792	237,054,415

<収益>																				合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	335,446	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	335,446
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	333,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	333,400
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	123,093	72,504	6,983	866	530	2,595	2,108	811	0	2,473	0	14,701	0	300	1,143	2,525	399	0	0	1,970	0	233,000
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	1135500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23610	0	669140	0	0	0	0	0	1,828,250
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	458,539	405,904	6,983	1,136,366	530	2,595	2,108	811	0	2,473	0	14,701	0	23,910	1,143	671,665	399	0	0	1,970	0	2,730,096

[自治体 B4]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	20,070,107	4,671,770	1,501,830	4,531,203	0	1,966,785	1,559,864	678,202	0	4,700,810	0	5,139,932	4,356,575	700,995	1,566,357	2,223,573	239,133	0	123,856	1,372,020	55,403,012	
中間処理部門費 (円/年)	37,784,000	1,214,000	2,116,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,114,000
最終処分部門費 (円/年)	0	800,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800,100
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	372,323	295,290	128,387	0	359,000	0	385,000	0	0	0	0	0	0	0	0	39,000	1,579,000
作業部門費合計 (円/年)	57,854,107	6,685,870	3,617,830	4,531,203	0	2,339,108	1,855,155	806,589	0	5,059,810	0	5,524,932	4,356,575	700,995	1,566,357	2,223,573	239,133	0	123,856	1,411,020	98,896,112	
管理部門費 (円/年)	10,908,358	1,257,891	680,665	852,508	0	440,084	349,032	151,753	0	951,961	0	1,039,470	819,653	131,886	294,697	418,347	44,991	0	23,302	265,472	18,630,070	
費用合計 (円/年)	68,762,465	7,943,760	4,298,494	5,383,712	0	2,779,192	2,204,186	958,342	0	6,011,772	0	6,564,402	5,176,228	832,881	1,861,054	2,641,920	284,124	0	147,158	1,676,491	117,526,181	
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	10.15	84.94	14.30	377.60	-	67.82	67.82	67.82	-	167.89	-	171.33	155.59	140.20	22.38	8.30	34.16	-	30.96	457.34	20.88	
中間処理部門原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.14
最終処分部門原価 (円/kg)	-	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.82	-	12.83	-	-	-	-	-	-	-	-	13.00	12.84
<収益> 収益合計 (円/年)	23,729	0	0	630,600	0	0	0	0	0	0	0	0	14,260	20,920	140,160	465,700	6,780	0	0	0	0	1,302,149

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123,856	30,964	154,820		
直営	人件費 (円/年)	13,666,953	3,727,351	1,242,450	3,727,351	0	1,743,438	1,382,727	601,186	0	3,727,351	0	3,727,351	3,727,351	552,394	1,234,311	1,752,206	188,440	0	0	1,242,450	42,243,309	
	車両に係る物件費 (円/年)	2,704,279	737,531	87,227	261,681	0	122,399	97,075	42,207	0	261,681	0	261,681	261,681	38,781	86,656	123,015	13,230	0	0	87,227	5,186,352	
	施設に係る物件費 (円/年)	3,698,876	206,888	172,152	294,705	0	100,948	80,062	34,810	0	464,312	0	655,966	120,076	109,820	245,390	348,352	37,463	0	0	11,378	6,581,198	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	247,467	0	0	0	0	0	247,467	0	494,933	247,467	0	0	0	0	0	0	0	0	1,237,333
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123,856	30,964	154,820	
直営収集運搬費 (円/年)	20,070,107	4,671,770	1,501,830	4,531,203	0	1,966,785	1,559,864	678,202	0	4,700,810	0	5,139,932	4,356,575	700,995	1,566,357	2,223,573	239,133	0	0	1,341,056	55,248,192		
収集運搬部門費 (円/年)	20,070,107	4,671,770	1,501,830	4,531,203	0	1,966,785	1,559,864	678,202	0	4,700,810	0	5,139,932	4,356,575	700,995	1,566,357	2,223,573	239,133	0	123,856	1,372,020	55,403,012		
委託収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5		
直営収集運搬量 (t/年)	1977	55	105	12	0	29	23	10	0	28	0	30	28	5	70	268	7	0	0	2	2,649		
収集運搬量 (t/年)	1,977	55	105	12	0	29	23	10	0	28	0	30	28	5	70	268	7	0	4	3	2,654		
委託収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.96	30.96	30.96		
直営収集運搬原価 (円/kg)	10.15	84.94	14.30	377.60	-	67.82	67.82	67.82	-	167.89	-	171.33	155.59	140.20	22.38	8.30	34.16	-	-	670.53	20.86		
収集運搬原価 (円/kg)	10.15	84.94	14.30	377.60	-	67.82	67.82	67.82	-	167.89	-	171.33	155.59	140.20	22.38	8.30	34.16	-	30.96	457.34	20.88		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	37,784,000	1,214,000	2,116,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,114,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	37,784,000	1,214,000	2,116,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,114,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	37,784,000	1,214,000	2,116,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,114,000
委託中間処理量 (t/年)	2,512	74	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,715
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	2,512	74	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,715
委託中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.14
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	15.04	16.41	16.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.14

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	800,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800,100
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分費 (円/年)	0	800,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800,100
最終処分部門費 (円/年)	0	800,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800,100
委託最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分量 (t/年)	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
最終処分量 (t/年)	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
委託最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
直営最終処分原価 (円/kg)	-	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00
最終処分原価 (円/kg)	-	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	372,323	295,290	128,387	0	359,000	0	385,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000	1,579,000
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	372,323	295,290	128,387	0	359,000	0	385,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000	1,579,000	
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	372,323	295,290	128,387	0	359,000	0	385,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000	1,579,000	
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	29	23	10	0	28	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	3	123
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	29	23	10	0	28	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	3	123
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.82	-	12.83	-	-	-	-	-	-	-	13.00	12.84	
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	12.84	12.84	12.84	-	12.82	-	12.83	-	-	-	-	-	-	-	13.00	12.84	
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	10,063,569	1,162,989	629,312	788,191	0	406,882	322,699	140,304	0	880,141	0	961,047	757,815	121,936	272,464	386,785	41,597	0	21,544	245,443	17,202,718	
物件費 (円/年)	844,789	94,901	51,353	64,317	0	33,202	26,333	11,449	0	71,821	0	78,423	61,839	9,950	22,233	31,562	3,394	0	1,758	20,028	1,427,352	
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管理部門費合計 (円/年)	10,908,358	1,257,891	680,665	852,508	0	440,084	349,032	151,753	0	951,961	0	1,039,470	819,653	131,886	294,697	418,347	44,991	0	23,302	265,472	18,630,070	
費用合計 (円/年)	68,762,465	7,943,760	4,298,494	5,383,712	0	2,779,192	2,204,186	958,342	0	6,011,772	0	6,564,402	5,176,228	832,881	1,861,054	2,641,920	284,124	0	147,158	1,676,491	117,526,181	

<収益>

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	23,729	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,729
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	630,600	0	0	0	0	0	0	0	0	14,260	20,920	140,160	465,700	6,780	0	0	0	1,278,420
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	23,729	0	0	630,600	0	0	0	0	0	0	0	0	14,260	20,920	140,160	465,700	6,780	0	0	0	1,302,149

[自治体C]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	769,144,802	87,936,635	17,997,000	8,399,051	4,657,429	7,185,263	5,805,005	2,390,685	0	26,561,620	0	0	0	765,848	10,048,548	35,556,793	17,552,409	0	208,473,367	0	1,202,474,455
中間処理部門費 (円/年)	1,540,242,131	0	838,977	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,541,081,108
最終処分部門費 (円/年)	0	410,299,070	3,020,751	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	413,319,822
再資源化部門費 (円/年)	346,636,290	0	0	1,448,546	1,155,388	6,254,042	5,052,668	2,335,618	0	2,425,741	0	0	0	120,712	10,277,782	59,976,722	10,398,494	0	23,496,746	0	469,578,750
作業部門費合計 (円/年)	2,656,023,223	498,235,706	21,856,728	9,847,598	5,812,817	13,439,305	10,857,674	4,726,302	0	28,987,360	0	0	0	886,560	20,326,330	95,533,515	27,950,904	0	231,970,113	0	3,626,454,135
管理部門費 (円/年)	165,994,072	31,138,347	2,196,010	615,447	363,285	2,129,572	1,720,490	550,150	0	1,811,629	0	0	0	55,408	1,270,339	5,970,579	1,746,854	0	25,788,292	0	241,350,475
費用合計 (円/年)	2,822,017,295	529,374,053	24,052,738	10,463,045	6,176,102	15,568,877	12,578,164	5,276,452	0	30,798,990	0	0	0	941,968	21,596,669	101,504,095	29,697,758	0	257,758,405	0	3,867,804,610
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	15.07	7.47	116.11	33.33	23.17	6.60	6.60	6.60	-	62.94	-	-	-	36.47	5.62	3.41	9.70	-	75.37	-	14.49
中間処理部門原価 (円/kg)	17.12	-	17.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.12
最終処分部門原価 (円/kg)	-	21.59	28.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.63
再資源化部門原価 (円/kg)	30.04	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	6.45	-	5.75	-	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	-	219.60	-	16.25
<収益>																					
収益合計 (円/年)	528,419,338	62,243,230	7,364,751	26,448,859	2,974,368	383,533	309,858	134,880	0	3,926,513	0	0	0	140,811	4,862,920	43,825,374	5,436,952	0	6,620,005	0	693,091,393

原価計算書 別紙

<費用>	収集運搬部門																			(別紙1)		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	23,459,297	1,896,000	17,997,000	8,399,051	4,657,429	7,185,263	5,805,005	2,390,685	0	26,561,620	0	0	765,848	10,048,548	35,556,793	17,552,409	0	174,025,039	0	336,299,987	
直営	人件費 (円/年)	744,168,961	85,865,649	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,346,260	0	864,380,870	
	車両に係る物件費 (円/年)	1,516,544	174,986	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102,068	0	1,793,598	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	23,459,297	1,896,000	17,997,000	8,399,051	4,657,429	7,185,263	5,805,005	2,390,685	0	26,561,620	0	0	0	765,848	10,048,548	35,556,793	17,552,409	0	174,025,039	0	336,299,987
直営収集運搬費 (円/年)	745,685,505	86,040,635	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,448,328	0	866,174,468	
収集運搬部門費 (円/年)	769,144,802	87,936,635	17,997,000	8,399,051	4,657,429	7,185,263	5,805,005	2,390,685	0	26,561,620	0	0	0	765,848	10,048,548	35,556,793	17,552,409	0	208,473,367	0	1,202,474,455	
委託収集運搬量 (t/年)	2,554	88	155	252	201	1,088	879	362	0	422	0	0	0	21	1,788	10,434	1,809	0	2,659	0	22,712	
直営収集運搬量 (t/年)	48498	11685	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	0	60,290	
収集運搬量 (t/年)	51,052	11,773	155	252	201	1,088	879	362	0	422	0	0	0	21	1,788	10,434	1,809	0	2,766	0	83,002	
委託収集運搬原価 (円/kg)	9.19	21.55	116.11	33.33	23.17	6.60	6.60	6.60	-	62.94	-	-	-	36.47	5.62	3.41	9.70	-	65.45	-	14.81	
直営収集運搬原価 (円/kg)	15.38	7.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	321.95	-	14.37	
収集運搬原価 (円/kg)	15.07	7.47	116.11	33.33	23.17	6.60	6.60	6.60	-	62.94	-	-	-	36.47	5.62	3.41	9.70	-	75.37	-	14.49	

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営	人件費 (円/年)	220,466,358	0	120,089	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	220,586,447
	施設に係る物件費 (円/年)	1,319,775,773	0	718,888	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320,494,661
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理費 (円/年)	1,540,242,131	0	838,977	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,541,081,108
	中間処理部門費 (円/年)	1,540,242,131	0	838,977	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,541,081,108
	委託中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理量 (t/年)	89,957	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90,006
	中間処理量 (t/年)	89,957	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90,006
	委託中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	直営中間処理原価 (円/kg)	17.12	-	17.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.12
	中間処理原価 (円/kg)	17.12	-	17.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.12

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	95,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95,400,000
直営	人件費 (円/年)	0	51,480,865	493,844	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,974,709
	施設に係る物件費 (円/年)	0	263,418,205	2,526,908	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	265,945,113
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託最終処分費 (円/年)	0	95,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95,400,000
	直営最終処分費 (円/年)	0	314,899,070	3,020,751	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317,919,822
	最終処分部門費 (円/年)	0	410,299,070	3,020,751	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	413,319,822
	委託最終処分量 (t/年)	0	7,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,950
	直営最終処分量 (t/年)	0	11,050	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,156
	最終処分量 (t/年)	0	19,000	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,106
	委託最終処分原価 (円/kg)	-	12.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.00
	直営最終処分原価 (円/kg)	-	28.50	28.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.50
	最終処分原価 (円/kg)	-	21.59	28.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.63

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	346,636,290	0	0	1,448,546	1,155,388	6,254,042	5,052,668	2,335,618	0	2,425,741	0	0	0	120,712	10,277,782	59,976,722	10,398,494	0	23,496,746	0	469,578,750
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	346,636,290	0	0	1,448,546	1,155,388	6,254,042	5,052,668	2,335,618	0	2,425,741	0	0	0	120,712	10,277,782	59,976,722	10,398,494	0	23,496,746	0	469,578,750	
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	346,636,290	0	0	1,448,546	1,155,388	6,254,042	5,052,668	2,335,618	0	2,425,741	0	0	0	120,712	10,277,782	59,976,722	10,398,494	0	23,496,746	0	469,578,750	
委託再資源化量 (t/年)	11,539	0	0	252	201	1,088	879	362	0	422	0	0	0	21	1,788	10,434	1,809	0	107	0	28,902	
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	11,539	0	0	252	201	1,088	879	362	0	422	0	0	0	21	1,788	10,434	1,809	0	107	0	28,902	
委託再資源化原価 (円/kg)	30.04	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	6.45	-	5.75	-	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	-	219.60	-	16.25	
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	30.04	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	6.45	-	5.75	-	-	-	5.75	5.75	5.75	5.75	-	219.60	-	16.25	
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	102,748,877	19,274,364	845,533	380,957	224,870	519,903	420,032	182,838	0	1,121,383	0	0	0	34,297	786,329	3,695,736	1,081,287	0	8,973,818	0	140,290,223	
物件費 (円/年)	7,118,152	1,335,274	888,601	26,392	15,578	1,325,670	1,071,015	267,436	0	77,686	0	0	0	2,376	54,475	256,030	74,909	0	11,912,485	0	24,426,078	
経費 (円/年)	56,127,043	10,528,709	461,876	208,099	122,836	283,999	229,444	99,876	0	612,560	0	0	0	18,735	429,536	2,018,813	590,658	0	4,901,989	0	76,634,174	
管理部門費合計 (円/年)	165,994,072	31,138,347	2,196,010	615,447	363,285	2,129,572	1,720,490	550,150	0	1,811,629	0	0	0	55,408	1,270,339	5,970,579	1,746,854	0	25,788,292	0	241,350,475	
費用合計 (円/年)	2,822,017,295	529,374,053	24,052,738	10,463,045	6,176,102	15,568,877	12,578,164	5,276,452	0	30,798,990	0	0	0	941,968	21,596,669	101,504,095	29,697,758	0	257,758,405	0	3,867,804,610	

<収益>																				合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	6,741,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,741,000
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	75,800	580,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	656,750
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	452,545,470	47,443,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	499,989,010
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	75,798,068	14,218,740	623,751	281,033	165,887	383,533	309,858	134,880	0	827,246	0	0	0	25,301	580,076	2,726,353	797,668	0	6,620,005	0	0	103,492,400
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	26167826	2808481	0	0	0	0	3099267	0	0	0	115510	4282844	41099021	4639284	0	0	0	0	82,212,233
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	528,419,338	62,243,230	7,364,751	26,448,859	2,974,368	383,533	309,858	134,880	0	3,926,513	0	0	0	140,811	4,862,920	43,825,374	5,436,952	0	6,620,005	0	0	693,091,393

[自治体 D1]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	407,127,815	68,970,126	24,049,279	35,369,569	11,904,359	3,692,917	3,692,917	17,399,653	0	18,580,777	0	331,210,697	0	3,167,776	16,299,297	46,728,092	14,842,808	0	0	126,042	1,003,162,125
中間処理部門費 (円/年)	560,342,071	1,761,169	41,368,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	603,471,891
最終処分部門費 (円/年)	0	1,809,432	41,320,388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
再資源化部門費 (円/年)	174,184,379	0	0	15,945,714	15,925,807	4,280,061	4,280,061	21,718,819	0	8,580,028	0	51,519,985	0	716,661	23,928,525	113,132,949	12,621,202	0	0	955,548	447,789,738
作業部門費合計 (円/年)	1,141,654,264	72,540,728	106,738,319	51,315,283	27,830,166	7,972,978	7,972,978	39,118,472	0	27,160,806	0	382,730,682	0	3,884,437	40,227,822	159,861,041	27,464,010	0	0	1,081,591	2,097,553,575
管理部門費 (円/年)	226,020,625	3,293,676	4,846,400	2,329,945	1,263,615	362,009	362,009	1,776,155	0	1,233,223	0	17,377,697	0	176,371	1,826,524	7,258,411	1,246,990	0	0	49,109	269,422,759
費用合計 (円/年)	1,367,674,889	75,834,403	111,584,719	53,645,228	29,093,781	8,334,987	8,334,987	40,894,626	0	28,394,029	0	400,108,379	0	4,060,808	42,054,346	167,119,452	28,710,999	0	0	1,130,700	2,366,976,334
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	12.71	82.30	19.03	32.30	10.87	17.18	17.18	17.18	-	46.69	-	127.98	-	87.99	13.56	8.22	23.41	-	-	2.63	20.75
中間処理部門原価 (円/kg)	9.90	2.09	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.81
最終処分部門原価 (円/kg)	0.00	2.15	2.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.98
再資源化部門原価 (円/kg)	22.09	-	-	19.91	19.91	19.91	19.91	19.91	-	19.91	-	19.91	-	19.91	19.91	19.91	19.91	-	-	19.91	20.70
<収益>																					
収益合計 (円/年)	371,228,805	1,297,014	1,908,460	917,507	497,598	142,555	142,555	699,431	0	485,630	0	6,843,150	0	69,453	719,266	2,858,284	491,051	0	0	19,339	388,320,097

原価計算書 別紙

<費用>	収集運搬部門																		(別紙1)		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	18,580,777	0	0	0	3,167,776	16,299,297	46,728,092	14,842,808	0	0	0	99,618,750
直営	人件費 (円/年)	344,983,849	59,457,071	20,591,113	28,392,231	9,555,992	3,084,055	3,084,055	14,530,921	0	0	285,526,778	0	0	0	0	0	0	0	107,918	769,313,984
	車両に係る物件費 (円/年)	52,145,615	8,987,161	3,112,425	4,291,593	1,444,424	466,167	466,167	2,196,404	0	0	43,158,453	0	0	0	0	0	0	0	16,312	116,284,720
	施設に係る物件費 (円/年)	9,998,351	525,894	345,742	2,685,744	903,943	142,696	142,696	672,329	0	0	2,525,466	0	0	0	0	0	0	0	1,812	17,944,671
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	18,580,777	0	0	0	3,167,776	16,299,297	46,728,092	14,842,808	0	0	0	99,618,750
	直営収集運搬費 (円/年)	407,127,815	68,970,126	24,049,279	35,369,569	11,904,359	3,692,917	3,692,917	17,399,653	0	0	331,210,697	0	0	0	0	0	0	0	126,042	903,543,375
	収集運搬部門費 (円/年)	407,127,815	68,970,126	24,049,279	35,369,569	11,904,359	3,692,917	3,692,917	17,399,653	0	18,580,777	0	3,167,776	16,299,297	46,728,092	14,842,808	0	0	0	126,042	1,003,162,125
	委託収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	398	0	0	0	36	1,202	5,683	634	0	0	0	7,953
	直営収集運搬量 (t/年)	32032	838	1264	1095	1095	215	215	1013	0	0	2588	0	0	0	0	0	0	0	48	40,403
	収集運搬量 (t/年)	32,032	838	1,264	1,095	1,095	215	215	1,013	0	398	0	2,588	36	1,202	5,683	634	0	0	48	48,356
	委託収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	46.69	-	-	-	87.99	13.56	8.22	23.41	-	-	-	12.53
	直営収集運搬原価 (円/kg)	12.71	82.30	19.03	32.30	10.87	17.18	17.18	17.18	-	-	127.98	-	-	-	-	-	-	-	2.63	22.36
	収集運搬原価 (円/kg)	12.71	82.30	19.03	32.30	10.87	17.18	17.18	17.18	-	46.69	-	127.98	87.99	13.56	8.22	23.41	-	-	2.63	20.75

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	1,761,169	41,368,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
直営	人件費 (円/年)	76,312,379	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76,312,379
	施設に係る物件費 (円/年)	484,029,692	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	484,029,692
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託中間処理費 (円/年)	0	1,761,169	41,368,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
	直営中間処理費 (円/年)	560,342,071	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	560,342,071
	中間処理部門費 (円/年)	560,342,071	1,761,169	41,368,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	603,471,891
	委託中間処理量 (t/年)	0	842	19,778	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,620
	直営中間処理量 (t/年)	56,611	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,611
	中間処理量 (t/年)	56,611	842	19,778	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77,231
	委託中間処理原価 (円/kg)	-	2.09	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.09
	直営中間処理原価 (円/kg)	9.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.90
	中間処理原価 (円/kg)	9.90	2.09	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.81

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	1,809,432	41,320,388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	1,809,432	41,320,388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	1,809,432	41,320,388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,129,821
委託最終処分量 (t/年)	0	842	19,228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,070
直営最終処分量 (t/年)	1,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,680
最終処分量 (t/年)	1,680	842	19,228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,750
委託最終処分原価 (円/kg)	-	2.15	2.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.15
直営最終処分原価 (円/kg)	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00
最終処分原価 (円/kg)	0.00	2.15	2.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.98

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
	委託料 (円/年)	174,184,379	0	0	15,945,714	15,925,807	4,280,061	4,280,061	21,718,819	0	8,580,028	0	51,519,985	0	716,661	23,928,525	113,132,949	12,621,202	0	0	955,548
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	174,184,379	0	0	15,945,714	15,925,807	4,280,061	4,280,061	21,718,819	0	8,580,028	0	51,519,985	0	716,661	23,928,525	113,132,949	12,621,202	0	0	955,548	447,789,738
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	174,184,379	0	0	15,945,714	15,925,807	4,280,061	4,280,061	21,718,819	0	8,580,028	0	51,519,985	0	716,661	23,928,525	113,132,949	12,621,202	0	0	955,548	447,789,738
委託再資源化量 (t/年)	7,886	0	0	801	800	215	215	1,091	0	431	0	2,588	0	36	1,202	5,683	634	0	0	48	21,630
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	7,886	0	0	801	800	215	215	1,091	0	431	0	2,588	0	36	1,202	5,683	634	0	0	48	21,630
委託再資源化原価 (円/kg)	22.09	-	-	19.91	19.91	19.91	19.91	19.91	-	19.91	-	19.91	-	19.91	19.91	19.91	19.91	-	-	19.91	20.70
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	22.09	-	-	19.91	19.91	19.91	19.91	19.91	-	19.91	-	19.91	-	19.91	19.91	19.91	19.91	-	-	19.91	20.70
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	50,765,621	3,225,648	4,746,303	2,281,822	1,237,516	354,532	354,532	1,739,470	0	1,207,752	0	17,018,778	0	172,728	1,788,799	7,108,496	1,221,234	0	0	48,095	93,271,328
物件費 (円/年)	175,255,004	68,028	100,097	48,123	26,099	7,477	7,477	36,685	0	25,471	0	358,919	0	3,643	37,725	149,915	25,755	0	0	1,014	176,151,431
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	226,020,625	3,293,676	4,846,400	2,329,945	1,263,615	362,009	362,009	1,776,155	0	1,233,223	0	17,377,697	0	176,371	1,826,524	7,258,411	1,246,990	0	0	49,109	269,422,759
費用合計 (円/年)	1,367,674,889	75,834,403	111,584,719	53,645,228	29,093,781	8,334,987	8,334,987	40,894,626	0	28,394,029	0	400,108,379	0	4,060,808	42,054,346	167,119,452	28,710,999	0	0	1,130,700	2,366,976,334

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	350,816,250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	20,412,555	129,701,999	190,846,231	91,750,201	49,759,914	14,255,283	14,255,283	69,943,608	0	48,562,884	0	68,431,496	0	69,452,978	71,926,573	285,828,092	491,051,113	0	0	19,338,629	37,503,847
収益合計 (円/年)	371,228,805	1,297,014	1,908,460	917,507	497,598	142,555	142,555	699,431	0	485,630	0	6,843,150	0	69,453	719,266	2,858,284	491,051	0	0	19,339	388,320,097

行政コスト計算書

一般廃棄物の処理に関する事業に係る行政コスト計算書

(2006年4月1日～2007年3月31日)

(単位:円)

(1) 経常費用

経常業務費用

< 収集運搬部門 >

大項目	小項目		
人件費			344,983,849
物件費			233,848,141
	委託料もしくは組合負担金	99,618,750	
	車両に係る物件費	116,284,720	
	施設に係る物件費	17,944,671	
	車両・施設以外に係る物件費のうち特定の一般廃棄物種類に係る物	0	
	その他共通の物件費	0	
経費			0
	合計		578,831,991

< 中間処理部門 >

大項目	小項目		
人件費			76,312,379
物件費			527,159,513
	委託料もしくは組合負担金	43,129,821	
	施設に係る物件費	484,029,692	
	その他共通の物件費	0	
経費			0
	合計		603,471,891

< 最終処分部門 >

大項目	小項目		
人件費			0
物件費			43,129,821
	委託料もしくは組合負担金	43,129,821	
	施設に係る物件費	0	
	その他共通の物件費	0	
経費			0
	合計		43,129,821

< 資源化部門 >

大項目	小項目		
人件費			0
物件費			447,789,738
	委託料もしくは組合負担金	447,789,738	
	施設に係る物件費	0	
	その他共通の物件費	0	
経費			0
	合計		447,789,738

< 管理部門 >

大項目	小項目		
人件費			93,271,328
物件費			176,151,431
経費			0
その他費用			571,578
	合計		269,994,337

< その他 >

大項目	小項目		
その他費用			0
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	

経常移転支出

大項目	小項目		
扶助費等支出			0
補助金等支出			5,906,557
その他の経常移転支出			0
	合計		5,906,557

経常費用合計(総行政コスト)

合計			3,886,435,554
----	--	--	---------------

(2) 特別損失

大項目	小項目		
特別損失			0

(3) 経常収益
 経常業務収益

大項目	小項目		
業務収益			388,320,097
	自己収入	350,816,250	
	その他の業務収益	37,503,847	
業務外収益			0
	受取利息等	0	
	その他の業務外収益	0	
	合計		388,320,097

経常移転収入

大項目		
経常移転収入		2,392,230,000

その他収益

大項目	小項目		
その他収益			0
		0	
		0	
		0	
		0	
		0	

経常収益合計

合計	3,168,870,194
----	---------------

注記

大項目	小項目		
施設解体引当金繰入額			0
	資産・負債一覧からの算定額	0	
		0	
		0	
		0	
最終処分場閉鎖後維持管理引当金繰入額			0
	資産・負債一覧からの算定額	0	
		0	
		0	
		0	
地元還元施設に係る費用			0
	減価償却費	0	
		0	
		0	
		0	
地元還元施設に係る収益			0
		0	
		0	
		0	
		0	
取付道路に係る費用			0
	減価償却費	0	
		0	
		0	
		0	
取付道路に係る収益			0
		0	
		0	
		0	
		0	

資産・負債一覧

一般廃棄物の処理に関する事業に係る資産・負債一覧
(2007年3月31日)

科目	金額		
(資産の部)			
1 金融資産			0
資金		000,000	
金融資産(資金を除く)		0	
債権		0	
未収金	000,000		
貸付金	000,000		
その他の債権	000,000		
有価証券		000,000	
投資等		0	
出資金	000,000		
その他の投資	000,000		
貸倒引当金		-000,000	
2 非金融資産			3,153,009,133
事業用資産		3,153,009,133	3,153,009,133
有形固定資産		3,153,009,133	
収集運搬部門	583,653,563		
中間処理部門	10,740,980,810		
最終処分部門	0		
資源化部門	0		
管理部門	0		
減価償却累計額	8,171,625,240		
建設仮勘定	0		
無形固定資産		0	
ソフトウェア	0		
その他無形固定資産等	0		
繰延資産		000,000	000,000
資産合計			3,153,009,133

科目	金額		
(負債の部)			
1 流動負債			0
地方債(短期)		0	
短期借入金		0	
2 非流動負債			317,152,458
地方債(長期)		158,576,229	
長期借入金		158,576,229	
負債合計			317,152,458

注記

項目	内容	金額
施設解体引当金		
最終処分場閉鎖後維持管理引当金		
地元還元施設に係る資産		
地元還元施設に係る負債		
取付道路に係る資産		
取付道路に係る負債		0

資産・負債一覧(別紙1)

事業用資産

(別紙1)

有形固定資産

記載データ年次

2006

年度(西暦)

部門	種別	名称・内訳 車両については、フルダウメ ニューにより選択	仕様等	取得年次 (西暦)	取得価額 (円)	耐用年数 (年)	減価償却費 (円/年)	減価償却累計 額(円)	帳簿価額 (円)	
収集運搬部門	車両	バック車	5.5トン車23台	2000年度	175,266,200	4	0	175,266,200	0	
		バック車	4トン車1台	2000年度	7,887,500	4	0	7,887,500	0	
		バック車	3トン車13台	2002年度	63,022,000	4	0	63,022,000	0	
		バック車	2トン車1台	1995年度	5,871,000	4	0	5,871,000	0	
		平ボディ	2トントラック	1994年度	2,832,500	4	0	2,832,500	0	
		その他車両	小型貨物2台	1991年度	2,008,500	4	0	2,008,500	0	
		その他車両	軽貨物3台	1997年度	2,555,825	4	0	2,555,825	0	
		その他車両	普通貨物(ダンプ)1台	1987年度	7,450,000	4	0	7,450,000	0	
				年度						
				年度						
	施設	施設	施設1(土地)	環境事業課	1969年度	85,398,506	-	-	-	-
			施設1(施設)	環境事業課	1982年度	231,361,532	24	0	231,361,532	0
			施設1(装置)		年度	0				
			施設1(重機)		年度	0				
			施設1(その他固定資産)		年度	0				
			施設1(建設仮勘定)		年度	0				
			施設2(土地)		年度	0	-	-	-	-
			施設2(施設)		年度	0				
			施設2(装置)		年度	0				
			施設2(重機)		年度	0				
施設2(その他固定資産)				年度	0					
施設2(建設仮勘定)				年度	0					
施設3(土地)				年度	0	-	-	-	-	
施設3(施設)				年度	0					
施設3(装置)				年度	0					
施設3(重機)				年度	0					
施設3(その他固定資産)				年度	0					
施設3(建設仮勘定)				年度	0					
施設4(土地)				年度	0	-	-	-	-	
施設4(施設)				年度	0					
施設4(装置)				年度	0					
施設4(重機)				年度	0					
施設4(その他固定資産)				年度	0					
施設4(建設仮勘定)				年度	0					
施設5(土地)				年度	0	-	-	-	-	
施設5(施設)				年度	0					
施設5(装置)				年度	0					
施設5(重機)				年度	0					
施設5(その他固定資産)				年度	0					
施設5(建設仮勘定)				年度	0					
中間処理部門	施設	施設1(土地)	西部クリーンセンター	1980年度	1,487,931,076	-	-	-	-	
		施設1(施設)	西部クリーンセンター	1980年度	7,257,665,038	24	0	7,257,665,038	0	
		施設1(装置)		年度	0					
		施設1(重機)		年度	0					
		施設1(その他固定資産)		年度	0					
		施設1(建設仮勘定)		年度	0					
		追加投資1-1	西部クリーンセンター	2002年度	1,995,384,696	24	83,141,029	415,705,145	1,579,679,551	
		追加投資1-2		年度	0	0				
		追加投資1-3		年度	0	0				
		追加投資1-4		年度	0	0				
		追加投資1-5		年度	0	0				
		施設2(土地)		年度	0	-	-	-	-	
		施設2(施設)		年度	0					
		施設2(装置)		年度	0					
		施設2(重機)		年度	0					
		施設2(その他固定資産)		年度	0					
		施設2(建設仮勘定)		年度	0					
		追加投資2-1		年度	0	0				
		追加投資2-2		年度	0	0				
		追加投資2-3		年度	0	0				
		追加投資2-4		年度	0	0				
		追加投資2-5		年度	0	0				
		施設3(土地)		年度	0	-	-	-	-	
		施設3(施設)		年度	0					
		施設3(装置)		年度	0					
		施設3(重機)		年度	0					
		施設3(その他固定資産)		年度	0					
		施設3(建設仮勘定)		年度	0					
		追加投資3-1		年度	0	0				
		追加投資3-2		年度	0	0				
追加投資3-3		年度	0	0						
追加投資3-4		年度	0	0						
追加投資3-5		年度	0	0						
施設4(土地)		年度	0	-	-	-	-			
施設4(施設)		年度	0							
施設4(装置)		年度	0							
施設4(重機)		年度	0							
施設4(その他固定資産)		年度	0							
施設4(建設仮勘定)		年度	0							
追加投資4-1		年度	0	0						
追加投資4-2		年度	0	0						
追加投資4-3		年度	0	0						
追加投資4-4		年度	0	0						
追加投資4-5		年度	0	0						
施設5(土地)		年度	0	-	-	-	-			
施設5(施設)		年度	0							
施設5(装置)		年度	0							
施設5(重機)		年度	0							
施設5(その他固定資産)		年度	0							
施設5(建設仮勘定)		年度	0							
追加投資5-1		年度	0	0						
追加投資5-2		年度	0	0						
追加投資5-3		年度	0	0						
追加投資5-4		年度	0	0						
追加投資5-5		年度	0	0						

		施設6(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設6(施設)		年度	0				
		施設6(装置)		年度	0				
		施設6(重機)		年度	0				
		施設6(その他固定資産)		年度					
		施設6(建設仮勘定)		年度					
		追加投資6-1		年度	0	0			
		追加投資6-2		年度	0	0			
		追加投資6-3		年度	0	0			
		追加投資6-4		年度	0	0			
		追加投資6-5		年度	0	0			
		施設7(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設7(施設)		年度	0				
		施設7(装置)		年度	0				
		施設7(重機)		年度	0				
		施設7(その他固定資産)		年度					
		施設7(建設仮勘定)		年度					
		追加投資7-1		年度	0	0			
		追加投資7-2		年度	0	0			
		追加投資7-3		年度	0	0			
		追加投資7-4		年度	0	0			
		追加投資7-5		年度	0	0			
		施設8(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設8(施設)		年度	0				
		施設8(装置)		年度	0				
		施設8(重機)		年度	0				
		施設8(その他固定資産)		年度					
		施設8(建設仮勘定)		年度					
		追加投資8-1		年度	0	0			
		追加投資8-2		年度	0	0			
		追加投資8-3		年度	0	0			
		追加投資8-4		年度	0	0			
		追加投資8-5		年度	0	0			
		施設9(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設9(施設)		年度	0				
		施設9(装置)		年度	0				
		施設9(重機)		年度	0				
		施設9(その他固定資産)		年度					
		施設9(建設仮勘定)		年度					
		追加投資9-1		年度	0	0			
		追加投資9-2		年度	0	0			
		追加投資9-3		年度	0	0			
		追加投資9-4		年度	0	0			
		追加投資9-5		年度	0	0			
		施設10(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設10(施設)		年度	0				
		施設10(装置)		年度	0				
		施設10(重機)		年度	0				
		施設10(その他固定資産)		年度					
		施設10(建設仮勘定)		年度					
		追加投資10-1		年度	0	0			
		追加投資10-2		年度	0	0			
		追加投資10-3		年度	0	0			
		追加投資10-4		年度	0	0			
		追加投資10-5		年度	0	0			
最終処分部門	施設	施設1(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設1(施設)	不燃物処理場	1983年度	0	30			
		施設1(装置)		年度	0				
		施設1(重機)		年度	0				
		施設1(その他固定資産)		年度					
		施設1(建設仮勘定)		年度					
		追加投資1-1		年度	0	0			
		追加投資1-2		年度	0	0			
		追加投資1-3		年度	0	0			
		追加投資1-4		年度	0	0			
		追加投資1-5		年度	0	0			
		施設2(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設2(施設)		年度	0				
		施設2(装置)		年度	0				
		施設2(重機)		年度	0				
		施設2(その他固定資産)		年度					
		施設2(建設仮勘定)		年度					
		追加投資2-1		年度	0	0			
		追加投資2-2		年度	0	0			
		追加投資2-3		年度	0	0			
		追加投資2-4		年度	0	0			
		追加投資2-5		年度	0	0			
		施設3(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設3(施設)		年度	0				
		施設3(装置)		年度	0				
		施設3(重機)		年度	0				
		施設3(その他固定資産)		年度					
		施設3(建設仮勘定)		年度					
		追加投資3-1		年度	0	0			
		追加投資3-2		年度	0	0			
		追加投資3-3		年度	0	0			
		追加投資3-4		年度	0	0			
		追加投資3-5		年度	0	0			
		施設4(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設4(施設)		年度	0				
		施設4(装置)		年度	0				
		施設4(重機)		年度	0				
		施設4(その他固定資産)		年度					
		施設4(建設仮勘定)		年度					
		追加投資4-1		年度	0	0			
		追加投資4-2		年度	0	0			
		追加投資4-3		年度	0	0			
		追加投資4-4		年度	0	0			
		追加投資4-5		年度	0	0			
		施設5(土地)		年度	0	-	-	-	-
		施設5(施設)		年度	0				
		施設5(装置)		年度	0				
		施設5(重機)		年度	0				
		施設5(その他固定資産)		年度					
		施設5(建設仮勘定)		年度					
		追加投資5-1		年度	0	0			
		追加投資5-2		年度	0	0			
		追加投資5-3		年度	0	0			
		追加投資5-4		年度	0	0			
		追加投資5-5		年度	0	0			

資源化部門	施設	施設1(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設1(施設)	2000年度	0	30			
		施設1(装置)	2000年度	0	7			
		施設1(重機)	年度	0				
		施設1(その他固定資産)	年度					
		施設1(建設仮勘定)	年度					
		追加投資1-1	2002年度	0	0			
		追加投資1-2	年度	0	0			
		追加投資1-3	年度	0	0			
		追加投資1-4	年度	0	0			
		追加投資1-5	年度	0	0			
		施設2(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設2(施設)	年度	0				
		施設2(装置)	年度	0				
		施設2(重機)	年度	0				
		施設2(その他固定資産)	年度					
		施設2(建設仮勘定)	年度					
		追加投資2-1	年度	0	0			
		追加投資2-2	年度	0	0			
		追加投資2-3	年度	0	0			
		追加投資2-4	年度	0	0			
		追加投資2-5	年度	0	0			
		施設3(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設3(施設)	年度	0				
		施設3(装置)	年度	0				
		施設3(重機)	年度	0				
		施設3(その他固定資産)	年度					
		施設3(建設仮勘定)	年度					
		追加投資3-1	年度	0	0			
		追加投資3-2	年度	0	0			
		追加投資3-3	年度	0	0			
		追加投資3-4	年度	0	0			
		追加投資3-5	年度	0	0			
		施設4(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設4(施設)	年度	0				
		施設4(装置)	年度	0				
		施設4(重機)	年度	0				
		施設4(その他固定資産)	年度					
		施設4(建設仮勘定)	年度					
		追加投資4-1	年度	0	0			
		追加投資4-2	年度	0	0			
		追加投資4-3	年度	0	0			
		追加投資4-4	年度	0	0			
		追加投資4-5	年度	0	0			
		施設5(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設5(施設)	年度	0				
		施設5(装置)	年度	0				
		施設5(重機)	年度	0				
		施設5(その他固定資産)	年度					
		施設5(建設仮勘定)	年度					
		追加投資5-1	年度	0	0			
		追加投資5-2	年度	0	0			
追加投資5-3	年度	0	0					
追加投資5-4	年度	0	0					
追加投資5-5	年度	0	0					

		施設6(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設6(施設)	年度	0				
		施設6(装置)	年度	0				
		施設6(重機)	年度	0				
		施設6(その他固定資産)	年度					
		施設6(建設仮勘定)	年度					
		追加投資6-1	年度	0	0			
		追加投資6-2	年度	0	0			
		追加投資6-3	年度	0	0			
		追加投資6-4	年度	0	0			
		追加投資6-5	年度	0	0			
		施設7(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設7(施設)	年度	0				
		施設7(装置)	年度	0				
		施設7(重機)	年度	0				
		施設7(その他固定資産)	年度					
		施設7(建設仮勘定)	年度					
		追加投資7-1	年度	0	0			
		追加投資7-2	年度	0	0			
		追加投資7-3	年度	0	0			
		追加投資7-4	年度	0	0			
		追加投資7-5	年度	0	0			
		施設8(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設8(施設)	年度	0				
		施設8(装置)	年度	0				
		施設8(重機)	年度	0				
		施設8(その他固定資産)	年度					
		施設8(建設仮勘定)	年度					
		追加投資8-1	年度	0	0			
		追加投資8-2	年度	0	0			
		追加投資8-3	年度	0	0			
		追加投資8-4	年度	0	0			
		追加投資8-5	年度	0	0			
		施設9(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設9(施設)	年度	0				
		施設9(装置)	年度	0				
		施設9(重機)	年度	0				
		施設9(その他固定資産)	年度					
		施設9(建設仮勘定)	年度					
		追加投資9-1	年度	0	0			
		追加投資9-2	年度	0	0			
		追加投資9-3	年度	0	0			
		追加投資9-4	年度	0	0			
		追加投資9-5	年度	0	0			
		施設10(土地)	年度	0	-	-	-	-
		施設10(施設)	年度	0				
		施設10(装置)	年度	0				
		施設10(重機)	年度	0				
		施設10(その他固定資産)	年度					
		施設10(建設仮勘定)	年度					
		追加投資10-1	年度	0	0			
		追加投資10-2	年度	0	0			
		追加投資10-3	年度	0	0			
		追加投資10-4	年度	0	0			
		追加投資10-5	年度	0	0			
管理部門			年度					
			年度					
			年度					
			年度					
			年度					
			年度					
合計			年度	11,324,634,373	-	83,141,029	8,171,625,240	1,579,679,551

無形固定資産

区分	名称・内訳	仕様等	取得年次 (西暦)	取得価額 (円)	耐用年数 (年)	減価償却費 (円/年)	減価償却累計 額(円)	帳簿価額 (円)
ソフトウェア			年度					
			年度					
			年度					
			年度					
その他無形固定資産			年度					
			年度					
			年度					
			年度					
合計				0	-	0	0	0

資産・負債一覧（別紙2）

(別紙2)

流動負債

地方債(短期)

種別	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高	償還実行基金	本年度末残高
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
合計	0	0	0	0	0	0

短期借入金

借入先	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高
				0
				0
				0
				0
合計	0	0	0	0

非流動負債

地方債(長期)

種別	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高	償還実行基金	本年度末残高
一般廃棄物処理事業債	50,100,950		50,100,950	0		0
一般廃棄物処理事業債	51,864,960		4,712,655	47,152,305		47,152,305
一般廃棄物処理事業債	42,249,428		3,596,879	38,652,549		38,652,549
一般廃棄物処理事業債	65,600,000		5,028,625	60,571,375		60,571,375
一般廃棄物処理事業債	12,200,000		0	12,200,000		12,200,000
合計	222,015,338	0	63,439,109	158,576,229	0	158,576,229

長期借入金

借入先	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高
				0
				0
				0
				0
合計	222,015,338	0	63,439,109	158,576,229

[自治体 D2-1]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	10,816,587	2,831,099	287,220	4,158,367	2,927,105	308,986	308,986	576,773	0	1,418,251	0	2,590,709	0	0	0	2,157,749	0	0	0	58,169	28,440,000
中間処理部門費 (円/年)	63,723,000	3,703,622	572,378	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67,999,000
最終処分部門費 (円/年)	0	3,321,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,321,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	350,202	354,580	131,326	131,326	245,142	0	205,744	0	529,681	0	0	0	0	0	0	0	0	1,948,000
作業部門費合計 (円/年)	74,539,587	9,855,721	859,598	4,508,569	3,281,685	440,311	440,311	821,915	0	1,623,995	0	3,120,390	0	0	0	2,157,749	0	0	0	58,169	101,708,000
管理部門費 (円/年)	2,242,294	296,479	25,858	135,626	98,719	13,245	13,245	24,725	0	48,853	0	93,867	0	0	0	64,909	0	0	0	1,750	3,059,571
費用合計 (円/年)	76,781,880	10,152,200	885,456	4,644,196	3,380,404	453,557	453,557	846,639	0	1,672,848	0	3,214,257	0	0	0	2,222,658	0	0	0	59,919	104,767,571
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	5.19	11.80	4.22	51.98	36.14	10.30	10.30	10.30	-	30.18	-	21.41	-	-	-	5.31	-	-	-	29.08	8.76
中間処理部門原価 (円/kg)	29.86	8.42	8.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.74
最終処分部門原価 (円/kg)	-	8.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.41
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	4.38	4.38	4.38	4.38	4.38	-	4.38	-	4.38	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38
<収益>																					
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			(別紙1)			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計		
委託	委託料 (円/年)	10,816,587	2,831,099	287,220	4,158,367	2,927,105	308,986	308,986	576,773	0	1,418,251	0	2,590,709	0	0	0	2,157,749	0	0	0	58,169	28,440,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	10,816,587	2,831,099	287,220	4,158,367	2,927,105	308,986	308,986	576,773	0	1,418,251	0	2,590,709	0	0	0	2,157,749	0	0	0	58,169	28,440,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	10,816,587	2,831,099	287,220	4,158,367	2,927,105	308,986	308,986	576,773	0	1,418,251	0	2,590,709	0	0	0	2,157,749	0	0	0	58,169	28,440,000		
委託収集運搬量 (t/年)	2,085	240	68	80	81	30	30	56	0	47	0	121	0	0	0	406	0	0	0	2	3,246		
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	2,085	240	68	80	81	30	30	56	0	47	0	121	0	0	0	406	0	0	0	2	3,246		
委託収集運搬原価 (円/kg)	5.19	11.80	4.22	51.98	36.14	10.30	10.30	10.30	-	30.18	-	21.41	-	-	-	5.31	-	-	-	29.08	8.76		
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	5.19	11.80	4.22	51.98	36.14	10.30	10.30	10.30	-	30.18	-	21.41	-	-	-	5.31	-	-	-	29.08	8.76		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	63,723,000	3,703,622	572,378	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67,999,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	63,723,000	3,703,622	572,378	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67,999,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	63,723,000	3,703,622	572,378	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67,999,000
委託中間処理量 (t/年)	2,134	440	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,642
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	2,134	440	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,642
委託中間処理原価 (円/kg)	29.86	8.42	8.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.74
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	29.86	8.42	8.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.74

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	3,321,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,321,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	3,321,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,321,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	3,321,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,321,000
委託最終処分量 (t/年)	0	395	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	395
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	395	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	395
委託最終処分原価 (円/kg)	-	8.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.41
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	8.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.41

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	350,202	354,580	131,326	131,326	245,142	0	205,744	0	529,681	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	350,202	354,580	131,326	131,326	245,142	0	205,744	0	529,681	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,948,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	350,202	354,580	131,326	131,326	245,142	0	205,744	0	529,681	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,948,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	80	81	30	30	56	0	47	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	445
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	80	81	30	30	56	0	47	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	445
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	4.38	4.38	4.38	4.38	4.38	-	4.38	-	4.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	4.38	4.38	4.38	4.38	4.38	-	4.38	-	4.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	1,046,969	138,432	12,074	63,327	46,094	6,185	6,185	11,544	0	22,810	0	43,828	0	0	0	30,307	0	0	0	0	817	1,428,571
物件費 (円/年)	1,195,325	158,047	13,785	72,300	52,625	7,061	7,061	13,180	0	26,043	0	50,039	0	0	0	34,602	0	0	0	0	933	1,631,000
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	2,242,294	296,479	25,858	135,626	98,719	13,245	13,245	24,725	0	48,853	0	93,867	0	0	0	64,909	0	0	0	0	1,750	3,059,571
費用合計 (円/年)	76,781,880	10,152,200	885,456	4,644,196	3,380,404	453,557	453,557	846,639	0	1,672,848	0	3,214,257	0	0	0	2,222,658	0	0	0	0	59,919	104,767,571

<収益>

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 D2-2]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	23,643,979	9,251,565	61,774	1,900,540	2,312,254	564,875	564,875	734,337	0	2,316,961	0	11,194,725	0	0	0	3,497,772	0	0	0	106,343	56,150,000
中間処理部門費 (円/年)	97,734,000	2,729,233	22,767	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,486,000
最終処分部門費 (円/年)	0	2,671,194	22,806	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,694,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	42,780	74,865	64,170	64,170	83,421	0	89,838	0	611,755	0	0	0	0	0	0	0	0	1,031,000
作業部門費合計 (円/年)	121,377,979	14,651,992	107,348	1,943,320	2,387,119	629,045	629,045	817,758	0	2,406,799	0	11,806,481	0	0	0	3,497,772	0	0	0	106,343	160,361,000
管理部門費 (円/年)	28,056,075	3,386,754	24,813	449,191	551,774	145,401	145,401	189,022	0	556,323	0	2,729,025	0	0	0	808,497	0	0	0	24,581	37,066,857
費用合計 (円/年)	149,434,053	18,038,746	132,161	2,392,511	2,938,892	774,446	774,446	1,006,780	0	2,963,122	0	14,535,505	0	0	0	4,306,269	0	0	0	130,924	197,427,857
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	9.48	21.57	7.72	95.03	66.06	18.83	18.83	18.83	-	55.17	-	39.14	-	-	-	9.72	-	-	-	53.17	14.88
中間処理部門原価 (円/kg)	32.08	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.03
最終処分部門原価 (円/kg)	-	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	-	2.14	-	2.14	-	-	-	-	-	-	-	-	2.14
<収益>																					
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,059,000	0	0	0	0	2,059,000

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	23,643,979	9,251,565	61,774	1,900,540	2,312,254	564,875	564,875	734,337	0	2,316,961	0	11,194,725	0	0	0	3,497,772	0	0	0	106,343	56,150,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	23,643,979	9,251,565	61,774	1,900,540	2,312,254	564,875	564,875	734,337	0	2,316,961	0	11,194,725	0	0	0	3,497,772	0	0	0	106,343	56,150,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	23,643,979	9,251,565	61,774	1,900,540	2,312,254	564,875	564,875	734,337	0	2,316,961	0	11,194,725	0	0	0	3,497,772	0	0	0	106,343	56,150,000		
委託収集運搬量 (t/年)	2,493	429	8	20	35	30	30	39	0	42	0	286	0	0	0	360	0	0	0	2	3,774		
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	2,493	429	8	20	35	30	30	39	0	42	0	286	0	0	0	360	0	0	0	2	3,774		
委託収集運搬原価 (円/kg)	9.48	21.57	7.72	95.03	66.06	18.83	18.83	18.83	-	55.17	-	39.14	-	-	-	9.72	-	-	-	53.17	14.88		
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	9.48	21.57	7.72	95.03	66.06	18.83	18.83	18.83	-	55.17	-	39.14	-	-	-	9.72	-	-	-	53.17	14.88		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	97,734,000	2,729,233	22,767	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,486,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	97,734,000	2,729,233	22,767	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,486,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	97,734,000	2,729,233	22,767	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,486,000
委託中間処理量 (t/年)	3,047	959	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,014
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	3,047	959	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,014
委託中間処理原価 (円/kg)	32.08	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.03
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	32.08	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.03

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	2,671,194	22,806	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,694,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)		0	2,671,194	22,806	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,694,000
直営最終処分費 (円/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)		0	2,671,194	22,806	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,694,000
委託最終処分量 (t/年)		0	937	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	945
直営最終処分量 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)		0	937	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	945
委託最終処分原価 (円/kg)		-	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85
直営最終処分原価 (円/kg)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)		-	2.85	2.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	42,780	74,865	64,170	64,170	83,421	0	89,838	0	611,755	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	42,780	74,865	64,170	64,170	83,421	0	89,838	0	611,755	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,031,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	42,780	74,865	64,170	64,170	83,421	0	89,838	0	611,755	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,031,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	20	35	30	30	39	0	42	0	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	482
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	20	35	30	30	39	0	42	0	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	482
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	-	2.14	-	2.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.14
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	-	2.14	-	2.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.14
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	1,621,938	195,790	1,434	25,968	31,898	8,406	8,406	10,927	0	32,161	0	157,767	0	0	0	46,740	0	0	0	0	1,421	2,142,857
物件費 (円/年)	26,434,136	3,190,964	23,379	423,223	519,875	136,996	136,996	178,094	0	524,161	0	2,571,258	0	0	0	761,757	0	0	0	0	23,160	34,924,000
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	28,056,075	3,386,754	24,813	449,191	551,774	145,401	145,401	189,022	0	556,323	0	2,729,025	0	0	0	808,497	0	0	0	0	24,581	37,066,857
費用合計 (円/年)	149,434,053	18,038,746	132,161	2,392,511	2,938,892	774,446	774,446	1,006,780	0	2,963,122	0	14,535,505	0	0	0	4,306,269	0	0	0	0	130,924	197,427,857

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2059000	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,059,000	0	0	0	0	0

[自治体 D2-3]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	19,889,895	5,333,186	876,914	766,914	533,172	325,630	325,630	672,968	0	1,717,255	0	8,145,657	0	0	0	0	0	0	212,782	0	38,800,000
中間処理部門費 (円/年)	144,166,040	3,185,683	2,500,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	149,852,040
最終処分部門費 (円/年)	0	1,650,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650,000
再資源化部門費 (円/年)	14,731,500	0	0	158,894	158,894	340,486	340,486	703,672	0	612,876	0	3,983,692	0	0	0	0	0	0	0	0	21,030,500
作業部門費合計 (円/年)	178,787,435	10,168,869	3,377,231	925,807	692,065	666,116	666,116	1,376,640	0	2,330,130	0	12,129,349	0	0	0	0	0	0	212,782	0	211,332,540
管理部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費用合計 (円/年)	178,787,435	10,168,869	3,377,231	925,807	692,065	666,116	666,116	1,376,640	0	2,330,130	0	12,129,349	0	0	0	0	0	0	212,782	0	211,332,540
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	5.47	12.43	4.45	54.78	38.08	10.85	10.85	10.85	-	31.80	-	22.56	-	-	-	-	-	-	106.39	-	8.03
中間処理部門原価 (円/kg)	29.95	12.69	12.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.48
最終処分部門原価 (円/kg)	-	12.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.60
再資源化部門原価 (円/kg)	10.49	-	-	11.35	11.35	11.35	11.35	11.35	-	11.35	-	11.35	-	-	-	-	-	-	-	-	10.74
<収益>																					
収益合計 (円/年)	6,366,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,366,000

原価計算書 別紙

<費用>																				(別紙1)			
		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	19,889,895	5,333,186	876,914	766,914	533,172	325,630	325,630	672,968	0	1,717,255	0	8,145,657	0	0	0	0	0	0	212,782	0	38,800,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	19,889,895	5,333,186	876,914	766,914	533,172	325,630	325,630	672,968	0	1,717,255	0	8,145,657	0	0	0	0	0	0	212,782	0	38,800,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	19,889,895	5,333,186	876,914	766,914	533,172	325,630	325,630	672,968	0	1,717,255	0	8,145,657	0	0	0	0	0	0	212,782	0	38,800,000		
委託収集運搬量 (t/年)	3,638	429	197	14	14	30	30	62	0	54	0	361	0	0	0	0	0	0	2	0	4,831		
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	3,638	429	197	14	14	30	30	62	0	54	0	361	0	0	0	0	0	0	2	0	4,831		
委託収集運搬原価 (円/kg)	5.47	12.43	4.45	54.78	38.08	10.85	10.85	10.85	-	31.80	-	22.56	-	-	-	-	-	-	106.39	-	8.03		
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	5.47	12.43	4.45	54.78	38.08	10.85	10.85	10.85	-	31.80	-	22.56	-	-	-	-	-	-	106.39	-	8.03		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	3,185,683	2,500,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,686,000
直営	人件費 (円/年)	27,585,169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,585,169
	施設に係る物件費 (円/年)	116,580,871	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116,580,871
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託中間処理費 (円/年)	0	3,185,683	2,500,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,686,000
	直営中間処理費 (円/年)	144,166,040	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	144,166,040
	中間処理部門費 (円/年)	144,166,040	3,185,683	2,500,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	149,852,040
	委託中間処理量 (t/年)	0	251	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448
	直営中間処理量 (t/年)	4,814	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,814
	中間処理量 (t/年)	4,814	251	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,262
	委託中間処理原価 (円/kg)	-	12.69	12.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.69
	直営中間処理原価 (円/kg)	29.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.95
	中間処理原価 (円/kg)	29.95	12.69	12.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.48

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	1,650,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	1,650,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	1,650,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650,000
委託最終処分量 (t/年)	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131
委託最終処分原価 (円/kg)	-	12.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.60
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	12.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.60

	再資源化部門																			合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
委託																					
直営																					
委託料 (円/年)	14,731,500	0	0	158,894	158,894	340,486	340,486	703,672	0	612,876	0	3,983,692	0	0	0	0	0	0	0	0	21,030,500
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	14,731,500	0	0	158,894	158,894	340,486	340,486	703,672	0	612,876	0	3,983,692	0	0	0	0	0	0	0	0	21,030,500
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	14,731,500	0	0	158,894	158,894	340,486	340,486	703,672	0	612,876	0	3,983,692	0	0	0	0	0	0	0	0	21,030,500
委託再資源化量 (t/年)	702	0	0	14	14	30	30	62	0	54	0	351	0	0	0	0	0	0	0	0	1,257
直営再資源化量 (t/年)	702	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	702
再資源化量 (t/年)	1,404	0	0	14	14	30	30	62	0	54	0	351	0	0	0	0	0	0	0	0	1,959
委託再資源化原価 (円/kg)	20.99	-	-	11.35	11.35	11.35	11.35	11.35	-	11.35	-	11.35	-	-	-	-	-	-	-	-	16.73
直営再資源化原価 (円/kg)	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00
再資源化部門原価 (円/kg)	10.49	-	-	11.35	11.35	11.35	11.35	11.35	-	11.35	-	11.35	-	-	-	-	-	-	-	-	10.74
	管理部門																				
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費用合計 (円/年)	178,787,435	10,168,869	3,377,231	925,807	692,065	666,116	666,116	1,376,640	0	2,330,130	0	12,129,349	0	0	0	0	0	0	212,782	0	211,332,540

<収益>

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	6,366,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,366,000
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	6,366,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,366,000

[自治体 D2-4]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	130,734,751	7,625,371	7,740,112	5,203,462	1,751,333	2,163,253	2,163,253	2,163,253	0	6,583,787	0	7,351,979	0	690,903	1,236,069	4,111,235	1,486,306	0	0	73,438	181,078,506
中間処理部門費 (円/年)	299,716,000	1,659,151	361,649	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	301,736,800
最終処分部門費 (円/年)	0	13,871,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,871,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	1,095,724	1,095,724	346,748	346,748	346,748	0	783,650	0	6,220,659	0	0	0	0	0	0	0	0	10,236,000
作業部門費合計 (円/年)	430,450,751	23,155,522	8,101,761	6,299,186	2,847,056	2,510,001	2,510,001	2,510,001	0	7,367,437	0	13,572,637	0	690,903	1,236,069	4,111,235	1,486,306	0	0	73,438	506,922,306
管理部門費 (円/年)	34,320,944	1,846,249	645,974	502,250	227,003	200,129	200,129	200,129	0	587,425	0	1,082,181	0	55,088	98,555	327,799	118,507	0	0	5,855	40,418,217
費用合計 (円/年)	464,771,695	25,001,771	8,747,735	6,801,436	3,074,059	2,710,130	2,710,130	2,710,130	0	7,954,862	0	14,654,818	0	745,991	1,334,624	4,439,035	1,604,813	0	0	79,293	547,340,523
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	17.60	19.40	16.36	32.93	11.08	43.27	43.27	43.27	-	58.26	-	8.20	-	28.79	4.12	2.74	10.32	-	-	8.16	15.41
中間処理部門原価 (円/kg)	25.92	0.76	0.76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.24
最終処分部門原価 (円/kg)	-	7.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.63
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	6.93	6.93	6.93	6.93	6.93	-	6.93	-	6.93	-	-	-	-	-	-	-	-	6.93
<収益>																					
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	22,796,460	1,139,823	1,263,717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,200,000	
直営	人件費 (円/年)	89,556,190	5,313,208	5,373,371	4,020,267	1,353,104	1,791,124	1,791,124	1,791,124	0	5,373,371	0	5,373,371	0	493,385	882,696	2,935,896	1,061,394	0	0	60,163	127,169,790	
	車両に係る物件費 (円/年)	16,762,336	994,479	1,005,740	752,478	253,262	335,247	335,247	335,247	0	1,005,740	0	1,005,740	0	92,347	165,215	549,515	198,662	0	0	11,261	23,802,517	
	施設に係る物件費 (円/年)	1,619,765	177,860	97,283	430,716	144,967	36,883	36,883	36,883	0	204,675	0	972,867	0	105,171	188,158	625,824	226,250	0	0	2,014	4,906,199	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	22,796,460	1,139,823	1,263,717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,200,000
直営収集運搬費 (円/年)	107,938,291	6,485,548	6,476,395	5,203,462	1,751,333	2,163,253	2,163,253	2,163,253	0	6,583,787	0	7,351,979	0	690,903	1,236,069	4,111,235	1,486,306	0	0	73,438	155,878,506		
収集運搬部門費 (円/年)	130,734,751	7,625,371	7,740,112	5,203,462	1,751,333	2,163,253	2,163,253	2,163,253	0	6,583,787	0	7,351,979	0	690,903	1,236,069	4,111,235	1,486,306	0	0	73,438	181,078,506		
委託収集運搬量 (t/年)	2,760	138	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,051	
直営収集運搬量 (t/年)	4669	255	320	158	158	50	50	50	0	113	0	897	0	24	300	1500	144	0	0	9	8,697		
収集運搬量 (t/年)	7,429	393	473	158	158	50	50	50	0	113	0	897	0	24	300	1,500	144	0	0	9	11,748		
委託収集運搬原価 (円/kg)	8.26	8.26	8.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.26	
直営収集運搬原価 (円/kg)	23.12	25.43	20.24	32.93	11.08	43.27	43.27	43.27	-	58.26	-	8.20	-	28.79	4.12	2.74	10.32	-	-	8.16	17.92		
収集運搬原価 (円/kg)	17.60	19.40	16.36	32.93	11.08	43.27	43.27	43.27	-	58.26	-	8.20	-	28.79	4.12	2.74	10.32	-	-	8.16	15.41		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	299,716,000	1,659,151	361,649	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	301,736,800
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	299,716,000	1,659,151	361,649	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	301,736,800
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	299,716,000	1,659,151	361,649	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	301,736,800
委託中間処理量 (t/年)	11,564	2,170	473	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,207
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	11,564	2,170	473	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,207
委託中間処理原価 (円/kg)	25.92	0.76	0.76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.24
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	25.92	0.76	0.76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.24

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	0	13,871,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,871,000
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託最終処分費 (円/年)	0	13,871,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,871,000
	直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最終処分部門費 (円/年)	0	13,871,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,871,000
	委託最終処分量 (t/年)	0	1,817	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,817
	直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量 (t/年)	0	1,817	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,817
	委託最終処分原価 (円/kg)	-	7.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.63
	直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分原価 (円/kg)	-	7.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.63

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	1,095,724	1,095,724	346,748	346,748	346,748	0	783,650	0	6,220,659	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	1,095,724	1,095,724	346,748	346,748	346,748	0	783,650	0	6,220,659	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,236,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	1,095,724	1,095,724	346,748	346,748	346,748	0	783,650	0	6,220,659	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,236,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	158	158	50	50	50	0	113	0	897	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,476
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	158	158	50	50	50	0	113	0	897	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,476
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	6.93	6.93	6.93	6.93	6.93	-	6.93	-	6.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.93
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	6.93	6.93	6.93	6.93	6.93	-	6.93	-	6.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.93
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	34,320,944	1,846,249	645,974	502,250	227,003	200,129	200,129	200,129	0	587,425	0	1,082,181	0	55,088	98,555	327,799	118,507	0	0	0	5,855	40,418,217
物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	34,320,944	1,846,249	645,974	502,250	227,003	200,129	200,129	200,129	0	587,425	0	1,082,181	0	55,088	98,555	327,799	118,507	0	0	0	5,855	40,418,217
費用合計 (円/年)	464,771,695	25,001,771	8,747,735	6,801,436	3,074,059	2,710,130	2,710,130	2,710,130	0	7,954,862	0	14,654,818	0	745,991	1,334,624	4,439,035	1,604,813	0	0	0	79,293	547,340,523

<収益>

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 D2-5]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	6,809,369	5,542,500	345,935	1,120,310	700,973	221,984	221,984	288,580	0	585,333	0	2,791,863	0	0	0	1,179,825	0	0	0	31,343	19,840,000
中間処理部門費 (円/年)	43,501,000	2,409,922	420,078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,331,000
最終処分部門費 (円/年)	0	2,409,132	187,868	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,597,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	83,004	74,704	83,004	83,004	149,407	0	74,704	0	502,174	0	0	0	0	0	0	0	0	1,050,000
作業部門費合計 (円/年)	50,310,369	10,361,554	953,881	1,203,314	775,676	304,988	304,988	437,987	0	660,037	0	3,294,037	0	0	0	1,179,825	0	0	0	31,343	69,818,000
管理部門費 (円/年)	9,947,736	2,048,763	188,608	237,928	153,372	60,305	60,305	86,602	0	130,507	0	651,321	0	0	0	233,284	0	0	0	6,197	13,804,929
費用合計 (円/年)	60,258,106	12,410,317	1,142,489	1,441,242	929,049	365,293	365,293	524,589	0	790,544	0	3,945,358	0	0	0	1,413,109	0	0	0	37,540	83,622,929
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	5.59	12.71	4.55	56.02	38.94	11.10	11.10	11.10	-	32.52	-	23.07	-	-	-	5.73	-	-	-	31.34	9.10
中間処理部門原価 (円/kg)	35.51	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.67
最終処分部門原価 (円/kg)	-	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.53
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	4.15	4.15	4.15	4.15	4.15	-	4.15	-	4.15	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15
<収益>																					
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			(別紙1)			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計		
委託	委託料 (円/年)	6,809,369	5,542,500	345,935	1,120,310	700,973	221,984	221,984	288,580	0	585,333	0	2,791,863	0	0	0	1,179,825	0	0	0	31,343	19,840,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	6,809,369	5,542,500	345,935	1,120,310	700,973	221,984	221,984	288,580	0	585,333	0	2,791,863	0	0	0	1,179,825	0	0	0	31,343	19,840,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	6,809,369	5,542,500	345,935	1,120,310	700,973	221,984	221,984	288,580	0	585,333	0	2,791,863	0	0	0	1,179,825	0	0	0	31,343	19,840,000		
委託収集運搬量 (t/年)	1,218	436	76	20	18	20	20	26	0	18	0	121	0	0	0	206	0	0	0	0	1	2,180	
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	1,218	436	76	20	18	20	20	26	0	18	0	121	0	0	0	206	0	0	0	0	1	2,180	
委託収集運搬原価 (円/kg)	5.59	12.71	4.55	56.02	38.94	11.10	11.10	11.10	-	32.52	-	23.07	-	-	-	5.73	-	-	-	-	31.34	9.10	
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	5.59	12.71	4.55	56.02	38.94	11.10	11.10	11.10	-	32.52	-	23.07	-	-	-	5.73	-	-	-	-	31.34	9.10	

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	43,501,000	2,409,922	420,078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,331,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	43,501,000	2,409,922	420,078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,331,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	43,501,000	2,409,922	420,078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,331,000
委託中間処理量 (t/年)	1,225	436	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,737
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	1,225	436	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,737
委託中間処理原価 (円/kg)	35.51	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.67
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	35.51	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.67

最終処分部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	2,409,132	187,868	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	2,409,132	187,868	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,597,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	2,409,132	187,868	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,597,000
委託最終処分量 (t/年)	0	436	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	470
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	436	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	470
委託最終処分原価 (円/kg)	-	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.53
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	5.53	5.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.53

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	83,004	74,704	83,004	83,004	149,407	0	74,704	0	502,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	83,004	74,704	83,004	83,004	149,407	0	74,704	0	502,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,050,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	83,004	74,704	83,004	83,004	149,407	0	74,704	0	502,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,050,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	20	18	20	20	36	0	18	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	20	18	20	20	36	0	18	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	4.15	4.15	4.15	4.15	4.15	-	4.15	-	4.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	4.15	4.15	4.15	4.15	4.15	-	4.15	-	4.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	8,871,170	1,827,041	168,197	212,179	136,774	53,778	53,778	77,230	0	116,384	0	580,834	0	0	0	208,037	0	0	0	0	5,527	12,310,929
物件費 (円/年)	1,076,566	221,722	20,412	25,749	16,598	6,526	6,526	9,372	0	14,124	0	70,487	0	0	0	25,246	0	0	0	0	671	1,494,000
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	9,947,736	2,048,763	188,608	237,928	153,372	60,305	60,305	86,602	0	130,507	0	651,321	0	0	0	233,284	0	0	0	0	6,197	13,804,929
費用合計 (円/年)	60,258,106	12,410,317	1,142,489	1,441,242	929,049	365,293	365,293	524,589	0	790,544	0	3,945,358	0	0	0	1,413,109	0	0	0	0	37,540	83,622,929

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 D2-6]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	5,114,799	2,021,732	74,247	2,512,701	1,693,937	150,873	150,873	467,706	0	839,852	0	1,935,201	0	0	0	2,024,148	576,327	0	0	42,605	17,605,000
中間処理部門費 (円/年)	45,743,000	801,258	40,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,585,000
最終処分部門費 (円/年)	0	781,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	781,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	60,548	58,713	18,348	18,348	56,878	0	29,357	0	179,809	0	0	0	0	0	0	0	0	422,000
作業部門費合計 (円/年)	50,857,799	3,603,990	114,989	2,573,248	1,752,650	169,221	169,221	524,584	0	869,209	0	2,115,010	0	0	0	2,024,148	576,327	0	0	42,605	65,393,000
管理部門費 (円/年)	555,518	39,366	1,256	28,108	19,144	1,848	1,848	5,730	0	9,494	0	23,102	0	0	0	22,110	6,295	0	0	465	714,286
費用合計 (円/年)	51,413,317	3,643,357	116,245	2,601,356	1,771,794	171,069	171,069	530,314	0	878,703	0	2,138,112	0	0	0	2,046,258	582,622	0	0	43,070	66,107,286
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	4.78	17.28	6.19	76.14	52.94	15.09	15.09	15.09	-	44.20	-	19.75	-	-	-	7.79	22.17	-	-	42.60	10.25
中間処理部門原価 (円/kg)	35.96	3.40	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.65
最終処分部門原価 (円/kg)	-	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	-	1.83	-	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	1.83
<収益> 収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のしりみ		
委託	委託料 (円/年)	5,114,799	2,021,732	74,247	2,512,701	1,693,937	150,873	150,873	467,706	0	839,852	0	1,935,201	0	0	0	2,024,148	576,327	0	0	42,605	17,605,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	5,114,799	2,021,732	74,247	2,512,701	1,693,937	150,873	150,873	467,706	0	839,852	0	1,935,201	0	0	0	2,024,148	576,327	0	0	42,605	17,605,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	5,114,799	2,021,732	74,247	2,512,701	1,693,937	150,873	150,873	467,706	0	839,852	0	1,935,201	0	0	0	2,024,148	576,327	0	0	42,605	17,605,000		
委託収集運搬量 (t/年)	1,069	117	12	33	32	10	10	31	0	19	0	98	0	0	0	260	26	0	0	1	1,718		
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
収集運搬量 (t/年)	1,069	117	12	33	32	10	10	31	0	19	0	98	0	0	0	260	26	0	0	1	1,718		
委託収集運搬原価 (円/kg)	4.78	17.28	6.19	76.14	52.94	15.09	15.09	15.09	-	44.20	-	19.75	-	-	-	7.79	22.17	-	-	42.60	10.25		
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	4.78	17.28	6.19	76.14	52.94	15.09	15.09	15.09	-	44.20	-	19.75	-	-	-	7.79	22.17	-	-	42.60	10.25		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	45,743,000	801,258	40,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,585,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	45,743,000	801,258	40,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,585,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	45,743,000	801,258	40,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,585,000
委託中間処理量 (t/年)	1,272	236	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,520
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	1,272	236	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,520
委託中間処理原価 (円/kg)	35.96	3.40	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.65
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	35.96	3.40	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.65

	最終処分部門																			合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
委託																						
直営																						
委託料 (円/年)	0	781,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	781,000
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	781,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	781,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	781,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	781,000
委託最終処分量 (t/年)	0	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230
委託最終処分原価 (円/kg)	-	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	60,548	58,713	18,348	18,348	56,878	0	29,357	0	179,809	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	60,548	58,713	18,348	18,348	56,878	0	29,357	0	179,809	0	0	0	0	0	0	0	0	0	422,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	60,548	58,713	18,348	18,348	56,878	0	29,357	0	179,809	0	0	0	0	0	0	0	0	0	422,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	33	32	10	10	31	0	16	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	33	32	10	10	31	0	16	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	-	1.83	-	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.83
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	-	1.83	-	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.83
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	555,518	39,366	1,256	28,108	19,144	1,848	1,848	5,730	0	9,494	0	23,102	0	0	0	22,110	6,295	0	0	0	465	714,286
物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	555,518	39,366	1,256	28,108	19,144	1,848	1,848	5,730	0	9,494	0	23,102	0	0	0	22,110	6,295	0	0	0	465	714,286
費用合計 (円/年)	51,413,317	3,643,357	116,245	2,601,356	1,771,794	171,069	171,069	530,314	0	878,703	0	2,138,112	0	0	0	2,046,258	582,622	0	0	0	43,070	66,107,286

<収益>	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 D2-7]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	21,089,614	9,873,703	99,462	4,450,946	3,558,530	440,967	440,967	440,967	0	2,002,518	0	9,671,086	0	0	0	3,799,976	0	0	0	62,262	55,931,000
中間処理部門費 (円/年)	77,506,000	2,480,289	34,711	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,021,000
最終処分部門費 (円/年)	0	2,433,328	34,672	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,468,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	81,608	114,251	40,804	40,804	40,804	0	63,246	0	430,482	0	0	0	0	0	0	0	0	812,000
作業部門費合計 (円/年)	98,595,614	14,787,320	168,845	4,532,554	3,672,781	481,771	481,771	481,771	0	2,065,765	0	10,101,569	0	0	0	3,799,976	0	0	0	62,262	139,232,000
管理部門費 (円/年)	16,874,650	2,530,851	28,898	775,747	628,597	82,455	82,455	82,455	0	353,556	0	1,728,885	0	0	0	650,366	0	0	0	10,656	23,829,571
費用合計 (円/年)	115,470,264	17,318,171	197,743	5,308,301	4,301,378	564,227	564,227	564,227	0	2,419,320	0	11,830,453	0	0	0	4,450,342	0	0	0	72,918	163,061,571
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	11.11	25.25	9.04	111.27	77.36	22.05	22.05	22.05	-	64.60	-	45.83	-	-	-	11.38	-	-	-	62.26	18.50
中間処理部門原価 (円/kg)	33.32	3.16	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.62
最終処分部門原価 (円/kg)	-	3.15	3.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.15
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	2.04	2.04	2.04	2.04	2.04	-	2.04	-	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.04
<収益> 収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	735,000	0	0	0	0	735,000

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	21,089,614	9,873,703	99,462	4,450,946	3,558,530	440,967	440,967	440,967	0	2,002,518	0	9,671,086	0	0	0	3,799,976	0	0	0	62,262	55,931,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	21,089,614	9,873,703	99,462	4,450,946	3,558,530	440,967	440,967	440,967	0	2,002,518	0	9,671,086	0	0	0	3,799,976	0	0	0	0	62,262	55,931,000
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	21,089,614	9,873,703	99,462	4,450,946	3,558,530	440,967	440,967	440,967	0	2,002,518	0	9,671,086	0	0	0	3,799,976	0	0	0	0	62,262	55,931,000	
委託収集運搬量 (t/年)	1,899	391	11	40	46	20	20	20	0	31	0	211	0	0	0	334	0	0	0	0	1	3,024	
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	1,899	391	11	40	46	20	20	20	0	31	0	211	0	0	0	334	0	0	0	0	1	3,024	
委託収集運搬原価 (円/kg)	11.11	25.25	9.04	111.27	77.36	22.05	22.05	22.05	-	64.60	-	45.83	-	-	-	11.38	-	-	-	-	62.26	18.50	
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	11.11	25.25	9.04	111.27	77.36	22.05	22.05	22.05	-	64.60	-	45.83	-	-	-	11.38	-	-	-	-	62.26	18.50	

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	77,506,000	2,480,289	34,711	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,021,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	77,506,000	2,480,289	34,711	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,021,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	77,506,000	2,480,289	34,711	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,021,000
委託中間処理量 (t/年)	2,326	786	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,123
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	2,326	786	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,123
委託中間処理原価 (円/kg)	33.32	3.16	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.62
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	33.32	3.16	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.62

(別紙3)

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	2,433,328	34,672	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,468,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	2,433,328	34,672	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,468,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	2,433,328	34,672	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,468,000
委託最終処分量 (t/年)	0	772	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	783
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	772	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	783
委託最終処分原価 (円/kg)	-	3.15	3.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.15
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	3.15	3.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.15

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	81,608	114,251	40,804	40,804	40,804	0	63,246	0	430,482	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	81,608	114,251	40,804	40,804	40,804	0	63,246	0	430,482	0	0	0	0	0	0	0	0	0	812,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	81,608	114,251	40,804	40,804	40,804	0	63,246	0	430,482	0	0	0	0	0	0	0	0	0	812,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	40	56	20	20	20	0	31	0	211	0	0	0	0	0	0	0	0	0	398
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	40	56	20	20	20	0	31	0	211	0	0	0	0	0	0	0	0	0	398
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	2.04	2.04	2.04	2.04	2.04	-	2.04	-	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.04
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	2.04	2.04	2.04	2.04	2.04	-	2.04	-	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.04
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	15,327,366	2,298,791	26,248	704,617	570,959	74,895	74,895	74,895	0	321,137	0	1,570,358	0	0	0	590,732	0	0	0	0	9,679	21,644,571
物件費 (円/年)	1,547,284	232,061	2,650	71,130	57,638	7,561	7,561	7,561	0	32,419	0	158,526	0	0	0	59,634	0	0	0	0	977	2,185,000
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	16,874,650	2,530,851	28,898	775,747	628,597	82,455	82,455	82,455	0	353,556	0	1,728,885	0	0	0	650,366	0	0	0	0	10,656	23,829,571
費用合計 (円/年)	115,470,264	17,318,171	197,743	5,308,301	4,301,378	564,227	564,227	564,227	0	2,419,320	0	11,830,453	0	0	0	4,450,342	0	0	0	0	72,918	163,061,571

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	735,000	0	0	0	0	735,000
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	735,000	0	0	0	0	735,000

[自治体 D2-8]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	24,699,358	6,570,367	1,697,975	2,265,809	1,575,229	997,688	997,688	997,688	0	1,899,970	0	10,266,360	0	0	0	0	0	0	0	140,868	52,109,000
中間処理部門費 (円/年)	42,427,000	1,567,078	277,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,272,000
最終処分部門費 (円/年)	0	1,362,204	277,796	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,640,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	28,406	28,406	63,125	63,125	69,438	0	41,031	0	312,469	0	0	0	0	0	0	0	0	606,000
作業部門費合計 (円/年)	67,126,358	9,499,649	2,253,692	2,294,215	1,603,636	1,060,813	1,060,813	1,067,126	0	1,941,001	0	10,578,828	0	0	0	0	0	0	0	140,868	98,627,000
管理部門費 (円/年)	486,149	68,799	16,322	16,615	11,614	7,683	7,683	7,728	0	14,057	0	76,615	0	0	0	0	0	0	0	1,020	714,286
費用合計 (円/年)	67,612,507	9,568,448	2,270,014	2,310,831	1,615,250	1,068,496	1,068,496	1,074,854	0	1,955,058	0	10,655,443	0	0	0	0	0	0	0	141,888	99,341,286
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	25.13	57.13	20.46	251.76	175.03	49.88	49.88	49.88	-	146.15	-	103.70	-	-	-	-	-	-	-	140.87	37.98
中間処理部門原価 (円/kg)	28.53	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.72
最終処分部門原価 (円/kg)	-	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.35
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16	-	3.16	-	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	3.16
<収益> 収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	24,699,358	6,570,367	1,697,975	2,265,809	1,575,229	997,688	997,688	997,688	0	1,899,970	0	10,266,360	0	0	0	0	0	0	0	140,868	52,109,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	24,699,358	6,570,367	1,697,975	2,265,809	1,575,229	997,688	997,688	997,688	0	1,899,970	0	10,266,360	0	0	0	0	0	0	0	0	140,868	52,109,000
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	24,699,358	6,570,367	1,697,975	2,265,809	1,575,229	997,688	997,688	997,688	0	1,899,970	0	10,266,360	0	0	0	0	0	0	0	0	140,868	52,109,000	
委託収集運搬量 (t/年)	983	115	83	9	9	20	20	20	0	13	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,372	
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	983	115	83	9	9	20	20	20	0	13	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,372	
委託収集運搬原価 (円/kg)	25.13	57.13	20.46	251.76	175.03	49.88	49.88	49.88	-	146.15	-	103.70	-	-	-	-	-	-	-	-	140.87	37.98	
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	25.13	57.13	20.46	251.76	175.03	49.88	49.88	49.88	-	146.15	-	103.70	-	-	-	-	-	-	-	-	140.87	37.98	

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	42,427,000	1,567,078	277,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,272,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	42,427,000	1,567,078	277,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,272,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	42,427,000	1,567,078	277,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,272,000
委託中間処理量 (t/年)	1,487	468	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,038
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	1,487	468	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,038
委託中間処理原価 (円/kg)	28.53	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.72
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	28.53	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.72

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	1,362,204	277,796	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,640,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	1,362,204	277,796	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,640,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	1,362,204	277,796	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,640,000
委託最終処分量 (t/年)	0	407	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	490
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	407	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	490
委託最終処分原価 (円/kg)	-	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.35
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	3.35	3.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.35

再資源化部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
	委託料 (円/年)	0	0	0	28,406	28,406	63,125	63,125	69,438	0	41,031	0	312,469	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	28,406	28,406	63,125	63,125	69,438	0	41,031	0	312,469	0	0	0	0	0	0	0	0	0	606,000
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	28,406	28,406	63,125	63,125	69,438	0	41,031	0	312,469	0	0	0	0	0	0	0	0	0	606,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	9	9	20	20	22	0	13	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	9	9	20	20	22	0	13	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16	-	3.16	-	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.16
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16	-	3.16	-	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.16
管理部門	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)	486,149	68,799	16,322	16,615	11,614	7,683	7,683	7,728	0	14,057	0	76,615	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020	714,286
物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)	486,149	68,799	16,322	16,615	11,614	7,683	7,683	7,728	0	14,057	0	76,615	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020	714,286
費用合計 (円/年)	67,612,507	9,568,448	2,270,014	2,310,831	1,615,250	1,068,496	1,068,496	1,074,854	0	1,955,058	0	10,655,443	0	0	0	0	0	0	0	0	141,888	99,341,286

<収益>

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 D2-9]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用> 収集運搬部門費 (円/年)	3,599,565	269,830	279,114	0	0	130,885	130,885	209,416	0	345,121	0	2,122,273	0	0	0	823,963	249,987	0	0	36,961	8,198,000
中間処理部門費 (円/年)	20,732,000	196,971	569,029	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,498,000
最終処分部門費 (円/年)	0	195,750	152,250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348,000
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	103,415	103,415	165,463	0	93,073	0	806,634	0	0	0	0	0	0	0	0	1,272,000
作業部門費合計 (円/年)	24,331,565	662,551	1,000,393	0	0	234,300	234,300	374,880	0	438,194	0	2,928,907	0	0	0	823,963	249,987	0	0	36,961	31,316,000
管理部門費 (円/年)	4,327,940	117,850	177,943	0	0	41,676	41,676	66,681	0	77,943	0	520,975	0	0	0	146,561	44,466	0	0	6,574	5,570,286
費用合計 (円/年)	28,659,505	780,401	1,178,336	0	0	275,975	275,975	441,561	0	516,137	0	3,449,882	0	0	0	970,525	294,453	0	0	43,535	36,886,286
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg)	6.59	14.99	5.37	-	-	13.09	13.09	13.09	-	38.35	-	27.21	-	-	-	6.75	19.23	-	-	36.96	9.37
中間処理部門原価 (円/kg)	36.82	10.94	10.94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.96
最終処分部門原価 (円/kg)	-	10.88	10.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.88
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	10.34	10.34	10.34	-	10.34	-	10.34	-	-	-	-	-	-	-	-	10.34
<収益> 収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

原価計算書 別紙

(別紙1)

<費用>	収集運搬部門																			合計			
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ		
委託	委託料 (円/年)	3,599,565	269,830	279,114	0	0	130,885	130,885	209,416	0	345,121	0	2,122,273	0	0	0	823,963	249,987	0	0	36,961	8,198,000	
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	3,599,565	269,830	279,114	0	0	130,885	130,885	209,416	0	345,121	0	2,122,273	0	0	0	823,963	249,987	0	0	36,961	8,198,000	
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬部門費 (円/年)	3,599,565	269,830	279,114	0	0	130,885	130,885	209,416	0	345,121	0	2,122,273	0	0	0	823,963	249,987	0	0	36,961	8,198,000		
委託収集運搬量 (t/年)	546	18	52	0	0	10	10	16	0	9	0	78	0	0	0	122	13	0	0	1	875		
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収集運搬量 (t/年)	546	18	52	0	0	10	10	16	0	9	0	78	0	0	0	122	13	0	0	1	875		
委託収集運搬原価 (円/kg)	6.59	14.99	5.37	-	-	13.09	13.09	13.09	-	38.35	-	27.21	-	-	-	6.75	19.23	-	-	36.96	9.37		
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
収集運搬原価 (円/kg)	6.59	14.99	5.37	-	-	13.09	13.09	13.09	-	38.35	-	27.21	-	-	-	6.75	19.23	-	-	36.96	9.37		

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	20,732,000	196,971	569,029	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,498,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託中間処理費 (円/年)	20,732,000	196,971	569,029	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,498,000
直営中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理部門費 (円/年)	20,732,000	196,971	569,029	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,498,000
委託中間処理量 (t/年)	563	18	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	633
直営中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理量 (t/年)	563	18	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	633
委託中間処理原価 (円/kg)	36.82	10.94	10.94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.96
直営中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間処理原価 (円/kg)	36.82	10.94	10.94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.96

最終処分部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託 直営	委託料 (円/年)	0	195,750	152,250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託最終処分費 (円/年)	0	195,750	152,250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348,000
直営最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分部門費 (円/年)	0	195,750	152,250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348,000
委託最終処分量 (t/年)	0	18	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
直営最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量 (t/年)	0	18	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
委託最終処分原価 (円/kg)	-	10.88	10.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.88
直営最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最終処分原価 (円/kg)	-	10.88	10.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.88

再資源化部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託 直営	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	103,415	103,415	165,463	0	93,073	0	806,634	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,272,000
	人件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	103,415	103,415	165,463	0	93,073	0	806,634	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	103,415	103,415	165,463	0	93,073	0	806,634	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,272,000
委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	10	10	16	0	9	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123
直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	10	10	16	0	9	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123
委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	10.34	10.34	10.34	-	10.34	-	10.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.34
直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	10.34	10.34	10.34	-	10.34	-	10.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.34
管理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
人件費 (円/年)		4,281,322	116,581	176,027	0	0	41,227	41,227	65,963	0	77,104	0	515,363	0	0	0	144,983	43,987	0	0	0	6,503	5,510,286
物件費 (円/年)		46,618	1,269	1,917	0	0	449	449	718	0	840	0	5,612	0	0	0	1,579	479	0	0	0	71	60,000
経費 (円/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理部門費合計 (円/年)		4,327,940	117,850	177,943	0	0	41,676	41,676	66,681	0	77,943	0	520,975	0	0	0	146,561	44,466	0	0	0	6,574	5,570,286
費用合計 (円/年)		28,659,505	780,401	1,178,336	0	0	275,975	275,975	441,561	0	516,137	0	3,449,882	0	0	0	970,525	294,453	0	0	0	43,535	36,886,286

<収益>																				合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[自治体 E]
原価計算書

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
<費用>																					
収集運搬部門費 (円/年)	65,772,567	7,308,063	0	6,985,782	11,496,526	7,573,602	6,562,738	1,957,694	0	4,338,409	0	5,206,091	12,251,350	0	0	12,499,858	0	0	190,408	229,557	142,372,645
中間処理部門費 (円/年)	171,488,421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171,488,421
最終処分部門費 (円/年)	24,395,528	22,315,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,711,289
再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	38,429,976	21,115,371	257,620	223,014	65,366	0	5,103,022	0	12,822,978	0	0	0	0	0	0	273,000	0	78,290,347
作業部門費合計 (円/年)	261,656,516	29,623,823	0	45,415,758	32,611,898	7,831,222	6,785,753	2,023,060	0	9,441,431	0	18,029,069	12,251,350	0	0	12,499,858	0	0	463,408	229,557	438,862,702
管理部門費 (円/年)	45,908,455	5,236,470	0	4,856,045	3,487,002	837,347	725,561	216,314	0	1,009,518	0	1,927,744	1,309,966	0	0	1,336,538	0	0	49,550	1,046,564	67,947,074
費用合計 (円/年)	307,564,972	34,860,293	0	50,271,802	36,098,900	8,668,569	7,511,314	2,239,374	0	10,450,949	0	19,956,813	13,561,316	0	0	13,836,395	0	0	512,958	1,276,121	506,809,776
<原価>																					
収集運搬部門原価 (円/kg)	14.48	9.67	-	410.93	328.47	56.52	56.58	57.58	-	100.89	-	25.52	260.67	-	-	76.22	-	-	-	13.50	23.30
中間処理部門原価 (円/kg)	16.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.03
最終処分部門原価 (円/kg)	15.18	15.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.18
再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	960.75	163.69	1.92	1.92	1.92	-	42.17	-	32.06	0.00	-	-	0.00	-	-	1.92	-	59.00
<収益>																					
収益合計 (円/年)	76,952,239	8,828,892	0	9,172,344	4,397,614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,979	0	0	2,238,312	0	101,635,380

原価計算書 別紙

<費用>																				(別紙1)			
		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容包	紙容包	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計	
委託	委託料 (円/年)	65,772,567	7,308,063	0	0	0	0	0	0	0	4,338,409	0	5,206,091	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,625,130
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	6,517,451	11,179,105	7,281,596	6,303,472	1,847,569	0	0	0	0	11,426,131	0	0	12,084,563	0	0	0	177,624	56,817,511	
	車両に係る物件費 (円/年)	0	0	0	300,331	316,209	260,006	227,267	78,125	0	0	0	0	796,648	0	0	415,294	0	0	159,621	51,932	2,605,433	
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・施設以外に係るのうち、特定の廃棄物に係る物件費(円/年)	0	0	0	168,000	1,213	32,000	32,000	32,000	0	0	0	0	28,571	0	0	0	0	0	30,787	0	324,571	
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託収集運搬費 (円/年)	65,772,567	7,308,063	0	0	0	0	0	0	0	4,338,409	0	5,206,091	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,625,130
直営収集運搬費 (円/年)	0	0	0	6,985,782	11,496,526	7,573,602	6,562,738	1,957,694	0	0	0	0	12,251,350	0	0	12,499,858	0	0	190,408	229,557	59,747,515		
収集運搬部門費 (円/年)	65,772,567	7,308,063	0	6,985,782	11,496,526	7,573,602	6,562,738	1,957,694	0	4,338,409	0	5,206,091	12,251,350	0	0	12,499,858	0	0	190,408	229,557	142,372,645		
委託収集運搬量 (t/年)	4,543	756	0	0	0	0	0	0	0	43	0	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,546	
直営収集運搬量 (t/年)	0	0	0	17	35	134	116	34	0	0	0	0	47	0	0	164	0	0	0	0	17	564	
収集運搬量 (t/年)	4,543	756	0	17	35	134	116	34	0	43	0	204	47	0	0	164	0	0	0	0	17	6,110	
委託収集運搬原価 (円/kg)	14.48	9.67	-	-	-	-	-	-	-	100.89	-	25.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.90	
直営収集運搬原価 (円/kg)	-	-	-	410.93	328.47	56.52	56.58	57.58	-	-	-	-	260.67	-	-	76.22	-	-	-	-	13.50	105.94	
収集運搬原価 (円/kg)	14.48	9.67	-	410.93	328.47	56.52	56.58	57.58	-	100.89	-	25.52	260.67	-	-	76.22	-	-	-	-	13.50	23.30	

中間処理部門		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ	その他のごみ	合計
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営	人件費 (円/年)	31,544,480	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,544,480
	施設に係る物件費 (円/年)	132,165,656	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132,165,656
	その他共通の物件費 (円/年)	7,624,808	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,624,808
	経費 (円/年)	153,477	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153,477
	委託中間処理費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理費 (円/年)	171,488,421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171,488,421
	中間処理部門費 (円/年)	171,488,421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171,488,421
	委託中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直営中間処理量 (t/年)	10,699	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,699
	中間処理量 (t/年)	10,699	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,699
	委託中間処理原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	直営中間処理原価 (円/kg)	16.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.03
	中間処理原価 (円/kg)	16.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.03

	最終処分部門																			合計	
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラ容器	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営	人件費 (円/年)	12,186,195	11,147,297	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,333,492
	施設に係る物件費 (円/年)	10,315,671	9,436,239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,751,910
	その他共通の物件費 (円/年)	1,706,634	1,561,140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,267,775
	経費 (円/年)	187,028	171,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	358,112
	委託最終処分費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分費 (円/年)	24,395,528	22,315,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,711,289
最終処分部門費 (円/年)	24,395,528	22,315,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,711,289
委託最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直営最終処分量 (t/年)	1,607	1,470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,077
最終処分量 (t/年)	1,607	1,470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,077
委託最終処分原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
直営最終処分原価 (円/kg)	15.18	15.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.18
最終処分原価 (円/kg)	15.18	15.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.18

	再資源化部門																			合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
委託	委託料 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	5,103,022	0	12,822,978	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,926,000
直営	人件費 (円/年)	0	0	0	36,669,457	20,148,054	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,817,511
	施設に係る物件費 (円/年)	0	0	0	1,760,518	967,318	257,620	223,014	65,366	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273,000	0	3,546,836
	その他共通の物件費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託再資源化費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	5,103,022	0	12,822,978	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,926,000
	直営再資源化費 (円/年)	0	0	0	38,429,976	21,115,371	257,620	223,014	65,366	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273,000	0	60,364,347
	再資源化部門費 (円/年)	0	0	0	38,429,976	21,115,371	257,620	223,014	65,366	0	5,103,022	0	12,822,978	0	0	0	0	0	0	273,000	0	78,290,347
	委託再資源化量 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	196	0	0	0	0	0	0	0	0	0	274
	直営再資源化量 (t/年)	0	0	0	40	129	134	116	34	0	43	0	204	47	0	0	164	0	0	142	0	1,053
	再資源化量 (t/年)	0	0	0	40	129	134	116	34	0	121	0	400	47	0	0	164	0	0	142	0	1,327
	委託再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	65.42	-	65.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65.42
	直営再資源化原価 (円/kg)	-	-	-	960.75	163.69	1.92	1.92	1.92	0.00	-	0.00	0.00	-	-	0.00	-	-	1.92	-	-	57.33
	再資源化部門原価 (円/kg)	-	-	-	960.75	163.69	1.92	1.92	1.92	42.17	-	32.06	0.00	-	-	0.00	-	-	1.92	-	-	59.00
	管理部門																			合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙バック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
	人件費 (円/年)	27,977,421	3,167,504	0	4,856,045	3,487,002	837,347	725,561	216,314	0	1,009,518	0	1,927,744	1,309,966	0	0	1,336,538	0	0	49,550	24,545	46,925,055
	物件費 (円/年)	17,931,034	2,068,966	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,022,019	21,022,019
	経費 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理部門費合計 (円/年)	45,908,455	5,236,470	0	4,856,045	3,487,002	837,347	725,561	216,314	0	1,009,518	0	1,927,744	1,309,966	0	0	1,336,538	0	0	49,550	1,046,564	67,947,074
	費用合計 (円/年)	307,564,972	34,860,293	0	50,271,802	36,098,900	8,668,569	7,511,314	2,239,374	0	10,450,949	0	19,956,813	13,561,316	0	0	13,836,395	0	0	512,958	1,276,121	506,809,776

<収益>																				合計		
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック	紙容器	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源ごみ		その他のごみ	
指定袋やシール等の販売収入 (円/年)	53,793,103	6,206,897	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000,000
家庭系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業系直接搬入ごみの手数料収入 (円/年)	23,159,136	2,621,995	0	4,019,734	2,886,469	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,016	0	32,728,350
近隣市区町村からの作業委託収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資源売却収入 (円/年)	0	0	0	5152610	1511145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45979	0	0	0	2197296	0	8,907,030
売電収入 (円/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計 (円/年)	76,952,239	8,828,892	0	9,172,344	4,397,614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,979	0	0	0	2,238,312	0	101,635,380

試行結果の解析

試行結果について、全 19 自治体のうち以下の自治体を抽出し、その解析を行った。なお、解析対象の抽出にあたっては 1.3(1)の廃棄物処理システムを参照し、特に最近合併が行われた自治体 B,D については、合併前の旧市町村間の廃棄物処理システムの差異が大きいと判断されるものを選定した。

- ・ 自治体 A
- ・ 自治体 B-1
- ・ 自治体 B-2
- ・ 自治体 C
- ・ 自治体 D1
- ・ 自治体 D2-1
- ・ 自治体 D2-3
- ・ 自治体 D2-4
- ・ 自治体 E

表 1 - 2 解析の対象とした自治体における廃棄物処理システムの概要

自治体名	廃棄物処理システムの概要
自治体 A	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、可燃ごみが直営。 最終処分は、不燃ごみが民間委託と直営の併用。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
自治体 B1	収集運搬は、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、不燃ごみが直営。 資源化は、その他資源が民間委託と直営の併用である以外はすべて直営。
自治体 B2	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトルは民間委託、プラスチック製容器包装、紙パック、段ボール、古紙、古布、その他のごみは直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、不燃ごみが直営。 資源化は、紙パック、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外は一部事務組合への委託。
自治体 C	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、その他資源は民間委託と直営の併用、それ以外はすべて民間委託。 中間処理は、すべて直営。 最終処分は、不燃ごみが一部事務組合と直営の併用、粗大ごみは直営。 資源化は、すべて直営。
自治体 D1	収集運搬は、ペットボトル、紙パック、段ボール、古紙、古布は民間委託、それ以外は直営。 中間処理は、可燃ごみが直営、不燃ごみ、粗大ごみが一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、可燃ごみは民間委託、それ以外はすべて一部事務組合への委託。

自治体名	廃棄物処理システムの概要
自治体 D2-1	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
自治体 D2-3	収集運搬は、すべて民間委託。 中間処理は、可燃ごみが直営、不燃ごみ、粗大ごみが一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、可燃ごみが民間委託である以外はすべて一部事務組合に委託。
自治体 D2-4	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみについて民間委託と直営の併用。 その他はすべて直営。 中間処理は、すべて一部事務組合への委託。 最終処分は、すべて一部事務組合への委託。 資源化は、すべて一部事務組合への委託。
自治体 E	収集運搬は、可燃ごみ、不燃ごみ、ペットボトル、プラスチック製容器包装は民間委託、それ以外は直営。 中間処理は、すべて直営。 最終処分は、すべて直営。 資源化は、ペットボトル、プラスチック製容器包装は一部事務組合への委託、それ以外はすべて直営。

[自治体 A]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 A における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで古紙という順になっている。

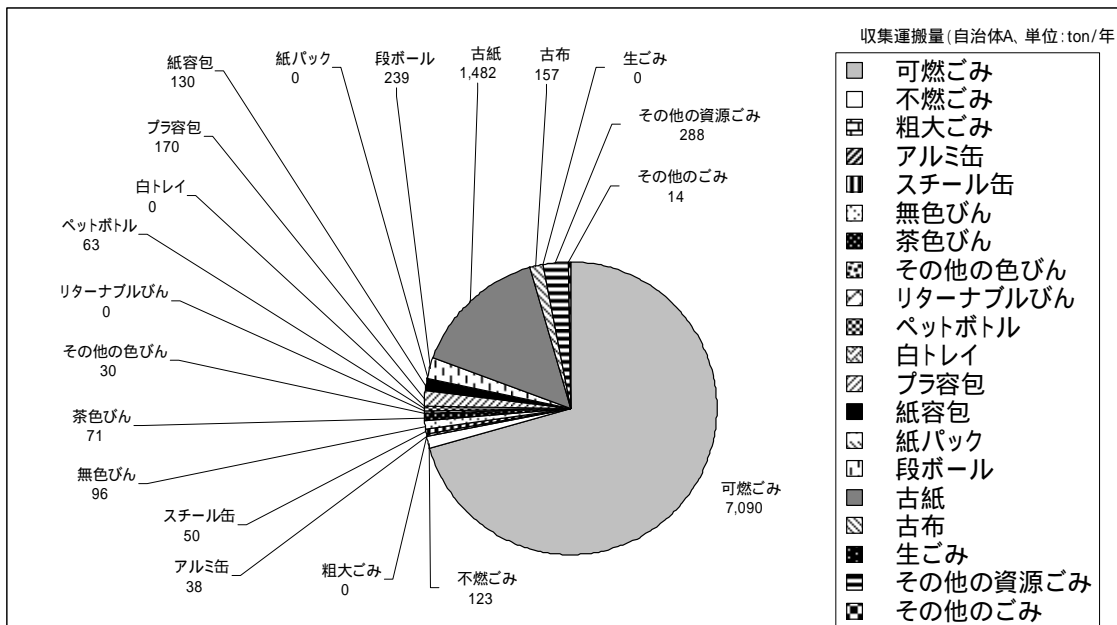


図 1 - 1 自治体 A の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く (71.6%)、次いで 不燃ごみ (6.6%)、その他の資源ごみ (6.6%)、プラスチック容器包装 (5.8%) の順となっている。

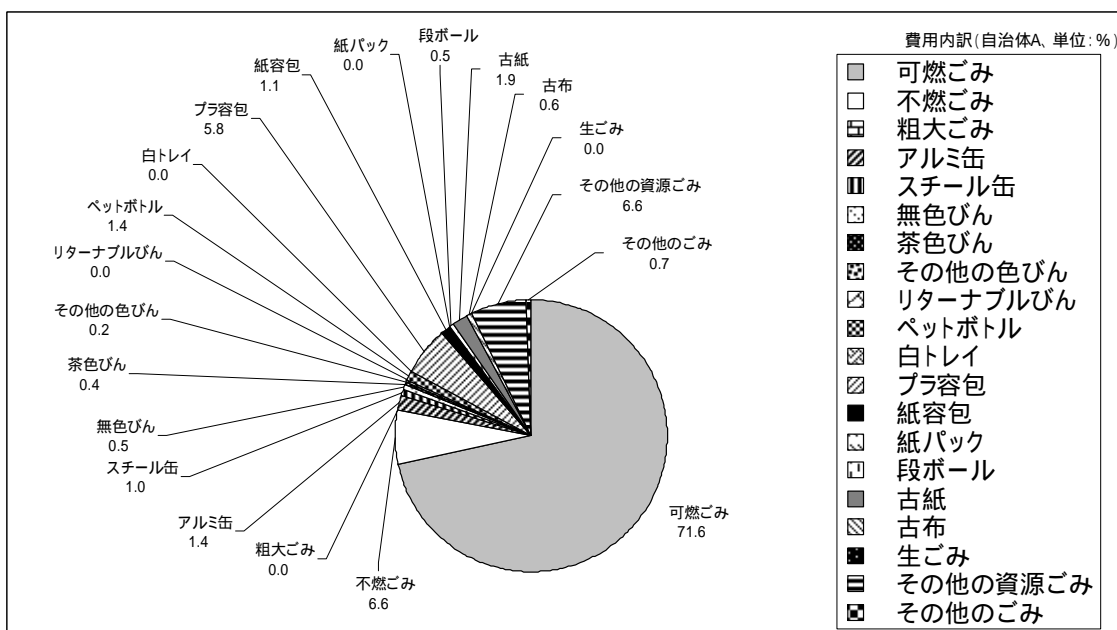


図 1 - 2 自治体 A における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く（67.6%）、次いで古紙（12.8%）、アルミ缶（11.3%）の順となっている。

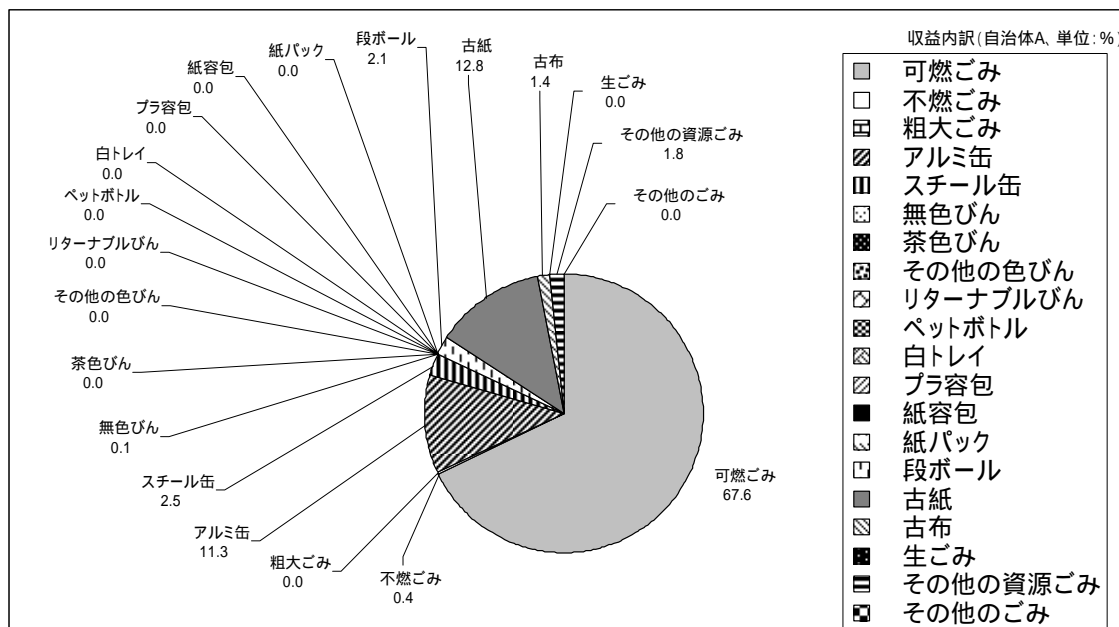


図 1 - 3 自治体 A における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、以下のように廃棄物区分ごとにいくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで直営収集運搬費が大きい割合を占める。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、直営中間処理費の割合が最も大きく、残りの大半を直営収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が最も大きく、残りの大半を直営収集運搬費と委託最終処分費が占める。

アルミ缶、 スチール缶、 ペットボトル、 プラスチック製容器包装については、直営収集運搬費と直営再資源化費の割合がほぼ同等という傾向である。

無色びん、 茶色びん、 その他の色びん、 紙製容器包装については、その大半を直営収集運搬費が占める形となっている。

段ボール、 古紙、 古布については、その大半を委託収集運搬費が占める形となっている。

その他の資源ごみについては、直営収集運搬費と委託再資源化費の占める割合が大きい。

その他のごみについては、直営収集運搬費、直営再資源化費、管理部門費の順に割合が大きい。

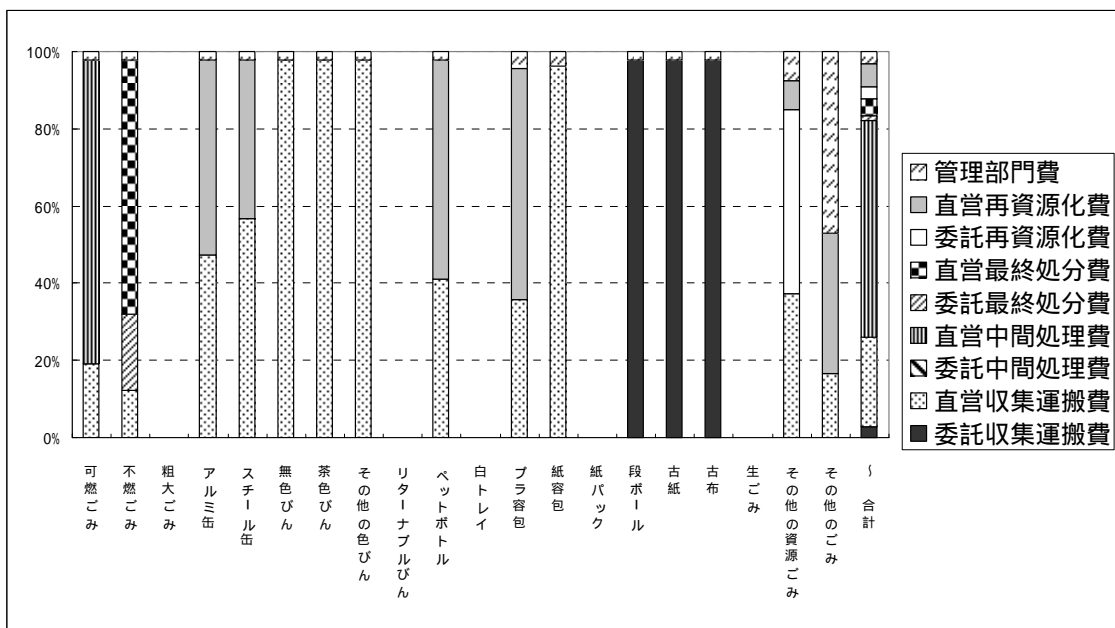


図 1 - 4 自治体 A における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営再資源化費、直営最終処分費の原価が他と比較して大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、プラスチック製容器包装、その他の資源ごみ、アルミ缶、不燃ごみの順である。

可燃ごみについては、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、その残りを直営収集運搬費が占める

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が大きく、その他、直営収集運搬費、委託最終処分費で構成されている。

アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費と直営再資源化で作業部門費用原価が構成されている。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、紙製容器包装については、直営収集運搬費が作業部門費用原価となっている。

段ボールについては、委託収集運搬費と直営中間処理費で作業部門費用原価が構成されている。

古紙、古布については、委託収集運搬費が作業部門費用原価となっている。

その他の資源ごみについては、直営収集運搬費、委託再資源化費、直営再資源化費で作業部門費用原価が構成されている。

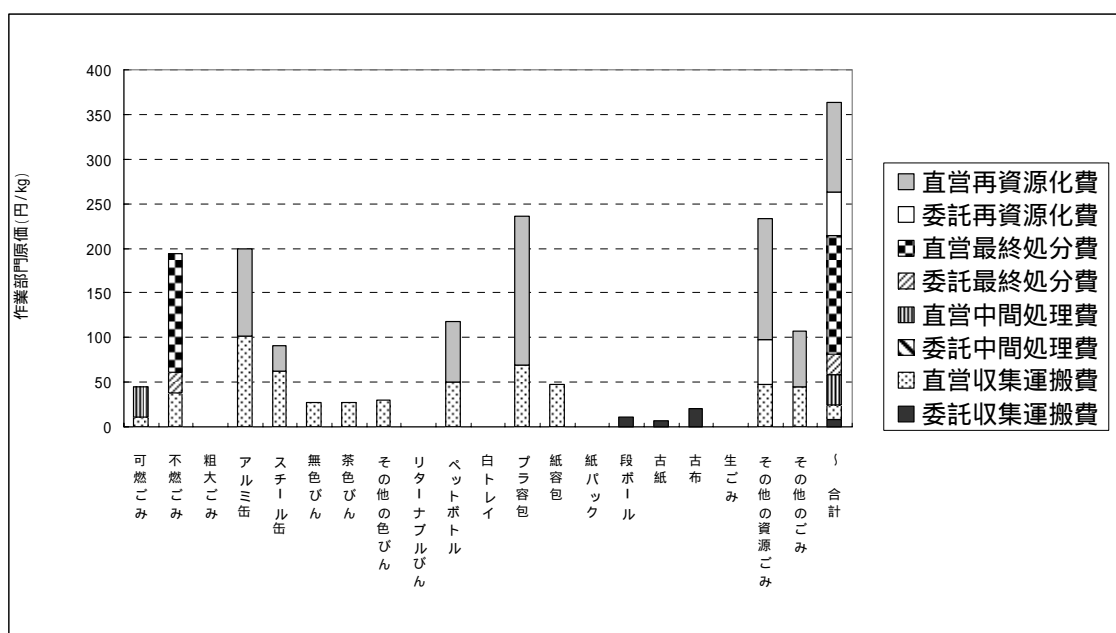


図1-5 自治体Aにおける廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 B-1]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 B-1 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで 古紙、 不燃ごみという順になっている。

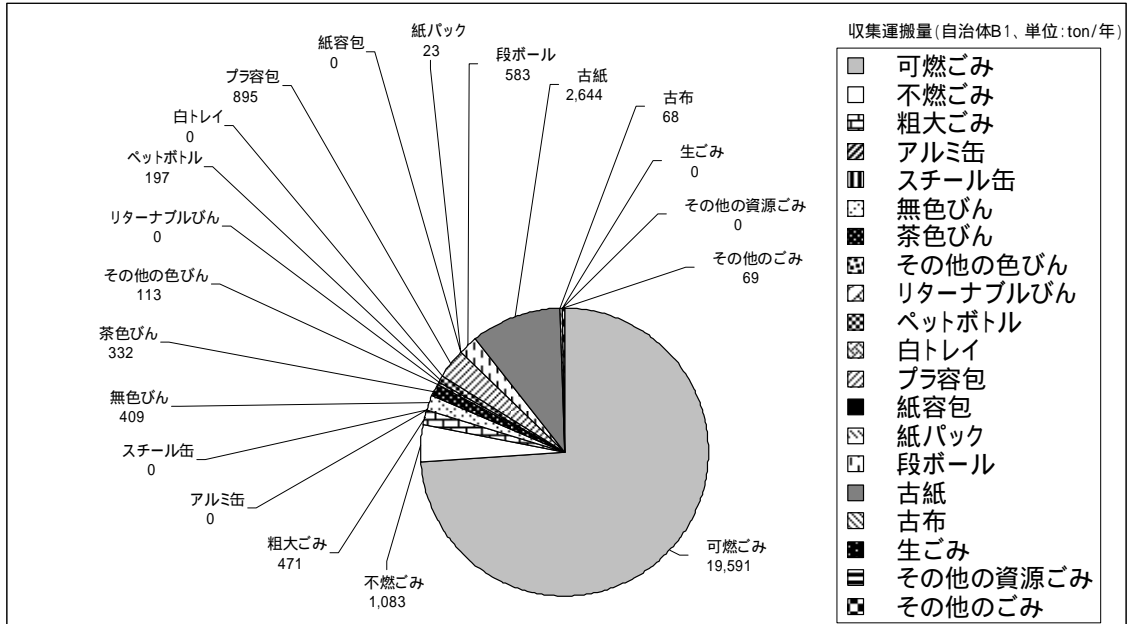


図 1 - 6 自治体 B-1 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く (70.9%)、次いで 不燃ごみ (9.9%)、プラスチック製容器包装 (5.2%) の順となっている。

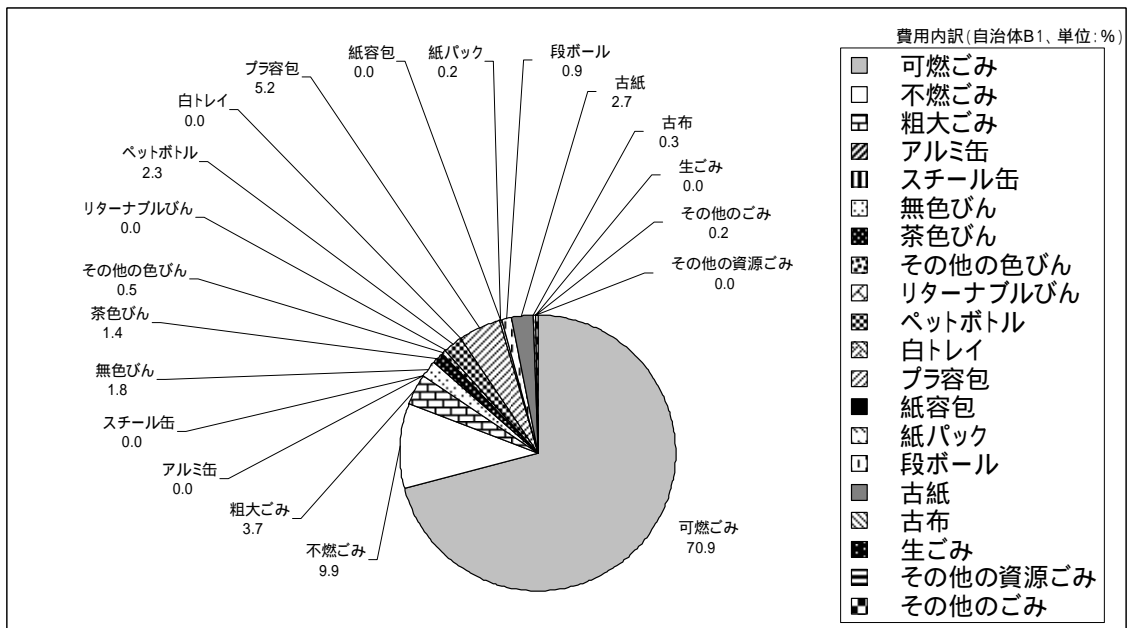


図 1 - 7 自治体 B-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く(77.1%)、次いで古紙(17.1%)、段ボール(4.7%)の順となっている。

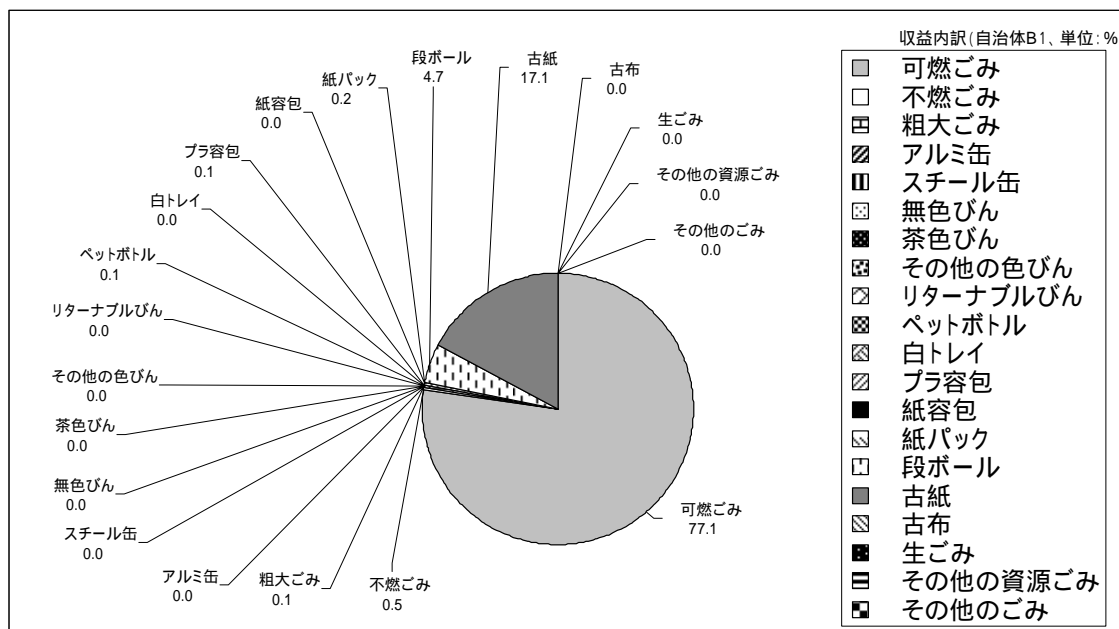


図1 - 8 自治体B-1における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとによりいくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営収集運搬費の占める割合が最も大きく、次いで委託中間処理費が大きい割合を占める。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみ、粗大ごみについては、直営収集運搬費と委託中間処理費の割合がほぼ同等で費用の大半を占める。

不燃ごみについては、直営収集運搬費の割合が最も大きく、残りを委託中間処理費、直営最終処分費と管理部門費が占める。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費の割合が最も大きく、残りを委託再資源化費と管理部門費が占める。

紙パック、段ボール、古紙、古布については、その大半を委託収集運搬費が占める。

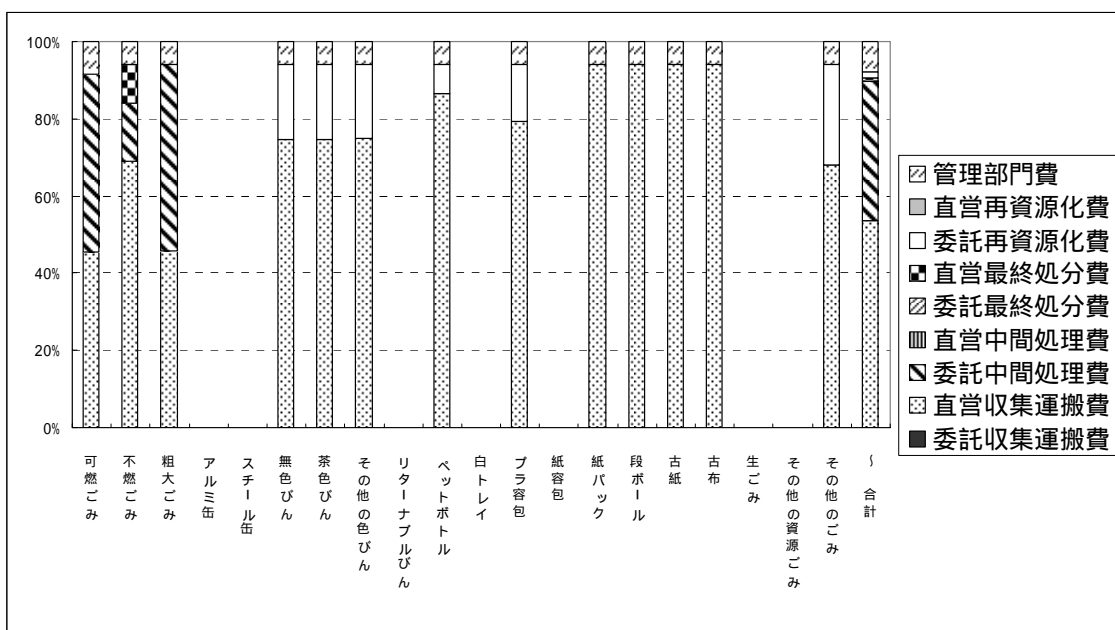


図1-9 自治体 B-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営収集運搬費、直営最終処分費、委託中間処理費、委託再資源化費の順番に原価が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、ペットボトル、紙パック、不燃ごみの順である。

可燃ごみ、粗大ごみについては、直営収集運搬費の割合が大きく、残りを委託中間処理費が占める。

不燃ごみについては、直営収集運搬費の割合が大きく、残りを委託中間処理費、直営最終処分費が占める。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費が大半を占め、その残りを委託再資源化費が占める。

紙パック、段ボール、古紙、古布については、直営収集運搬費が作業部門費用原価となっている。

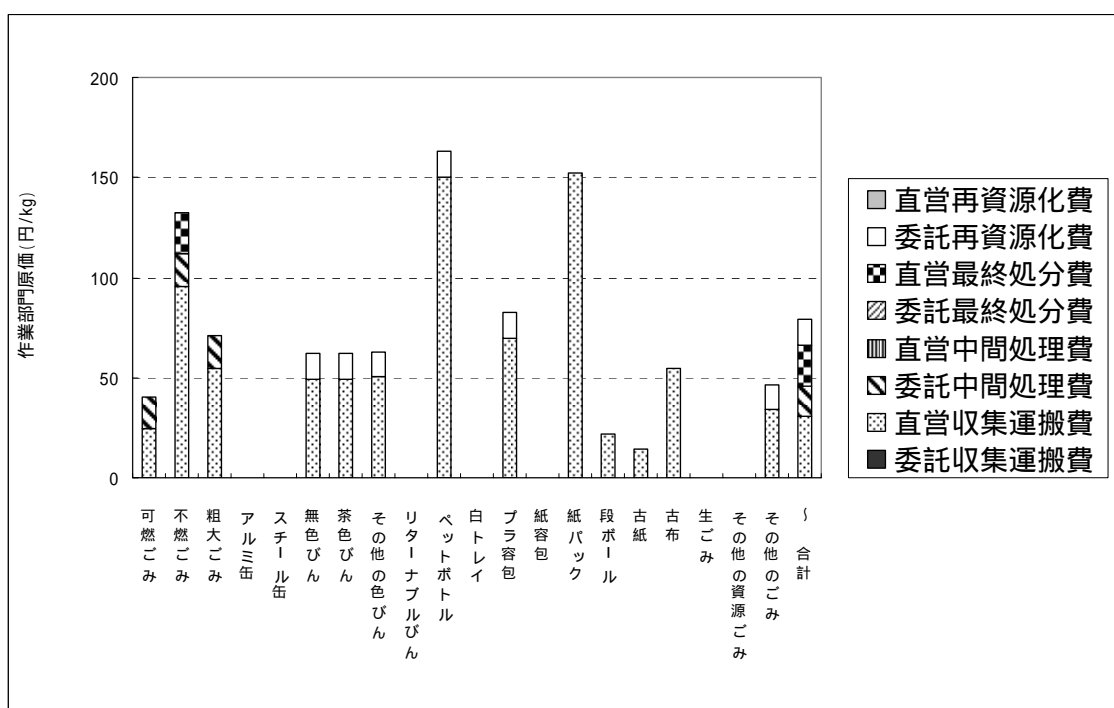


図 1 - 10 自治体 B-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 B-2]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 B-2 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで 古紙、 不燃ごみ、 段ボールという順になっている。

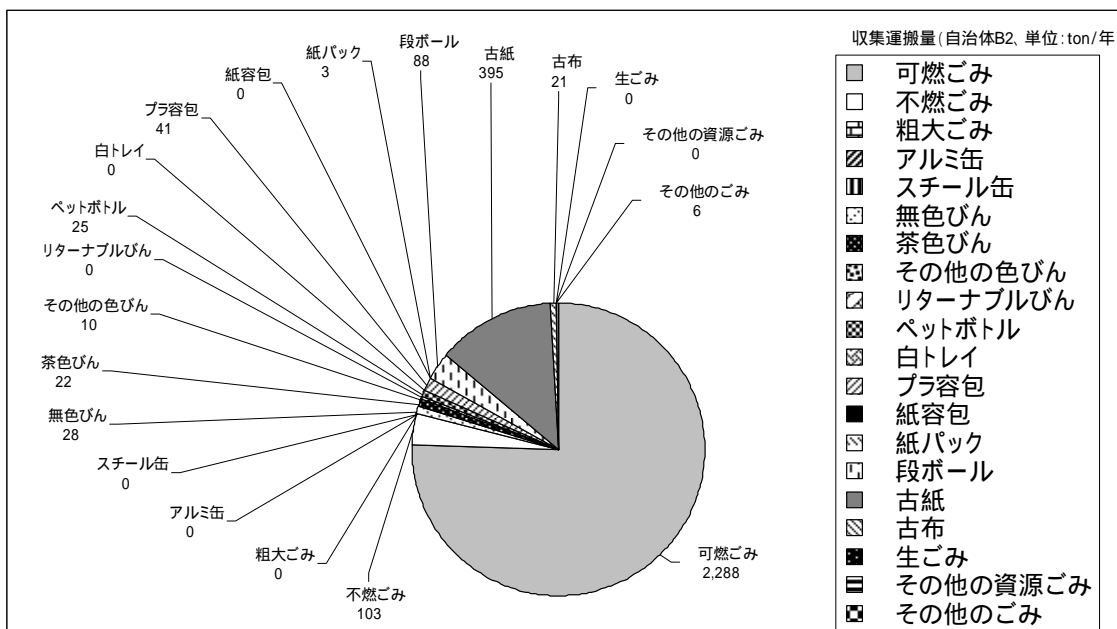


図 1 - 1 1 自治体 B-2 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く (73.8%)、次いで 不燃ごみ (10.0%)、プラスチック製容器包装 (5.5%) の順となっている。

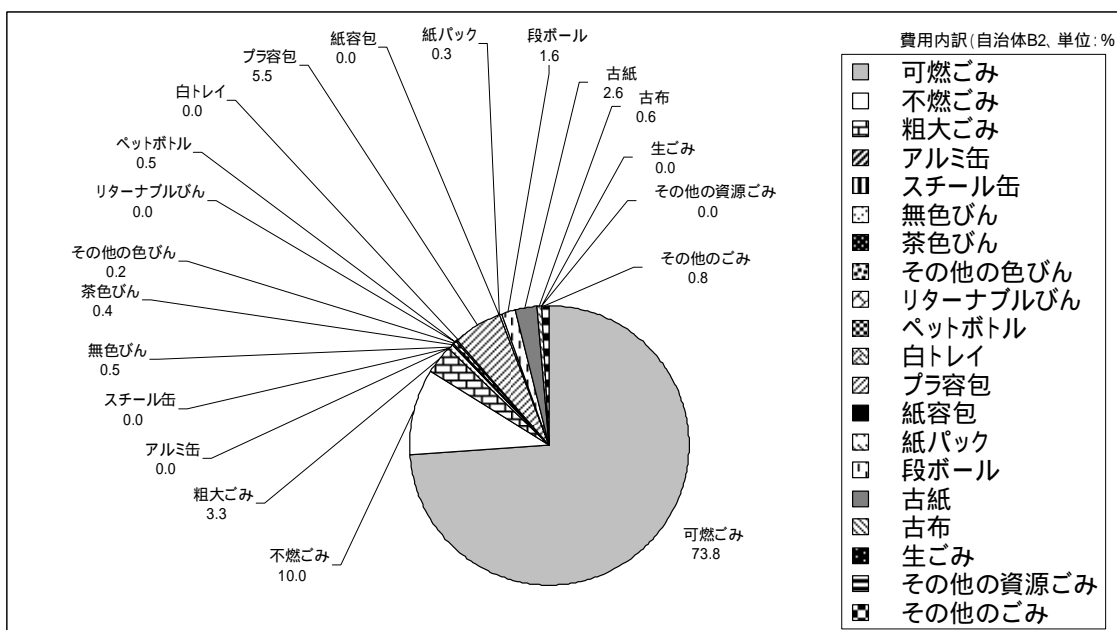


図 1 - 1 2 自治体 B-2 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみが99.0%とほぼ全体を占め、不燃ごみが0.9%、その他の品目は0.0%である。

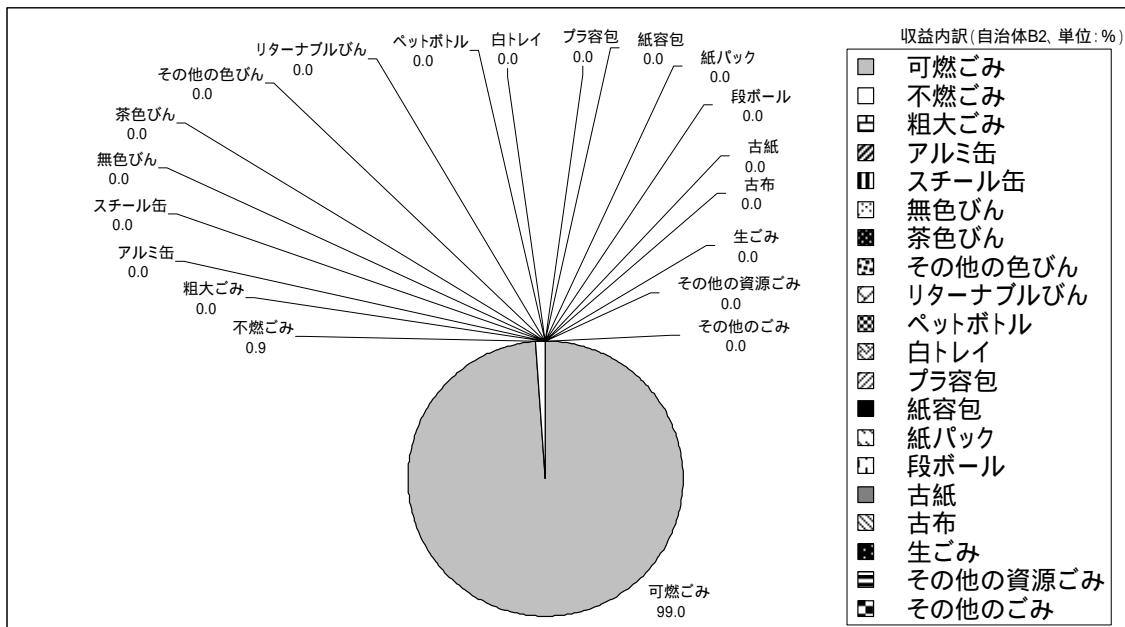


図1 - 13 自治体 B-2 における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとについていくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、委託中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで管理部門費、委託収集運搬費、直営収集運搬費、直営最終処分費が大きい割合を占める。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、委託中間処理費の割合が最も大きく、残りを委託収集運搬費と管理部門費が占める。

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が最も大きく、残りを委託収集運搬費、委託中間処理費、管理部門費が占める。

粗大ごみについては、委託収集運搬費の割合が最も大きく、次いで委託中間処理費、管理部門費の順で割合が高い。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトルについては、委託再資源化費の割合が最も大きく、残りを委託収集運搬費、管理部門費が占める。

プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費の割合が最も大きく、残りを委託再資源化費と管理部門費が占める。

紙パック、段ボール、古紙、古布については、直営収集運搬費の割合が大きく、残りを管理部門費が占める。

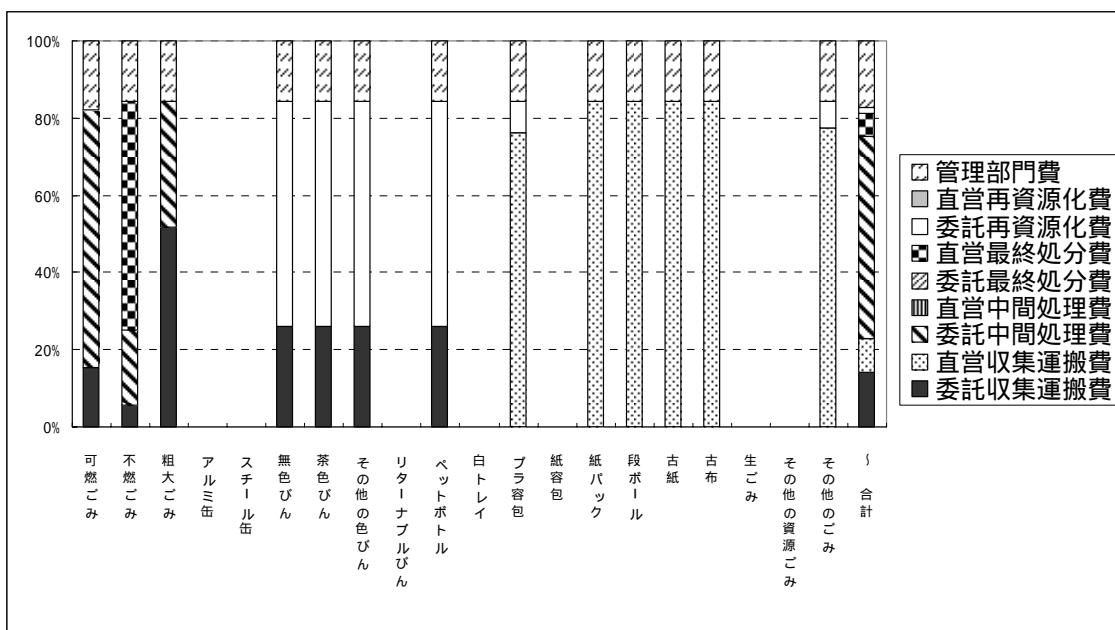


図1 - 14 自治体 B-2 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。なお、品目により原価のオーダーが異なるため、縦軸のレンジの異なるグラフを上下に示した。これらより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営最終処分費の原価が他と比較して大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、不燃ごみ、プラスチック製容器包装、その他のごみ、紙パックの順である。

可燃ごみについては、委託中間処理費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費、委託中間処理費が占める。

粗大ごみについては、委託中間処理費が作業部門費用の原価となっている。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトルについては、委託再資源化の割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費が大半を占め、その残りを委託再資源化費が占める。

紙パック、段ボール、古紙、古布については、直営収集運搬費が作業部門費用原価となっている。

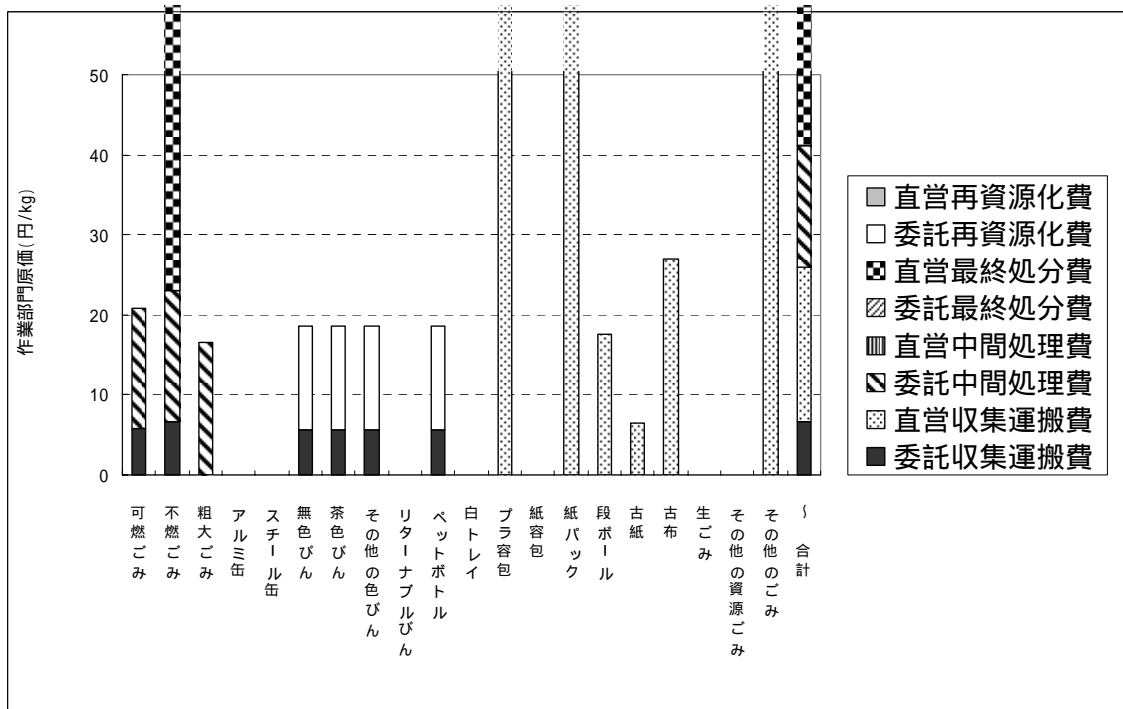
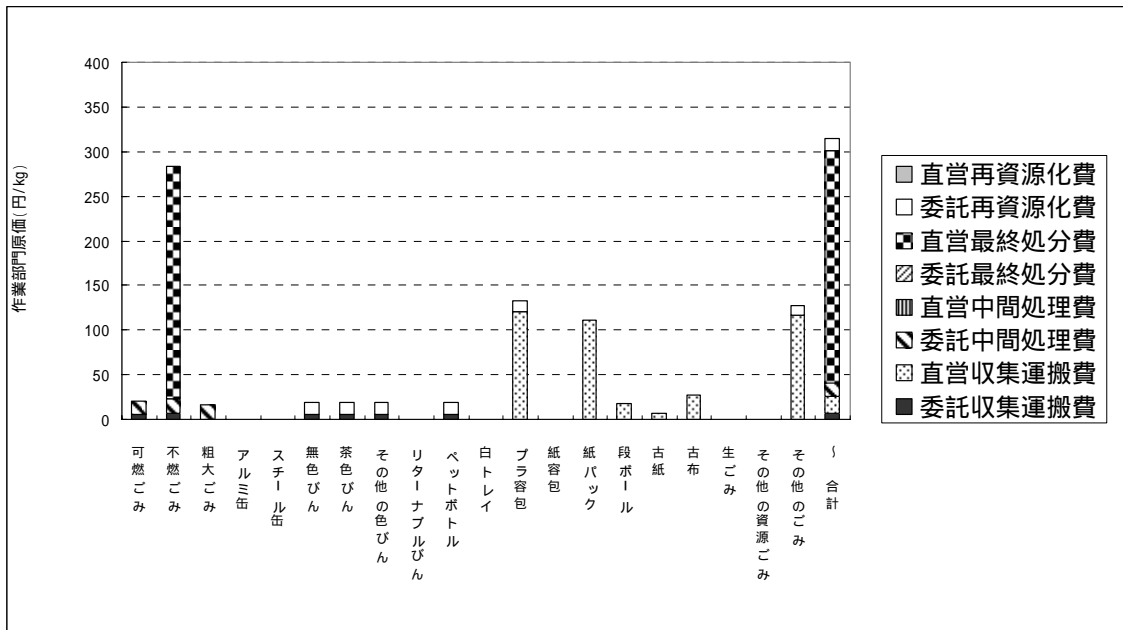


図 1 - 1 5 自治体 B-2 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 C]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 C における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで 不燃ごみ、古紙という順になっている。

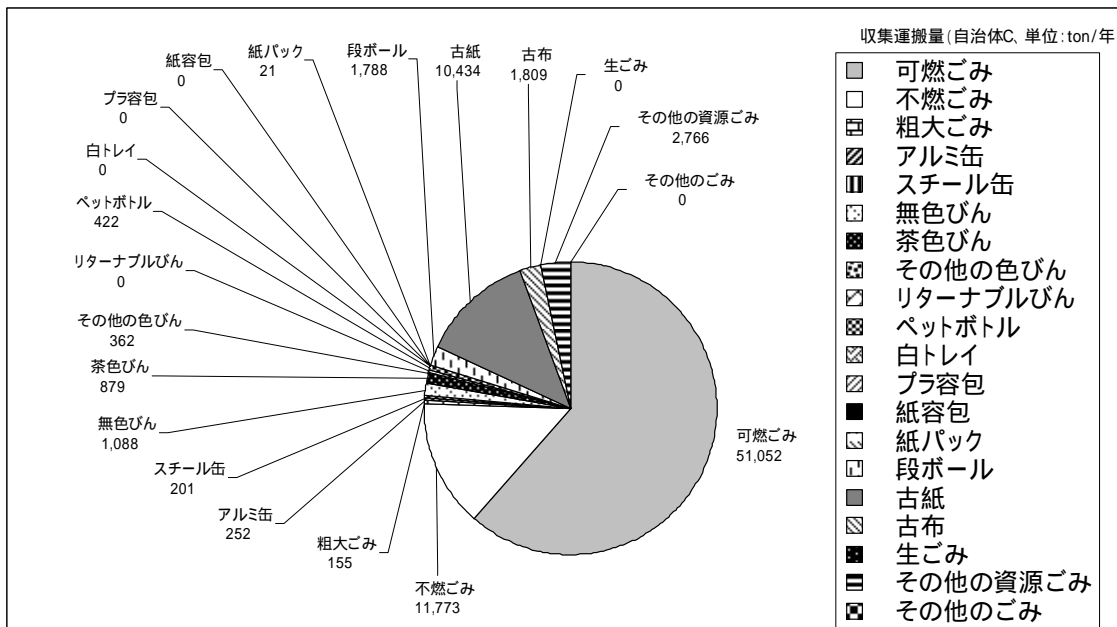


図 1 - 16 自治体 C の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く (73.0%)、次いで 不燃ごみ (13.7%)、その他の資源ごみ (6.7%) という順となっている。

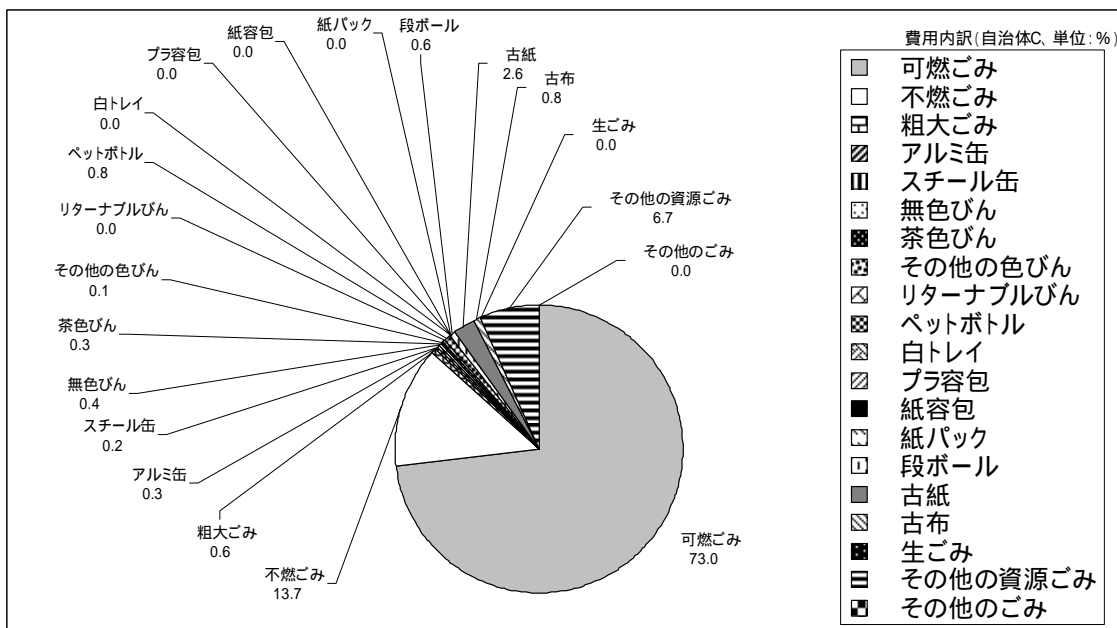


図 1 - 17 自治体 C における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(76.2%)、次いで不燃ごみ(9.0%)、古紙(6.3%)の順となっている。

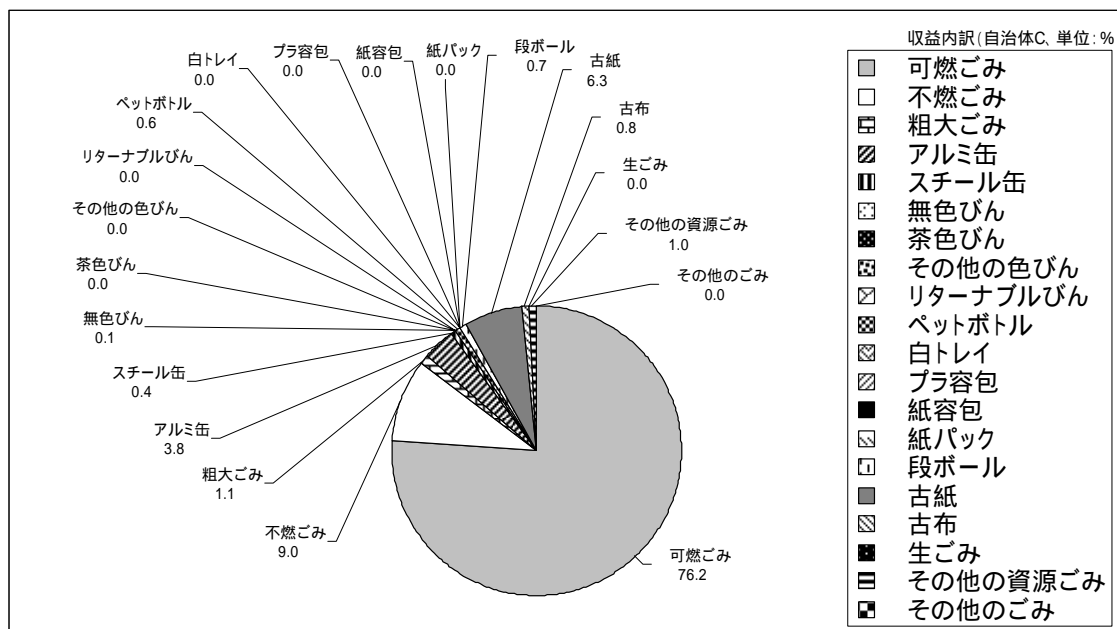


図 1 - 1 8 自治体 C における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとについていくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで直営収集運搬費、委託再資源化費、委託収集運搬費、直営最終処分費の順となっている。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、直営中間処理費の割合が最も大きく、残りを直営収集運搬費、委託再資源化費と管理部門費が占める。

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が最も大きく、残りを直営収集運搬費、委託最終処分費、管理部門費が占める。

粗大ごみについては、委託収集運搬費の割合が最も大きく、次いで直営最終処分費、管理部門費、直営中間処理費の順で割合が高い。

アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、紙パックについては、委託収集運搬費の割合が最も大きく、次いで委託再資源化費、管理部門費の順である。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、段ボール、古布については、委託収集運搬費と委託再資源化費の割合がほぼ同割合で最も大きく、残りを管理部門費が占めている。

古紙については、委託再資源化費の割合が最も大きく、次いで委託収集運搬費、管理部門費の順である。

その他の資源ごみについては、委託収集運搬費の割合が最も大きく、残りを直営収集運搬費、委託再資源化費、管理部門費が占めている。

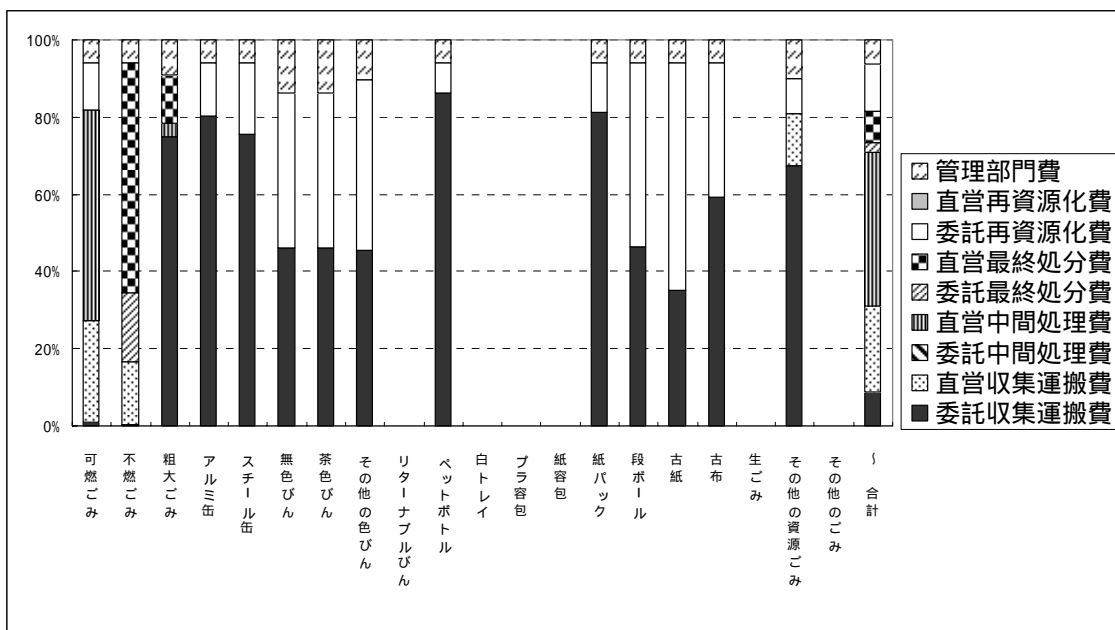


図 1 - 19 自治体 C における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。なお、品目により原価のオーダーが異なるため、縦軸のレンジの異なるグラフを上下に示した。これらより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営最終処分費の原価が最も大きく、その他の部分を、直営中間処理費、委託収集運搬費、直営収集運搬費、委託最終処分費、委託再資源化費がほぼ均等な割合で占める。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、その他の資源ごみである。

可燃ごみについては、委託再資源化費の割合が最も大きく、残りを直営中間処理費、委託収集運搬費と直営収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、直営最終処分費の割合が最も大きく、次いで、委託収集運搬費、残りを委託最終処分費、直営収集運搬費が占める。

粗大ごみについては、委託収集運搬費の占める割合が高く、残りを直営習慣処理費と直営最終処分費が占める。

アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、紙パックについては、委託収集運搬費の割合が大きく、残りを委託再資源化費が占める。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、古紙、古布については、委託収集運搬費と委託再資源化の占める割合がほぼ同程度で原価全体が構成されている。

プラスチック製容器包装、その他のごみについては、直営収集運搬費が大半を占め、その残りを委託再資源化費が占める。

段ボールについては、直営中間処理費が占める割合が最も大きく、残りを委託収集運搬費、委託再資源化費が占める。

その他の資源ごみについては、直営収集運搬費と委託再資源化の割合がほぼ同程度で大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

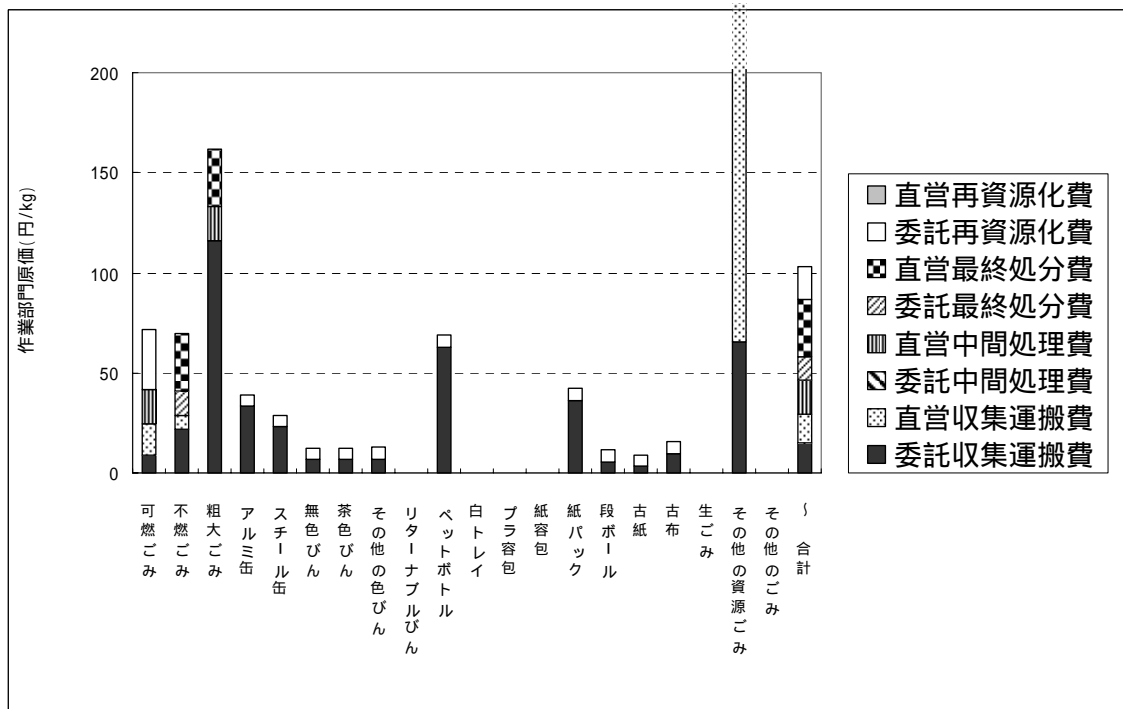
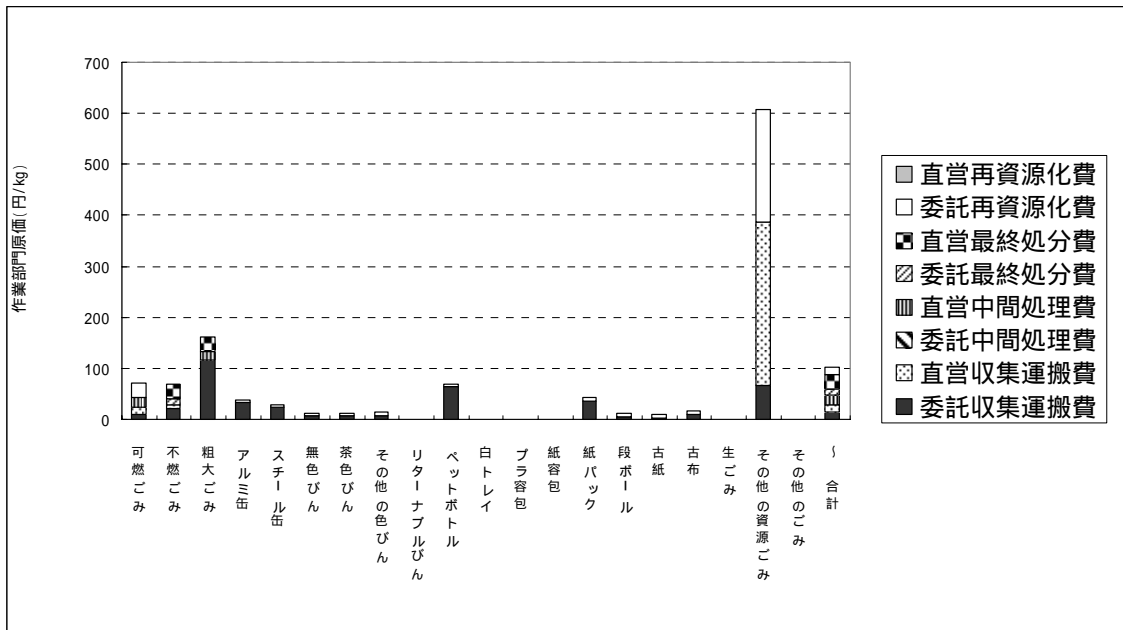


図1 - 20 自治体Cにおける廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 D1]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 D1 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで古紙、プラスチック製容器包装という順になっている。

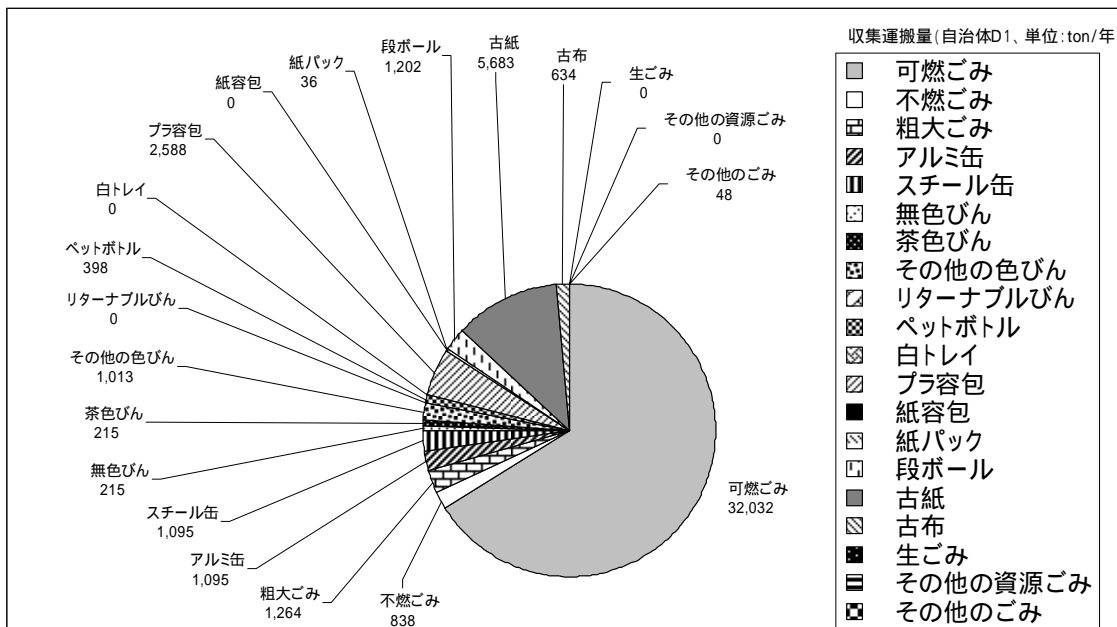


図 1 - 2 1 自治体 D1 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(57.8%)、次いでプラスチック製容器包装(16.9%)、古紙(7.1%)の順となっている。

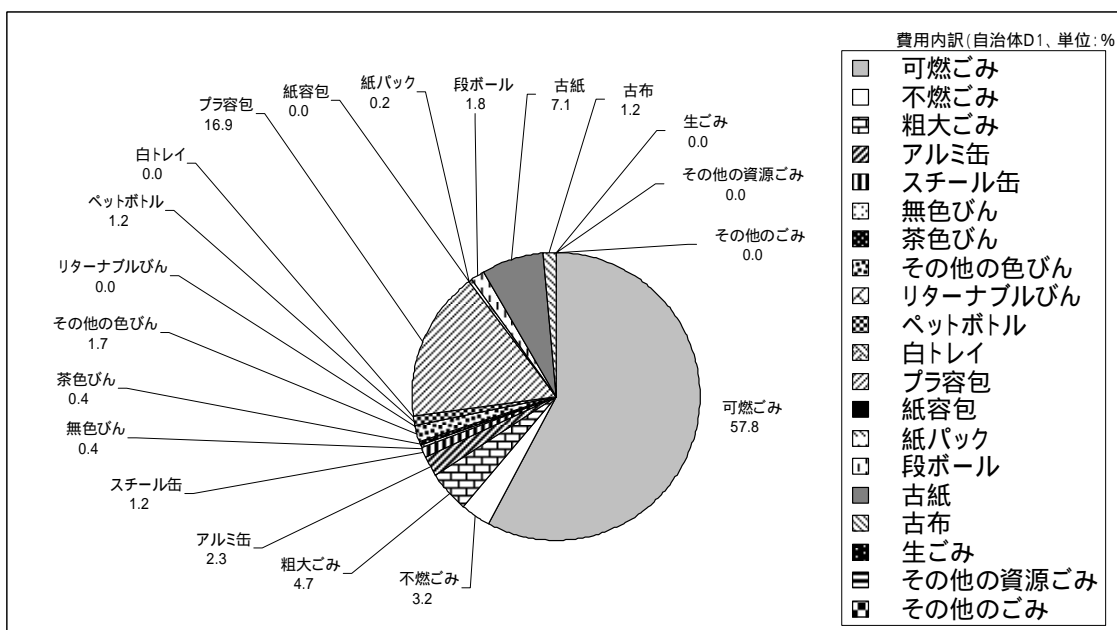


図 1 - 2 2 自治体 D1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳(品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみが95.6%と大半を占める。

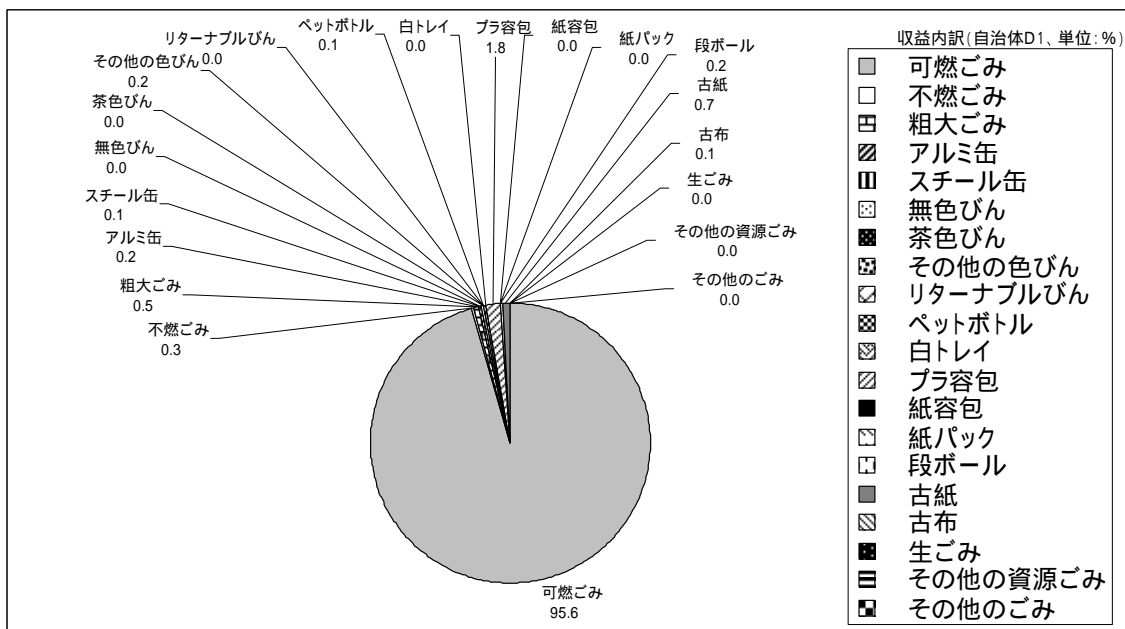


図 1 - 2 3 自治体 D1 における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとについていくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営収集運搬費、直営中間処理費、委託再資源化費の占める割合が大きい。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、直営収集運搬費、直営中間処理費の割合が大きく、残りを委託再資源化費と管理部門費が占める。

不燃ごみについては、直営収集運搬費が費用の大半を占める。

粗大ごみについては、直営収集運搬費、委託中間処理費、委託最終処分費の割合が大きく、残りを管理部門費が占める。

アルミ缶については、直営収集運搬費の割合が高く、次いで委託再資源化費の順となっている。

スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びんについては、直営収集運搬費、委託再資源化費が費用の大半を占める。

ペットボトル、紙パック、段ボール、古紙、古布については、委託収集運搬費と委託再資源化費の割合が高く、残りを管理部門費が占める。

プラスチック製容器包装については、直営収集運搬費の占める割合が大きく、残りを委託再資源化費、管理部門費が占める。

その他のごみについては、委託再資源化費の割合が最も大きく、残りを直営収集運搬費、管理部門費が占める。

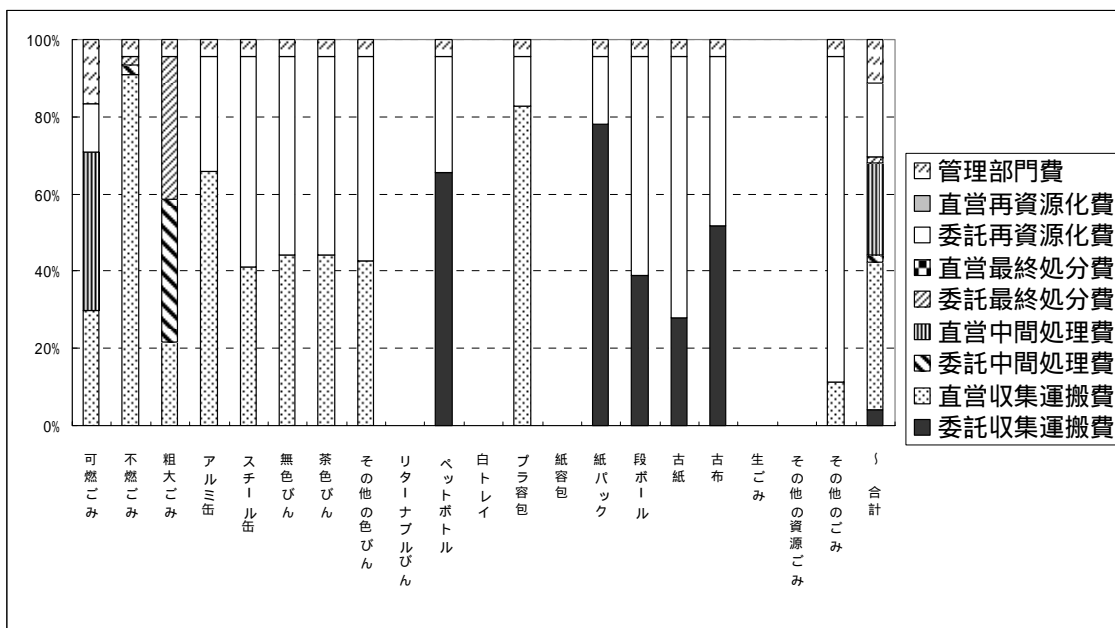


図 1 - 2 4 自治体 D1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、委託収集運搬費、直営収集運搬費、委託再資源化費、直営中間処理費の占める割合が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、プラスチック製容器包装、紙パックである。

可燃ごみについては、委託再資源化費の割合が大きく、残りを直営収集運搬費と直営中間処理費が占める。

不燃ごみ、粗大ごみについては、直営収集運搬費が原価の大半を占める。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びんについては、直営収集運搬費と委託再資源化費で原価が構成され、ほぼ同程度の割合を占める。

ペットボトル、紙パック、古紙、古布については、委託収集運搬費と委託再資源化費で原価が構成される。

プラスチック製容器包装については、直営収集運搬費の占める割合が大きく、残りを委託再資源化費が占める。

段ボールについては、委託再資源化費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費、直営中間処理費が占める。

その他のごみについては、委託再資源化費が原価の大半を占める。

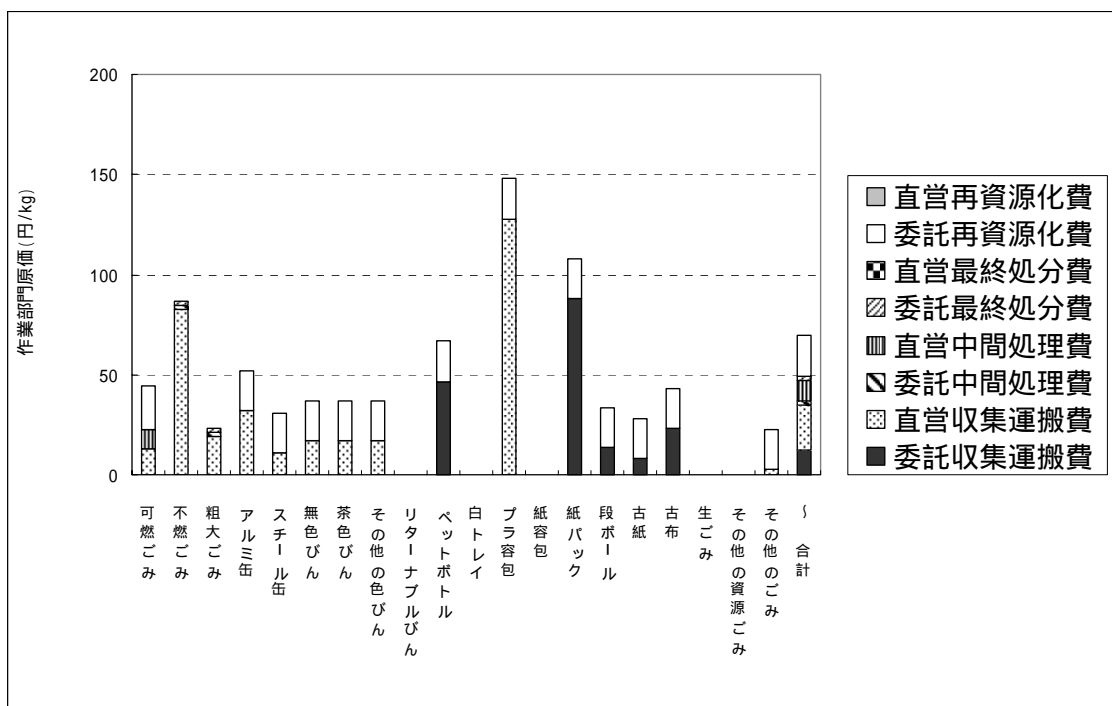


図 1 - 2 5 自治体 D1 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 D2-1]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 D2-1 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで古紙、不燃ごみという順になっている。

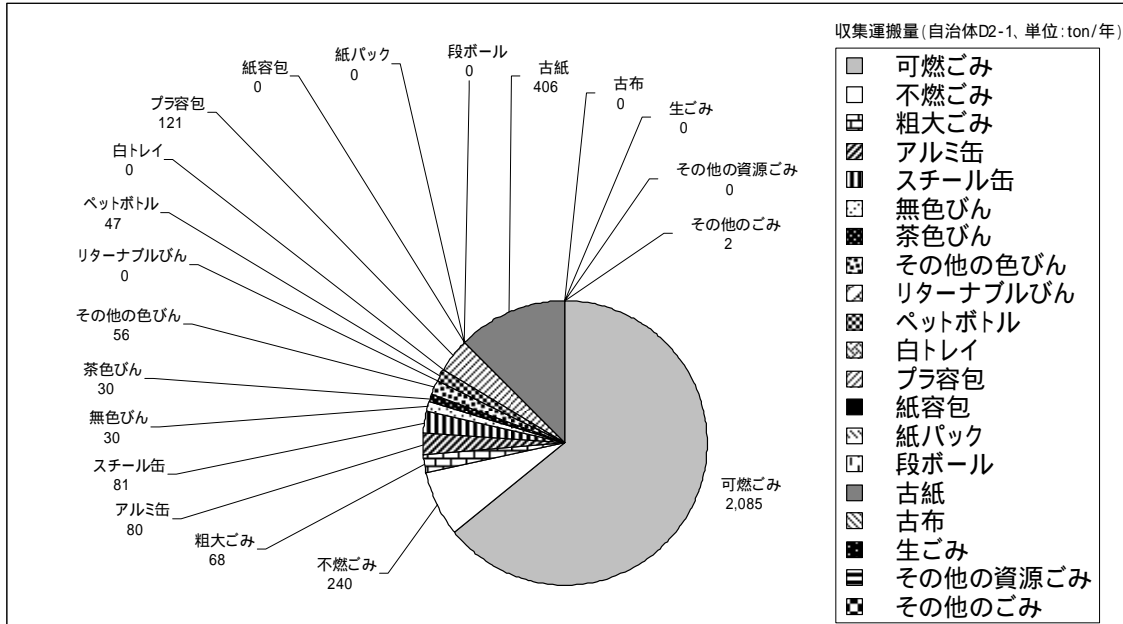


図 1 - 2 6 自治体 D2-1 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(73.3%)、次いで不燃ごみ(9.7%)、アルミ缶(4.4%)、スチール缶(3.2%)、プラスチック製容器包装(3.1%)の順となっている。

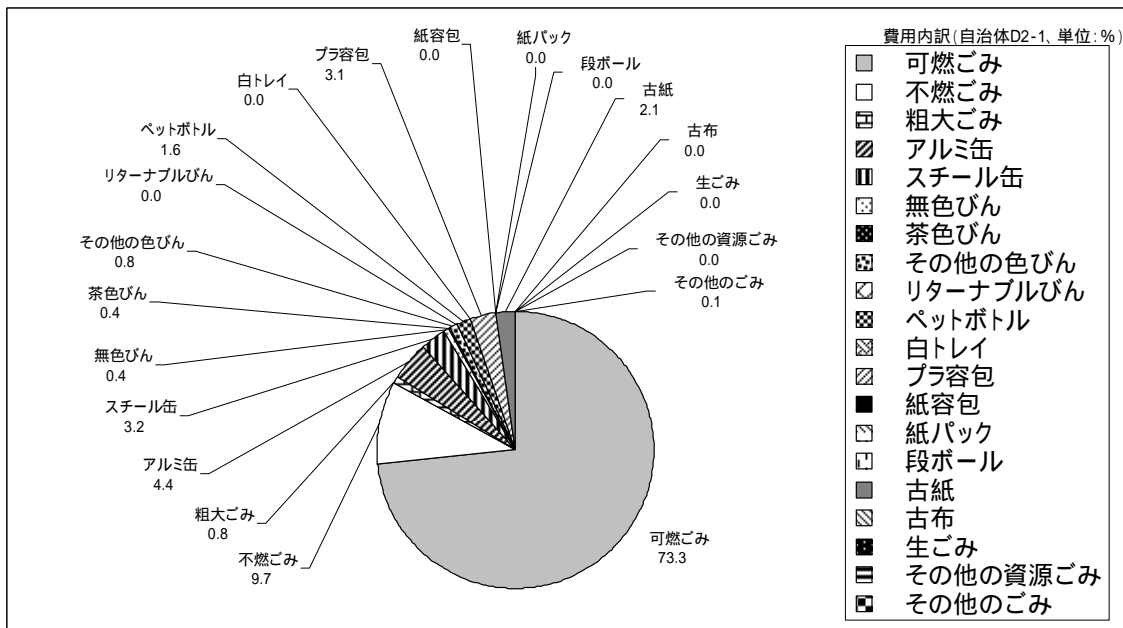


図 1 - 2 7 自治体 D2-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳(品目別)

なお、自治体 D2-1 では、収益は計上されていない。

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが下図である。これによると、廃棄物区分ごといくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、委託中間処理費、委託収集運搬費の占める割合が大きい。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみ、粗大ごみについては、委託中間処理費の占める割合が大きく、次いで委託収集運搬費、管理部門費の順で割合が高い。

不燃ごみについては、委託収集運搬費、委託中間処理費、委託最終処分費の割合がほぼ同程度で大きく、残りを管理部門費が占める。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、委託収集運搬費の割合が高く、次いで委託再資源化費、管理部門費の順で割合が高い。

古紙、その他のごみについては、委託収集運搬費が費用の大半を占める。

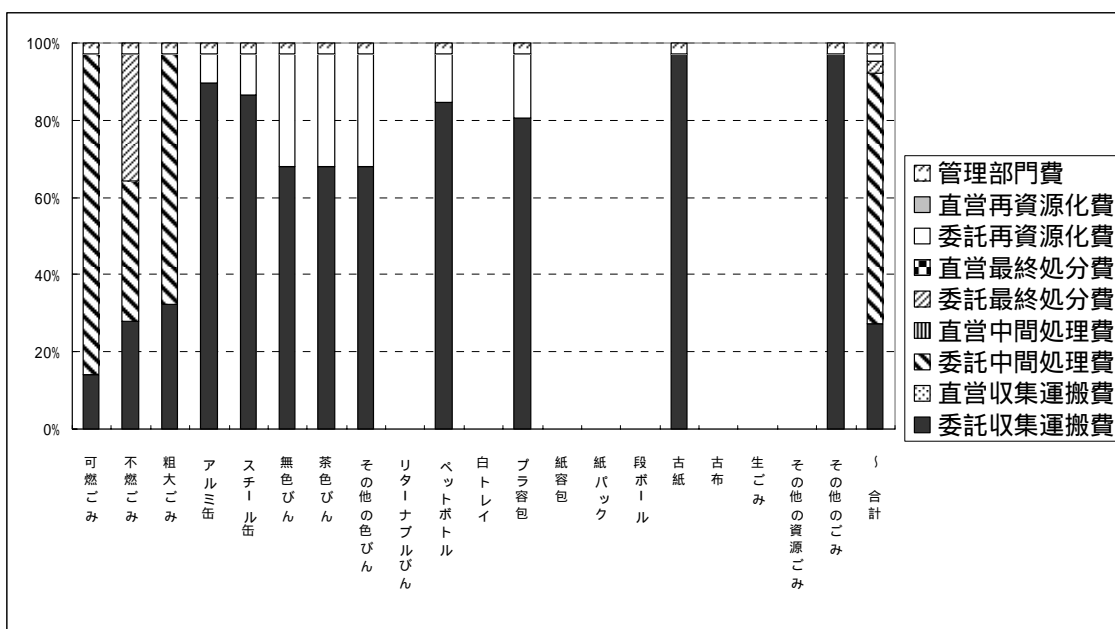


図 1 - 2 8 自治体 D2-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、委託中間処理費、委託収集運搬費、委託最終処分費、委託再資源化費の順に占める割合が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、可燃ごみである。

可燃ごみについては、委託中間処理費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、委託収集運搬費、委託中間処理費、委託最終処分費がほぼ同程度の割合で原価を構成する。

粗大ごみについては、委託収集運搬費と委託中間処理費により原価が構成される。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、委託収集運搬費の割合が大きく、その残りを委託再資源化費が占める。

古紙、その他のごみについては、委託収集運搬費で原価が構成される。

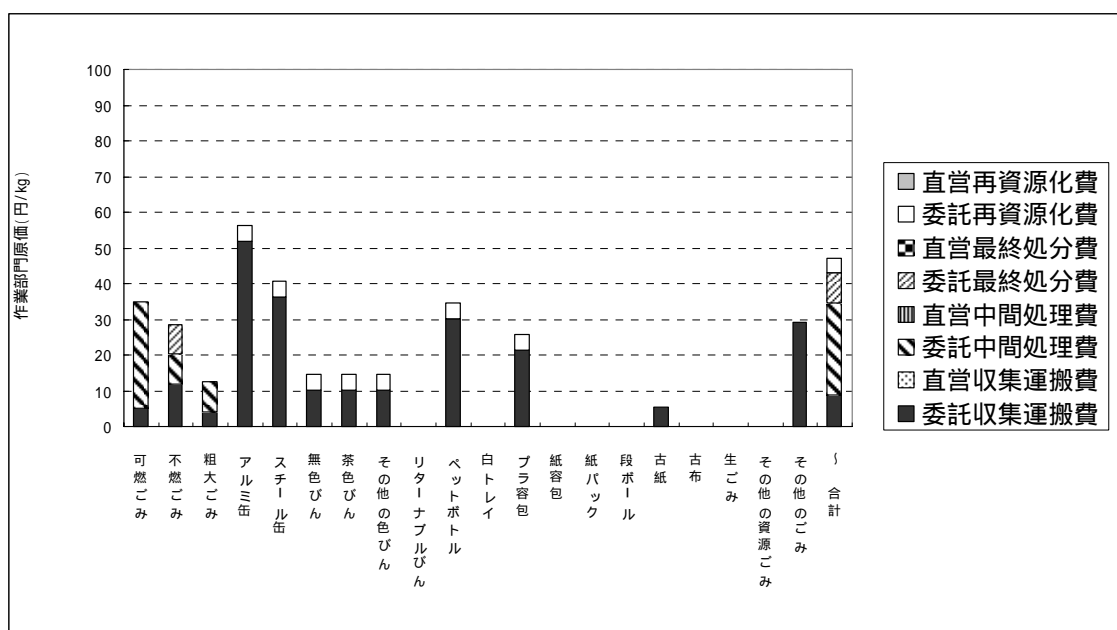


図1 - 29 自治体 D2-1 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 D2-3]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 D2-3 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで 不燃ごみ、プラスチック製容器包装、粗大ごみという順になっている。

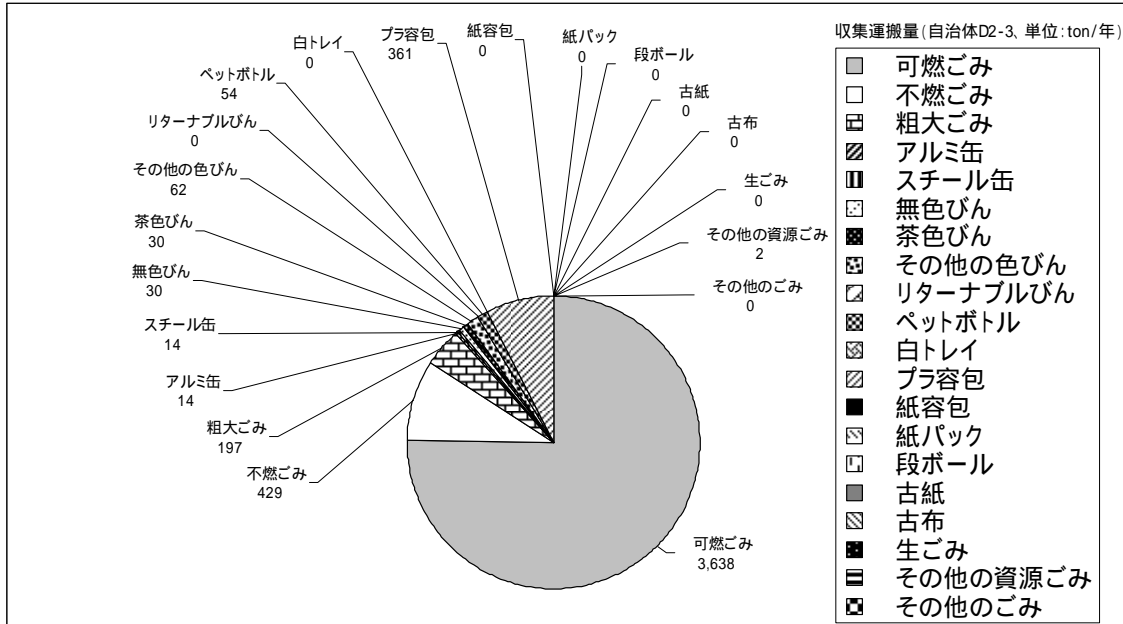


図 1 - 3 0 自治体 D2-3 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も多く (84.6%)、次いでプラスチック製容器包装 (5.7%)、不燃ごみ (4.8%) の順になっている。

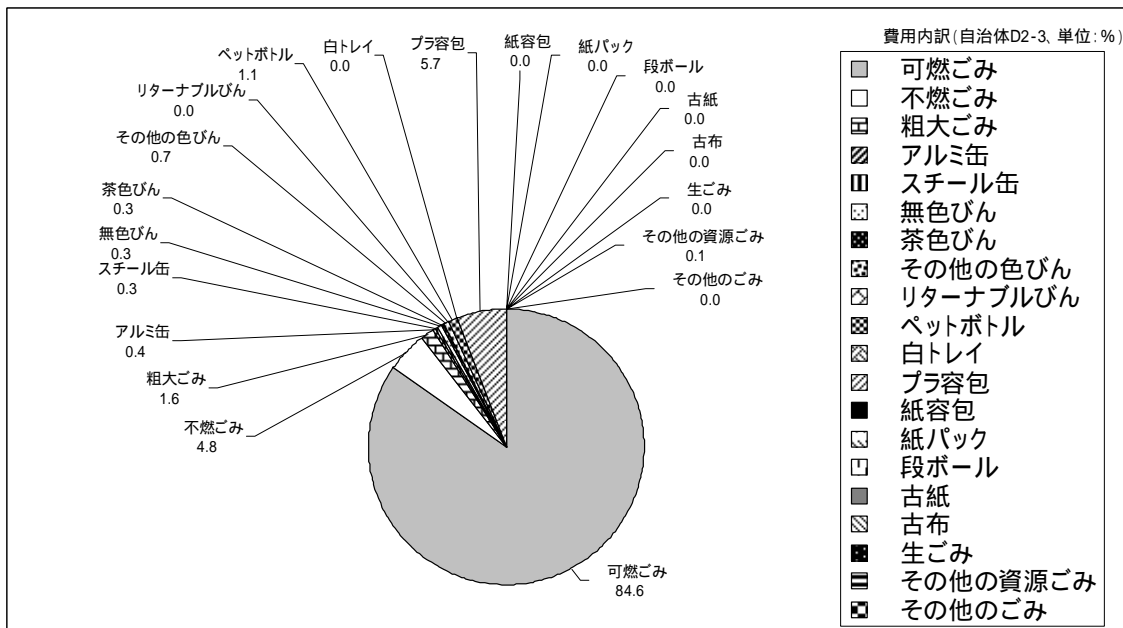


図 1 - 3 1 自治体 D2-3 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (品目別)

次に、総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみによる収入が100%を占める。

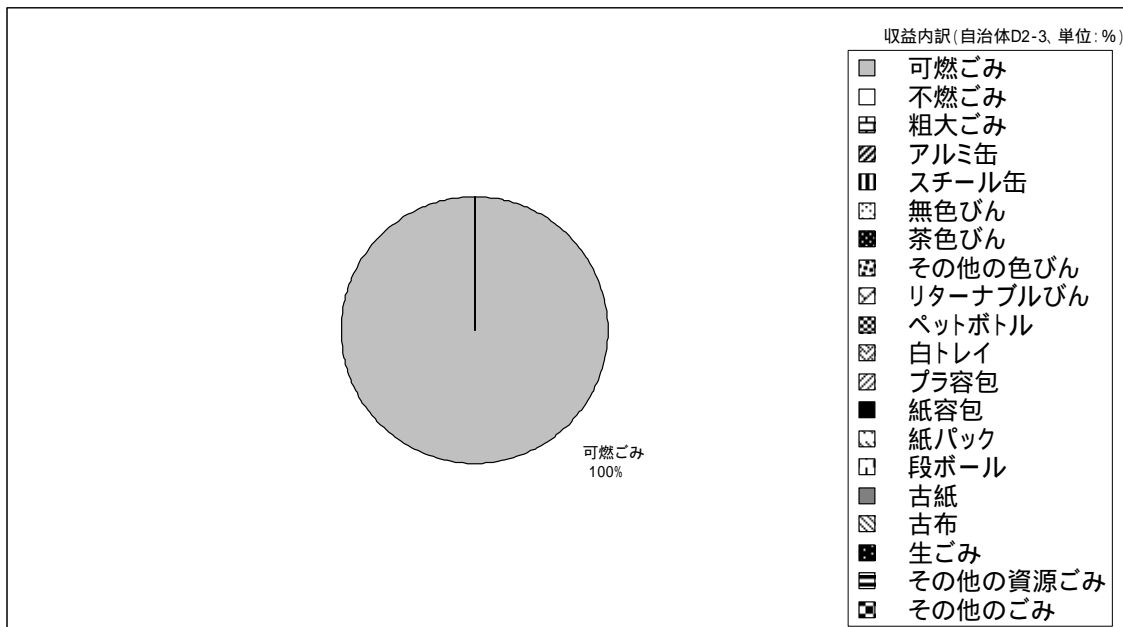


図 1 - 3 2 自治体 D2-3 における廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとにいくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで委託収集運搬費、委託再資源化費の占める割合が大きい。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、費用の大半を直営中間処理費が占め、残りを委託収集運搬費、委託再資源化費が占める。

不燃ごみについては、委託収集運搬費、委託中間処理費、委託最終処分費の順で占める割合が大きい。

粗大ごみについては、委託中間処理費の占める割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、委託収集運搬費と委託再資源化費で費用が構成される。

その他の資源ごみについては、委託収集運搬費が費用全体を占める。

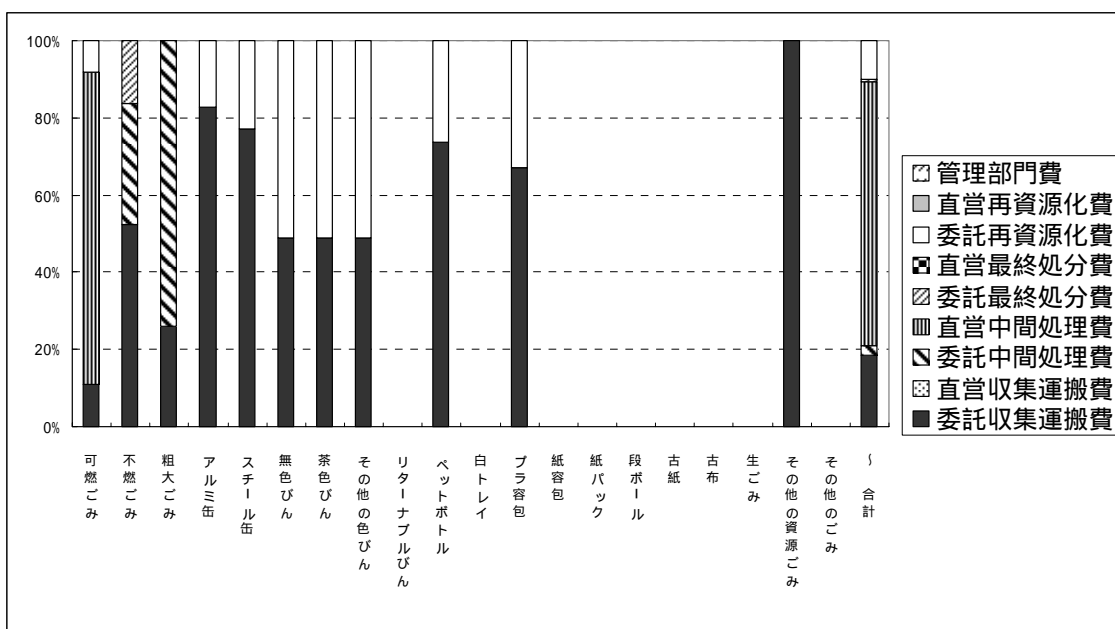


図 1 - 3 3 自治体 D2-3 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (費目別)

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、委託再資源化費、委託中間処理費、委託最終処分費、委託収集運搬費の順に占める割合が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、その他の資源ごみである。

可燃ごみについては、直営中間処理費、委託再資源化費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、委託収集運搬費、委託中間処理費、委託最終処分費がほぼ同程度の割合で原価を構成する。

粗大ごみについては、委託中間処理費の占める割合が高く、残りを委託収集運搬費が占める。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、委託収集運搬費と委託再資源化費で原価が構成される。

その他の資源ごみについては、委託収集運搬費が原価の全体を占める。

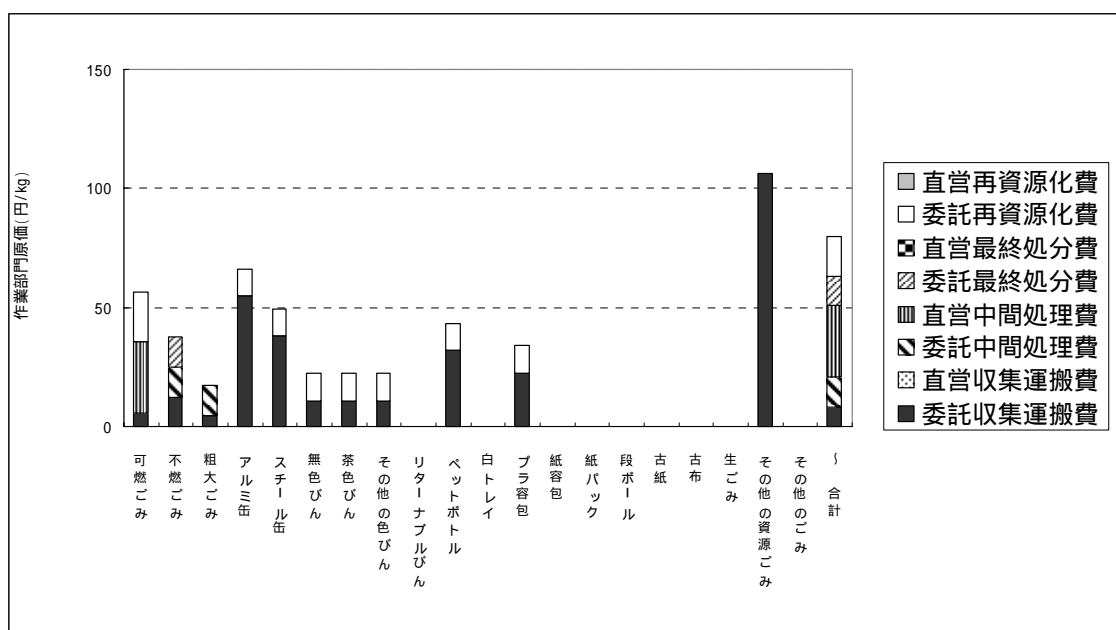


図 1 - 3 4 自治体 D2-3 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 D2-4]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 D2-4 における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も多く、次いで古紙、プラスチック製容器包装、粗大ごみ、不燃ごみの順になっている。

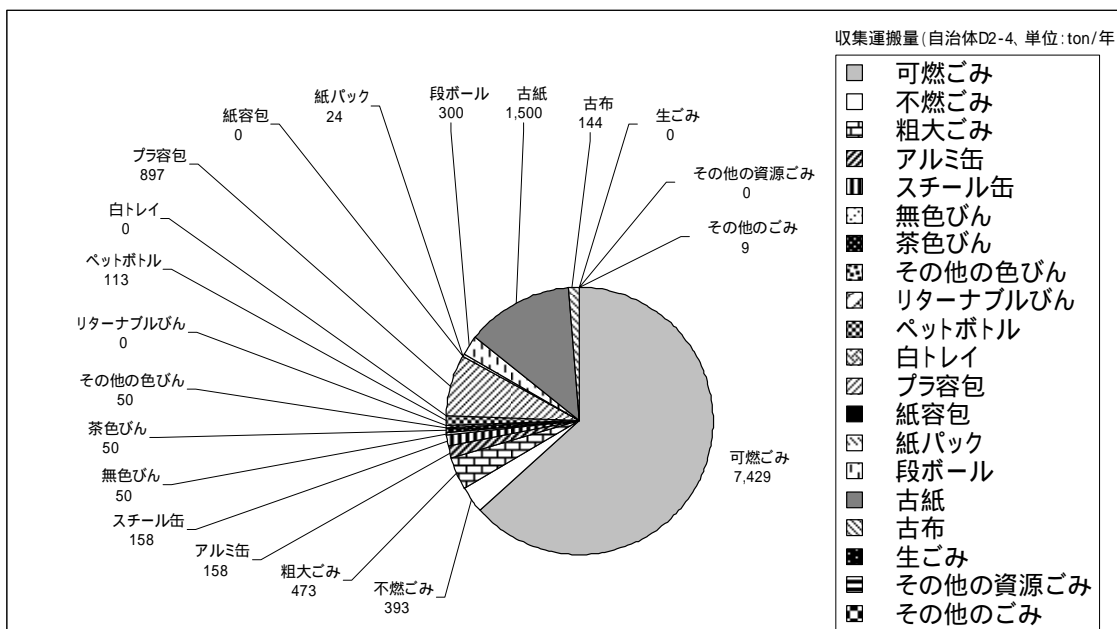


図 1 - 3 5 自治体 D2-4 の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(84.9%)、次いで不燃ごみ(4.6%)、プラスチック製容器包装(2.7%)の順となっている。

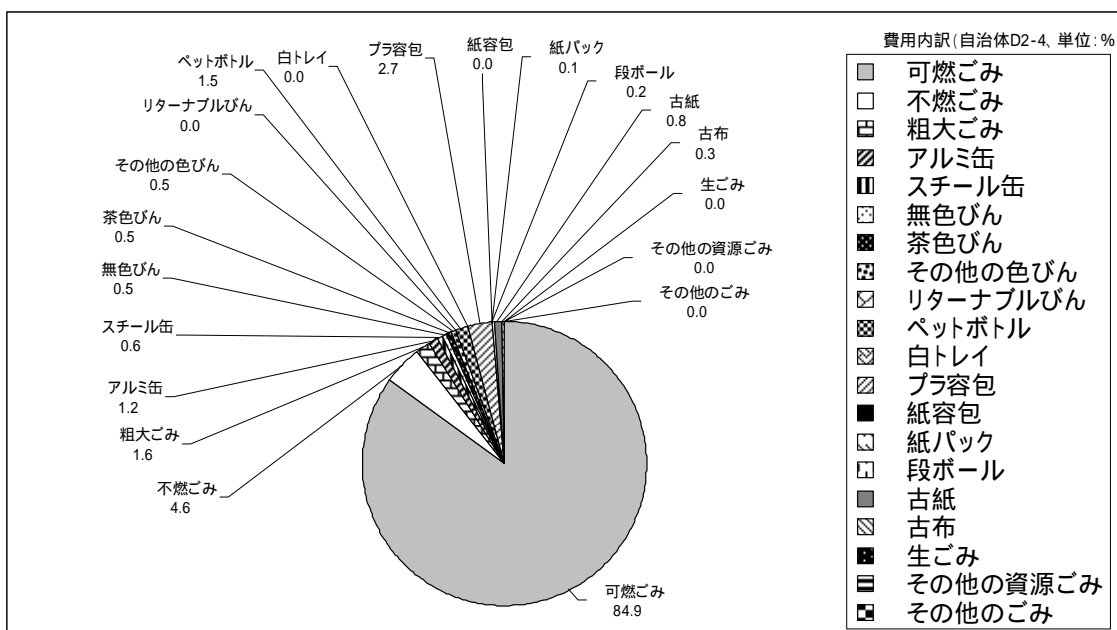


図 1 - 3 6 自治体 D2-4 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳(品目別)

なお、自治体 D2-4 では、収益は計上されていない。

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとにいくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営収集運搬費と委託中間処理費の占める割合が大きい。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、委託中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで直営収集運搬費、委託収集運搬費、管理部門費の順である。

不燃ごみについては、委託最終処分費、直営収集運搬費の占める割合が大きい。

粗大ごみについては、直営収集運搬費の占める割合が最も大きく、残りを委託収集運搬費、管理部門費、委託中間処理費で占める。

アルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、直営収集運搬費と委託再資源化費で費用が構成される。

紙パック、段ボール、古紙、古布、その他のごみについては、費用の大半を直営収集運搬費が占める。

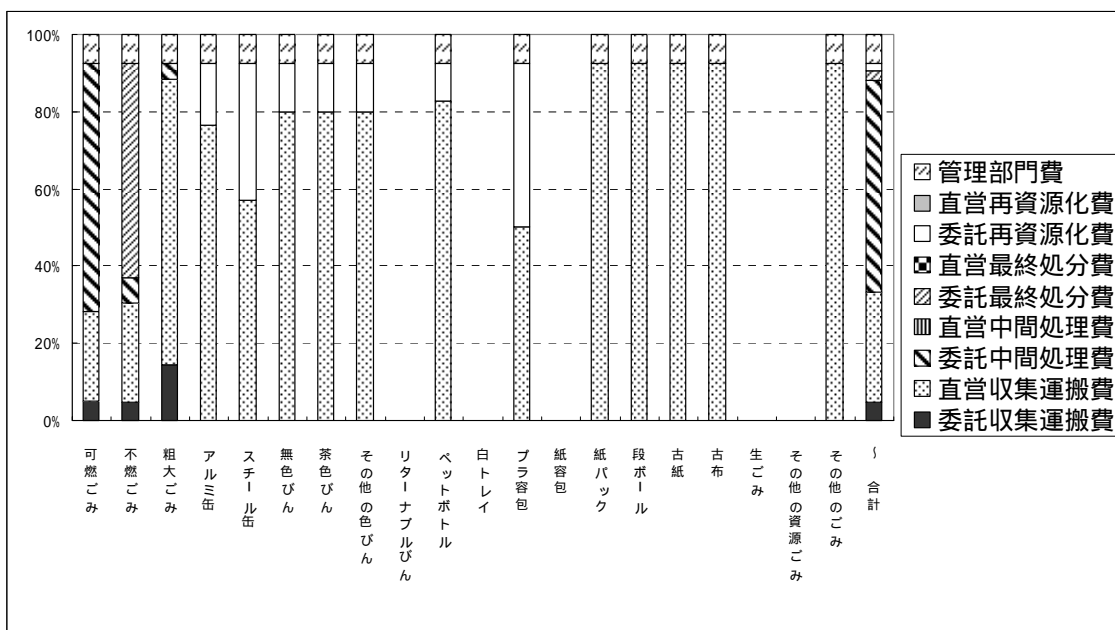


図 1 - 3 7 自治体 D2-4 における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳 (費目別)

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。これより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで直営収集運搬費、委託収集運搬費、委託最終処分費、委託再資源化費の順に占める割合が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、 ペットボトルである。

可燃ごみについては、直営収集運搬費、委託中間処理費の割合が大きく、残りを委託収集運搬費が占める。

不燃ごみについては、直営収集運搬費の占める割合が最も大きく、その残りを委託収集運搬費、委託最終処分費が占める。

粗大ごみについては、直営収集運搬費、委託収集運搬費が原価の大半を占める。

アルミ缶、 スチール缶、 無色びん、 茶色びん、 その他の色びん、 ペットボトル、 プラスチック製容器包装については、直営収集運搬費と委託再資源化費で原価が構成される。

紙パック、 段ボール、 古紙、 古布、 その他のごみについては、直営収集運搬費が原価の全体を占める。

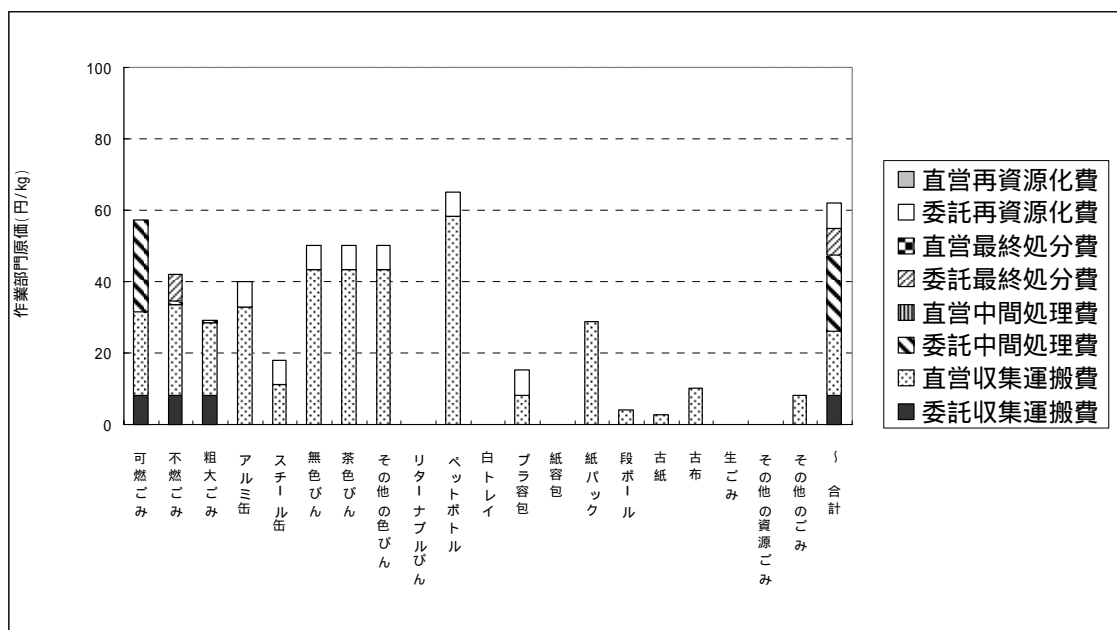


図1 - 38 自治体 D2-4 における廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

[自治体 E]

下図は原価計算のデータから抽出した自治体 E における収集運搬量の内訳である。これによると、可燃ごみの量が最も大きく、次いで 不燃ごみ、プラスチック製容器包装の順となっている。

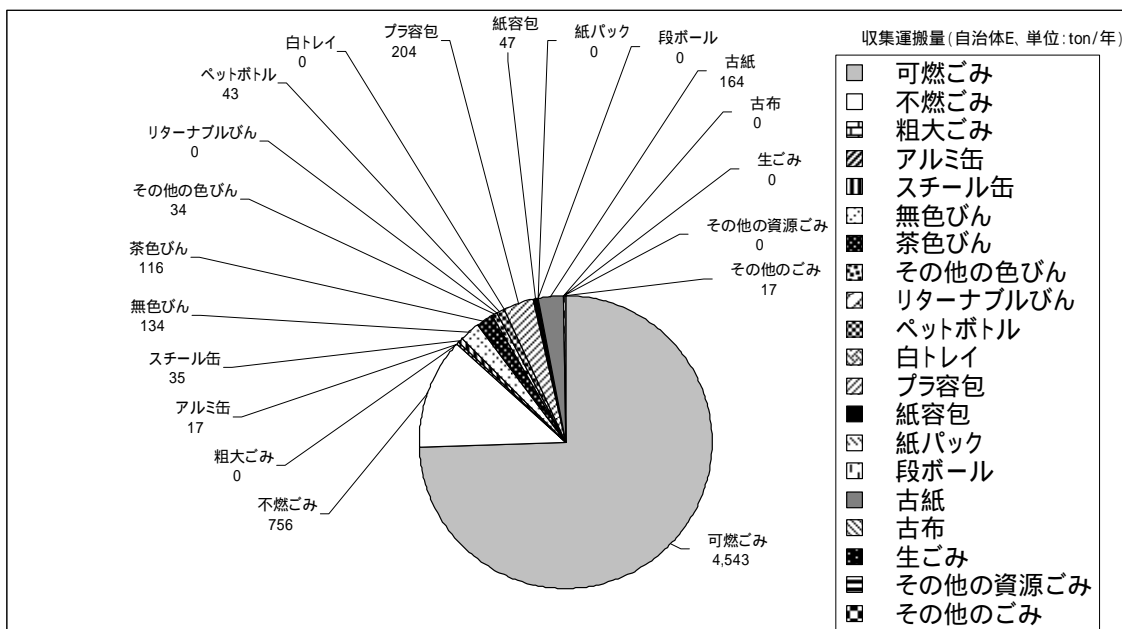


図 1 - 39 自治体 E の平成 17 年度における廃棄物・資源物の収集運搬量の内訳

総費用を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(60.7%)、次いで アルミ缶(9.9%)、スチール缶(7.1%)、不燃ごみ(6.9%)の順となっている。

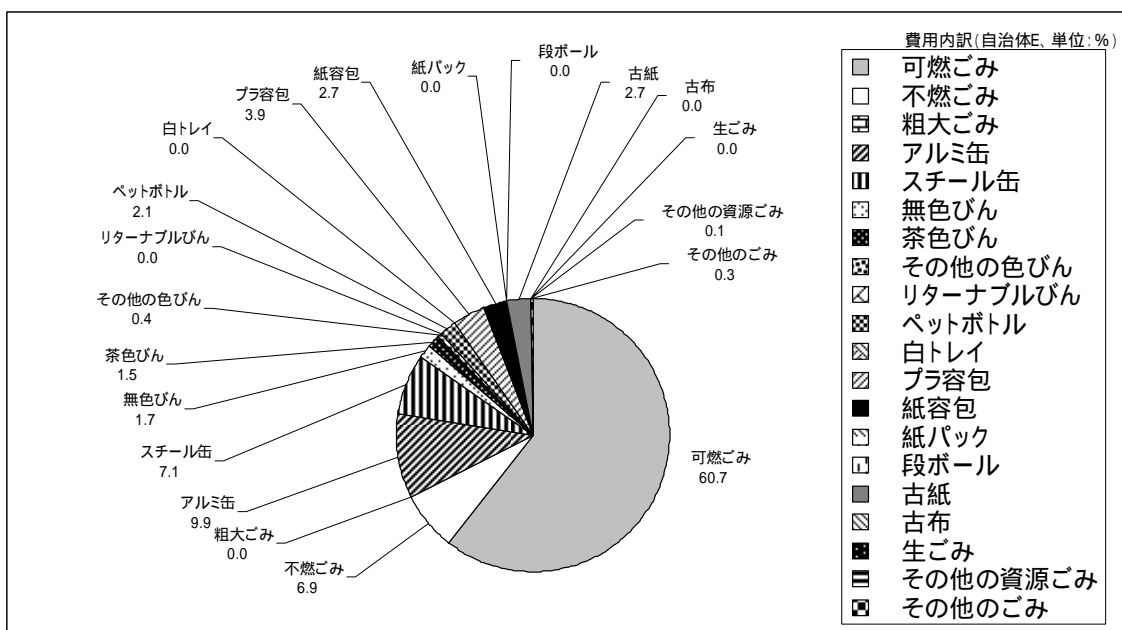


図 1 - 40 自治体 E における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳(品目別)

総収益を品目別に見た内訳について下図のように示される。これによると、可燃ごみの占める割合が最も大きく(75.7%)、次いでアルミ缶(9.0%)、不燃ごみ(8.7%)、スチール缶(4.3%)の順となっている。

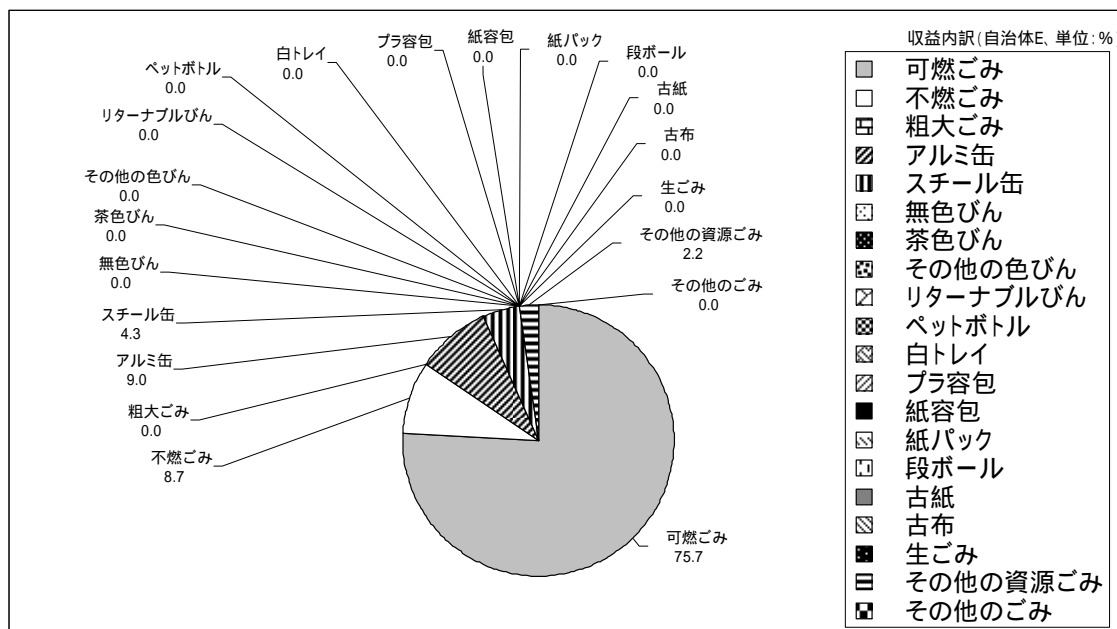


図1 - 4 1 自治体Eにおける廃棄物・資源物の収益内訳

次に、品目別の費用について、委託収集運搬、直営収集運搬等の費目別割合を示したのが次の図である。これによると、廃棄物区分ごとによりいくつかの特徴が見られる。

～ の全品目で見ると、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで委託収集運搬費、管理部門費、直営再資源化費、直営収集運搬費、直営最終処分費、委託再資源化費の順となっている。品目別に見ると以下のとおりである

可燃ごみについては、直営中間処理費の占める割合が最も大きく、次いで委託収集運搬費、管理部門費、直営最終処分費の順である。

不燃ごみについては、直営最終処分費の占める割合が最も大きく、その残りを委託収集運搬費、管理部門費がほぼ同程度の割合で占める。

アルミ缶、 スチール缶については、直営再資源化費の占める割合が最も大きく、その残りを直営収集運搬費と管理部門費が占める。

無色びん、 茶色びん、 その他の色びんについては、直営収集運搬費の占める割合が最も大きく、その残りを管理部門費、直営再資源化費が占める。

ペットボトルについては、委託収集運搬費と委託再資源化費がほぼ同程度の割合で占め、その残りを管理部門費が占める。

プラスチック製容器包装については、委託再資源化費の占める割合が最も大きく、次いで委託収集運搬費、管理部門費の順でその割合が大きい。

紙製容器包装、 古紙については、直営収集運搬費が費用の大半を占め、その残りを管理部門費が占める。

その他の資源ごみについては、直営収集運搬費、直営再資源化費がほぼ同程度の割合で占め、その残りを管理部門が占める。

その他のごみについては、管理部門の占める割合が最も大きく、その残りを直営収集運搬費が占める。

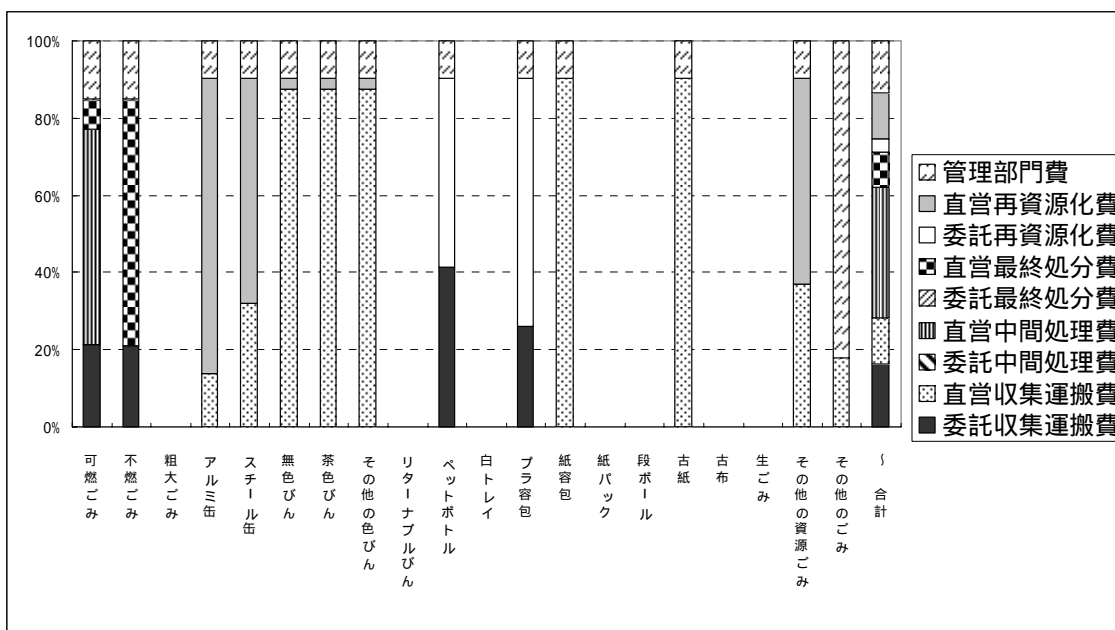


図 1 - 4 2 自治体 E における廃棄物・資源物の処理等に要する費用内訳（費目別）

最終的に得られた原価（作業部門費用の原価）は次の図に示すとおりである。ただし、本図は各作業部門の原価を積み上げて示しているが、各作業部門原価は各部門への投入量ベースで各部門ごとの費用を除いた値であり、各作業部門費を廃棄物総排出量ベースで比較していないことに留意する必要がある。なお、品目により原価のオーダーが異なるため、縦軸のレンジの異なるグラフを上下に示した。これらより、以下のことが言える。

～ の全品目で見ると、直営収集運搬費の占める割合が最も大きく、次いで委託再資源化費、直営再資源化費、直営中間処理費、直営最終処分費、委託収集運搬費の順に占める割合が大きい。

品目別に見た場合に作業部門費用原価が大きいのは、アルミ缶である。

可燃ごみについては、委託収集運搬費、直営中間処理費、直営最終処分費で原価が構成される。

不燃ごみについては、委託収集運搬費と直営最終処分費で原価が構成される。

アルミ缶、スチール缶については、直営収集運搬費と直営再資源化費で原価が構成される。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、紙製容器包装、古紙、その他のごみについては、直営収集運搬費が原価の全体を占める。

ペットボトル、プラスチック製容器包装については、委託収集運搬費と委託再資源化費で原価が構成される。

その他の資源ごみについては、直営再資源化費が原価の全体を占める。

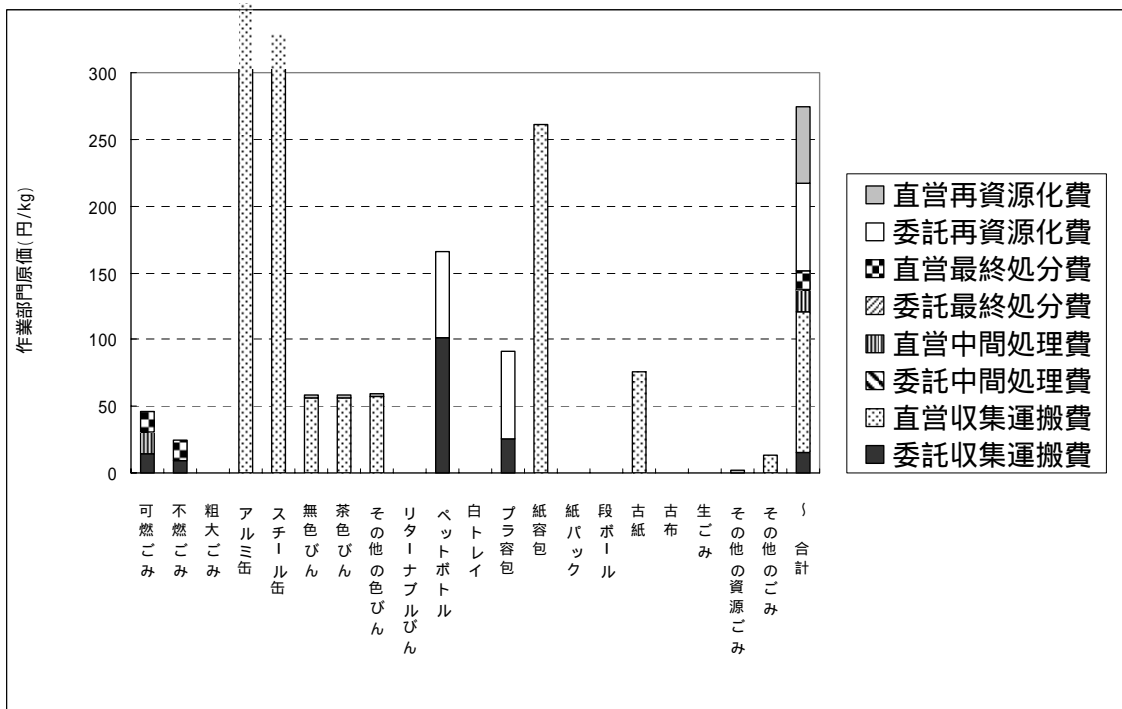
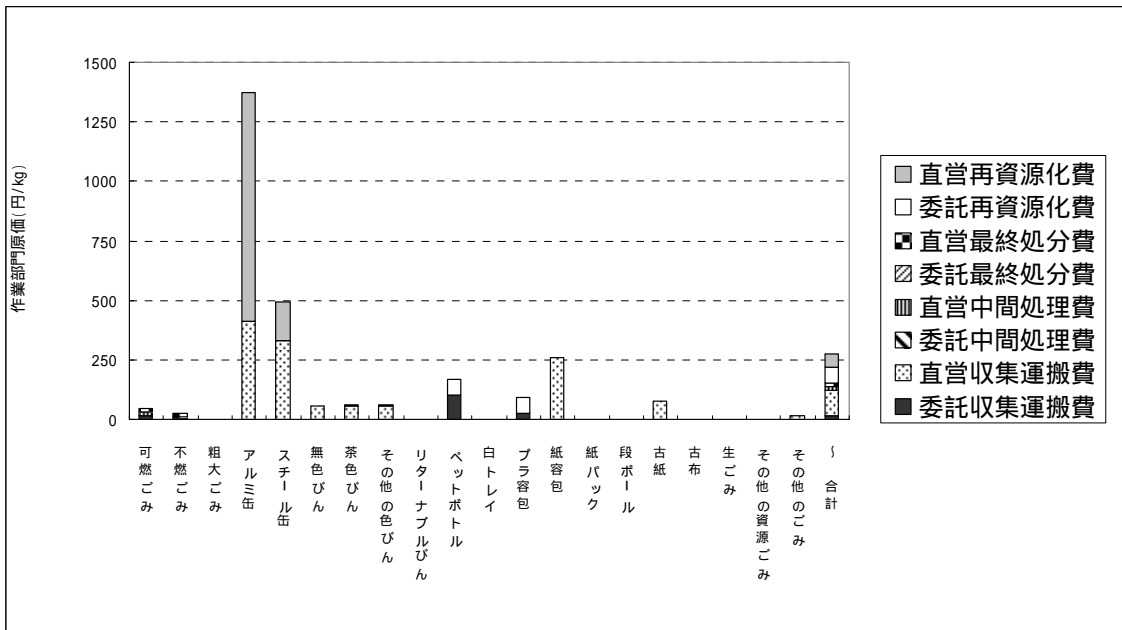


図1 - 43 自治体Eにおける廃棄物・資源物の処理等に要する品目別質量あたり費用

1.4 廃棄物会計を用いたコスト面からの廃棄物処理システムの評価・分析

三重県内の市町のうち、以下の特徴を持つ自治体に廃棄物会計をモデル的に導入し、その結果を活用して、コスト面から廃棄物処理システムの評価・分析を実施した。

- ・ 合併により複数の廃棄物処理システムが並存する自治体
- ・ 廃棄物処理システムの変更又は変更予定の自治体

(1) 合併により複数の廃棄物処理システムが並存する自治体

D1、D2-1～D2-9は現在合併し、単独の自治体となっている。

今回、一般廃棄物会計基準に照らして入力した内容は合併前の情報であり、これらについて、主たる自治体であるD1とその他の自治体（D2-1～D2-9）との差異を確認することにより、合併後、既存の処理システムの修正をすべきか否かについて会計的な視点から検証した。

収集運搬

D1では、収集運搬について、民間委託と直営が混在している。

これに対し、D2-4を除くD2-1～D2-3、D2-5～D2-9はすべての品目について民間委託としている。D2-4は可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみについて民間委託と直営が混在し、その他の品目は直営である。

次の表に示すとおり、D1とD2-1～D2-9について各品目別の収集運搬に係る原価を比較した。

これより、以下のことがいえる。

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみについては、直営よりも民間委託のほうが全般的に原価が低い傾向が見られる。

アルミ缶、スチール缶については、直営のほうが民間委託よりも原価が低い傾向が見られる。

無色びん、茶色びん、その他の色びん、ペットボトルについては、直営、民間委託の間で大きな差は見られない。

については、同じ直営でもD1は原価が高く、D2-4は原価が低いいため、直営と民間委託との比較は困難である。

紙パック、段ボール、古布については、直営のほうが原価が低い、サンプルが少なく単純には判断できない。

古紙については、直営と民間委託との間で差が見られない。

その他のごみについては、直営のほうが原価が低い。ただし、各自治体によって取扱品目に相違があることに留意する必要がある。

D市（D1、D2-1～D2-9）の場合、旧自治体が類似の収集運搬方式を採用していたため、今回の原価計算結果では有意な差異を見出すことはできなかった。しかしながら、例えば、不燃ごみを見ると、直営方式を採用しているD1より民間委託しているその他の自治体の方が収集運搬原価が低いなど、廃棄物処理システムを検討する上での有益な情報を得ることができる。

なお、廃棄物処理システムが異なる自治体間を比べると、明確な差異や傾向を見出すことができることから、旧自治体のどのシステムを合併自治体のシステムとするかなどの検討を行う場合には、一般廃棄物会計基準に基づく原価計算を用いれば、会計的側面から最適な処理システムを選定していくことが可能になると考えられる。

表 1 - 3 収集運搬に係る原価の比較 (D1 と D2-1 ~ D2-9)

品目区分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック製容器包装	紙製容器包装	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源	その他のごみ	
自治体名																					
D1	12.7	82.3	19	32.3	10.9	17.2	17.2	17.2	-	46.7	-	128	-	88	13.6	8.2	23.4	-	-	2.6	
D2-1	5.2	11.8	4.2	52	36.1	10.3	10.3	10.3	-	30.2	-	21.4	-	-	-	5.3	-	-	-	29.1	
D2-2	9.5	21.6	7.7	95	66.1	18.8	18.8	18.8	-	55.2	-	39.1	-	-	-	9.7	-	-	-	53.2	
D2-3	5.5	12.4	4.5	54.8	38.1	10.9	10.9	10.9	-	31.8	-	22.6	-	-	-	-	-	-	-	106.4	
D2-4	17.6	19.4	16.4	32.9	11.1	43.3	43.3	43.3	-	58.3	-	8.2	-	28.8	4.1	2.7	10.3	-	-	8.2	
D2-5	5.6	12.7	4.6	56	38.9	11.1	11.1	11.1	-	32.5	-	23.1	-	-	-	5.7	-	-	-	31.3	
D2-6	4.8	17.3	6.2	76.1	52.9	15.1	15.1	15.1	-	44.2	-	19.8	-	-	-	7.8	22.2	-	-	42.6	
D2-7	11.1	25.2	9.0	111.2	77.4	22.1	22.1	22.1	-	64.6	-	45.8	-	-	-	11.4	-	-	-	62.3	
D2-8	25.1	57.1	20.5	251.8	175	49.9	49.9	49.9	-	146.1	-	103.7	-	-	-	-	-	-	-	140.9	
D2-9	6.6	15	5.4	-	-	13.1	13.1	13.1	-	38.4	-	27.2	-	-	-	6.8	19.2	-	-	37	

注：グレーの網掛けは民間委託、白抜きの部分は民間委託と直営の併用

(単位：円/kg)

中間処理

D1では、中間処理について、可燃ごみを直営、不燃ごみ、粗大ごみを一部事務組合への委託としている。D2-1～D2-9についてはD2-3がD1とまったく同じ形態をとっているほか、D2-3を除くD2-1～D2-9は可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの3品目について一部事務組合への委託する形態をとっている。

下表に示すとおり、D1とD2-1～D2-9について各品目別の中間処理に係る原価を比較した。これより、以下のことがいえる。

可燃ごみについては、D1とD2-3が直営、それ以外は一部事務組合への委託という形をとっている。D1については原価が低いものの、その他の自治体においては直営、一部事務組合の差に関わらずほぼ原価は同程度である。

不燃ごみ、不燃ごみについては、すべての自治体が一部事務組合に委託している。原価に多少のバラツキが見られるが、この原価は原則的に負担金を処理委託量で除した額になっている。

D市の場合、旧自治体の多くが合併以前からほぼ同じ処理システムを採用していたため、今回の原価計算結果では有意な差異を見出せなかった。しかしながら、例えば、可燃ごみを見ると、直営処理を行っているD1が他自治体よりも単価が低いなど、廃棄物処理システムを検討する上での有益な情報を得ることができる。

なお、廃棄物処理システムが異なる自治体間を比べると、明確な差異や傾向を見出すことができることから、旧自治体のどのシステムを合併自治体のシステムとするかなどの検討を行う場合には、一般廃棄物会計基準に基づく原価計算を用いれば、会計的側面から最適な処理システムを選定していくことが可能になると考えられる。

表 1 - 4 中間処理に係る原価の比較 (D1 と D2-1 ~ D2-9)

品目区分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック製容器包装	紙製容器包装	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源	その他のごみ
自治体名																				
D1	9.9	2.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-1	29.9	8.4	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-2	32.1	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-3	30.0	12.7	12.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-4	25.9	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-5	35.5	5.5	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-6	36.0	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-7	33.3	3.2	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-8	28.5	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-9	36.8	10.9	10.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：グレーの網掛けは一部事務組合

(単位：円/kg)

最終処分

D1では、最終処分について、不燃ごみ、粗大ごみを一部事務組合に委託しており、D2-1～D2-9については同じく一部事務組合への委託であるが、品目が不燃ごみだけの自治体と、不燃ごみ、粗大ごみの双方（D1と同じ）の自治体がある。

下表に示すとおり、D1とD2-1～D2-9について各品目別の最終処分に係る原価を比較した。これより、以下のことがいえる。

最終処分の対象は不燃ごみ、粗大ごみのみであり、各自治体とも一部事務組合に委託している。不燃ごみについてはD2-3、D2-9、D2-1、粗大ごみについてはD2-9など原価が他自治体と比較してやや高い状況も見られるが、この原価は原則的に負担金を処理委託量で除した額になっており、概ね各自治体とも同水準と考えられる。

D市の場合、旧自治体が合併以前から同じシステムを採用していたため、今回の原価計算結果では各自治体ともほぼ同水準の原価となった。

なお、廃棄物処理システムが異なる自治体間を比べると、明確な差異や傾向を見出すことができることから、旧自治体のどのシステムを合併自治体のシステムとするかなどの検討を行う場合には、一般廃棄物会計基準に基づく原価計算を用いれば、会計的側面から最適な処理システムを選定していくことが可能になると考えられる。

表 1 - 5 最終処分に係る原価の比較 (D1 と D2-1 ~ D2-9)

品目区分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック製容器包装	紙製容器包装	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源	その他のごみ
自治体名																				
D1	-	2.2	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-1	-	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-2	-	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-3	-	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-4	-	7.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-5	-	5.5	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-6	-	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-7	-	3.2	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-8	-	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-9	-	10.9	10.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：ハッチングは一部事務組合

(単位：円/kg)

資源化

D1では、資源化について、可燃ごみのみ民間委託、その他はすべて一部事務組合への委託としている。D2-3がD1と同じ形態をとっているが、D2-3を除くD2-1～D2-9ではすべて一部事務組合への委託としている。

下表に示すとおり、D1とD2-1～D2-9について各品目別の資源化に係る原価を比較した。これより、以下のことがいえる。

可燃ごみについては、D1とD2-3が民間委託で資源化を行っているが、2自治体間の原価には差がある。

アルミ缶、スチール缶、茶色びん、その他の色びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、すべての自治体が一部事務組合に委託している。原価に多少のバラツキが見られるが、この原価は原則的に負担金を処理委託量で除した額になっている。

D市の場合、旧自治体の多くが合併以前からほぼ同じ処理システムを採用していたため、今回の原価計算結果では有意な差異を見出せなかった。しかしながら、例えば、可燃ごみを見ると、民間委託により資源化している2つの旧自治体間の原価が異なるなど、廃棄物処理システムを検討する上での有益な情報を得ることができる。

なお、廃棄物処理システムが異なる自治体間を比べると、明確な差異や傾向を見出すことができることから、旧自治体のどのシステムを合併自治体のシステムとするかなどの検討を行う場合には、一般廃棄物会計基準に基づく原価計算を用いれば、会計的側面から最適な処理システムを選定していくことが可能になると考えられる。

表 1 - 6 資源化に係る原価の比較 (D1 と D2-1 ~ D2-9)

品目区分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	アルミ缶	スチール缶	無色びん	茶色びん	その他の色びん	リターナブルびん	ペットボトル	白トレイ	プラスチック製容器包装	紙製容器包装	紙パック	段ボール	古紙	古布	生ごみ	その他の資源	その他のごみ
自治体名																				
D1	22.1			19.9	19.9	19.9	19.9	19.9	-	19.9	-	19.9	-	19.9	19.9	19.9	19.9	-	-	19.9
D2-1	-			4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	-	4.4	-	4.4	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-2	-			2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	-	2.1	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-3	10.5			11.4	11.4	11.4	11.4	11.4	-	11.4	-	11.4	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-4	-			6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	-	6.9	-	6.9	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-5	-			4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	-	4.2	-	4.2	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-6	-			1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	-	1.8	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-7	-			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-8	-			3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	-	3.2	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-
D2-9	-			10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	-	10.3	-	10.3	-	-	-	-	-	-	-	-

注：グレーの網掛けは民間委託、ハッチングは一部事務組合

(単位：円/kg)

(2) 廃棄物処理システムの変更又は変更予定の自治体

現行の処理システムとの相違点

三重県内のある市では、下記3事業を現在計画中である。これらの事業を実施した際の変化について、廃棄物会計基準を適用し、モデル自治体において会計的な側面からどのような効果が得られるのかを検証した。

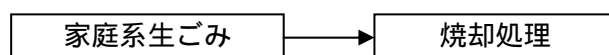
- 1) 家庭系生ごみ堆肥化事業
- 2) 事業系生ごみ再資源化事業
- 3) ごみの有料化事業

以下、それぞれについて、現行の処理システムとの相違点を整理した。

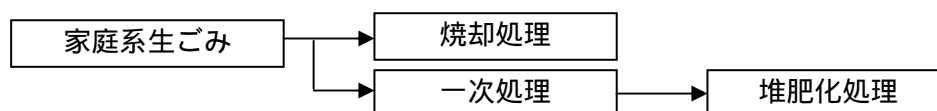
1) 家庭系生ごみ堆肥化事業

現状シナリオと想定変更シナリオは下図に示すとおりである。

- () 家庭系生ごみを焼却処理する(現状)



- () 家庭系生ごみの一部を堆肥化処理する(計画案)



その他のごみ(生ごみ以外の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ)に関しては、現状の処理方法と同様と仮定する。

詳細な評価を行う場合には、焼却処理、埋立(焼却灰)処分から堆肥化処理に変更した効果として、例えば、助燃材の使用量の減少、埋立処分量の減少等も対象とする必要がある。

図1-44 家庭系生ごみ堆肥化事業の現状シナリオと計画案

この際、廃棄物会計上は生ごみを可燃ごみの中で取り扱っているため、可燃ごみの焼却処理量が減少し、その分が一次処理、堆肥化処理に向かうものとする。

可燃ごみ中の生ごみ比率は48.8%、家庭系生ごみのうち一次処理、堆肥化処理に移行する割合は、全8,352世帯中、500世帯が生ごみの堆肥化に協力したと想定して、設定する。

なお、モデル自治体における可燃ごみの収集は民間企業への委託により行われているが、上記の焼却処理減少量では収集頻度、体制の変更はなく、収集運搬部門の費用に変更はないものとした。

モデル自治体では中間処理を直営で行っている。中間処理部門では、可燃ごみの投入量が173t/年が減少するものとしたが、「特定の施設に係る物件費(維持補修費、運転業務委託料等)」、人件費、共通の物件費、共通の経費に変更はないものとした。

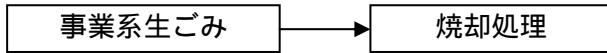
最終処分部門において、可燃ごみの中でも一般に生ごみは灰分発生量が少なく、生ごみ減少分による残渣の発生量の変動は小さいと想定され、データの変更はないものとした。

資源化部門、管理部門については、変更はないものとした。

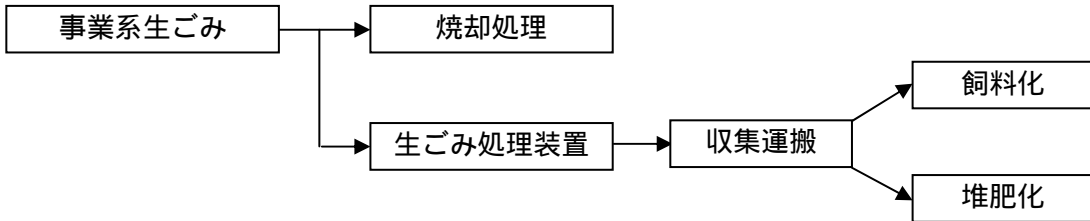
2) 事業系生ごみ再資源化事業

現状シナリオと想定変更シナリオは下図に示すとおりである。

() 事業系生ごみを焼却処理する (現状)



() 事業者 (12 事業所) がそれぞれ生ごみ処理設備を設置する (計画案)



その他のごみ (生ごみ以外の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ) に関しては、現状の処理方法と同様と仮定する。

図 1 - 4 5 事業系生ごみ再資源化事業の現状シナリオと計画案

この際、廃棄物会計上は生ごみを可燃ごみの中で取り扱っているため、可燃ごみの焼却処理量が減少し、その分が一次処理、堆肥化処理に向かうものとする。

モデル自治体における調査を基に、本シナリオの受入対象となる食品廃棄物量を設定した。同調査では、平成 17 年度の事業系の可燃ごみ搬入量 (許可業者、直接搬入、減免) に厨芥類割合 (60%、京都市調査結果) を乗じ、さらにこれに海老等の殻を除いた堆肥化・飼料化向け厨芥類割合 (発生源別調査から 85% : 最初から殻類を除いて排出するように依頼した場合を想定) を乗じて検討対象とする食品廃棄物排出量としている。また、異物混入率 (10%)、当該事業への旅館・ホテルの協力率 (80%) も考慮している。以上より、食品廃棄物 1,842 t が再資源化 (飼料化・堆肥化) されることとなる。

なお、事業系の可燃ごみは持ち込みのみであるので、収集運搬部門には影響を及ぼさない。

モデル自治体では中間処理を直営で行っている。中間処理部門では、可燃ごみの投入量が 1,842t/日減少するものとしたが、可燃ごみ総量 10,699t/日と比較した上で、作業人員等の処理体制に影響はないものとし、「特定の施設に係る物件費 (維持補修費、運転業務委託料等)」、人件費、共通的物件費、共通的経費に変更はないものと想定した。

最終処分部門において、可燃ごみの中でも一般に生ごみは灰分発生量が少なく、生ごみ減少分による残渣の発生量の変動は小さいと想定され、データの変更はないものとした。

資源化部門については、生ごみ処理装置は各事業所が負担して導入するものとして、リサイクルセンターを建設し、直営で運営するものとした。

諸元はモデル自治体における調査や既存施設に係るデータ等を基に、以下のように設定した。

資源化量：1,842ton/年
 内訳：土地 10%、施設 60%、装置 20%、その他 10%（既存の「清掃センター（選別・プレス）」同等）
 人員：正職員 2 名
 人件費：既存の「清掃センター（選別・プレス）」同等とする。
 堆肥・飼料売却収益：1,660,000 円（332t/年×5,000 円/ton、モデル自治体の調査による）

管理部門については、変更はないものとした。

3) ごみの有料化事業

ごみの有料化を行う対象品目は、可燃ごみ、不燃ごみとして、1 円/L と設定する。なお、有料化に伴い、指定袋やシール等の販売に係る費用はごみの有料化による収入の 3 分の 1 と見込んだ。モデル自治体の調査結果を基に、収入と費用の算出に用いたデータを表 1 - 7 に示す。

これより可燃ごみについては、収入は 24,126,474 円/年、費用は 8,042,158 円/年、不燃ごみについては、収入は 4,896,199 円/年、費用は 1,632,066 円/年となる。

表 1 - 7 収入と費用の算出に用いたデータ

基礎データ	可燃ごみの重量	kg	303.87
	可燃ごみの容積	L	1,968
	可燃ごみのかさ密度	L/kg	6.48
ごみ量	可燃ごみ量	t/年	3,725
	不燃ごみ量	t/年	756
収入・費用	ごみ袋収入	円/L	1.00
	ごみ袋費用	円/L	0.33

出所：モデル自治体調査結果

有料化に伴うごみ量の変動については、現状から 18%の減量と想定した。

会計的な側面からの効果の検証

のとおり、現行の処理システムとの相違により、処理費用等がどのように変化するかを検証する。

に示したような現行の処理システムを変更した場合、一般的に、焼却処理量等が減少するため、収集運搬や中間処理部門の委託料金が低減することとなる。そこで、収集量や焼却処理量等が減少したことにより、委託料金等が削減されるものと想定し、廃棄物会計基準を用いて、設定したシナリオにおけるトータルコストを算出した。トータルコストの算出は、以下のシナリオにて行うこととする。

<トータルコスト算出シナリオ>

シナリオ 1: 現状

シナリオ 2: 家庭系生ごみ堆肥化事業・事業系生ごみ再資源化事業を実施¹

- ・ 「収集運搬部門の委託料総額もしくは組合負担金支払額」が 10% 削減
- ・ 「中間処理部門の事業費総額」が 10% 削減
- ・ 「中間処理部門の人件費総額」が 10% 削減

¹ 家庭系生ごみ堆肥化事業・事業系生ごみ再資源化事業によって、低減される焼却処理量を勘案して想定。

シナリオ 3: ごみの有料化事業を実施²

- ・ 「収集運搬部門の委託料総額もしくは組合負担金支払額」が 20% 削減
- ・ 「中間処理部門の事業費総額」が 20% 削減
- ・ 「中間処理部門の人件費総額」が 20% 削減

² ごみの有料化事業によって、低減される焼却処理量を勘案して想定。

トータルコスト算出シナリオを基に、廃棄物会計基準を適用して可燃ごみの処理費用を算出した結果を表 1 - 8 に示す。

家庭系生ごみ堆肥化事業及び事業系生ごみ再資源化事業を実施するシナリオ 2 では、収集運搬部門、中間処理部門における費用の削減の可能性が示唆された。また、ごみの有料化事業を実施するシナリオ 3 においても、事業の実施により、収集運搬部門、中間処理部門における費用の削減の可能性が示唆された。なお、ごみの有料化事業を実施するシナリオ 3 では、指定袋の販売による収益によって、収益合計も増加している。

以上より、廃棄物会計基準を用いることで、廃棄物処理システムの変更に伴う、処理費用の変化を確認することができると考えられ、廃棄物会計基準は廃棄物処理システムの検討ツールとして有効であることが示唆された。

表 1 - 8 可燃ごみ処理費用 (単位: 円/年)

事業	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3
収集運搬部門	65,772,567	59,195,310	52,618,054
中間処理部門	171,488,421	168,600,640	165,712,858
最終処分部門	24,395,528	24,395,528	24,395,528
再資源化部門	0	0	0
収益合計	20,922,060	22,907,758	40,850,936
総計	240,734,456	229,283,720	201,875,504

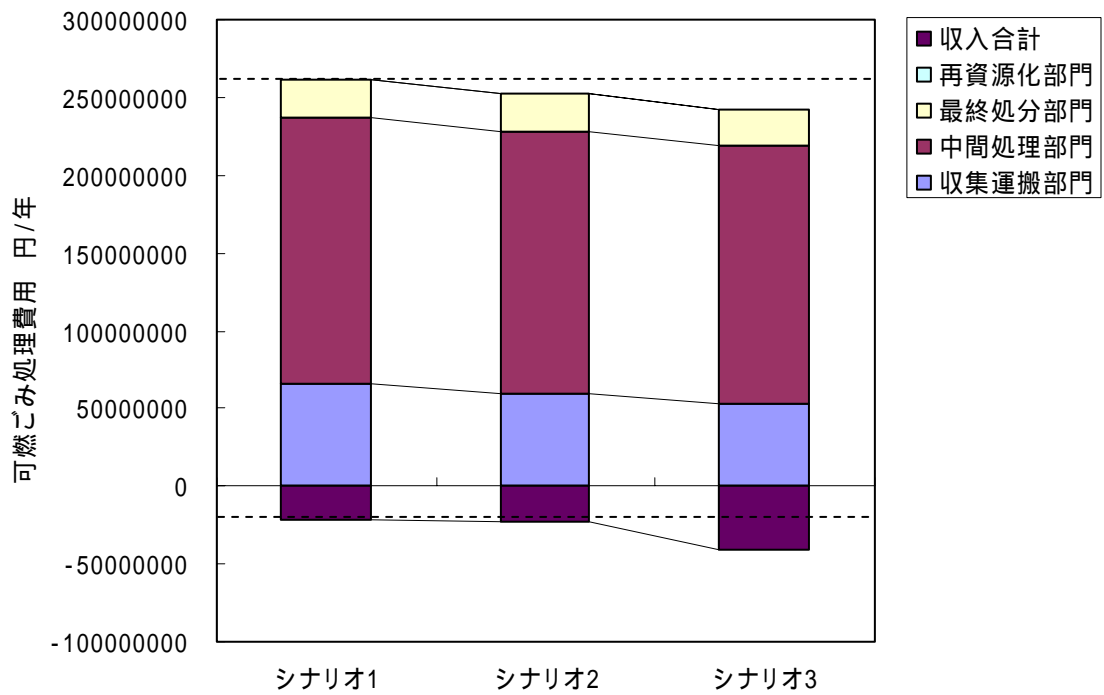


図 1 - 4 6 可燃ごみ処理費用

2. 廃棄物処理システムに関する LCA 手法の整理

廃棄物処理システムに関する LCA 手法には、様々な手法が存在している。しかしながら、インベントリーデータの取扱や評価結果の解釈等が難解な手法が多く、簡易的、試験的に廃棄物処理システムの LCA 評価を行うことが可能なものは多くはない。

このため、本調査では、ユーザー（ここでは特に地方自治体）が廃棄物処理システムの評価を比較的容易に行うことができるといった観点から既存の廃棄物処理システムに関する LCA 手法のうち、方法論がわかりやすく、かつ、それらの手法を応用したプログラム、ソフトウェア等が確立しているものを複数取り上げ、比較検討を実施した。対象とした LCA プログラム・ソフトウェアは、以下の3種類である。

- ・ 北海道大学 北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)
- ・ 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェア
- ・ 岡山大学 戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWMSS)

これらのプログラム・ソフトウェアの概要を表 2-1 に示す。

表 2-1 検討対象とした廃棄物処理システムに関する
LCA プログラム・ソフトウェアの概要

開発団体	北海道大学	早稲田大学	岡山大学
名称	北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)	BAS (Best Available System) ソフトウェア	戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWMSS)
機能単位	シナリオ設定次第で選択可能	シナリオ設定次第で選択可能	ごみ 1 t の処理
システム領域	収集輸送～最終処分	収集輸送～最終処分	収集輸送～最終処分
インパクトカテゴリー	考慮せず	地球温暖化、資源枯渇等、9つのインパクトカテゴリーを考慮	影響評価 (LCIA) が可能
インベントリー項目	ごみ量等	ごみ量等	ごみ量等
評価結果出力	コスト、エネルギー消費量、CO ₂ 排出量	コスト、統合化指標 ELP	コスト、LCI 結果、Midpoint 評価指標、Damage Category 指標
ソフト開発状況	一般公開済	現在作成中 (2007年3月完成予定)	第一版が2005年に完成

出所：各手法の公開資料に基づき三菱総合研究所が作成

2. 1 北海道大学「北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)」

(1) 概要

北海道大学では、総合的廃棄物処理 (IWM: Integrated Waste Management) について検討を行っている。IWM とは、すべての廃棄物、収集、処理、処分をひとつのシステムとし、コスト、環境影響等を最小化するための要素選択、設計を行うといった考え方である。IWM は既存のごみ処理システムの「一部」に集中した対策ではなく、「システム全体の改善」を目標としている。

同大学では、IWM を評価するため、1994 年頃から廃棄物の発生から最終処分までのデータの収集を開始し、都市ごみ処理評価のプログラムを 1998 年に作成した。その後、EXCEL 版を作成し、処理施設の追加等の改良も行われている。

なお、本プログラムは単にごみの流れを明らかにするだけでなく、物質フローを基に、二酸化炭素排出量、エネルギー消費量等の計算やコストの算出も可能となっており、LCA、LCC を実施することも可能である。

(2) 構成

「北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)」の構成を図 2-1 に示す。タイトルガイダンスから始まり、まず、排出ごみの設定をし、人口設定・分別方法等の設定をする。その設定条件を基に、処理オプションに関するパラメーターを設定する。さらに、収集オプションに関するパラメーターを設定し、最終的に計算結果を表示する。以下に各段階における構成の詳細を示す。

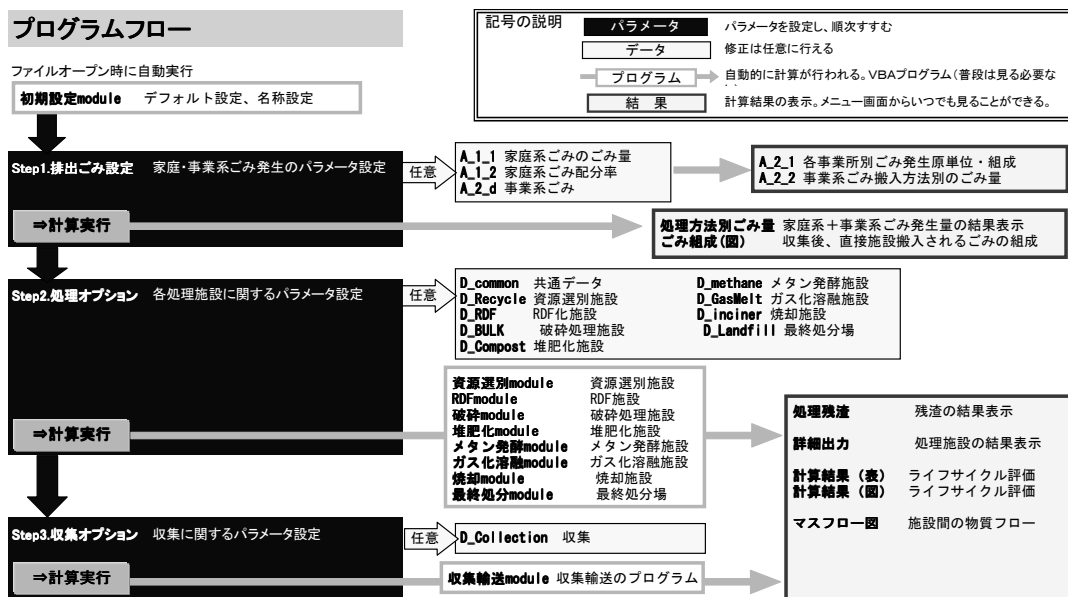


図 2-1 ソフトウェアの構成図 (北海道大学)

①排出ごみの設定

家庭系ごみ、事業系ごみの分別・収集方法、処理方法を設定し、処理方法別ごみ量を計算する。家庭系ごみでは、5種類の分別方法を想定しており、それに応じて焼却、直接埋立等の処理方法を選択することができる。また、ごみの収集量、分別率も考慮している。事業系ごみでは、従業員数、従業者割合、収集方法割合、処理方法を設定することができる。また、これらのパラメーターには全てデフォルト値が用意してあり、それを基にした排出ごみの設定をすることも可能である。

②処理オプション

資源化施設、焼却施設、ガス化熔融施設等、評価対象とする施設のパラメーターを設定する。実際の施設設計には数多くのデータが必要であるが、処理対象ごみの量や組成が与えられれば、施設の概略、設備構成はほぼ決定されることとなる。本プログラムでは、誰もが処理システム全体の計算を行えることを目的としているため、ユーザー設定パラメーターとしては、施設設計を左右する重要なもののみを入力することとし、簡単に計算を進められるような設計としている。また、処理オプションにて設定したパラメーターを基に、処理施設に関する計算を実行することができる。処理の計算を行うと、中間処理残渣、物質回収量等が出力される。同時に、施設間の物質収支をマスフロー図に出力することも可能である。

③収集オプション

家庭系ごみ、事業系ごみ、処理残渣等の収集輸送パラメーターを設定する。先に設定した分別ごみ種ごとに、収集頻度、使用車輛積載量、輸送距離等のパラメーターを設定することとなるが、ごみ種ごとに全てを個別に指定するのは煩雑であるため、現場から処理施設、処理施設から埋立地の距離は全て同じとする等のいくつかの単純化を行うことにて簡略化している。

なお、収集現場から処理施設までの距離が遠い場合、中継施設で大型の車輛に積み替える（中継輸送）と輸送効率が向上するが、分別ごみ種ごとに中継輸送の有無を指定すると煩雑となるので、中継輸送については、全ての処理施設が遠い場合、埋立地のみが遠い場合の2ケースのみを考慮することとしている。

④計算結果の表示

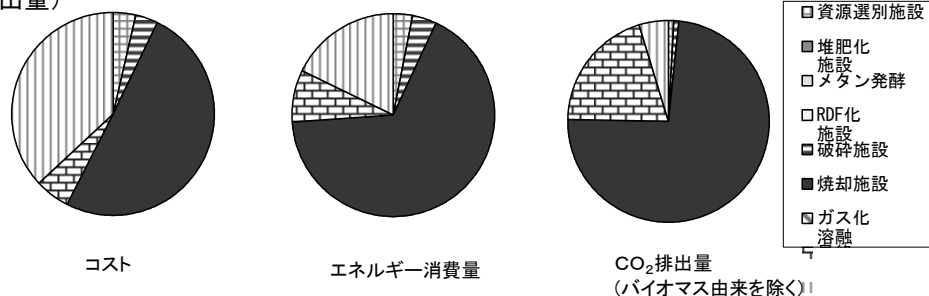
以上のパラメーター設定を基に、処理施設ごとのコスト、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量を計算した結果を出力することが可能である。ユーティリティでは、薬品等の使用量は種類が様々であるため省略している。コストでは、そのうちランニングコストは人件費とそれ以外の項目に分類している。エネルギー消費量では、施設・機器の運転のために外部が購入する電力、燃料と施設建設、機器製造、使用薬剤製造等のために間接的に消

費されるものを区別して表示している。また、エネルギー消費量に関しては、資源物、エネルギー回収によるそれらの製造に伴うエネルギー消費量の削減を削減分として評価している。二酸化炭素排出量では施設の運転、建設、削減分に分けて集計している。なお、これらの計算結果をグラフ表示することも可能である（図2-2）。

廃棄物処理システムのライフサイクル評価(施設建設等を含む)

数値は(計算結果表)参照

A.消費量(排出量)



B.消費量(排出量)－削減量

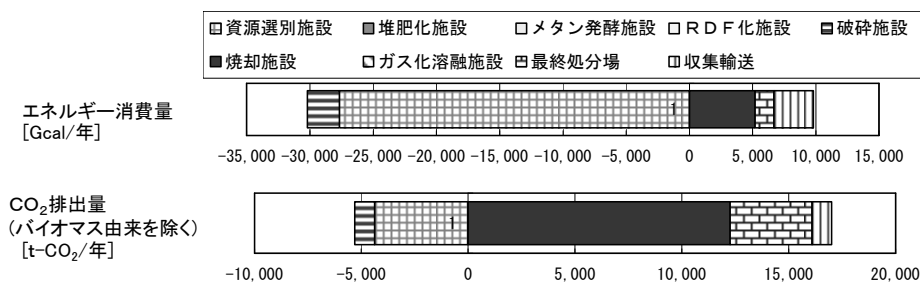


図2-2 ソフトウェア評価結果 (北海道大学)

(3) 特長

本手法及びソフトウェアの特長は以下の通りである。

- ・ 自治体で発生するすべてのごみと処理プロセスを対象とし、処理システム全体としての評価を行う評価計算プログラムを作成したこと。
- ・ 発生した不用物がプレリサイクル、自家処理の実施、分別方法によってどのように分かれ、処理されるかという「ごみ流れ」を表現できるものとしたこと。
- ・ LCA の評価指標を参考に、すべての処理プロセスについてコスト、エネルギー、環境影響を指標として多面的評価を行ったこと。
- ・ 評価計算プログラムで使用するため、北海道大学工学部清掃講座に蓄積されたデータの他に、自治体の清掃事業概要、住民向けパンフレットなどごみ処理に関する資料、文献収集、設計実務者へのヒアリングによりごみ処理全般にわたる情報を収集・整理したこと。

2. 2 早稲田大学 BAS 手法 (BAS ソフトウェア)

(1) 概要

早稲田大学では、従来から一般廃棄物処理の各段階（収集・輸送・中間処理・最終処分・再資源化）における LCA 的評価手法を開発してきた。一般廃棄物処理では、各段階の検討事項が相互に関連しているため、システム全体を考慮した評価が求められ、環境的、経済的に優れたシステムの構築が必要となる。そこで、同大学では、従来までに開発を行ってきた廃棄物処理技術に関する LCA 手法である TLCA (Technology Life Cycle Assessment) とライフサイクルを通じたコストを評価する手法である LCC (Life Cycle Costing) を考慮した包括的な評価方法 CLCA (Comprehensive Life Cycle Assessment) の考え方を導入し、その中で最適なシステム BAS (Best Available System) の提案手法について検討を行っている。

現在、BAS を提案するためのツールとしてメーカーや自治体から提供されたデータを基に、ユーザーの中心となる地方自治体を利用することが容易である「一般廃棄物処理技術の BAS ソフトウェア」の開発を行っている。

(2) 構成

BAS ソフトウェアの構成を図 2-3 に示す。タイトルガイダンスから始まり、ソフトウェアの用途を選択する。一般廃棄物処理体系の把握・改善を選択した場合、まず、ごみ質・組成を設定し、分別収集・処理の設定をする。その設定条件から、収集・輸送・中間処理・最終処分の各段階における評価を行い、最終的にそれらの評価すべてを合算した総合的な評価結果を示す。以下に各段階における構成の詳細を示す。

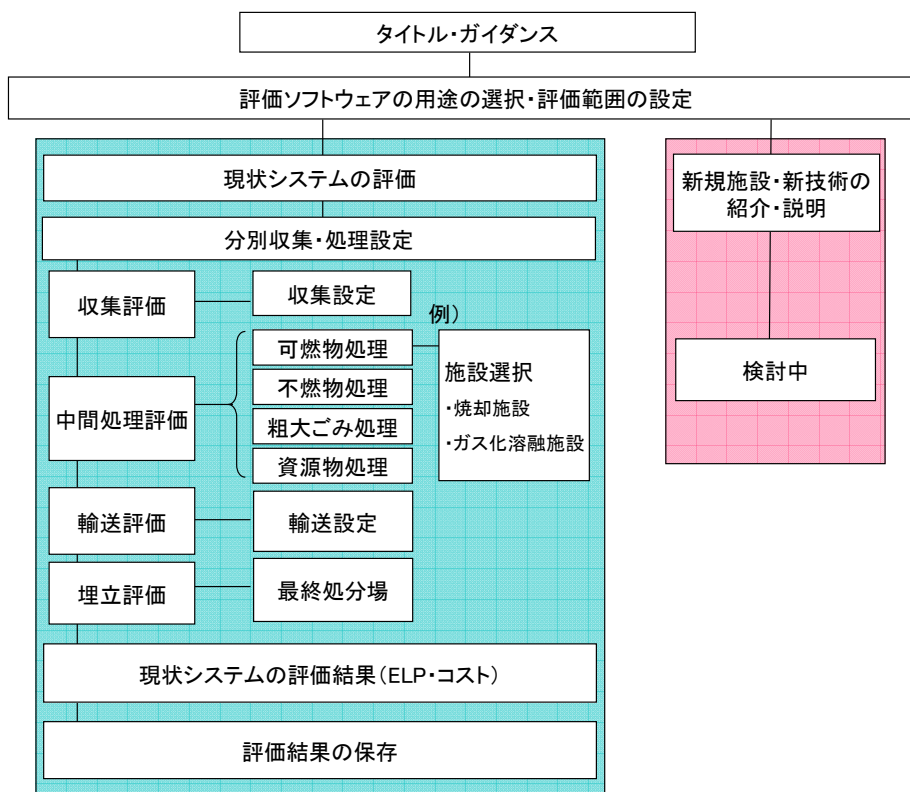


図 2-3 BAS ソフトウェアの構成

①ごみ質・組成の設定

ごみ質・組成の設定は、全国の自治体の Web サイトや公表資料を基に、一般廃棄物を 17 種類に分類し、さらにその分類内にて細分化し、合計 59 種類に分類した品目ごとに行うことができる。設定項目は低位発熱量、三成分、元素組成、素材構成、かさ比重（収集時）であり、各設定項目についてデフォルト値を用意することで、ユーザーの入力の手間を簡略化するよう配慮した設計がなされている。

②分別区分の設定

各種リサイクル法の制定に伴い、ごみの分別区分は地方自治体によって大きく異なるため、様々な分別区分に対応可能なように分別区分を設定している。具体的には、先に分類した 59 種類のうち、資源として回収可能と考えられる 26 種類のごみを抽出し、それらの分別区分を自由に設定できるようにしている。例えば、缶、びん、ペットボトルを全て別々に収集する場合、または混合収集する場合等、様々な組み合わせを設定することが可能である。

③処理方法の設定

中間処理に注目すると、焼却処理を考えただけでも、焼却+灰溶融またはガス化溶融、焼却発電の有無等、様々な組み合わせが想定される。各処理方式によって、LCAを考える上で、施設への投入、排出が異なるため、それぞれに対応可能な形式を採用する必要がある。本ソフトウェアでは、各種ごみや中間生成物（焼却灰等）の処理方式を適宜、選択することで処理フローを決定することが可能である。

④収集の評価

分別収集の設定にて、決定された区分ごとの収集に係る経費と環境負荷の算出を行う。本算出には、（社）プラスチック処理促進協会の廃プラスチック収集輸送等に関するデータソフトにおける収集シミュレーションモデルを用いている。

⑤中間処理・最終処分・リサイクル効果の評価

処理方法の設定で決定されたフローに基づき、使用する中間処理施設、最終処分、リサイクル施設の評価を行う。各施設のコストとしては、建設費、人件費等の評価しており、環境負荷としては、施設の運用時におけるエネルギーや資材の投入・排出を評価している。また、焼却発電については、発電による所内消費と売電分のコスト・環境負荷を考慮し、資源回収については、その売却利益や新たな資源採取の代替分として、コスト・環境負荷を考慮している。

⑥一般廃棄物処理体系の評価・比較

前述した各段階における評価結果を合算することにより、一般廃棄物処理体系の一連の流れを評価した結果を算出することができる。また、この結果を保存することで、処理体系を変更した場合のシミュレーション評価を行い、保存した評価結果と比較を行うことによって、廃棄物処理体系の改善策等の検討を行うことも可能である（図2-4）。

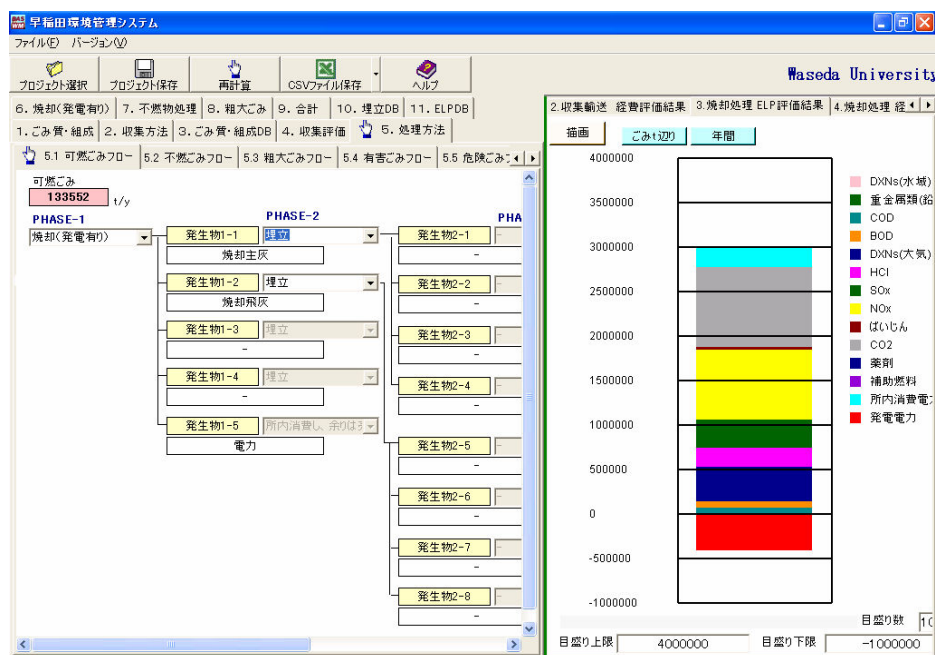


図 2-4 ソフトウェア評価結果（早稲田大学）

(3) 特長

本手法及びソフトウェアの特長は以下の通りである。

- ・ LCA・LCC の観点から収集・回収から最終利用・最終処分まで一連の一般廃棄物処理システムを評価範囲としていること。
- ・ 評価の基盤となる焼却・溶融等の環境負荷データ（処理規模に応じた投入・排出量、発電効率等）が、プラントメーカーの設計・計画値に基づき、データベース化されていること。
- ・ 上記の観点から、評価シナリオごとのリサイクル率、エネルギー回収、最終処分等に関する指標が算出可能であること。
- ・ さらに、同大学が開発した統合化指標 ELP を適用することで、より総合的な評価・考察を可能としていること。

なお、今後、バイオマス有効利用等の新技術のデータベースへの組み込み、都市規模・地域特性等を考慮したシナリオの構築を可能とするようにソフトウェアの高度化を図る予定とのことである。

2. 3 岡山大学戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWSS)

(1) 概要

岡山大学では、平成 15 年度より 21 世紀 COE プログラム「循環型社会への戦略的廃棄物マネジメント」に取り組んでいる。その一環として、廃棄物マネジメントに係る意志決定を支援する目的で、廃棄物ライフサイクルアセスメント (Waste Life Cycle Assessment; WLCA) と廃棄物ライフサイクルコスト (Waste Life Cycle Cost; WLCC) の評価手法に基づいた戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア Strategic Solid Waste Management Supporting Software (SSWSS) の開発に取り組んでいる。

2005 年 12 月現在、本ソフトウェアの第一版が完成し、現在、その高度化を図っているところである。

(2) 構成

戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWSS) の構成を図 2-5 に示す。本ソフトウェアの構成は大きく、入力項目、モデル、中間出力項目、最終出力項目に分類することができる。以下に各構成の詳細を示す。

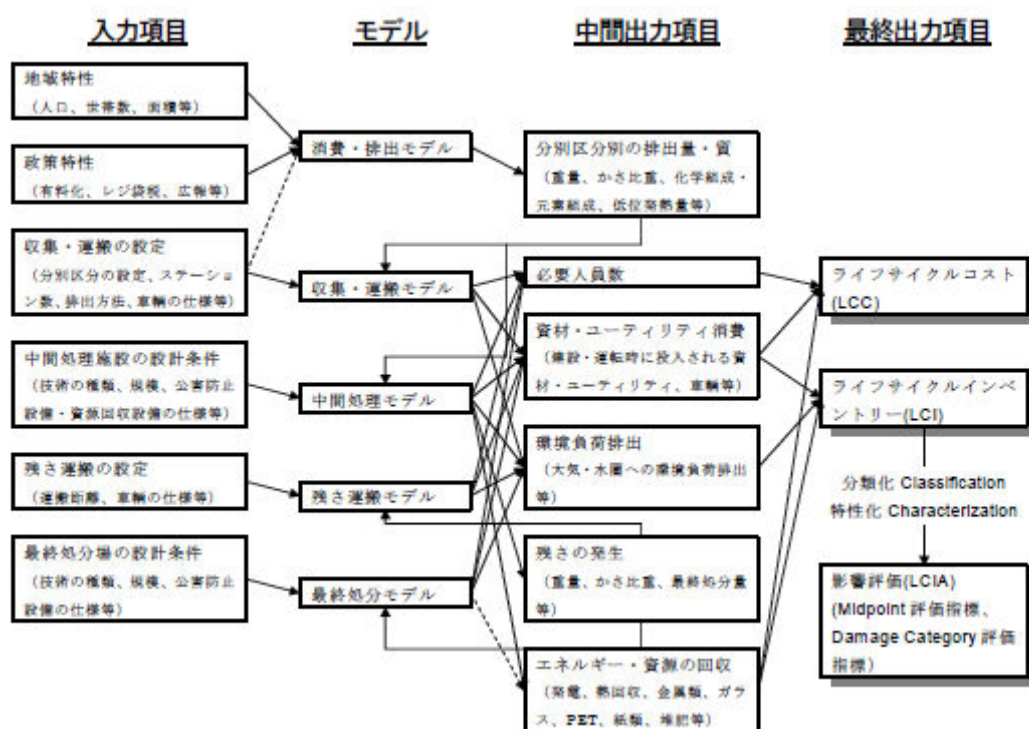


図 2-5 戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWSS) の構成

①入力項目

入力項目としては計画要素として「地域特性」、「政策特性」、「技術特性」の3要素を取りあげている。「地域特性」としては人口、世帯数、面積等を、「政策特性」としてはごみの有料化、レジ袋税、広報等を考慮している。なお、「技術特性」として「中間処理施設の設計条件」、「残さ運搬の設定」、「最終処分場の設計条件」を取りあげている。

「中間処理施設の設計条件」としては、分別区分、ステーション数、排出方法、車輛仕様等を、「残さ運搬の設定」としては、運搬距離、車輛仕様等を、「最終処分場の設計条件」としては、技術の種類、規模、公害防止設備仕様等を考慮している。

②モデル

モデルとして「消費・排出モデル」、「収集・運搬モデル」、「中間処理モデル」等を構築した。岡山大学では、ソフトウェアに組み込むLCA/LCCの計算モデルを構築すべく、特に中間処理技術に焦点を当てて環境負荷、費用等に関する基礎データ収集・解析を行った。以下、中間処理技術に係る計算モデルの構築に関して詳細に示す。

中間処理技術に係る計算モデルでは、発生するごみの量や質、処理方式・設備の仕様など様々な計画要素を入力値とし、ごみ処理施設の建設・運用に必要なユーティリティ・資材の消費量、施設から排出される環境負荷物質の量、及び回収される資源化物の数量を算出する。これら計算された数量に環境負荷原単位および単価情報に乗じることにより、LCI/LCCを算出する。検討範囲は施設の建設・運転に伴うユーティリティ・資材・薬剤消費、ごみ処理に伴う環境負荷、及び施設運転に関わる人員とし、LCA/LCCの評価項目として、エネルギー消費、CO₂排出、SO_x排出、NO_x排出（以上、間接排出含む）、及び廃棄物処理に伴って施設から直接排出されるPM、HCl、DXN、埋立量、及びイニシャルコスト・ランニングコストを取りあげている。なお、機能単位は「ごみ1tの処理」としている。

評価対象処理技術は、中間処理の主要技術として焼却処理、灰溶融処理、ガス化溶融処理、RDF化、コンポスト化、炭化、バイオガス化とした。調査項目は、対象施設の建設費・面積・設備構成等の諸元、処理対象・処理量、人員数、ユーティリティ・薬剤の使用量、残さ発生量、発電量・資源回収量等、LCA/LCCの実施に必要な各種項目を設定した。調査票は、平成16年10月12日に1,380施設を対象として一般廃棄物の中間処理施設に発送し、725施設（回収率：53%）から回答が寄せられた。

計算モデル構築にあたっては、（社）環境衛生施設工業会の協力の下に処理プラントメーカーのメンバーで構成する検討会を構成し、処理技術の専門家の知識を反映した。各種目的変数と関連があると考えられる説明変数候補について重回帰分析に投入し、ステップワイズ法により計算モデルを構築した。同様の検討により、その他の処理技術についても計算モデル、原単位を構築し、これら各種知見をソフトウェア第一版として統合した。

③中間出力項目

②のモデル群に、①における計画パラメーターを入力することで「分別区分別の排出量・質」、「必要人員数」、「資材・ユーティリティ消費」、「環境負荷排出」、「残さの発生」、「エネルギー・資源の回収」などの数量を中間的に出力することができる。

④最終出力項目

③の中間出力項目に各種単価・環境負荷原単位を乗じることでライフサイクルコスト (LCC)、ライフサイクルインベントリー (LCI) の計算結果を出力することができる。また、LCIの結果を分類化・特性化し、環境影響に関する各種評価指標についても併せて出力することが可能である (図2-6)。



図2-6 ソフトウェア評価結果 (岡山大学)

(3) 特長

本手法及びソフトウェアの特長は以下の通りである。

- ・ 計画要素として「地域特性」、「政策特性」、「技術特性」の3つの要素を取り上げ、これらが最終的に環境負荷・コストにどの程度影響するかを評価することを目指していること。
- ・ ライフサイクルコスト (LCC)、ライフサイクルインベントリー (LCI) だけでなく、分類化・特性化することで環境影響に関する各種評価指標 (影響評価 (LCIA) : Midpoint 評価指標、Damage Category 評価指標) についても併せて評価できること。

- ・ 中間処理技術に焦点を当て、環境負荷、費用等に関する基礎データ収集・解析を行うべく、一般廃棄物の中間処理施設に対して実態調査を行っていること。
- ・ 処理プラントメーカーのメンバーで構成する検討会を構成し、処理技術の専門家の知識を反映していること。

なお、今後は、中間処理以外の過程についてのデータベース構築、モデル化について検討を進めるとともに、不確実性分析、費用便益・環境効率、最適化等の計画手法についても併せて検討し、順次搭載していく予定とのことである。

2. 4 各方法論の比較検討結果

前項までに調査した LCA プログラム・ソフトウェアの比較検討結果を表 2-2 に示す。

表 2-2 LCA プログラム・ソフトウェアの比較検討結果

開発団体	北海道大学	早稲田大学	岡山大学
名称	北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)	BAS (Best Available System) ソフトウェア	戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェア (SSWMSS)
機能単位	シナリオ設定次第で選択可能	シナリオ設定次第で選択可能	ごみ 1 t の処理
プログラム・ソフトウェアの構成	<ul style="list-style-type: none"> 排出ごみの設定 処理オプション 収集オプション 計算結果の表示 	<ul style="list-style-type: none"> タイトルガイダンス ごみ質・組成の設定 分別区分の設定 収集の評価 中間処理・最終処分・リサイクルの評価 一般廃棄物処理体系の評価・比較 	<ul style="list-style-type: none"> 入力項目 モデル 中間出力項目 最終出力項目
システム領域	収集輸送～最終処分	収集輸送～最終処分	収集輸送～最終処分
入力項目	<ul style="list-style-type: none"> 人口設定 分別方法 (5 種類の中から選択) 処理方法 (焼却、埋立、ガス化熔融等) ごみのパラメータ (紙類、布類、プラ等) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ質・組成 (低位発熱量、三成分、元素組成等) 分別区分 (可燃ごみ、不燃ごみ等) 収集方法 (収集シミュレーションから選択) 処理方法 (処理方法の種類等) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性 (人口等) 政策特性 (有料化等) 収集・運搬条件 (分別区分等) 中間処理施設条件 (技術の種類等) 残さ運搬条件 (運搬距離等) 最終処分場条件 (技術の種類等) 等
インパクトカテゴリー	考慮せず	地球温暖化、資源枯渇等、9 つのインパクトカテゴリーを考慮	影響評価 (LCIA) が可能
評価結果出力	コスト、エネルギー消費量、CO ₂ 排出量	コスト、統合化指標 ELP	コスト、LCI 結果、Midpoint 評価指標、Damage Category 指標
ソフト開発	一般公開済	現在作成中	第一版が 2005 年に完成

開発団体	北海道大学	早稲田大学	岡山大学
状況		(2007年3月完成予定)	
特長	<ul style="list-style-type: none"> 自治体で発生するすべてのごみと処理プロセスを対象とし、処理システム全体としての評価を行う評価計算プログラムを作成したこと。 発生した不用物がプレリサイクル、自家処理の実施、分別方法によってどのように分かれ、処理されるかという「ごみ流れ」を表現できるものとしたこと。 LCAの評価指標を参考に、すべての処理プロセスについてコスト、エネルギー、環境影響を指標として多面的評価を行ったこと。 評価計算プログラムで使用するため、北海道大学工学部清掃講座に蓄積されたデータの他に、自治体の清掃事業概要、住民向けパンフレットなどごみ処理に関する資料、文献収集、設計実務者へのヒアリングによりごみ処理全般にわたる情報を収集・整理したこと。 	<ul style="list-style-type: none"> LCA・LCCの観点から収集・回収から最終利用・最終処分まで一連の一般廃棄物処理システムを評価範囲としていること。 評価の基盤となる焼却・溶融等の環境負荷データ（処理規模に応じた投入・排出量、発電効率等）が、プラントメーカーの設計・計画値に基づき、データベース化されていること。 上記の観点から、評価シナリオごとのリサイクル率、エネルギー回収、最終処分等に関する指標が算出可能であること。 さらに、同大学が開発した統合化指標ELPを適用することで、より総合的な評価・考察を可能としていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画要素として「地域特性」、「政策特性」、「技術特性」の3つの要素を取り上げ、これらが最終的に環境負荷・コストにどの程度影響するかを評価することを目指していること。 ライフサイクルコスト（LCC）、ライフサイクルインベントリー（LCI）だけでなく、分類化・特性化することで環境影響に関する各種評価指標（影響評価（LCIA）：Midpoint評価指標、Damage Category評価指標）についても併せて評価できること。 中間処理技術に焦点を当て、環境負荷、費用等に関する基礎データ収集・解析を行うべく、一般廃棄物の中間処理施設に対して実態調査を行っていること。 処理プラントメーカーのメンバーで構成する検討会を構成し、処理技術の専門家の知識を反映していること。

3. 廃棄物処理システムに関する LCA 手法のモデル自治体への適用

三重県内の市町のうち、廃棄物処理システムの変更を計画中のある市を参考にモデル自治体を設置し、2. で選定した LCA 手法をモデル的に適用し、廃棄物処理システムの変更に伴う環境影響評価を実施することで、廃棄物処理システムの検討ツールとしての LCA 手法の可能性について検証する。なお、LCA 手法としては、北海道大学と早稲田大学が開発した2つの手法（「北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラム（H-IWM）」、「早稲田大学 BAS（Best Available System）ソフトウェア」）を用いることとした。

3. 1 評価対象シナリオの設定

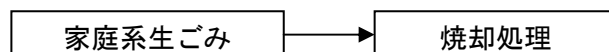
下記の3事業、①家庭系生ごみ堆肥化事業、②事業系生ごみ再資源化事業、③ごみの有料化事業について、廃棄物処理システムの変更に伴う環境影響評価を LCA 手法を用いて実施する。以下に各事業における評価対象シナリオのイメージを示す。

(1) 家庭系生ごみ堆肥化事業

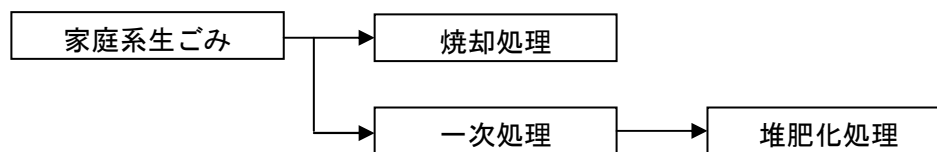
①シナリオ及びシステムバウンダリー

シナリオ及びシステムバウンダリーとして以下を想定した（図3-1）。各シナリオに対して LCA 手法を適用することで、ごみ排出量（1年間あたり）を機能単位として環境影響を比較する。

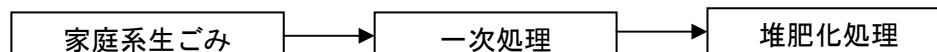
(i) 家庭系生ごみを焼却処理する（現状）



(ii) 家庭系生ごみの一部を堆肥化処理する（計画案）



(iii) 家庭系生ごみを全て堆肥化処理する（想定シナリオ案）



※ その他のごみ（生ごみ以外の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）に関しては、現状の処理方法と同様と仮定する。

※ 詳細な評価を行う場合には、焼却処理、埋立（焼却灰）処分から堆肥化処理に変更した効果として、例えば、助燃材の使用量の減少、埋立処分量の減少等も対象とする必要がある。

図3-1 家庭系生ごみ堆肥化事業のシステムバウンダリー

②シナリオの概要

想定したシナリオの概要は以下のとおりである。

(i) 家庭系生ごみを焼却処理する（現状）

- ・ 家庭系生ごみを全て焼却処理するシナリオである。

(ii) 家庭系生ごみの一部を堆肥化処理する（計画案）

- ・ 家庭系生ごみの一部を堆肥化処理するシナリオである。
- ・ モデル自治体の全 8,352 世帯（平成 19 年 3 月末日現在）中、500 世帯が生ごみの堆肥化に取り組んだと想定している。

(iii) 家庭系生ごみを全て堆肥化処理する（想定シナリオ案）

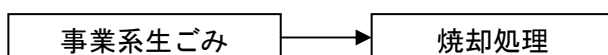
- ・ 家庭系生ごみを全て堆肥化処理するシナリオである。
- ・ モデル自治体の全 8,352 世帯（平成 19 年 3 月末日現在）中、全 8,352 世帯が生ごみの堆肥化に取り組んだと想定している。

(2) 事業系生ごみ再資源化事業（飼料化・堆肥化）

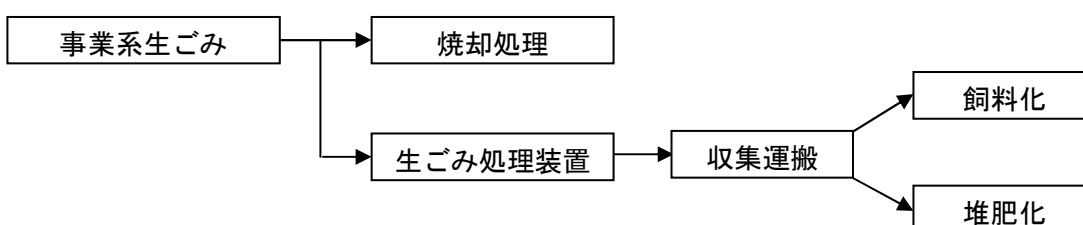
①シナリオ及びシステムバウンダリー

シナリオ及びシステムバウンダリーとして以下を想定した（図3-2）。各シナリオに対してLCA手法を適用することで、ごみ排出量（1年間あたり）を機能単位として環境影響を比較する。

(i) 事業系生ごみを焼却処理する（現状）



(ii) 事業者（12事業所）がそれぞれ生ごみ処理設備を設置する（計画案）



(iii) 事業所全てが生ごみ処理設備を設置する（想定シナリオ案）



※その他のごみ（生ごみ以外の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）に関しては、現状の処理方法と同様と仮定する。

図3-2 事業系生ごみ再資源化事業のシステムバウンダリー

②シナリオの概要

想定したシナリオの概要は以下のとおりである。

(i) 事業系生ごみを焼却処理する（現状）

- ・ 事業系生ごみを全て焼却処理するシナリオである。

(ii) 事業者（12事業者）がそれぞれ生ごみ処理設備を設置する（計画案）

- ・ 事業者がそれぞれ生ごみ処理設備を設置し、飼料化、堆肥化処理するシナリオである。

- ・ 比較的規模の大きな旅館・ホテル（日平均排出量 100kg 以上の 12 事業所＝全体の 4 割程度を占める）にて食品廃棄物を養殖用飼料へ飼料化と堆肥化することを想定している。
- ・ 各旅館・ホテルが粉碎（ミンチ化）・乾燥装置（生ごみ処理装置）、冷蔵庫を導入し、食品廃棄物のリサイクルを行う。
- ・ 生成物は週 1 回、回収する。
- ・ 生成された乾燥物または堆肥は 1 箇所に集約し、養殖用飼料はセンターから直接養殖所へ、また、乾燥物は配合堆肥メーカーへ原料として売却する。
- ・ 本事業では、飼料の売却等による効果は評価しないこととする。

(iii) 事業所全てが生ごみ処理設備を設置する（想定シナリオ案）

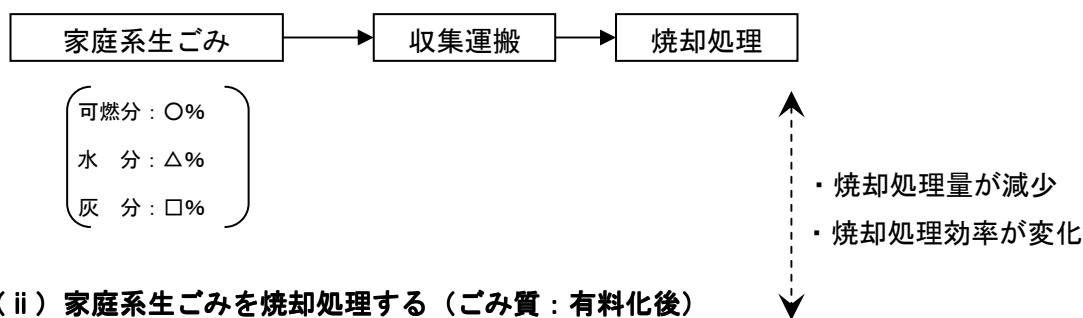
- ・ 事業者がそれぞれ生ごみ処理設備を設置し、飼料化、堆肥化処理するシナリオである。
- ・ 全ての事業者が生ごみ処理設備を設置し、飼料化、堆肥化処理することを想定した。

(3) ごみの有料化事業

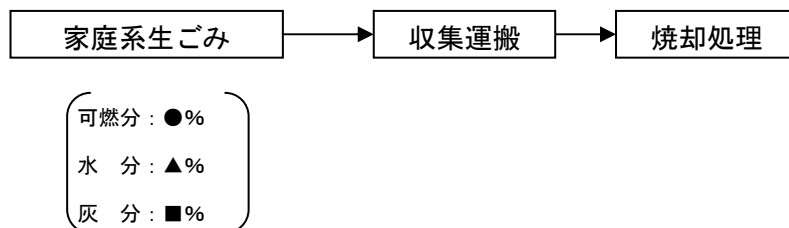
①シナリオ及びシステムバウンダリー

シナリオ及びシステムバウンダリーとして以下を想定した(図3-3)。各シナリオに対してLCA手法を適用することで、ごみ排出量(1年間あたり)を機能単位として環境影響を比較する。

(i) 家庭系生ごみを焼却処理する(ごみ質:現状)



(ii) 家庭系生ごみを焼却処理する(ごみ質:有料化後)



※焼却処理量の減少だけでなく、ごみ質が変わることにより焼却処理効率も変化する。

図3-3 ごみの有料化事業のシステムバウンダリー

②シナリオの概要

想定したシナリオの概要は以下のとおりである。

(i) 家庭系生ごみを焼却処理する(ごみ質:現状)

- ・ 家庭系の生ごみを焼却処理するシナリオである。ごみ質は有料化前のごみ質とする。

(ii) 家庭系生ごみを焼却処理する(ごみ質:有料化後)

- ・ 家庭系の生ごみを焼却処理するシナリオである。ごみ質は有料化後のごみ質とする。また、有料化によって18%のごみの減量化が達成できたと想定した。

3. 2 インベントリーデータの収集・整理

各事業における LCA の実施に伴い、LCA 評価に必要となるインベントリーデータの収集・整理を行った。

(1) 焼却施設に係るインベントリーデータ

表 3-1 に焼却施設の概要を示す。

表 3-1 焼却施設の概要

処理能力	t / 日	45
稼働日	日	221
稼働率	%	61
炉の数	炉	2
焼却発電方式		発電なし
炉の形式		ストーカ式 (バッチ式)
ガス冷却方式		水噴射式
集塵灰処理方法		薬剤処理後セメント固化
炉の点検時のごみ処理		全量焼却
HCL 規制値	ppm	150 以下
NOX 規制値	ppm	250 以下
SOX 規制値 (K 値)	ppm	17.5 以下
DXNs 規制値	Ng-TEQ/m ³ N	5 以下

(2) ごみ量に係るインベントリーデータ

平成 17 年度のモデル自治体のごみ量は表 3-2 に示すとおりであり、家庭系ごみが 46.5%、事業系ごみが 53.5%を占めている。また、住民 1 人 1 日当たりのごみの排出量を表 3-3 に示す。事業系ごみの方が家庭系ごみよりも多く排出されていることが特徴である。

表 3-2 モデル自治体のごみ量 (平成 17 年度)

ごみの種類	排出量 トン	割合 %
家庭系ごみ	6,106	46.5%
事業系ごみ	7,035	53.5%
合計	13,141	100.0%

表 3-3 モデル自治体の 1 人 1 日当たりのごみ量（平成 17 年度）

ごみの種類	排出量 g/人・日
家庭系ごみ	704
事業系ごみ	811
合計	1,515

（3）家庭系生ごみ堆肥化事業に係るインベントリーデータ

①ごみ量・ごみ質

モデル自治体における調査結果を基に、本シナリオにおけるごみ量を設定した。本調査では、モデル自治体を一般住宅と海岸部に分け、実際に排出された家庭系の可燃ごみのごみ質を調査している。調査期間（サンプリング期間）は、一般住宅、海岸部ともに 3 日分のごみを対象としたものである。調査対象量はサンプリングしたごみ量全量ではなく、一般住宅と海辺の海岸部宅（一般と漁師や民宿等）を 6：4 の割合にてサンプリングしたごみ量から採取したものである。なお、本割合はサンプリングした可燃ごみの袋数で判断している。

可燃ごみのごみ質を図 3-4 に示す。同図の可燃ごみのごみ質を用いて、焼却施設への投入量をごみ組成ごとに算出した。この焼却施設への投入量をもとに事業化後、想定シナリオにおける焼却施設への投入量を整理した結果を表 3-4 に示す。家庭から発生する厨芥類を堆肥化することにより、焼却施設へ投入される厨芥類の量が大幅に減少していることがわかる。

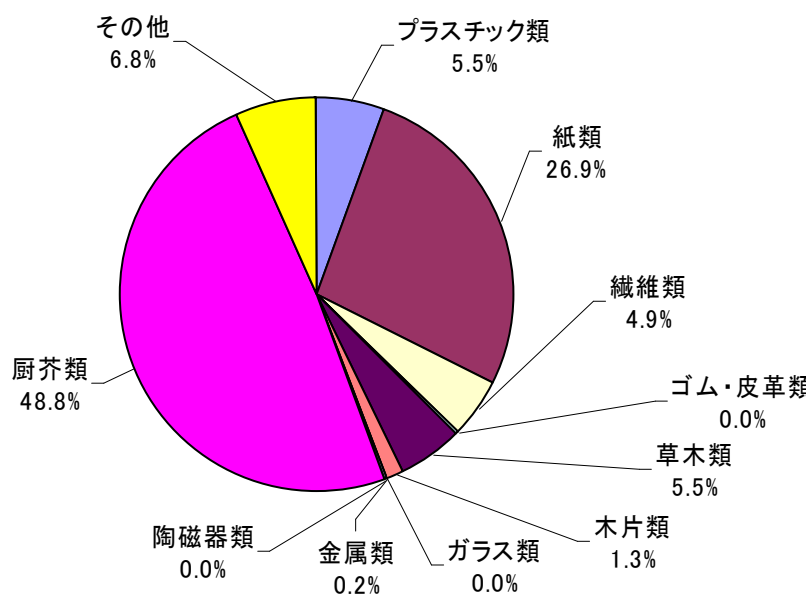


図 3-4 可燃ごみのごみ質（家庭系）

表 3-4 焼却施設への投入量（ごみ組成ごと：家庭系）

	現状		事業化後		想定シナリオ	
	量 t	割合 %	量 t	割合 %	量 t	割合 %
プラスチック類	218.8	5.5	218.8	5.8	218.8	10.8
紙類	1061.2	26.9	1061.2	27.9	1061.2	52.5
繊維類	194.5	4.9	194.5	5.1	194.5	9.6
ゴム・皮革類	1.9	0.0	1.9	0.1	1.9	0.1
草木類	217.1	5.5	217.1	5.7	217.1	10.7
木片類	51.9	1.3	51.9	1.4	51.9	2.6
ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	8.3	0.2	8.3	0.2	8.3	0.4
陶磁器類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
厨芥類	1926.9	48.8	1776.9	46.8	0.0	0.0
その他	268.3	6.8	268.3	7.1	268.3	13.3
合計	3949.0	100.0	3799.0	100.0	2022.1	100.0

②ホイルローダー

生ごみを堆肥化する場合、各家庭からの生ごみは集積場に集められることとなる。集積場に集められた生ごみの整備のためにはホイルローダーが必要となる。表 3-5 に使用するホイルローダーのインベントリーデータを示す。

表 3-5 ホイルローダーのインベントリーデータ

軽油消費量	L/日	0.5
	L/年	182.5

(4) 事業系生ごみ再資源化事業に係るインベントリーデータ

①ごみ量

モデル自治体における調査結果を基に、本シナリオの受入対象となる食品廃棄物量を設定した。本調査では、平成 17 年度の事業系の可燃ごみ搬入量（許可業者、直接搬入、減免）に厨芥類割合（60%、京都市調査結果）を乗じ、さらにこれに海老等の殻を除いた堆肥化・飼料化向け厨芥類割合（発生源別調査から 85%：最初から殻類を除いて排出するように依頼した場合を想定）を乗じて検討対象とする食品廃棄物排出量を算出している。また、異物混入率（10%）、当該事業への旅館・ホテルの協力率（80%）も考慮している。表 3-6 に本シナリオの食品廃棄物排出量を示す。食品廃棄物 1,842 t が再資源化（飼料化・堆肥化）されることとなる。

表 3-6 本シナリオにおける食品廃棄物排出量

	可燃 (許可業者)	可燃 (直接搬入+減免)	合計
H17 実績 t ※可燃ごみ、本土分 のみ	4,254.3	1,533.5	5,787.8
旅館・ホテル割 合 %	71.1	67.8	—
旅館・ホテルからの 可燃ごみ排出量 t	3,025	1,040	4,065
可燃ごみ中の食品廃 棄物割合 %	60		—
海老等の殻を除いた 割合 %	85		—
異物混入率 %	10		—
協力率 %	80		—
食品廃棄物量 t	1,371	471	1,842

②ごみ質

可燃ごみのごみ質を図 3-5 に示す。同図の可燃ごみのごみ質を用いて、焼却施設への投入量をごみ組成ごとに算出した。この焼却施設への投入量をもとに事業化後、想定シナリオにおける焼却施設への投入量を整理した結果を表 3-7 に示す。旅館・ホテルから発生する食品廃棄物を再資源化（飼料化）することにより、焼却施設へ投入される厨芥類の量が大幅に減少していることがわかる。

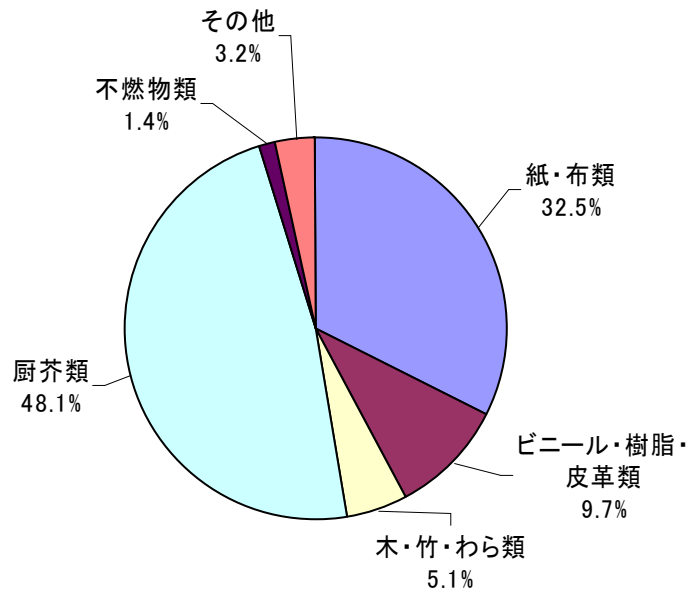


図 3-5 可燃ごみのごみ質 (事業系)

表 3-7 焼却施設への投入量 (ごみ組成ごと : 事業系)

	現状		事業化後		想定シナリオ	
	量 t	割合 %	量 t	割合 %	量 t	割合 %
紙・布類	1881.0	32.5	1881.0	47.7	1881.0	62.6
ビニール・樹脂・皮革類	561.4	9.7	561.4	14.2	561.4	18.7
木・竹・わら類	295.2	5.1	295.2	7.5	295.2	9.8
厨芥類	2783.9	48.1	941.9	23.9	0	0.0
不燃物類	81.0	1.4	81.0	2.1	81.0	2.7
その他	185.2	3.2	185.2	4.7	185.2	6.2
合計	5787.8	100.0	3945.8	100.0	3003.9	100.0

③破砕装置・乾燥型生ごみ処理機・冷凍庫

生ごみの再資源化には、破砕装置や生ごみ処理機、保管のための冷凍庫が必要となる。表 3-8 に使用する破砕装置、乾燥型生ごみ処理機、冷凍庫のインベントリーデータを示す。各機器の消費電力量は、同表の運転費用を基に、電気代 0.02 千円/kWh (出所：北海道大学 北大ー総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)) より換算した。なお、後述する LCA では、計画シナリオでは、一般旅館・ホテルへの適用を想定した 30kg 規模、想定シナリオでは、主要旅館・ホテルへの適用を想定した 100kg 規模の破砕装置・乾燥型生ごみ処理機・冷凍庫が使用されるものと想定した。

表 3-8 破砕装置・乾燥型生ごみ処理機・冷凍庫のインベントリーデータ

処理規模	10 kg	30 kg	50 kg	50 kg	100 kg	500 kg
処理量	~10	11~30	31~99kg	31~99kg	100~250kg	251kg 以上
適用場所	一般旅館・ホテルへ適用			主要旅館・ホテルへ適用		
運転費(千円/年)	100	110	280	280	480	2,520
消費電力量(kwh/年)	5,000	5,500	14,000	14,000	24,000	126,000

出所：モデル自治体調査結果

(5) ごみの有料化事業に係るインベントリーデータ

①ごみ量・ごみ質

モデル自治体の調査結果を基に、本シナリオにおけるごみ量を設定した。本調査では、前述した家庭系ごみの調査と同様の調査を有料化後にも実施し、有料化前後における家庭系の可燃ごみのごみ質の変化を調査している。有料化後のごみ質の調査期間（サンプリング期間）は、一般住宅、海岸部ともに可燃ごみの有料化後の平成 19 年 3 月 9 日（金）となっており、前述した有料化前の調査と同様に 3 日分のごみを対象としたものである。調査対象量等は前述した調査と同様である。なお、有料化前後にてごみ質は変化したものの、有料化の導入によるごみの減量化効果は得られなかったため、18%のごみの減量化効果が達成できるものとモデル的に想定して評価を行うこととした。

可燃ごみのごみ質を表 3-9 に示す。同表の可燃ごみのごみ質を用いて、焼却施設への投入量をごみ組成ごとに算出した。この焼却施設への投入量をもとに事業化後、想定シナリオにおける焼却施設への投入量を整理した結果を表 3-10 に示す。なお、ごみの有料化により焼却施設に投入されるごみ量・ごみ質が変化していることがわかる。

表 3-9 ごみ質（家庭系、有料化前後）

	現状	有料化後
	割合 %	割合 %
プラスチック類	5.5	5.8
紙類	26.9	27.8
繊維類	4.9	1.4
ゴム・皮革類	0.0	0.2
草木類	5.5	2.2
木片類	1.3	0.4
ガラス類	0.0	0.0
金属類	0.2	0.5
陶磁器類	0.0	0.2
厨芥類	48.8	56.5
その他	6.8	5.0
合計	100.0	100.0

表 3-10 焼却施設への投入量（ごみ組成ごと：家庭系、有料化前後）

	現状		有料化後	
	量 t	割合 %	量 t	割合 %
プラスチック類	218.8	5.5	189.3	5.8
紙類	1061.2	26.9	898.7	27.8
繊維類	194.5	4.9	45.3	1.4
ゴム・皮革類	1.9	0.0	8.0	0.2
草木類	217.1	5.5	71.0	2.2
木片類	51.9	1.3	12.6	0.4
ガラス類	0.0	0.0	0.7	0.0
金属類	8.3	0.2	15.1	0.5
陶磁器類	0.0	0.0	5.7	0.2
厨芥類	1926.9	48.8	1828.9	56.5
その他	268.3	6.8	162.9	5.0
合計	3949.0	100.0	3238.2	100.0

3. 3 廃棄物処理システムの変更に伴うLCA評価の結果

(1) 評価方法

①前提条件

3. 1にて設定したシナリオ及び3. 2にて収集・整理したインベントリーデータに基づき、北海道大学と早稲田大学が開発した2つの手法（「北海道大学 北大ー総合廃棄物処理評価プログラム（H-IWM）」、「早稲田大学 BAS（Best Available System）ソフトウェア」）を活用して、LCA評価を実施した。

モデル自治体では、家庭系ごみ、事業系ごみを同一の焼却施設にて処理しているため、計画中の3事業の効果を評価するために以下のケースを想定してLCA評価を行った。

- 1-1：家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケース
- 1-2：事業系生ごみ再資源化事業（飼料化・堆肥化）のみを実施したケース
- 1-3：両事業を実施したケース
- 2：ごみの有料化事業を実施したケース（家庭系ごみのみを評価）

②評価に用いたデータ

3. 2にて収集・整理したインベントリーデータを用いて、LCA評価に用いるデータを整備した。表3-11に家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける焼却施設への投入ごみ量を、表3-12に事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける焼却施設への投入ごみ量を、表3-13に両事業を実施したケースにおける焼却施設への投入ごみ量を、表3-14にごみの有料化事業を行ったケースにおける焼却施設への投入ごみ量を示す。いずれのケースにおいても事業化後に厨芥類の量が減少し、ごみ質が変化している。

表3-11 家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける
焼却施設への投入ごみ量

	投入ごみ量 (t/年)			投入ごみ量 (g/日・人)		
	現状	計画	想定	現状	計画	想定
プラスチック類	780.2	780.2	780.2	91.6	91.6	91.6
紙類	2942.2	2942.2	2942.2	345.3	345.3	345.3
繊維類	194.5	194.5	194.5	22.8	22.8	22.8
ゴム・皮革類	1.9	1.9	1.9	0.2	0.2	0.2
草木類	217.1	217.1	217.1	25.5	25.5	25.5
木片類	347.0	347.0	347.0	40.7	40.7	40.7
ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	8.3	8.3	8.3	1.0	1.0	1.0
陶磁器類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
厨芥類	4710.9	4560.9	2783.9	552.9	535.3	326.7
その他	534.6	534.6	534.6	62.7	62.7	62.7
合計	9736.8	9586.8	7809.9	1142.8	1125.2	916.6

表3-12 事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける
焼却施設への投入ごみ量

	投入ごみ量 (t/年)			投入ごみ量 (g/日・人)		
	現状	計画	想定	現状	計画	想定
プラスチック類	780.2	780.2	780.2	91.6	91.6	91.6
紙類	2942.2	2942.2	2942.2	345.3	345.3	345.3
繊維類	194.5	194.5	194.5	22.8	22.8	22.8
ゴム・皮革類	1.9	1.9	1.9	0.2	0.2	0.2
草木類	217.1	217.1	217.1	25.5	25.5	25.5
木片類	347.0	347.0	347.0	40.7	40.7	40.7
ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	8.3	8.3	8.3	1.0	1.0	1.0
陶磁器類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
厨芥類	4710.9	2868.9	1926.9	552.9	336.7	226.2
その他	534.6	534.6	534.6	62.7	62.7	62.7
合計	9736.8	7894.8	6952.9	1142.8	926.6	816.0

表3-13 両事業を実施したケースにおける焼却施設への投入ごみ量

	投入ごみ量 (t/年)			投入ごみ量 (g/日・人)		
	現状	計画	想定	現状	計画	想定
プラスチック類	780.2	780.2	780.2	91.6	91.6	91.6
紙類	2942.2	2942.2	2942.2	345.3	345.3	345.3
繊維類	194.5	194.5	194.5	22.8	22.8	22.8
ゴム・皮革類	1.9	1.9	1.9	0.2	0.2	0.2
草木類	217.1	217.1	217.1	25.5	25.5	25.5
木片類	347.0	347.0	347.0	40.7	40.7	40.7
ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	8.3	8.3	8.3	1.0	1.0	1.0
陶磁器類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
厨芥類	4710.9	2718.9	0.0	552.9	319.1	0.0
その他	534.6	534.6	534.6	62.7	62.7	62.7
合計	9736.8	7744.8	5025.9	1142.8	909.0	589.9

表3-14 ごみの有料化事業を行ったケースにおける焼却施設への投入ごみ量

	投入ごみ量 (t/年)		投入ごみ量 (g/日・人)	
	有料化前	有料化後	有料化前	有料化後
プラスチック類	218.8	189.3	25.7	22.2
紙類	1061.2	898.7	124.6	105.5
繊維類	194.5	45.3	22.8	5.3
ゴム・皮革類	1.9	8.0	0.2	0.9
草木類	217.1	71.0	25.5	8.3
木片類	51.9	12.6	6.1	1.5
ガラス類	0.0	0.7	0.0	0.1
金属類	8.3	15.1	1.0	1.8
陶磁器類	0.0	5.7	0.0	0.7
厨芥類	1926.9	1828.9	226.2	214.7
その他	268.3	162.9	31.5	19.1
合計	3949.0	3238.2	463.5	380.1

(2) 北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果

①家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケース(1-1)

家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける評価結果を表3-15に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、エネルギー消費量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表3-15 家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける評価結果

			現状	計画	想定
規模	処理量	t/年	9,737	9,587	7,810
	施設規模	t/日	49	48	39
ユーティリティ	人員	人	37	37	37
	車両台数	台	0	0	0
	電力	MWh/年	985	970	790
	重油・軽油	kL/年	0	0	0
コスト	土木建築(車両含む)	百万円/年	176	174	153
	人件費		259	259	259
	運転費(人件費除く)		97	96	84
	▲資源等売却益		1	1	1
エネルギー消費量	電力・燃料	Gcal/年	2,217	2,183	1,778
	土木・建設・設備・薬品等		3,702	3,668	3,255
	▲削減分		250	247	198
CO ₂ 排出量	処理より発生	t-CO ₂ /年	8,767	8,726	8,244
	非バイオマス由来		2,351	2,344	2,259
	施設建設・設備由来		1,166	1,157	1,039
	▲削減分		70	69	55
合計 (削減除く)	コスト	百万円/年	531	529	496
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,919	5,851	5,034
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,518	3,501	3,298
合計 (削減含む)	コスト	百万円/年	530	528	495
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,669	5,604	4,836
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,448	3,432	3,243

②事業系生ごみ再資源化事業（飼料化・堆肥化）のみを実施したケース（1-2）

事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける評価結果を表3-16に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、エネルギー消費量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表3-16 事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける評価結果

			現状	計画	想定
規模	処理量	t/年	9,737	7,895	6,953
	施設規模	t/日	49	40	35
ユーティリティ	人員	人	37	37	37
	車両台数	台	0	0	0
	電力	MWh/年	985	799	704
	重油・軽油	kL/年	0	0	0
コスト	土木建築(車両含む)	百万円/年	176	154	143
	人件費		259	259	259
	運転費(人件費除く)		97	84	78
	▲資源等売却益		1	1	1
エネルギー消費量	電力・燃料	Gcal/年	2,217	1,798	1,583
	土木・建設・設備・薬品等		3,702	3,275	3,048
	▲削減分		250	201	163
CO ₂ 排出量	処理より発生	t-CO ₂ /年	8,767	8,267	8,012
	非バイオマス由来		2,351	2,263	2,218
	施設建設・設備由来		1,166	1,044	979
	▲削減分		70	56	45
合計 (削減除く)	コスト	百万円/年	531	497	479
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,919	5,073	4,631
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,518	3,308	3,197
合計 (削減含む)	コスト	百万円/年	530	497	479
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,669	4,872	4,468
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,448	3,252	3,152

③両事業を実施したケース（１－３）

両事業を実施したケースにおける評価結果を表３－１７に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、エネルギー消費量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表３－１７ 両事業を実施したケースにおける評価結果

			現状	計画	想定
規模	処理量	t/年	9,737	7,745	5,026
	施設規模	t/日	49	39	25
ユーティリティ	人員	人	37	37	37
	車両台数	台	0	0	0
	電力	MWh/年	985	784	509
	重油・軽油	kL/年	0	0	0
コスト	土木建築(車両含む)	百万円/年	176	153	118
	人件費		259	259	259
	運転費(人件費除く)		97	83	63
	▲資源等売却益		1	1	0
エネルギー消費量	電力・燃料	Gcal/年	2,217	1,764	1,144
	土木・建設・設備・薬品等		3,702	3,240	2,557
	▲削減分		250	196	31
CO ₂ 排出量	処理より発生	t-CO ₂ /年	8,767	8,227	7,490
	非バイオマス由来		2,351	2,256	2,126
	施設建設・設備由来		1,166	1,034	839
	▲削減分		70	55	9
合計 (削減除く)	コスト	百万円/年	531	495	441
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,919	5,003	3,702
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,518	3,290	2,965
合計 (削減含む)	コスト	百万円/年	530	494	441
	エネルギー消費量	Gcal/年	5,669	4,808	3,671
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	3,448	3,236	2,956

④ごみの有料化事業を実施したケース（２）

ごみの有料化事業を実施したケースにおける評価結果を表 3-18 に示す。ごみの有料化による焼却処理量の削減に伴い、エネルギー消費量、CO₂ 排出量が低減されていることがわかる。

表 3-18 ごみの有料化事業を実施したケースにおける評価結果

			有料化前	有料化後
規模	処理量	t/年	3,949	3,238
	施設規模	t/日	20	16
ユーティリティ	人員	人	36	36
	車両台数	台	0	0
	電力	MWh/年	400	328
	重油・軽油	kL/年	0	0
コスト	土木建築(車両含む)	百万円/年	93	80
	人件費		252	252
	運転費(人件費除く)		47	41
	▲資源等売却益		-2	-3
エネルギー消費量	電力・燃料	Gcal/年	899	737
	土木・建設・設備・薬品等		1,908	1,646
	▲削減分		-452	-802
CO ₂ 排出量	処理より発生	t-CO ₂ /年	3,397	2,563
	非バイオマス由来		720	626
	施設建設・設備由来		580	499
	▲削減分		-126	-224
合計 (削減除く)	コスト	百万円/年	392	373
	エネルギー消費量	Gcal/年	2,808	2,383
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	1,301	1,125
合計 (削減含む)	コスト	百万円/年	394	376
	エネルギー消費量	Gcal/年	3,260	3,186
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	1,427	1,348

⑤ソフトウェアによる評価結果例

ソフトウェアによる評価結果例を図3-6及び図3-7に示す。このように、ソフトウェアによる計算結果のまとめの出力や廃棄物処理システムのライフサイクル評価結果のグラフ表示等が可能となっている。今回の評価では、焼却処理施設における環境負荷のみを考慮しているため、焼却施設からの環境負荷のみが出力されているが、資源選別施設等の他の施設の環境負荷も考慮すれば、施設ごとの環境負荷の内訳等を出力することも可能である。なお、この他にも、マスフロー、ごみの組成、処理方法別ごみ量、計算結果の詳細出力、処理残渣等の出力が可能である。

計算結果のまとめ

図は【計算結果(図)】参照
詳細は【詳細出力】参照

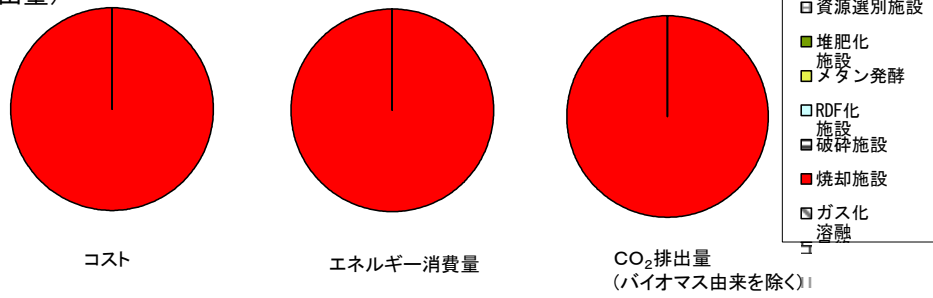
			資源選別施設	堆肥化施設	メタン発酵	RDF化施設	破砕施設	焼却施設	ガス化溶融	最終処分場	収集輸送	計
規模	処理量	t/年	0	0	0	0	0	5,026	0	0	0	
	施設規模	t/日	0	0	0	0	0	25	0	0	0	
ユーティリティ	人員	人	5	0	0	0	0	37	0	0	0	42
	車両台数	台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電力	MWh/年	0	0	0	0	0	509	0	0	0	509
	重油・軽油	kL/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コスト	土木建築(車両含む)		0	0	0	0	0	118	0	0	0	118
	人件費		0	0	0	0	0	259	0	0	0	294
	運転費(人件費除く)		0	0	0	0	0	63	0	0	0	63
	▲資源等売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エネルギー消費量	電力・燃料	Gcal/年	0	0	0	0	0	1,144	0	0	0	1,144
	土木・建設・設備・薬品等		0	0	0	0	0	2,557	0	0	0	2,557
	▲削減分		0	0	0	0	0	31	0	0	0	31
CO ₂ 排出量	処理より発生	t-CO ₂ /年	0	0	0	0	0	7,490	0	0	0	7,490
	非バイオマス由来		0	0	0	0	0	2,126	0	0	0	2,126
	施設建設・設備由来		0	0	0	0	0	839	0	0	0	839
	▲削減分		0	0	0	0	0	9	0	0	0	9
合計(削減除く)	コスト	百万円/年	0	0	0	0	0	441	0	0	0	476
	エネルギー消費量	Gcal/年	0	0	0	0	0	3,702	0	0	0	3,702
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	0	0	0	0	0	2,965	0	0	0	2,965
合計(削減含む)	コスト	百万円/年	0	0	0	0	0	441	0	0	0	476
	エネルギー消費量	Gcal/年	0	0	0	0	0	3,671	0	0	0	3,671
	CO ₂ 排出(バイオマス除く)	t-CO ₂ /年	0	0	0	0	0	2,956	0	0	0	2,956
トンあたり処理コスト		千円/トン	87.7									

注:堆肥化施設、最終処分場のCO₂(非バイオマス)にはバイオマス由来のCH₄(CO₂換算)を含む。

図3-6 ソフトウェアによる評価結果例(計算結果のまとめ)

廃棄物処理システムのライフサイクル評価(施設建設等を含む)
 数値は(計算結果(表))参照

A.消費量(排出量)



B.消費量(排出量)ー削減量

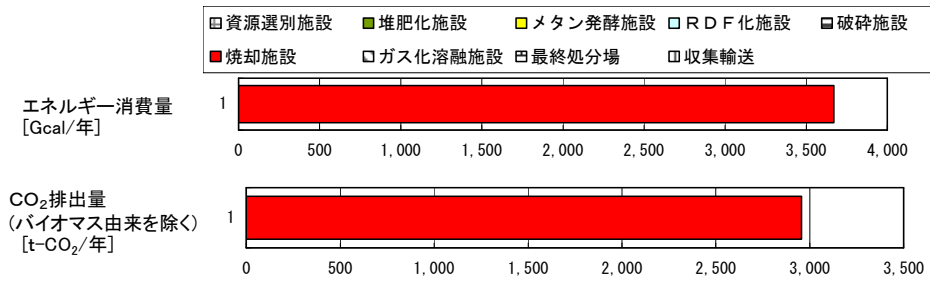


図 3-7 ソフトウェアによる評価結果例
 (廃棄物処理システムのライフサイクル評価)

(3) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果

①家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケース(1-1)

家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける評価結果を表3-19に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、消費電力量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表3-19 家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケースにおける評価結果

				現状	計画	想定
イン プ ット	マテリアル	処理物	t/年	9736.8	9586.8	7809.9
	電力	買電	kWh/年	1173790.7	1155707.9	941496.3
		消費電力		1173790.7	1155707.9	941496.3
	補助燃料	灯油	L/年	0.0	0.0	0.0
		重油		0.0	0.0	0.0
		都市ガス	m ³ /年	0.0	0.0	0.0
		LPG		0.0	0.0	0.0
		コークス		kg/年	0.0	0.0
	薬剤	キレート	kg/年	0.0	0.0	0.0
		消石灰		0.0	0.0	0.0
		活性炭		0.0	0.0	0.0
		アンモニア		0.0	0.0	0.0
		尿素		0.0	0.0	0.0
		苛性ソーダ		0.0	0.0	0.0
		その他薬剤		0.0	0.0	0.0
水	用水	L/年	0.0	0.0	0.0	
ア ウ ト プ ット	マテリアル	主灰	t/年	474.9	469.5	405.5
		飛灰		52.8	52.2	45.1
	電力	発電電力	kWh/年	0.0	0.0	0.0
		売電		0.0	0.0	0.0
	排ガス	乾きガス	Nm ³ /年	946827648.0	946827648.0	946827648.0
		CO ₂	kg/年	17139.5	16882.6	13839.4
		ばいじん		9468.3	9468.3	9468.3
		NO _x		116662.7	116662.7	116662.7
		SO _x		54104.4	54104.4	54104.4
		HCl		46284.7	46284.7	46284.7
		DXNs (大気)		ng-TEQ/年	94682764.8	94682764.8
	排水	下水 or 放流		L/年	0.0	0.0
		BOD	kg/年	0.0	0.0	0.0
		COD		0.0	0.0	0.0
		重金属類 (鉛)		0.0	0.0	0.0
DXNs (水域)		pg-TEQ/年		0.0	0.0	0.0

②事業系生ごみ再資源化事業（飼料化・堆肥化）のみを実施したケース（1-2）

事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける評価結果を表3-20に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、消費電力量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表3-20 事業系生ごみ再資源化事業のみを実施したケースにおける評価結果

				現状	計画	想定
イン プ ット	マテリアル	処理物	t/年	9736.8	7894.8	6952.9
	電力	買電	kWh/年	1173790.7	951733.9	838182.2
		消費電力		1173790.7	951733.9	838182.2
	補助燃料	灯油	L/年	0.0	0.0	0.0
		重油		0.0	0.0	0.0
		都市ガス	m ³ /年	0.0	0.0	0.0
		LPG		0.0	0.0	0.0
		コークス		kg/年	0.0	0.0
	薬剤	キレート	kg/年	0.0	0.0	0.0
		消石灰		0.0	0.0	0.0
		活性炭		0.0	0.0	0.0
		アンモニア		0.0	0.0	0.0
		尿素		0.0	0.0	0.0
		苛性ソーダ		0.0	0.0	0.0
		その他薬剤		0.0	0.0	0.0
	水	用水	L/年	0.0	0.0	0.0
ア ウ ト プ ット	マテリアル	主灰	t/年	474.9	408.6	374.7
		飛灰		52.8	45.4	41.6
	電力	発電電力	kWh/年	0.0	0.0	0.0
		売電		0.0	0.0	0.0
	排ガス	乾きガス	Nm ³ /年	946827648.0	946827648.0	946827648.0
		CO ₂	kg/年	17139.5	13984.8	12371.6
		ばいじん		9468.3	9468.3	9468.3
		NO _x		116662.7	116662.7	116662.7
		SO _x		54104.4	54104.4	54104.4
		HCl		46284.7	46284.7	46284.7
		DXNs（大気）		ng-TEQ/年	94682764.8	94682764.8
	排水	下水 or 放流		L/年	0.0	0.0
		BOD	kg/年	0.0	0.0	0.0
		COD		0.0	0.0	0.0
		重金属類（鉛）		0.0	0.0	0.0
		DXNs（水域）		pg-TEQ/年	0.0	0.0

③両事業を実施したケース（1-3）

両事業を実施したケースにおける評価結果を表3-21に示す。現状シナリオ、計画シナリオ、想定シナリオの順に、焼却処理量の削減に伴い、消費電力量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表3-21 両事業を実施したケースにおける評価結果

				現状	計画	想定
イン プ ット	マテリアル	処理物	t/年	9736.8	7744.8	5025.9
	電力	買電	kWh/年	1173790.7	933651.1	605887.7
		消費電力		1173790.7	933651.1	605887.7
	補助燃料	灯油	L/年	0.0	0.0	0.0
		重油		0.0	0.0	0.0
		都市ガス	m ³ /年	0.0	0.0	0.0
		LPG		0.0	0.0	0.0
		コークス		kg/年	0.0	0.0
	薬剤	キレート	kg/年	0.0	0.0	0.0
		消石灰		0.0	0.0	0.0
		活性炭		0.0	0.0	0.0
		アンモニア		0.0	0.0	0.0
		尿素		0.0	0.0	0.0
		苛性ソーダ		0.0	0.0	0.0
		その他薬剤		0.0	0.0	0.0
	水	用水	L/年	0.0	0.0	0.0
	ア ウ ト プ ット	マテリアル	主灰	t/年	474.9	403.2
飛灰			52.8		44.8	33.9
電力		発電電力	kWh/年	0.0	0.0	0.0
		売電		0.0	0.0	0.0
排ガス		乾きガス	Nm ³ /年	946827648.0	946827648.0	946827648.0
		CO ₂	kg/年	17139.5	13727.9	9071.5
		ばいじん		9468.3	9468.3	9468.3
		NO _x		116662.7	116662.7	116662.7
		SO _x		54104.4	54104.4	54104.4
		HCl		46284.7	46284.7	46284.7
		DXNs（大気）		ng-TEQ/年	94682764.8	94682764.8
排水		下水 or 放流		L/年	0.0	0.0
		BOD	kg/年	0.0	0.0	0.0
		COD		0.0	0.0	0.0
		重金属類（鉛）		0.0	0.0	0.0
		DXNs（水域）		pg-TEQ/年	0.0	0.0

④ごみの有料化事業を実施したケース（２）

ごみの有料化事業を実施したケースにおける評価結果を表３－２２に示す。ごみの有料化による焼却処理量の削減に伴い、消費電力量、CO₂排出量が低減されていることがわかる。

表３－２２ ごみの有料化事業を実施したケースにおける評価結果

				有料化前	有料化後
インプット	マテリアル	処理物	t/年	3949.0	3238.2
	電力	買電	kWh/年	476059.8	390369.1
		消費電力		476059.8	390369.1
	補助燃料	灯油	L/年	0.0	0.0
		重油		0.0	0.0
		都市ガス	m ³ /年	0.0	0.0
		LPG		0.0	0.0
		コークス		kg/年	0.0
	薬剤	キレート	kg/年	0.0	0.0
		消石灰		0.0	0.0
		活性炭		0.0	0.0
		アンモニア		0.0	0.0
		尿素		0.0	0.0
		苛性ソーダ		0.0	0.0
その他薬剤		0.0		0.0	
水	用水	L/年	0.0	0.0	
アウトプット	マテリアル	主灰	t/年	192.4	172.4
		飛灰		21.4	19.2
	電力	発電電力	kWh/年	0.0	0.0
		売電		0.0	0.0
	排ガス	乾きガス	Nm ³ /年	946827648.0	946827648.0
		CO ₂	kg/年	6874.9	5739.8
		ばいじん		9468.3	9468.3
		NOX		116662.7	116662.7
		SOX		54104.4	54104.4
		HCl		46284.7	46284.7
		DXNs（大気）		ng-TEQ/年	94682764.8
	排水	下水 or 放流		L/年	0.0
		BOD	kg/年	0.0	0.0
		COD		0.0	0.0
		重金属類（鉛）		0.0	0.0
		DXNs（水域）		pg-TEQ/年	0.0

⑤ソフトウェアによる評価結果例

ソフトウェアによる評価結果例を図3-8及び図3-9に示す。このように、廃棄物処理システムの ELP 評価結果のグラフ表示や、ソフトウェアによる計算結果の出力（環境負荷のインプット・アウトプット）等が可能となっている。この他にも、収集運搬の評価結果、その他の施設の評価結果が出力可能となっている。なお、今回の評価では実施していないが、コストデータを入力することで、ライフサイクルコストも算出可能である。

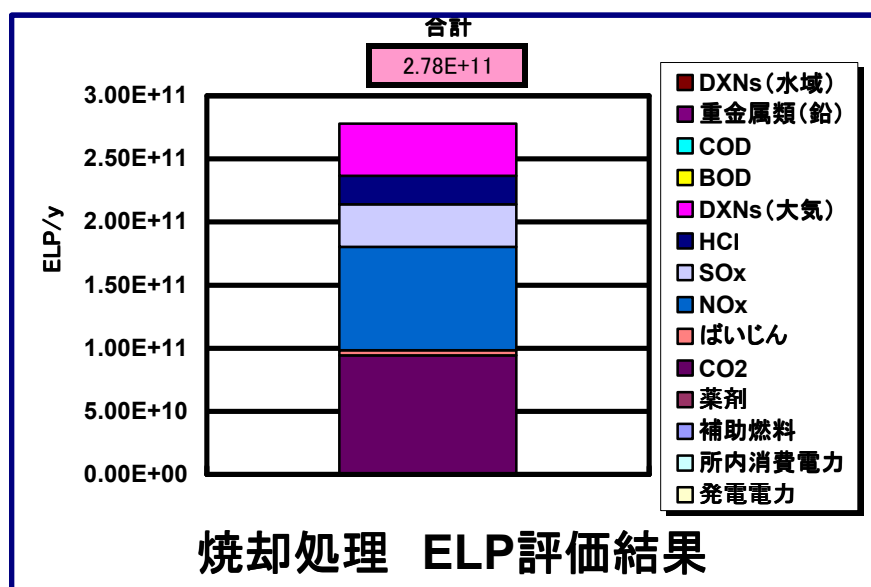


図3-8 ソフトウェアによる評価結果例（焼却処理 ELP 評価結果）

5 評価結果を表示します。

●環境負荷評価結果

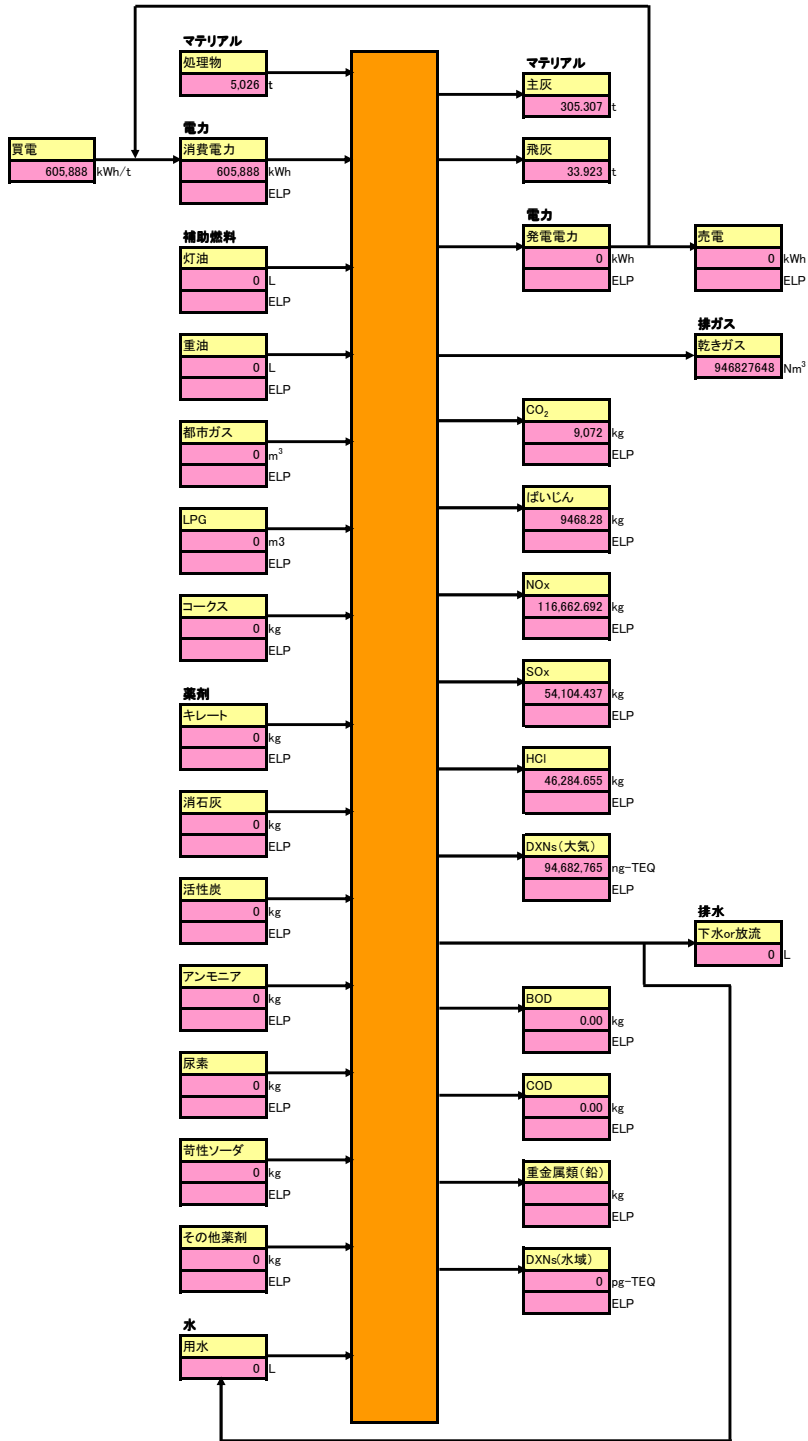


図3-9 ソフトウェアによる評価結果例（環境負荷評価結果）

3. 4 廃棄物処理システム検討ツールとしてのLCAの導入可能性

(1) ソフトウェアによる評価結果の検討

3.3でのソフトウェアによる評価結果に基づき、各シナリオの環境負荷の比較を行う。なお、3.3では両ソフトウェアの機能内にてLCA評価を実施したため、ホイルローダーや生ごみ処理機等、焼却施設以外のその他の機器の部分についての評価を行うことができていなかった。そこで、設定したシナリオ全体の比較を行うため、ホイルローダーや生ごみ処理機等のその他の機器については、別途LCA評価を実施し、設定したシナリオ全体における評価を行った。その他の機器のLCA評価に用いた原単位を表3-23に示す。

表3-23 その他の機器のLCA評価に用いた原単位の一覧

			電力 (kWh)	軽油 (L)
北海道大学	エネルギー消費量	Mcal/*	2.25	9.2
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /*	0.129	0.74
	コスト	千円/*	0.020	0.057
早稲田大学	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /*	0.433	0.318
	コスト	千円/*	0.020	0.057

出所：北大、早大各ソフトウェアにて使用している原単位より抜粋、コストのみ北大にて使用している原単位を採用（*にはkWhまたはL）

以下、各ケースの評価結果を示す。なお、ごみtあたりの算出にあたっては、シナリオ全体の評価を実施するため、ごみ処理量の全量を用いた。

①家庭系生ごみ堆肥化事業のみを実施したケース（1-1）

(i) 北海道大学 北大ー総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果

北海道大学のソフトウェアを用いた評価結果について、エネルギー消費量を図3-10に、CO₂排出量を図3-11に示す。

エネルギー消費量では、1年間あたりでは計画シナリオでは、1.1%の低減、想定シナリオでは14.9%の低減効果がみられた。

CO₂排出量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、0.5%の低減、想定シナリオでは6.3%の低減効果がみられた。

エネルギー消費量、CO₂排出量ともに、家庭系生ごみ堆肥化事業によって環境負荷の低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

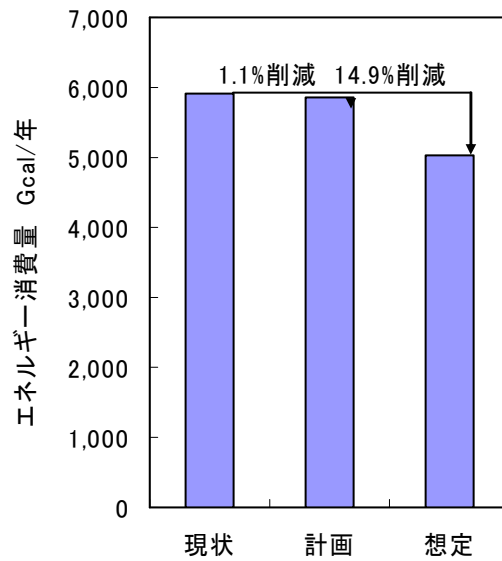


図3-10 エネルギー消費量（北海道大学）

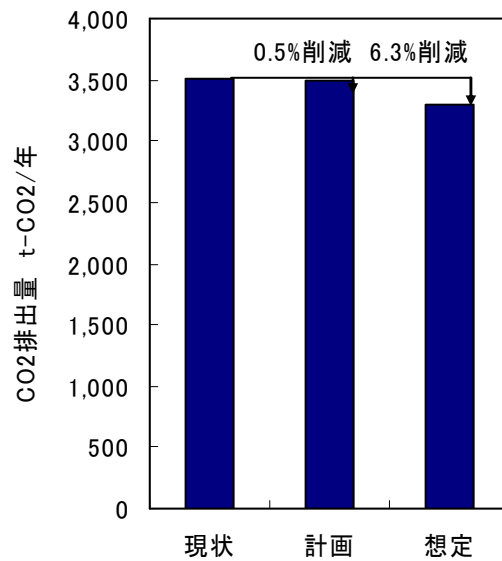


図3-11 CO₂排出量（北海道大学）

(ii) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果

早稲田大学のソフトウェアを用いた評価結果について、CO₂排出量を図3-12に示す。

CO₂排出量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、1.2%の低減、想定シナリオでは18.9%の低減効果がみられた。

家庭系生ごみ堆肥化事業によってCO₂排出量の低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

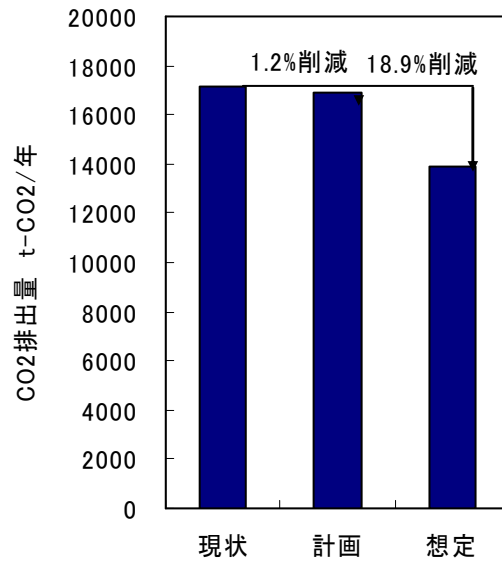


図 3-12 CO₂ 排出量 (早稲田大学)

②事業系生ごみ再資源化事業 (飼料化・堆肥化) のみを実施したケース (1-2)

(i) 北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果

北海道大学のソフトウェアを用いた評価結果について、エネルギー消費量を図 3-13 に、CO₂ 排出量を図 3-14 に示す。

エネルギー消費量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、14.1%の低減、想定シナリオでは 20.8%の低減効果がみられた。

CO₂ 排出量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、5.9%の低減、想定シナリオでは 9.0%の低減効果がみられた。

エネルギー消費量、CO₂ 排出量ともに、事業系生ごみ再資源化事業によって低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は 1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

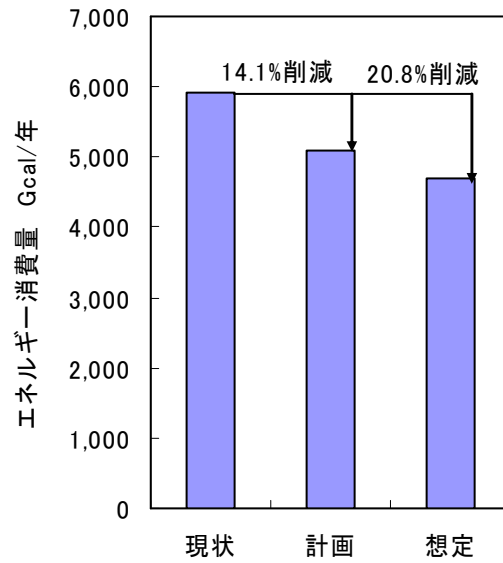


図3-13 エネルギー消費量（北海道大学）

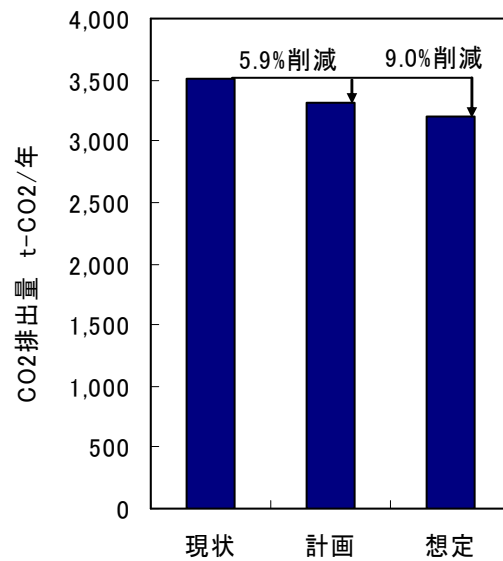


図3-14 CO₂排出量（北海道大学）

(ii) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果

早稲田大学のソフトウェアを用いた評価結果について、CO₂排出量を図3-15に示す。

CO₂排出量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、18.4%の低減、想定シナリオでは27.8%の低減効果がみられた。

事業系生ごみ再資源化事業によってCO₂排出量の低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

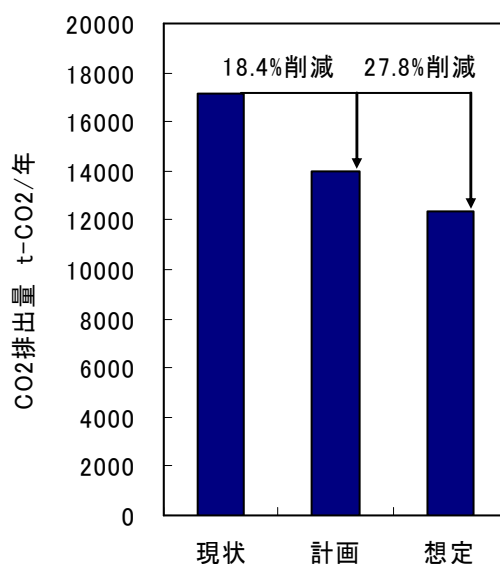


図3-15 CO₂排出量（早稲田大学）

③両事業を実施したケース（1-3）

（i）北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果

北海道大学のソフトウェアを用いた評価結果について、エネルギー消費量を図3-16に、CO₂排出量を図3-17に示す。

エネルギー消費量では、1年間あたりでは計画シナリオでは、15.2%の低減、想定シナリオでは36.5%の低減効果がみられた。

CO₂排出量では、1年間あたり、では、計画シナリオでは、6.5%の低減、想定シナリオでは15.6%の低減効果がみられた。

エネルギー消費量、CO₂排出量ともに、両事業によって低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

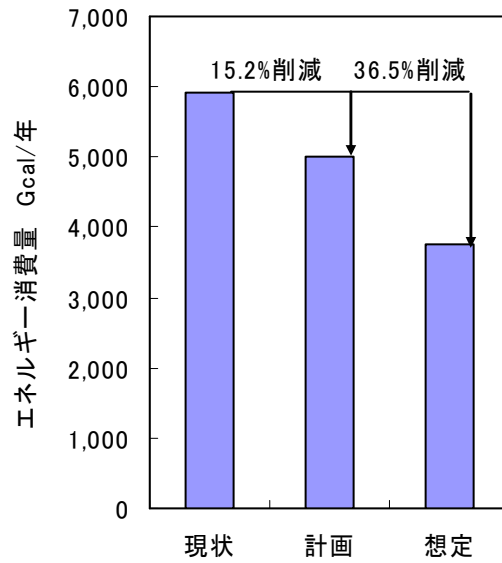


図3-16 エネルギー消費量（北海道大学）

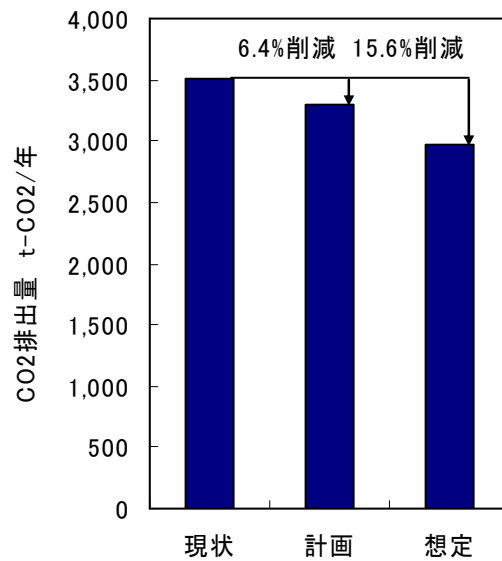


図3-17 CO₂排出量（北海道大学）

(ii) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果

早稲田大学のソフトウェアを用いた評価結果について、CO₂排出量を図3-18に示す。CO₂排出量では、1年間あたりでは、計画シナリオでは、19.6%の低減、想定シナリオでは46.7%の低減効果がみられた。

両事業によってCO₂排出量の低減効果を確認することができた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

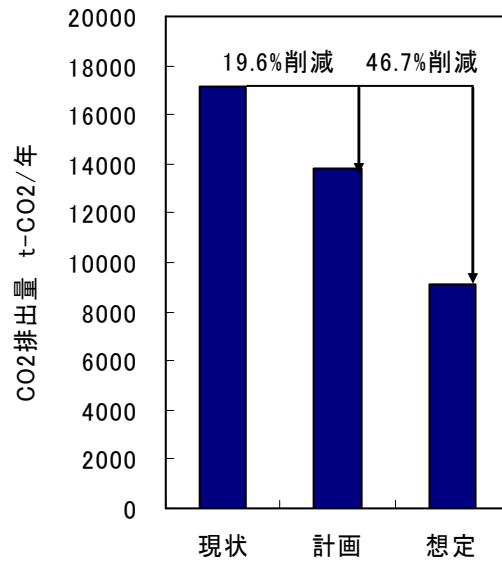


図3-18 CO₂排出量 (早稲田大学)

④ごみの有料化事業を実施したケース(2)

(i) 北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラムを用いた評価結果

北海道大学のソフトウェアを用いた評価結果について、エネルギー消費量を図3-19に、CO₂排出量を図3-20に示す。

エネルギー消費量では、1年間あたりでは有料化後では、15.1%の低減効果がみられた。

CO₂排出量では、1年間あたりでは、有料化後では、13.5%の低減効果がみられた。

これよりごみの有料化事業によって、エネルギー消費量、CO₂排出量ともに、CO₂排出量の低減効果が確認できた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

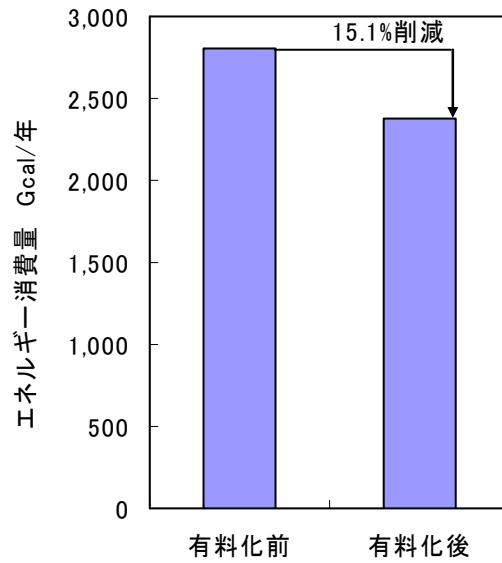


図3-19 エネルギー消費量（北海道大学）

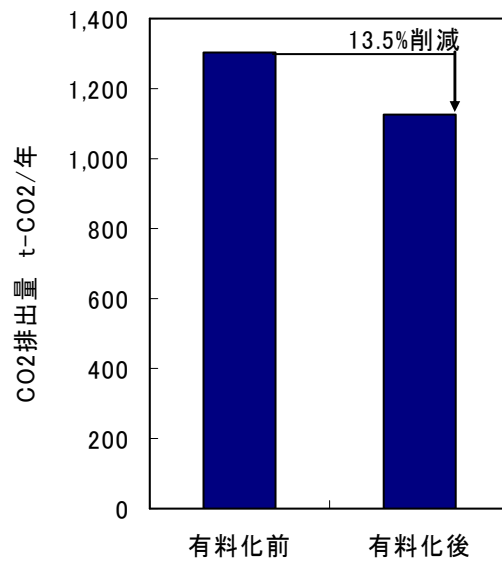


図3-20 CO₂排出量（北海道大学）

(ii) 早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェアを用いた評価結果

早稲田大学のソフトウェアを用いた評価結果について、CO₂排出量を図3-21に示す。CO₂排出量では、1年間あたりでは、有料化後では、16.5%の低減効果がみられた。これよりごみの有料化事業によって、CO₂排出量の低減効果が確認できた。なお、全体に占めるその他の機器の占める割合は1%以下となっており、非常に小さくなっていた。

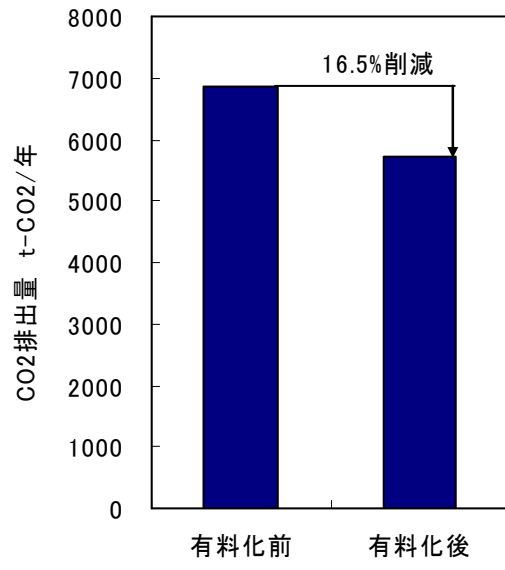


图 3 - 2 1 CO₂ 排出量 (早稻田大学)

(2) LCAの導入可能性に関する検討

①既存のソフトウェアの比較

前節まで、北海道大学と早稲田大学が開発した2つの既存のソフトウェア（「北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラム (H-IWM)」、「早稲田大学 BAS (Best Available System) ソフトウェア」) をモデル的に適用して、廃棄物処理システムの変更に伴う環境影響評価を行ってきた。両ソフトウェアでは、評価に使用する原単位やバウンダリーの設定方法に相違があるため、LCA 評価によって算出された CO₂ 排出量には差がみられた。この主な要因は以下のとおりと考えられる。

<使用している原単位の相違>

- ・ 両ソフトウェアにて使用している電力のエネルギー消費量換算係数や CO₂ 排出量換算係数等に相違がある。

<バウンダリーの設定の相違>

- ・ 北海道大学のソフトウェアでは、一般的な CO₂ 排出量換算係数を用いて CO₂ 排出量を算出している。一方、早稲田大学のソフトウェアでは、ライフサイクル全般（資源の採取から最終処分まで）にわたる CO₂ 排出量を考慮し、LC-CO₂ 的考え方にに基づき算出しており、バウンダリーの設定に相違がある。

<CO₂ 排出量の考え方の相違>

- ・ 北海道大学のソフトウェアでは、バイオマス由来の CO₂ 排出量は考慮しないこととしており、早稲田大学のソフトウェアでは、それを考慮している点。この考え方の相違によって、結果的に早稲田大学のソフトウェアにて算出した CO₂ 排出量の方が総じて大きくなってくる。

これらの要因によって、両ソフトウェアによって算出された CO₂ 排出量には相違がみられたものの、シナリオ間評価の結果はほぼ、同様の傾向となった。LCA 評価に用いた手法（ソフトウェア）の特徴に応じて、結果として算出される値に差がみられるため、この点に留意して LCA 評価結果の解釈を行うべきであると考えられる。

②LCAの導入可能性に関する検討

前項までの評価結果を踏まえ、廃棄物処理システムの検討ツールとしてのLCA手法の可能性について検討した。既存のソフトウェア（「北海道大学 北大一総合廃棄物処理評価プログラム（H-IWM）」、「早稲田大学 BAS（Best Available System）ソフトウェア」）を用いて、モデル自治体の廃棄物処理システムに係る3事業のLCA評価を実施した結果、家庭系生ごみ堆肥化事業、事業系生ごみ再資源化事業、ごみの有料化事業の3事業ともに、焼却処理量の減少によって、エネルギー消費量、CO₂排出量の低減効果を確認することができた。

今後の検討事項は以下のとおりである。

<焼却施設の稼働日数の評価方法>

- ・ 本調査にて設定したシナリオのように、焼却処理量が減少する場合は、ごみ質の変化よりも、焼却処理量自体の減少分がCO₂排出量の削減等の効果として表れると考えられる。
- ・ しかし、既存のソフトウェアでは、焼却処理量の減少に伴う、施設稼働率等の変化を考慮することができないため、焼却処理量を減少させた場合、結果的に、施設稼働率が悪化し、ごみt当たりでは、CO₂排出量等が増加する結果となってしまう。
- ・ 焼却処理量の減少に伴い、焼却施設の稼働日が減少する等のシナリオをソフトウェアに反映させることができれば、さらなるCO₂排出量等の低減効果が得られると考えられる。

<焼却施設にて使用する薬剤の評価方法>

- ・ 本調査にて設定したシナリオのように、焼却処理量が減少する場合は、焼却施設へ投入するごみのごみ質が変化することで、焼却施設へ投入する助燃剤や排ガス用の触媒量が減少するため、これらが、環境負荷の低減の効果として表れると考えられる。
- ・ しかし、既存のソフトウェアでは、このような薬剤や触媒の使用量の減少分を評価することができないため、薬剤や触媒による環境負荷の低減効果を把握することができない。
- ・ 助燃剤等の環境負荷をなんらかの指標にて示すことにより、それらの使用量の減少分を評価することが可能であれば、さらなる環境負荷低減効果を示すことができると考えられる。

<シナリオ間比較>

- ・ 本調査にて設定したシナリオでは、廃棄物処理システム全体（収集運搬から最終処分まで）から焼却施設まわりのみに注目し、評価を行った。
- ・ しかし、既存のソフトウェアは、汎用性を考えて作られており、廃棄物処理システム全体の評価を行うことを目的に作成されているため、焼却施設まわりのみの評価を詳細に実施することは困難である。

- 焼却施設まわりの詳細評価が可能なソフトウェアが開発されることやソフトウェアとは別途詳細な LCA 評価を実施することができれば、さらなる環境負荷低減効果を示すことができると考えられる。

既存のソフトウェアを用いて廃棄物処理システムの LCA 評価を実施する際には、このような点に注意して実施する必要があり、既存のソフトウェアにはさらなる改善が望まれるところである。

前項までの LCA 評価によって示されたように、評価対象とするバウンダリーの設定や評価に用いるインベントリーデータや原単位を精査することによって、廃棄物処理システムの検討ツールとして、LCA 手法（既存のソフトウェア）は導入可能であると考えられる。なお、評価結果の解釈等には十分に留意し、一般廃棄物会計基準による財務的な観点や他の評価指標等とともに様々な評価手法の中のひとつの手法として LCA 評価結果を活用していくべきである。

おわりに

本事業を通じて、環境省にて策定した一般廃棄物会計基準を活用することにより、自治体の廃棄物行政を財務的な観点から分析を行うことができた。

すなわち、品目別の処理等単価を同基準に即して計算することにより、各自治体の一般廃棄物処理システムにおける支出特性を把握するとともに、行政コスト計算書ならびに資産・負債一覧を作成し、県内自治体における廃棄物処理担当部署の財務的な状態を把握することができた。

さらには実際の事例をベースとして市町村合併や新施策実施等による廃棄物処理システムの変更を想定し、一般廃棄物会計基準に準じて解析した場合にどのような結果が出るかを確認した。これにより、廃棄物行政において施策変更を検討する際に、一般廃棄物会計基準が有効なツールとして活用できる可能性が示唆された。

ただし、一般廃棄物会計基準は自治体の廃棄物行政の範囲内で財政状況を把握することは可能であるが、民間事業者やNPO、住民等も含めた様々な主体により構成される社会システムとして一般廃棄物処理を進めるものと捉えた場合には、自治体の財政に影響のない部分での変化が評価されないため、同基準とは別途評価する必要性があるとも考えられる。

こうした課題が一部あるとはいえ、総じて、一般廃棄物会計基準はこれまでの廃棄物行政を新たな視点で捉え直す格好の材料であるといえる。

まずは、今年度実施したような形で、現時点の廃棄物行政の評価や新たな取組を進める際の判断基準として活用する他、今後データやノウハウが蓄積されてくれば一般廃棄物会計基準を用いた住民説明等による廃棄物行政の透明性確保も期待される。

また、本事業において、廃棄物処理システムへのLCA（ライフサイクルアセスメント）の導入可能性を検証した。既存のソフトウェアを用いて実際の事例を基に、生ごみの堆肥化・再資源化事業やごみの有料化事業のLCA評価を実施し、これらの事業の環境負荷低減効果を検討するとともに、廃棄物処理システムを評価する際の、既存のソフトウェアの有効性を確認した。これより、廃棄物行政において新たな施策を検討する際に、LCAは、ひとつの検討ツールとして活用できる可能性が示唆された。

しかし、既存のソフトウェアには、実際の稼動状況を正確に評価することが困難であること、薬剤等の環境負荷を適切に評価できないこと、ある施設のみの詳細評価には適さないこと等が明らかとなったため、詳細な評価結果を得るためには、既存のソフトウェア外にて別途評価を行う必要性があるとも考えられる。

このような課題も一方では存在しているが、既存のソフトウェアを用いて廃棄物処理システムのLCA評価を実施し、環境負荷低減効果を評価することは可能であると考えられるため、評価結果の解釈等に十分に留意し、一般廃棄物会計基準による財務的な観点等も合わせてLCA評価結果を廃棄物行政に活用していくことが望まれる。